

史料目録 第110集

東京都諸家文書目録
(その1)

令和2年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
学術資料事業部

史料目録 第110集

東京都諸家文書目録
(その1)

The catalogue of historical collections

Vol. 110

The catalogue of papers of Some Families

at Tokyo Prefecture, Japan

No.1

National Institute of Japanese Literature, 2020

ISBN978-4-87592-197-4

ISSN2435-2055



写真1 佐伯家文書に残る各種の「村入用」勘定帳
 [佐伯家文書 72-14/79-19/95-1]

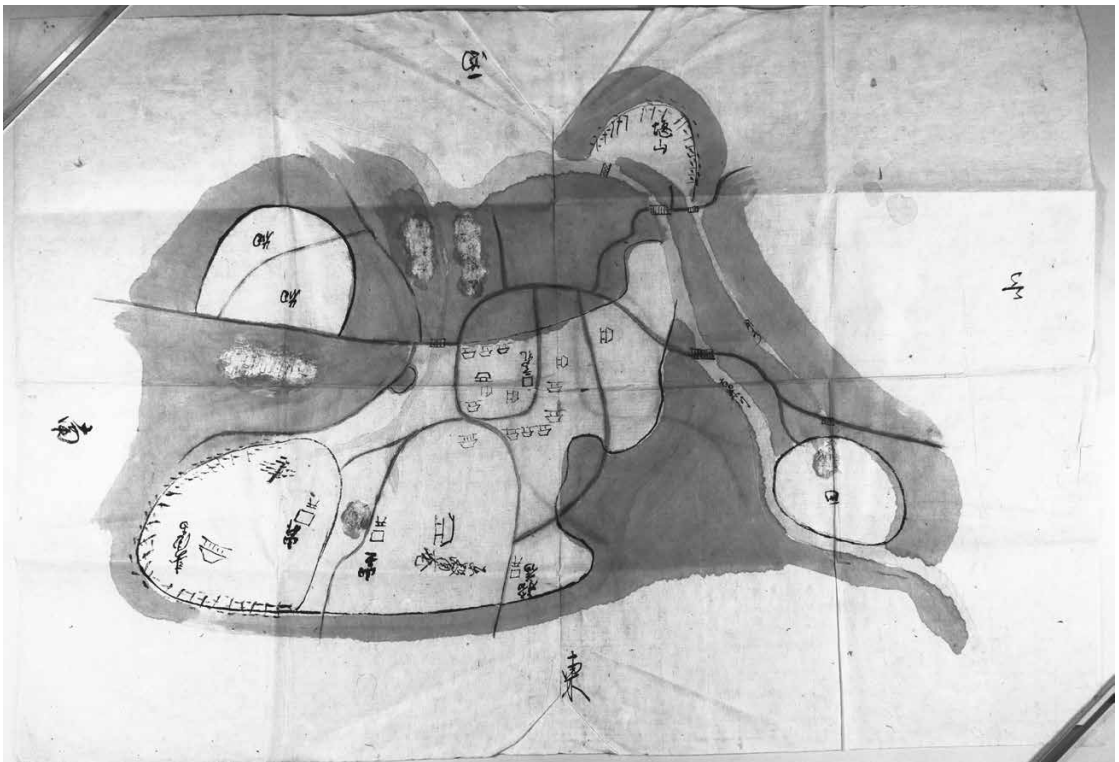


写真2 (寺方村絵図) [佐伯家文書 292]

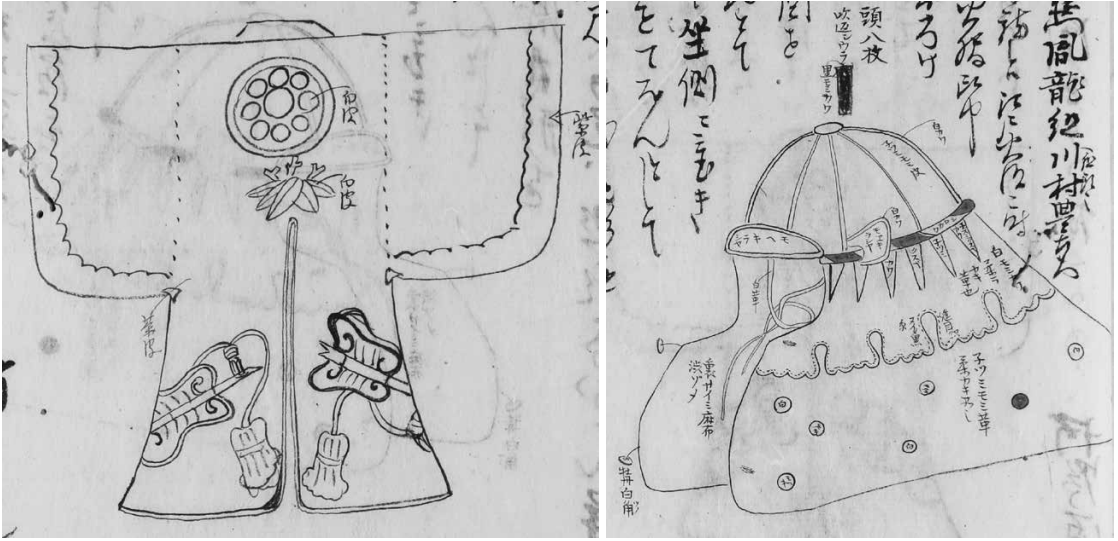


写真3 江戸火消書留 [河野家文書9]

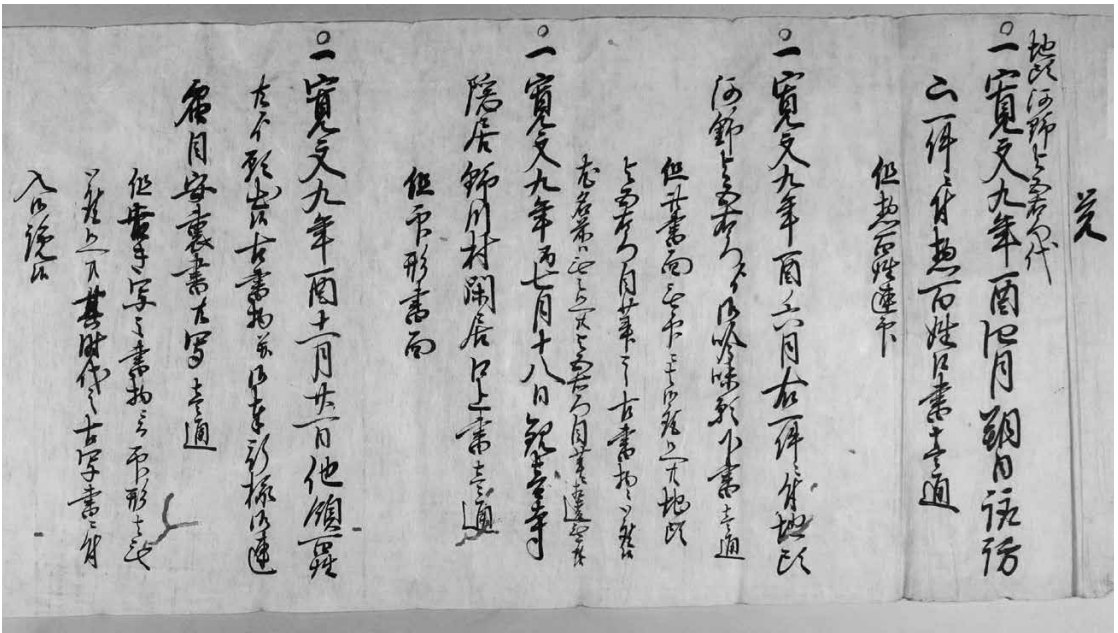


写真4 覚（古書物21通・棟札写し4枚並びに絵図面1枚相渡され持参仕り候に付）
[河野家文書49]

凡 例

- 本目録は、『史料目録』第110集 東京都諸家文書目録(その1)として「武蔵国多摩郡寺方村佐伯家文書目録」(32P)および「武蔵国多摩郡八王子河野家文書目録」(31D)を収めた。
- 文書群の編成にあたっては、ISAD(G)(国際標準:記録記述の一般原則)の考え方も参考にしつつ、文書群を発生させた組織体・集団の役割や活動に留意し、文書群の持つ内的構造を復元することに努めた。各頁の肩に「1.寺方村名主 / 3.土地 / 5.入会」などと示し、各文書の階層中における位置を把握できるように配慮した。
- 項目中の文書の配列は、原則として年代順とし、年欠文書は末尾に配列した。ただし、包紙入り、こより紐で結わえられた文書などについてはそのまとまりを尊重し、原則として最も適切と考えられる項目に一括掲載した。したがって、文書1点ごとのレベルで見ると、必ずしも当該項目にふさわしくない内容のものが含まれている場合がある。
- 本文記載はほぼ、(1)表題、(2)作成者または差出人、(3)宛名、(4)作成年月日、(5)形態・数量、(6)整理番号の順である。包紙入りなどの一括情報は、(5)形態・数量に続けて / (斜線)で区切った上で、これを明記した。また、紙質、文書の保存状態などの情報も同様に適宜註記した。
- 表題は原表題のあるものはそれを採り、ないものについては()を付して仮表題を与えた。また、表題のみでは内容が判別できないものについても、簡単な内容摘記を行い、同様に()を付した。
- 作成年月日は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年次については、()を付した。
- 史料の形態は、冊子型史料では、半(半紙縦折判)、美(美濃縦折判)、横長半(半紙横折判)、横長美(美濃横折判)、横半半折(半紙横折紙半折判)、横半列(半紙横折紙列帖装)などの略称によって原書の大概を示した。こうした表記の詳細については、『史料館所蔵史料目録』第50集の解題を参照されたい。書付型史料は、縦紙、縦折紙、縦切紙、縦継紙、横折紙、横切紙、横切継紙、小切紙などと表記した。また、明治以降の文書で罫紙が用いられているものについては、罫線の色および半面の行数を記し、版心に組織名等が記されている場合にはこれを註記した。
- 整理番号は、仮整理時に付与されたものを踏まえ、一部に関しては今回新たにこれを付与した。枝番号の付与基準は必ずしも物理的な関係を示すものとはなっていない。
- 本目録は、研究部太田尚宏がこれを担当し、学術情報課の高木謙一がこれを補佐した。また、文書の目録データの作成にあたっては、青木然、上川准、上條静香、江口真由、萱場真仁、関千賀子、武子裕美、古畑侑亮の各氏の協力を得た。

総目次

口 絵

凡 例

総目次

武蔵国多摩郡寺方村佐伯家文書目録

目録本文細目次 2

解 題 8

目録本文 23

武蔵国多摩郡八王子河野家文書目録

目録本文細目次 120

解 題 121

目録本文 129

武蔵国多摩郡寺方村佐伯家文書目録

武蔵国多摩郡寺方村佐伯家文書 本文細目次

1. 寺方村名主	23
1.1. 触書・達書	23
1.1.1. 御用留	23
1.1.2. 触書・達書	23
1.2. 請書・届書	23
1.3. 土地	24
1.3.1. 検地	24
1.3.2. 高反別	25
1.3.3. 地所	25
1.3.4. 山林	25
1.3.5. 入会	25
1.4. 年貢・諸役	27
1.4.1. 名寄帳	27
1.4.2. 検見	28
1.4.3. 減免	28
1.4.4. 定免	29
1.4.5. 年貢割付状	29
1.4.6. 夏成	32
1.4.7. 大豆納	33
1.4.8. 秋成	34
1.4.9. 田方庭帳	34
1.4.10. 取立勘定	34
1.4.11. 小物成・高掛物	42
1.4.12. 国役金	42
1.4.13. 石代納・払米	42
1.4.14. 皆済勘定	43
1.4.15. 年貢勘定目録・皆済目録	49
1.4.16. 地頭所受取手形	55
1.4.17. 未進年貢	55
1.4.18. 収納米永書上	55
1.5. 地頭所御用	56

1.5.1. 諸事控帳	56
1.5.2. 地頭所給金	57
1.5.3. 先納金・御用金	57
1.5.4. 村借	58
1.5.5. 役人休泊入用	58
1.5.6. 異国船警固・上洛御供	58
1.5.7. 来状	59
1.6. 伝馬・助郷	59
1.6.1. 助郷高	59
1.6.2. 人馬触当	59
1.6.3. 日光社参役	60
1.6.4. 川崎宿当分助郷	60
1.6.5. 諸書付	60
1.7. 井堰・用水	61
1.7.1. 岩堰	61
1.7.2. 御普請願い	61
1.7.3. 普請用材	61
1.7.4. 出人足書上	61
1.7.5. 石堰山不法出入	62
1.7.6. 用水普請	63
1.8. 御鷹方御用	64
1.9. 日野宿寄場組合	64
1.9.1. 村々議定	64
1.9.2. 組合議定	64
1.9.3. 願書・請書・届書	64
1.9.4. 布告伝達	65
1.10. 村方諸色勘定	65
1.10.1. 村入用	65
1.10.2. 村入用差引勘定	66
1.10.3. 小行力人足	70
1.10.4. 伝馬村入用	70
1.10.5. 伝馬村入用知行所割	72
1.10.6. 伝馬村入用差引勘定	75
1.10.7. 岩堰出人足・普請入用	78
1.10.8. 堰扶持	80

1.10.9. 岩堰村入用差引勘定	80
1.10.10. 寄場組合村入用	81
1.10.11. 下げ金	81
1.11. 村政	82
1.11.1. 村議定	82
1.11.2. 村明細書上	82
1.11.3. 五人組	83
1.11.4. 持高書上	83
1.11.5. 村役人	83
1.11.6. 高札	83
1.11.7. 村絵図	83
1.11.8. 諸願	84
1.11.9. 来訪人	84
1.11.10. 諸書付	84
1.12. 人別	84
1.12.1. 宗門改め・人別改め	84
1.12.2. 増減	85
1.12.3. 欠落・帳外し	85
1.13. 出入・変事	85
1.13.1. 村方出入	85
1.13.2. その他の出入	86
1.13.3. 甚五郎一件	87
1.14. 変災・飢饉	87
1.15. 寺社	88
1.15.1. 寿徳寺	88
1.15.2. 寿徳寺勸化	88
1.15.3. 寿徳寺年貢・小作	89
1.15.4. 東医庵	89
1.15.5. 東医庵年貢	89
1.15.6. 修堂金	90
1.15.7. 山神社	90
1.15.8. 祭礼	91
1.16. 包紙・断簡・白紙など	91
2. 寺方村三組惣代名主	93
2.1. 布告・令達	93

2.1.1. 御用留・触書写	93
2.1.2. 廻状	93
2.2. 請書・届書	94
2.3. 土地	95
2.3.1. 検地帳	95
2.3.2. 高反別	95
2.3.3. 山林	95
2.4. 年貢・諸役	96
2.4.1. 名寄帳	96
2.4.2. 反別書上	96
2.4.3. 検見	96
2.4.4. 減免	97
2.4.5. 年貢割付状	97
2.4.6. 取立勘定	98
2.4.7. 小物成	98
2.4.8. 国役金	98
2.4.9. 買納・石代納	99
2.4.10. 皆済勘定	99
2.4.11. 年貢請取状	99
2.4.12. 過納	99
2.4.13. 収納米永書上	99
2.5. 継立人足	100
2.5.1. 日野宿伝馬	100
2.5.2. 横継往還御用掛人足	100
2.6. 井堰・用水	100
2.7. 日野宿寄場組合	100
2.8. 村方諸色勘定	101
2.8.1. 村入用	101
2.8.2. 諸色差引勘定	101
2.9. 村政	101
2.9.1. 村明細書上	101
2.9.2. 持高書上	102
2.9.3. 村役人	102
2.9.4. 備荒	102
2.9.5. 旧記	102

2.10. 人別・戸籍	103
2.10.1. 戸籍作成	103
2.10.2. 人員取調	103
2.10.3. 人別送り	103
2.10.4. 養老扶持	104
2.10.5. 家出・帳外し・帰住	104
2.11. 訴訟	104
2.12. 社寺	105
2.12.1. 社寺取調	105
2.12.2. 寿徳寺	105
2.12.3. 山神社	105
2.12.4. 稲荷社・山王社	106
3. 明治期公職	107
3.1. 寺方村代議人	107
3.1.1. 布告・令達	107
3.1.2. 用務	107
3.1.3. 土地	107
3.1.4. 貢金	108
3.2. 連合戸長役場筆生	108
4. 佐伯家	109
4.1. 経営	109
4.1.1. 万控帳	109
4.1.2. 金銀出入帳	109
4.1.3. 金銭貸借	109
4.1.4. 土地	109
4.1.5. 地券	110
4.1.6. 山林	112
4.1.7. 小作	112
4.2. 家政	112
4.2.1. 由緒	112
4.2.2. 家族	112
4.2.3. 家産・家計	112
4.2.4. 租税	113
4.2.5. 日記	113
4.2.6. 普請	113

4.2.7. 慶弔	113
4.2.8. 賞状・証書	113
4.2.9. 教育会	117
4.2.10. 兵事	117
4.2.11. 変災	117
4.2.12. 信仰	117
4.2.13. 書籍	117
4.2.14. 諸書付	117
4.3. 寿徳寺旦那惣代	117
4.4. 山神社氏子総代	118
4.5. 白紙	118
5. 混入文書	118

武蔵国多摩郡寺方村佐伯家文書目録解題

文書群記号	32P
文書群名	武蔵国多摩郡寺方村佐伯家文書 <small>むさしのくに たまぐんてらかたむら さえきけもんじよ</small>
年 代	文禄3年(1594)～昭和12年(1937)(近世中期から明治10年代のものが大半である)
数 量	1539点(枝番号も含めた本目録上でのレコード数)

入手の経過

昭和32(1957)年度に原蔵者より文部省史料館(国文学研究資料館の前身)へ譲渡。

武蔵国多摩郡寺方村佐伯家文書の伝来と整理方針

武蔵国多摩郡寺方村佐伯家文書(以下、佐伯家文書)は、昭和32(1957)年度に原蔵者より文部省史料館へ譲渡されたものである。このとき史料館において、1～295番の史料番号を付けて封筒詰めが行われている。ただし、同種の内容の文書を一つの封筒にまとめて入れる場合などがあったため、点数は897点(726冊、170通、1鋪)として把握され、仮目録・カード目録に採録されて閲覧に供せられた。この際の史料館での編成方針は、おおむね主題別分類をとったものと考えられ、同種の文書には近接する番号が付与されている。

今回の編成では、旧史料館時代に付与された番号を生かしつつ、綴・巻き込み・2つ折りなどで一括されたものは、新たに枝番号を付ける方法をとった。

なお、同時期に旧史料館によって収集された武蔵国多摩郡和田村石坂家文書の183番(1点)・460番(120点)は、佐伯家文書が混入したものであったことが判明したため(『多摩市史 資料編二 近世社会経済』471頁)、今回の整理では、これらに296番・297番という番号を付して編入した。

また、既刊の石坂家文書目録(『史料目録』98集)の作成過程で整理した未整理の大木箱には、石坂家文書だけでなく、佐伯家文書と考えられる文書が多数混入していた。これらについても298番～566番の番号を新たに付与して、本目録に編入した。この際、紙縫・紐・包紙などで一括されていた文書については、適宜枝番号を付けた。

大木箱の中は、おおむね上層部に石坂家文書が置かれ、中層部では石坂家文書と佐伯家文書が混在、下層部にはおもに佐伯家文書が収納されていた。虫損・鼠食損で空いた穴の位置関係などから考えて、下段部の佐伯家文書には人為的な移動の痕跡が見られず、整理の手が付けられていないと考えられるので、この大木箱は、佐伯家文書が収納されていたものに、整理過程で石坂家文書が順次積み重ねられた可能性が高いと考えられる。

寺方村の概要と佐伯家

佐伯家は、歴代にわたって武蔵国多摩郡寺方村（現在の東京都多摩市東寺方一帯）の名主（あるいは組頭）を務めてきた家である。

天正18年（1590）末、旧後北条氏家臣で旗本に召し抱えられた山角牛太郎定吉が、寺方村を知行所とした。その後の寛永14年（1637）、新開地が幕領に編入される。正保期（1644～48）の『武蔵田園簿』によれば、当時の寺方村の石高は、192,622石（田方107,628石・畑方84,994石）で、内訳は、室喜三郎御代官所が53,820石、山角藤兵衛知行が138,802石となっている。文政期（1818～30）の『新編武蔵国風土記稿』には、「同（元禄）三年村内をさいて松平清三郎へ賜りしかど、これも何の比か采邑をかへられて、今は浅井楯之助・曾我七兵衛助弼二人の知行所となれり」とあるように、元禄3年（1690）頃に幕領分の一部が松平清三郎の知行所となった旨の記載が見られるが、松平清三郎は幕府代官であると考えられ、この部分は、旗本の采地が下賜されたということではなく、幕領分が代官松平清三郎の支配所になったことを示すものとみるべきであろう。浅井・曾我の両氏が寺方村に知行所を下賜されたのは、いずれも元禄期のことで、元禄7年に幕領分の一部が浅井七平元忠（ただし、石坂家文書№13では浅井七平元重とある）の知行所へ編入され（入間郡鯨井村220石が川越領へ編入されたため、多摩郡下田村・中和田村・寺方村へ知行替え）、さらに、元禄10年の地方直しで残る幕領分が旗本曾我祐忠の采地（多摩郡内で600石）に組み入れられている。

近世中期以降の寺方村（旧幕領分）は、曾我知行所が33,594石、浅井知行所が29,344石で、このほかに村内に所在する寿徳寺の朱印地7石が加わる形をとった。元治元年（1864）の「村高家数人別取調帳」（佐伯家文書№12）によれば、曾我知行所分の家数は8軒、人数は47人（男20人・女27人）、馬1疋で、浅井知行所分の家数は9軒、人数は45人（男23人・女22人）、馬1疋であった。

元禄期に同じ幕領分から分離したという経緯や、知行所の規模が小さかったことなどもあり、曾我知行所と浅井知行所は村政運営上の一体性が極めて強かった。名主は当初、両知行所を兼帯しており、寛政7年（1795）になって知行所ごとに名主を立てることになるが、年貢・諸役や村入用の取り立てなどでは、両者を一緒にして実務を行い、その後知行所ごとに割り合うといった方法もとられていた。

佐伯家では、歴代にわたって寺方村の名主に就任している。所領の変遷にともなう名主の所管範囲は、幕領（～元禄7年）、幕領・浅井知行所兼帯（元禄7～11年）、曾我・浅井知行所兼帯（元禄11～寛政7年）、曾我知行所単独（寛政7～明治2年）、寺方村三組（明治2～5年）という形となる。歴代当主の系譜については、関係資料に乏しく未詳であるが、元禄7年に名主として登場する善右衛門を初見とし、以後、善右衛門（名主就任：宝暦4年～）、善次（郎）（安永8年～）、善右衛門（寛政4年～）、善九郎（寛政10年～）、善九郎（安政2年～）、善四郎（元治元年～）、喜太郎といった名前が見られる。また、この間には、平右衛門（享保8年～）、平右衛門（嘉永元年～）と名乗る名主が存在するが、佐伯家との関係は詳らかではない。

『旧高旧領取調帳』によれば、明治初年の寺方村は神奈川県に所属し、所領の内訳は、山角鋏三郎知行所が141,496石、曾我七兵衛知行所が33,597石、浅井小右衛門知行所が29,346石であった（このほかに寿徳寺領7,000石がある）。明治2年（1869）7月、神奈川県は相給村を廃止する方針を打ち出し、山角・曾我・浅井の知行所をまとめて1名の名主を出すように命じた（佐伯家文書№26-13）。しかし

寺方村では、従来行われてきた村政運営に支障をきたすという理由で、それぞれを寺方村上組・中組・下組と称する旨を出願して認められ、佐伯家の善四郎が寺方村三組の惣代名主に就任することになった（組頭は旧山角知行所の名主が就任）。

その後の行政区画や組織の変遷にともない、名主・組頭などの呼称が廃されて戸長・副戸長を置くことが定められ、明治6年5月には、神奈川県独自の区画改正が行われて（区番組制）、寺方村は第8区9番組に編成された。同年12月には、それぞれの番組に戸長・副戸長、村に村用掛を置く旨が通達されている。さらに翌7年6月14日、神奈川県は区番組制を廃して大区小区制を採用し、寺方村は第8大区8小区の所属となった。これにともない、佐伯家の当主である善四郎は、寺方村の代議人に選出されたとみられ、佐伯家文書の中には、善四郎が代議人の立場で、病氣療養中の村用掛の代理を務めた際に収受した文書が残されている。

明治11年7月22日の三新法制定に伴い、同年11月18日には多摩郡が西・南・北の3つに分割され、寺方村は南多摩郡に属することになった。なお、南多摩郡には2つの「寺方村」が存在したため、現多摩市の寺方村は「東寺方村」と変更された。善四郎はその後も引き続き村の公職を務めており、明治12～13年には東寺方村の村会議員として「佐伯善四郎」の名前が見られる（『多摩市史 通史編2 近現代』132頁）。また、明治14年7月、関戸・東寺方・乞田・貝取の4ヶ村連合戸長役場の筆生として「佐伯善四郎」の名前が登場している（佐伯家文書No.152）。

文書群の階層構造と内容

本目録では、文書群の階層構造をもとに編成するように努め、佐伯家の内部組織を明らかにしたうえで、その組織を大項目（サブファンド）とし、そこにおける機能を重視して中項目（シリーズ）・小項目を設定した。ただし、村方文書などでは、村役人の家が行政組織の役所として利用されたこともあって、公的組織の文書がその家の文書として取り込まれ、私的な文書と未分離で混在している例が圧倒的に多い。そこで本目録では、歴代の佐伯家の当主が務めていた役職などをもとに組織を推定して大項目を設定し、さらに佐伯家そのものに伝来した経営・家政文書を加える形で編成を行った。その結果、大項目は、1. 寺方村名主、2. 寺方村三組惣代名主、3. 明治期公職、という公的組織に関わる3つの項目と、4. 石坂家という家に関わる私的な文書、さらに、大木箱の中に混入していた佐伯家文書以外の5. 混入文書の5項目とした（以下、 は大項目、 は中項目、「 」は小項目を示す）。

1. 寺方村名主（1155レコード、収録年次は年代判明分で文禄3年～明治2年、以下同様）

この大項目には、佐伯家の歴代当主が寺方村の名主の職に就任していた際に作成・収受した公的文書を収録した。佐伯家の名主としての所管範囲は、年次を追って①幕領、②幕領・浅井知行所兼帯、③曾我・浅井知行所兼帯、④曾我知行所単独という4つの種類に区分できるが、実際の村政運営では、それぞれの所領を区別せずに行っている部分が多いため、①から④を一括して1つの大項目を設定している。年代の下限は、寺方村の相給形態が廃止される明治2年（1869）7月である。中項目は、村

政事務の性格や機能にしたがって、1. 触書・達書、2. 請書・届書、3. 土地、4. 年貢・諸役、5. 地頭所御用、6. 伝馬・助郷、7. 井堰・用水、8. 御鷹方御用、9. 日野宿寄場組合、10. 村方諸色勘定、11. 村政、12. 人別、13. 出入・変事、14. 変災・飢饉、15. 寺社、16. 包紙・断簡・白紙など、の16項目に編成した。

1. 触書・達書 (9レコード、文禄3年～明治2年)

この項目には、幕府および寺方村領主の旗本浅井氏・曾我氏から発せられた触書・達書を収録した。

旗本浅井氏は、初代元近が三河国額田郡大樹寺村に住して徳川家康に仕えて以来、歴代にわたり徳川家に仕えた家柄で、元貞・元吉(武蔵国・近江国で1563石を知行)・元久(元吉の次男、546石を分知)を経て、5代元忠(通称は七郎左衛門・七平)が当主であった元禄7年(1694)に、知行替えにより入間郡鯉江郷のうち220石を同国多摩郡中和田村・寺方村(いずれも多摩市)および下田村(日野市)に移された。元忠の後の浅井氏の系譜は、元重(七郎左衛門・七平)―元武(七蔵・小右衛門、享保5年5月29日相続)―元知(元武の嫡孫、喜太郎・小右衛門、寛政3年3月相続)―元豹(楯之助、文化元年12月25日相続)―元定(吉太郎・小右衛門、文政2年閏4月相続)―元褒(永之丞、天保10年12月27日相続)―某(武次郎・小右衛門)と続き、歴代にわたり御書院番・御小性組など番方の諸職を務めた。

曾我氏は、相模国曾我郷に住して鎌倉幕府・室町幕府に仕えた旧家で、慶長5年(1600)に曾我又左衛門尚祐が駿府で徳川家康に拝謁した折りに、室町將軍家の書札法式を江戸において伝授するように下命され、翌年より徳川秀忠に近侍した。その後、尚祐の三男包助が別家を立てて旗本となり、その五男七兵衛祐忠(織部・七兵衛・伊予守)も寛文3年(1663)に御番入りして独立した旗本となる。元禄10年の地方直しで武蔵国多摩郡に采地600石を下賜され、同13年には同郡・埼玉郡に200石を加増されて、合計800石を知行した。祐忠以降の曾我氏の系譜は、助賢(七助・織部・七兵衛)―祐弘(七助・織部・七兵衛)―助章(幸十郎・織部)―祐諸(小市郎・左膳)―祐弼(鉄次郎・七兵衛)―助之(喜蔵)と続く。

「1. 御用留」(4レコード、天保12年～明治2年)および「2. 触書・達書」(5レコード、寛政4年)では、幕府・地頭役所から発せられた令達を書き留めた御用留および個別の触書・達書を収録した。

2. 請書・届書 (15レコード、元禄16年～明治2年)

この項目には、幕府・旗本領主の令達に対して提出した請書や、村方から上申された届書などを収録した。

3. 土地 (42レコード、文禄3年～明治2年)

「1. 検地」(3レコード、文禄3年)には、文禄3年(1594)の「武州多西郡関戸郷」の検地に関わる文書、「2. 高反別」(9レコード、明治2年)には、「高反別田畑位訳其外調書控」をはじめとする石高・反別に関わる文書、「3. 地所」(2レコード、近世)には、百姓の所持地や地境に関わる文書、「4. 山林」(1レコード、元治2年)には、百姓の持山に関する文書、「5. 入会」(27レコード、元禄2年～享保5年)には、芝間・秣場などの入会出入に関する訴状・返答書・裁許証文・裁許絵図などを収めた。

4. 年貢・諸役 (499レコード、寛永14年～明治2年)

この項目では、年貢・諸役の収取・賦課に関わって作成された文書を、おおむね1年間の事務の流れに沿って編成した。

「1.名寄帳」(10レコード、寛永14年～天保7年)は、検地帳の記載内容を名請人ごとに整理したもので、年貢賦課台帳として機能した。

「2.検見」(11レコード、享保5年～天保7年)には、田方の内見帳・合毛帳など、検見にともなって作成された帳簿類を収めた。

「3.減免」(12レコード、寛延元年～慶応2年)には、不作・旱損・水損などにより年貢減免を願ひ出たときの願書や減免を認められた際の請書などを収録した。

「4.定免」(5レコード、宝暦2年～天明元年)は、曾我知行所において村方から提出された定免願が許可されたときの証文などを収めた。

「5.年貢割付状」(50レコード、貞享3年～明治2年)は、各年に上納すべき年貢額に関する領主からの達書で、形式的には夏成年貢からの総額が記載されるが、実際には田方の収穫状況を把握する必要があったため、毎年秋から冬に発給されるのが通例であった。佐伯家のもとには、同家が務めた名主の所管範囲にしたがって幕領分・浅井知行所分・曾我知行所分の年貢割付状が残されているが、本目録では、差出人となっている幕府代官や旗本家臣の名前、裏書に記された領主名などをとくに、どの所領のものであるかを可能な限り推定して記述しておいた。

「6.夏成」(9レコード、元治元年～明治2年)に収録したのは、畑方を中心とする夏成年貢の取り立ての際に作成された文書である。

同様に、「7.大豆納」(15レコード、享保8年～慶応2年)は、毎年8～9月頃に行われた大豆年貢の取り立てにともなって作成された帳簿である。なお、享保8年(1723)の帳簿には「両殿様大豆御年貢請取帳」とあり、佐伯家が浅井・曾我両知行所の兼帯名主を務めていた時期には、両知行所分の大豆年貢を区別せずに取り立て、その後各知行所への配分を行っていたことがうかがわれる。

「8.秋成」(6レコード、文久3年～明治2年)は、毎年9月に実施された秋成年貢の取り立てに用いられた帳簿である。

「9.田方庭帳」(8レコード、文政元年～嘉永7年)は、毎年10月下旬から11月にかけて行われた田方年貢の取り立ての際に記帳されたもので、百姓ごとに差し出した物成高が記されている。

「10.取立勘定」(130レコード、寛政9年～明治2年)には、「田方」「畑方」に関わる年貢取立帳を収めた。この帳簿は、「6.夏成」「8.秋成」「9.田方庭帳」などの年貢取り立ての現場で用いられた帳簿をもとに、改めて各百姓の年貢納入高をまとめたもので、後日の証拠とするため、原則として末尾に小前百姓と村役人の連印が付されている。

「11.小物成・高掛物」(6レコード、享保8年～慶応2年)には、「小物成勘定帳」などの小物成や高掛物に関する文書を収めた。寺方村が上納した小物成には、大豆・荳・草わらなどがあり、大豆・荳については、領主から代銭が支払われていた。

「12.国役金」(5レコード、寛政10年～文化2年)には、川々国役金などの上納に関する文書を収録した。寺方村内にある寿徳寺は7石の朱印高を有していたため、寺領主として幕府への国役上納の

義務を負ったが、この分の徴収も村方の名主が代行しており、これに関わる記述のある資料も残されていない。

「13.石代納・払米」(3レコード、天明4年)には、年貢米の売り渡しや近隣の米相場に関わる文書を収録した。

「14.皆済勘定」(105レコード、寛文7年～慶応3年)には、毎年11月～12月に作成された田畑年貢勘定帳を収めた。この帳簿も、「10.取立勘定」に納めた年貢取立帳と同様に、原則として末尾に小前百姓と村役人が連印する形式をとり、証拠能力を持たせている。

「15.年貢勘定目録・皆済目録」(97レコード、元禄5年～明治2年)には、年貢勘定目録および年貢皆済目録を収録した。年貢勘定目録は、その年に上納した年貢・諸役の詳細について、完納した村方が作成して領主へ提出するもので、領主側はこの内容を確認したうえで、改めて年貢皆済目録を発給するのが一般的であるが、旗本領などでは、年貢勘定目録に領主側が奥書をして村方へ返却し、年貢皆済目録に代える事例がしばしば見られた。寺方村でも、寛政8年(1796)頃からこのような形式がとられており、村方から差し出す時点で表題も「皆済目録」という名称が使われている。年貢割付状と同様に、佐伯家のもとには、同家が務めた名主の所管範囲にしたがって幕領分・浅井知行所分・曾我知行所分の年貢割付状が残されているが、本目録では、差出人の幕府代官や旗本家臣の名前、裏書に記された領主名・家臣名などをもとに、どの所領のものであるかを可能な限り推定して記述した。

「16.地頭所受取手形」(10レコード、享保12年～嘉永6年)には、村方から年貢や国役金などを上納するごとに地頭所より発給された受取手形を収めた。

「17.未進年貢」(4レコード、明治2年)には、明治元年分の未進年貢を翌年に上納した際の「差出書」および年貢引負に関わる請書雛形を含む綴を収録した。

「18.収納米永書上」(13レコード、寛政7年～明治2年)には、「御年貢取附帳」や「収納其外仕訳書上帳」など、年貢・諸役に関わる米高・金高が記載された帳簿・書上を収録した。

5.地頭所御用(46レコード、明和4年～明治元年)

旗本領の村々では、毎年上納される年貢・諸役以外にも、領主の生活を支える賄金や臨時の御用金など、さまざまな上納金を負担した。この項目では、こうした地頭所関係の上納金や人足役に関する事務文書を収録した。

「1.諸事控帳」(10レコード、嘉永2年～慶応3年)は、地頭所向きの御用の数々を日を追って書き留めた帳簿である。「2.地頭所給金」(7レコード、嘉永6年～文久4年)には、「御地頭所給金割合帳」や「御地頭所給金割取立覚帳」など、旗本領主の家臣や奉公人らの給与として賦課された上納金の割り掛け・取り立てに関する帳簿を収めた。「3.先納金・御用金」(16レコード、明和9年～明治元年)には、先納金・御用金などの上納に関わる文書を収めた。なお、先納金は年貢の先行徴収であるため、事務系統としては年貢・諸役関係に編入するのが妥当であろうが、他の御用金などと合わせて集められる場合もあり、村方では地頭所関係の上納金の一環として認識されていたため、本項目に収録することにした。「4.村借」(2レコード、享和3年)には、地頭所への上納金を工面するため、寺方村が独自に借入金を行った際の文書を収めた。「5.役人休泊入用」(2レコード、明和4年～明和8年)には、

旗本領主の家老が来村した際の費用を書き留めた帳簿を収録した。「6.異国船警固・上洛御供」(7レコード、嘉永7年～慶応元年)には、領主が異国船来航時の警固や將軍上洛の御供などの際に村方から徴発した人足役およびその給金に関わる文書を編入した。「7.来状」(2レコード、近世)は、領主ならびにその家臣から名主へ宛てて差し出された書簡である。

6. 伝馬・助郷 (28レコード、寛政8年～元治元年)

この項目には、寺方村が勤めた日野宿への助郷役および臨時に勤めた川崎宿への当分助郷に関する文書を収録した。寺方村は、甲州道中日野宿の定助郷37ヶ村(分村した村を1ヶ村と数えると40ヶ村)の中に組み入れられていた。なお、寺方村(曾我・浅井知行所)では、伝馬入用を「伝馬村入用」と呼んで、一般の村入用や石堰普請入用・寄場組合村入用、さらには畑方年貢などともあわせて出金・入金を相殺する方法をとっており、これに関しては、10.村方諸色勘定の項目で取り扱うことにした。

「1.助郷高」(2レコード、慶応年間)には、日野宿定助郷高の相違に関する伺書と、助郷高・免除高を書き上げた書付を収録した。「2.人馬触当」(20レコード、寛政8年～安政3年)には、「日野御伝馬触覚帳」や「御伝馬出人足触当帳」など、寺方村から差し出した伝馬人足の触れ当てに関する帳簿を収めた。なお、これらの帳簿の中には、「小行力人足廻り覚帳」と合綴して残されているものがある。小行力人足とは、廻状や荷物の運搬など村方の雑用を行う人足で、寺方村では小前百姓が順番でこの人足を割り当てられて担当したと考えられる。「3.日光社参役」(4レコード、安永5年～天保2年)は、安永・天保の將軍日光社参に関わる文書で、安永の社参にともなう人馬負担の免除願いと天保の社参の事前準備のために差し出した人足に関する割合帳がある。「4.川崎宿当分助郷」(1レコード、元治元年)に収めたのは、14代將軍徳川家茂の御進発にともなう当分助郷の前段階として、曾我・浅井亮知行所の石高・家数を取り調べて川崎宿の間屋へ提出した文書である。「5.諸書付」(1レコード、天保13年)には、日野宿の年寄から幕府代官江川太郎左衛門の属僚へ宛てた一札を収めた。

7. 井堰・用水 (49レコード、元禄4年～明治2年)

寺方村には、大栗川をせき止めて分水へと導水する岩堰が設置されており、村では、この岩堰の修復・普請に関する人足役を負担していた。この項目では、岩堰および用水路の維持・保全に関わる文書を収めた。なお、岩堰普請に関わる諸入用(岩堰村入用)や旗本領主から下される堰扶持については、

6. 伝馬・助郷の場合と同様に、10.村方諸色勘定の項目で取り扱う。

「1.岩堰」(6レコード、寛政5年～天保11年)には、岩堰の絵図や岩堰からの分水を利用する田方の反別などに関する文書を収録した。「2.御普請願い」(2レコード、天保13～明治2年)は、決壊した岩堰および大破した用水路について、幕府の費用負担で修復を行ってほしいと願い出た文書を収めた。「3.普請用材」(3レコード、元禄4年～元禄7年)は、井堰や用水路の普請に用いる松木の調達に関わる文書である。「4.出人足書上」(20レコード、寛政7年～慶応2年)には、普請に徴発された出人足の書上帳を収めた。「5.石堰山不法出入」(15レコード、天保13年)は、寺方村と隣村の上ヶ和田村が普請用材の調達源である岩堰山での伐木をめぐる争った訴訟で、評定所あての返答書や両村が内済したときの済口証文、訴訟入用の割合帳、評定所から下された文書の番人足を記した「岩堰出入 御尊判番人足覚帳」などが残されている。「6.用水普請」(3レコード、明治2年)には、神奈

川島の出役に対して提出した「用水路御普請箇所附帳」を収めた。これらより、寺方村では、浅川から取り入れる用水路の5ヶ村7給組合と、大栗川から取り入れる用水路の2ヶ村4給組合に所属していたことが知られる。

8. 御鷹方御用 (5レコード、享保5年～享保15年)

寺方村周辺の一帯は、享保期の鷹場編成において將軍家の捉飼場に設定されていた。この項目には、鷹を訓練する鷹匠の来村にかかる入用負担、御用廻状を輸送する人足、御猪狩御用の勤方などに関する文書を収録した。

9. 日野宿寄場組合 (10レコード、文政4年～明治2年)

文政10年(1827)、関東諸国における浪人・無宿・悪党・博徒らの徘徊と、それによる治安の悪化・社会秩序の混乱に対応するため、関東取締出役の下部組織として改革組合村が設置された。このうち寺方村が属した日野宿組合は44ヶ村から構成され、寄場役人に日野宿役人名主の隼人・同彦右衛門、大惣代には連光寺村名主の忠右衛門が就任している。この項目では、組合村結成の前段階として寺方村周辺の村々が取り交わした治安維持に関する村々議定と日野宿組合に関わる文書を収録した。

「1. 村々議定」(1レコード、文政4年)は、浪人体の者や諸勤化の改めに関する20か村による議定証文である。「2. 組合議定」(2レコード、文政10年)は、改革組合村設置にともなうつくられた「御取締御改革組合村々為取替議定書」とその雛形である。「3. 願書・請書・届書」(5レコード、嘉永6年～明治2年)には、関東取締出役や日野宿寄場役人へ宛てた願書や請書・届書を収めた。「4. 布告伝達」(2レコード、慶応4年～明治2年)には、神奈川県から組合村々に宛てた布告と日野宿役人から組合村々に伝達された廻状を収録した。明治維新直後、神奈川県から出された布告・令達などは、組合村組織を利用して村々へ廻達された。

10. 村方諸色勘定 (309レコード、元禄7年～明治2年)

この項目では、一般の「村入用」や「伝馬村入用」「岩堰村入用」など、村の共同経費の取り立てや差引勘定に関わる文書を収録した。

寺方村の入用勘定の方法は、「村入用」「伝馬村入用」「岩堰村入用」などをそれぞれ書き立て、個々の小前百姓の負担分を算出した後、人足役を勤めた者へ下される賃金を相殺し、さらに、これらに畑方年貢・国役金の一部や領主から下げ渡される金銭を加えて、負担した経費全体を差引勘定するというものであった。そのため、例えば「伝馬村入用」という表題のある帳簿でも、一般の「村入用」が記入されていたり、岩堰出人足の記載があるなど、それぞれを厳密に区別するのが困難な内容となっている。

また、寺方村の曾我・浅井知行所は、もともと一つの幕領で、旗本知行所になって以降も兼帯名主が置かれるなど、両者の一体性が強かった。そのため、寛政7年にそれぞれが名主を立てるようになってからも、実際の人足役負担などには共同で対処し、その後、掛かった入用を知行所ごとに割り分け、知行所ごとの小前百姓の負担額を決定するといった方法がとられている。

「1. 村入用」(25レコード、元禄7年～明治2年)には、村役人が使う筆墨紙代や寺社の勤化入用など、一般の村入用を書き出した「村入用覚帳」などを収めた。これを小前百姓ごとに割り掛け、負担額を

相殺したときの「村入用差引勘定帳」や「村方諸入用受取覚」などを「2. 村入用差引勘定」(71レコード、延享2年～万延元年)に収録している。

「3. 小行力人足」(1レコード、文化15年)には、村方の雑用を行う人足を小前百姓が順番で担当したときの記録である「小行力人足廻り帳」を収録した。ここでは1点のみを掲載したが、この帳簿は、「御伝馬出人足触当帳」などと合綴されている場合が多く、6. 伝馬・助郷の「2. 人馬触当」の項目にもこれらが散見されるので、参照していただきたい。

「4. 伝馬村入用」(26レコード、文化15年～慶応4年)には、曾我・浅井知行所から差し出した伝馬人足を書き込んだ「御伝馬出人足村入用帳」などを収録した。これらの表紙には「寺方村名主両組」「両給」などと記されていることがあり、この種類の帳簿が両知行所の負担分の書上であることがわかる。この「伝馬村入用」を知行所ごとに割り分けたのが、「5. 伝馬村入用知行所割」(52レコード、安永4年～明治元年)に編入した帳簿である。表題では単に「日野宿御伝馬村入用勘定帳」などと記されているため、小前百姓の差引勘定帳簿と区別しにくいのが、末尾の部分が両知行所の名主の連印となっているので、見分けることが可能である。「6. 伝馬村入用差引勘定」(64レコード、寛政8年～明治2年)は、「伝馬村入用」を各知行所で小前百姓に割り掛け、出人足の賃金を相殺して、百姓ごとの負担額を示した帳簿である。

「7. 岩堰出人足・普請入用」(34レコード、寛政9年～明治2年)には、「岩堰出人足反掛り勘定帳」などの普請出人足の書き上げや入用の反掛り勘定に関わる帳簿などを収めた。岩堰普請に関する入用は、各百姓の所持する田方の反別に応じて割り掛けられており、寺方村では、これを「反掛り」と称していた。「8. 堰扶持」(5レコード、宝永4年～享和元年)には、領主から村方へ下される岩堰の管理費用である堰扶持について、出人足を勤めた百姓へ配分するときの勘定帳を収録した。「9. 岩堰村入用差引勘定」(8レコード、弘化3年～安政4年)は、反掛りの負担額と堰扶持の下げ渡し額とを相殺して、各百姓の上納額を決定・徴収したときに作成された帳簿である。

「10. 寄場組合村入用」(2レコード、近世)には、改革組合村に関わる入用について記された文書を収めたが、組合村経費については「1. 村入用」にも数多くの記述がある。あわせて参照していただきたい。

「11. 下げ金」(21レコード、享保8年～寛政8年)には、領主から支払われた堰扶持米・大豆代・小豆代などに関わる文書を収めた。これらの下げ渡し金は「村入用」や「岩堰村入用」を差引勘定する際に百姓の利得分として負担額と相殺された。

11. 村政 (23レコード、元禄11年～明治2年)

この項目には、村政運営の基本的な事務に関わる文書について「1. 村議定」(2レコード、元禄11年)、「2. 村明細書上」(4レコード、享保10年)、「3. 五人組」(2レコード、宝暦13年～明治2年)、「4. 持高書上」(7レコード、元禄11年～嘉永元年)、「5. 村役人」(1レコード、安永8年)、「6. 高札」(1レコード、明治2年)、「7. 村絵図」(1レコード、近世)、「8. 諸願」(2レコード、近世)、「9. 来訪人」(1レコード、嘉永7年)、「10. 諸書付」(2レコード、近世)に分けて編成した。このうち「8. 諸願」には、年次未詳の村方百姓の詫び証文および相続に関する文書、「9. 来訪人」には、江戸四谷南寺町の本姓

寺が発給した牛込赤城の吉五郎という者に対する往来手形・寺手形、「10. 諸書付」には、曾我知行所5ヶ村高の覚・当村百姓持高の覚・名主江戸遣いの割合など雑多な内容が書き込まれた控帳と近隣12か村の名主の名前書上を収めた。

12. 人別 (15レコード、元禄10年～明治2年)

この項目には、村の人別管理に関わる事務文書を収録した。

「1. 宗門改め・人別改め」(8レコード、元禄10年～明治2年)には、「宗門人別改帳」および「人別改帳」を掲載した。なお、宝永5年「子ノ年人別改帳」(No.143)は、宗門関係の記載はなく、人別の改めの内容となっている。「2. 増減」(2レコード、慶応2年～明治2年)には、慶応2年(1866)に村内の百姓栄太郎の娘おとを川越郡鯨井村へ養女に遣わす際の人別送り状、および明治2年(1869)の浅井上知分の「人別増減書上帳」を編入した。「3. 欠落・帳外し」(5レコード、寛政元年～万延元年)は、身持ちの悪い者の帳外し願いや欠落者の届書・赦免願いなどである。

13. 出入・変事 (29レコード、安永8年～嘉永2年)

この項目には、村で起こった争論や変事に関する文書を収録した。

「1. 村方出入」(7レコード、安永6年～天保15年)には、村政運営をめぐって起こった村方出入に関する文書を収めた。寺方村での村方出入については、安永6年(1777)の名主・組頭不法出入、寛政5年(1793)の年貢皆済目録連印拒否出入、同7年の両給仕来り破りに関する出入、天保15年(1844)の要蔵不正出入などが確認できる。

「2. その他の出入」(11レコード、延享2年～寛政9年)には、延享2年(1745)の組頭伝兵衛の口論に関する出入、寛政6年の百姓忠次・只七に対するつきあい差し止め出入、寛政9年の百姓孫兵衛相続出入、文化8年(1811)の上田村五左衛門の跡式相続出入などに関する文書を編入した。

「3. 甚五郎一件」(11レコード、弘化2年～嘉永2年)は、寿徳寺の元奉公人で独立して一家を構えた甚五郎という人物が、弘化2年(1845)に妻たつを殺害して逃亡するという事件に関する文書で、吟味書類や村預けになった甚五郎の家財の書上、事件にかかる入用帳などが残されている。

14. 変災・飢饉 (2レコード、宝永5年～天保5年)

この項目には、宝永4年(1707)の富士山噴火の被害に対して、その翌年に幕府が下賜した御救金に関する「砂御すくい金覚帳」と、天保の飢饉の影響が色濃い天保5年(1834)に村方から領主の浅井氏へ提出された「乞飯死失入用帳」を収録した。

15. 寺社 (49レコード、慶安元年～元治元年)

この項目には、村方にある寺社との関係を示す文書を収録した。

「1. 寿徳寺」(9レコード、慶安元年～明治2年)には、村内に所在する吉祥山護法院寿徳寺の朱印状写や本末関係を示す文書などを収めた。『新編武蔵国風土記稿』によれば、寿徳寺は、明德元年(1390)に真言宗寺院として創建され、その後廃寺状態となったものの、佐伯一助道永が再建して日舜宗栄を開山として曹洞宗寺院に改めたといい、慶安元年(1648)には幕府より寺領7石の御朱印状を拝領し、境内地も寺領として認められていた。「2. 寿徳寺勸化」(7レコード、文政4年～天保11年)には、寿徳寺が行った勸化に関する取立帳などを編入した。「3. 寿徳寺年貢・小作」(5レコード、文政5年～

明治2年)には、寿徳寺領の年貢勘定帳や同寺の小作米に関する取立帳などを収めた。なお、これらの帳簿には、「寿徳寺世話人」「村方世話人」などと記されており、名主が世話人という名目で寿徳寺領の年貢勘定や小作管理などを肩代わっていたことが知られる。「4. 東医庵」(5レコード、享保11年～元治元年)には、寿徳寺住持の兼帯管理となる東医庵(資料には「東伊庵」と書かれている場合も多い)に関する文書を収めた。東医庵は、かつては独立した一寺で「一揆百姓」と呼ばれる旦那・小作人あるいは門前百姓などの集団があったと推測されている。享保13年(1728)の口上書(No.237-1)では、村の平右衛門が持つ田畑の中に元来の東医庵の所持地があったのではないかと、平右衛門も一揆百姓ではないかと、といった主張が惣百姓から地頭所へ伝えられ、平右衛門がこれを否定している。「5. 東医庵年貢」(13レコード、寛保2年～明和5年)に収めた文書は、名主から東医庵へ提出された年貢勘定帳で、東医庵では内容を確認して名主へ返却したと考えられる。東医庵が納める年貢は通常の小前百姓と同じ方法で取り集められたが、東医庵に限って小割勘定帳が作られ捺印・返却が行われていたことは、理由は不明ながら東医庵が特別な存在であったことをうかがわせる。「6. 修堂金」(1レコード、天保8年)には、関戸村の篤次郎が修堂金15両を寺方村組頭の善九郎から借用したときの証文を収めた。「7. 山神社」(8レコード、文化5年～天保9年)には、村の鎮守で寿徳寺境内にある山神社の修復・普請に関わる入用帳などを編入した。「8. 祭礼」(1レコード、寛政7年)には、祭礼執行に関する願書や奉納書上を収めた。

16. 包紙・断簡・白紙など (25レコード、元禄9年)

この項目には、近世の村方関係ものと推定される断簡や、包紙・白紙・紙縫・付箋などを収めた。

2. 寺方村三組惣代名主 (192レコード、明治2年～明治6年)

この大項目には、明治2年(1869)7月に神奈川県の新設村廃止方針により、山角・曾我・浅井の知行所が合併して新たな行政組織としての寺方村となり(実際には上記の知行所が上組・中組・下組と改称)、佐伯家の善四郎が惣代名主を務めていた時期の文書を収録した。中項目は、当時の村政事務のあり方にしたがって、1. 布告・令達、2. 請書・届書、3. 土地、4. 年貢・諸役、5. 継立人足、6. 井堰・用水、7. 日野宿寄場組合、8. 村方諸色勘定、9. 村政、10. 人別・戸籍、11. 訴訟、12. 社寺、の12項目に編成した。

1. 布告・令達 (16レコード、明治2年～明治4年)

この項目には、明治政府や神奈川県から発せられた規則や触書などを収録した。

「1. 御用留・触書写」(12レコード、明治2年～明治4年)には、御用留や触書を書き写した資料を収めた。「2. 廻状」(4レコード、明治2年～明治3年)には、神奈川県から寄場組合を介して順達された廻状を編入した。

2. 請書・届書 (13レコード、明治2年～明治4年)

この項目には、神奈川県からの令達に対する村方からの請書や、村から提出された届書などを収めた。

3. 土地 (11レコード、明治2年～明治5年)

この項目には、土地の管理に関する文書を収録した。

「1. 検地帳」(1レコード、明治2年)には、明治2年(1869)に神奈川県の出役へ提出した寛永14年(1637)の検地帳抜粋を編入した。「2. 高反別」(8レコード、明治2年～明治3年)には、神奈川県裁判所へ提出した「高反別田畑位訳其外調書」や「田畑過不足取調帳」などを収めた。「3. 山林」(2レコード、明治2年)は、村持山の引き分け帳や堰山・芝地の帰属願いである。

4. 年貢・諸役 (57レコード、明治2年～明治6年)

この項目には、年貢・諸役の収取・賦課に関わって作成された文書を、おおむね1年間の事務の流れに沿って、「1. 名寄帳」(5レコード、明治2年～明治3年)、「2. 反別書上」(6レコード、明治2年～明治6年)、「3. 検見」(15レコード、明治2年～明治4年)、「4. 減免」(1レコード、明治3年)、「5. 年貢割付状」(2レコード、明治2年～明治3年)、「6. 取立勘定」(12レコード、明治2年～明治4年)、「7. 小物成」(1レコード、明治2年)、「8. 国役金」(2レコード、明治3年～明治4年)、「9. 買納・石代納」(4レコード、明治3年～明治4年)、「10. 皆済勘定」(3レコード、明治2年～明治3年)、「11. 年貢請取状」(1レコード、明治2年)、「12. 過納」(2レコード、明治3年)、「13. 収納米永書上」(3レコード、明治2年～明治3年)の順に編成した。このうち「12. 過納」は、明治2年分の寺方村上組の年貢を多く取り過ぎてしまったため、神奈川県より返納を受け、小前百姓へ下げ渡したときの文書である。

5. 継立人足 (10レコード、明治2年～明治4年)

この項目には、日野宿への伝馬人足および横継往還御用掛人足に関する文書を収録した。

「1. 日野宿伝馬」(3レコード、明治3年～明治4年)には、日野宿への伝馬人足に関する書抜帳・入用帳を、「2. 横継往還御用掛人足」(7レコード、明治3年～明治4年)には、神奈川県からの通達や荷物などを継ぎ立てる横継往還御用掛人足に関する書き出し帳などを収めた。

6. 井堰・用水 (3レコード、明治3年～明治4年)

この項目には、岩堰に関わる反別帳・普請出人足帳・反掛り勘定帳を収録した。

7. 日野宿寄場組合 (1レコード、明治3年)

この項目には、無宿増五郎という人物の身元取り調べに対する取締出役への上申書を収録した。

8. 村方諸色勘定 (13レコード、明治2年～明治7年)

この項目には、一般の「村入用」や「伝馬村入用」「岩堰村入用」などの書き出し・割り掛けに関する文書を収録した。

「1. 村入用」(7レコード、明治3年～明治4年)には、「村入用」「伝馬村入用」「岩堰村入用」などの書上帳を収めた。「2. 諸色差引勘定」(6レコード、明治3年～明治7年)には、これらに石代残金・田方年貢・畑方年貢の一部を加えた百姓ごとの負担額の差引勘定に関する文書を編入した。

9. 村政 (15レコード、明治2年～明治4年)

この項目には、村政に関わる事務文書を、「1. 村明細書上」(6レコード、明治3年)、「2. 持高書上」(1レコード、明治2年)、「3. 村役人」(3レコード、明治2年～明治4年)、「4. 備荒」(4レコード、明治4年)、「5. 旧記」(1レコード、明治4年)の5つに分けて編入した。このうち「3. 村役人」には、明治2年(1869)7月に神奈川県の出役へ提出した寺方村三組への組分け願いや明治4年2月の組頭退役願いなどを収

めた。「4. 備荒」は、凶賢用意貯金の積み立てに関する文書、「5. 旧記」は、「御触書古器旧物類写」である。

10. 人別・戸籍 (25 レコード、明治 2 年～明治 4 年)

この項目には、人別管理や戸籍作成に関わる文書を、「1. 戸籍作成」(4 レコード、明治 3 年～明治 4 年)、「2. 人員取調」(4 レコード、明治 3 年～明治 4 年)、「3. 人別送り」(9 レコード、明治 2 年～明治 4 年)、「4. 養老扶持」(5 レコード、明治 3 年～明治 4 年)、「5. 家出・帳外し・帰住」(3 レコード、明治 3 年～明治 4 年) の 5 つに分けて編入した。このうち「4. 養老扶持」は、神奈川県より支給された佐伯長松(元曾我知行所の組頭)の母むめに対する養老扶持方に関する事務文書である。

11. 訴訟 (4 レコード、明治 3 年)

この項目には、明治 3 年(1870)に起こった売掛金滞出入に関する文書などを収録した。

12. 社寺 (24 レコード、明治 3 年～明治 6 年)

この項目には、社寺に関する事務文書を、「1. 社寺取調」(11 レコード、明治 3 年～明治 6 年)、「2. 寿徳寺」(1 レコード、明治)、 「3. 山神社」(11 レコード、明治 3 年)、「4. 稲荷社・山王社」(1 レコード、明治 3 年) の 4 つに分けて編入した。このうち「2. 山神社」には、明治 3 年(1870)の山神太鼓購入に関わる勸化や借入金についての文書を取めた。「4. 稲荷社・山王社」には、寿徳寺境内地にある小社の普請入用帳を編入した。

3. 明治期公職 (26 レコード、明治 2 年～明治 6 年)

この大項目には、佐伯善四郎が明治期に就いていたことが確認できる公職に関わって佐伯家に集積された文書を、1. 寺方村代議人、2. 連合戸長役場筆生、という 2 つの中項目に分けて編成した。

1. 寺方村代議人 (25 レコード、明治 7 年～明治 11 年)

大区小区制施行後の明治 7 年(1874)6 月、神奈川県は代議人選挙に関する通達を小区へ送り、村の代議人を定めるように命じた。このとき佐伯善四郎は、寺方村代議人の 1 人に選出されたものと見られる。翌 8 年正月付の「御用日記覚帳」(No. 170)には、同 7 年 9 月から寺方村の村用掛が眼病治療で東京に滞在している間、公務を代議人のうち 2 名ずつが担当すべき旨を八小区会所から指示されたという記載があり、代議人が村用掛の職務を代行した時期があったことがわかる。こうした職務代行の時期も含めて、佐伯家文書には、善四郎の代議人としての活動にともなって作成・収受した文書が残されている。この項目では、こうした文書を、「1. 布告・令達」(4 レコード、明治 10 年～明治 11 年)、「2. 用務」(2 レコード、明治 8 年)、「3. 土地」(9 レコード、明治)、「4. 貢金」(10 レコード、明治 7 年) の 4 つに分けて掲載した。

2. 連合戸長役場筆生 (1 レコード、明治 14 年)

明治 12 年(1879)2 月、関戸・東寺方・乞田・貝取の 4 ヶ村は連合して戸長を選出することで合意し、連合戸長役場が設けられた。このとき佐伯善四郎は筆生の役職に就いたと考えられ、明治 14 年 7 月の「荒地地券状相渡帳」(No. 152)には、筆生として佐伯善四郎の名が見られる。

4. 佐伯家 (160 レコード、元禄 2 年～昭和 12 年)

この大項目には、佐伯家の私的な営為にともなって蓄積された文書を、1. 経営、2. 家政、3. 寿徳寺 旦那惣代、4. 山神社氏子総代、5. 白紙、という 5 つの中項目に分けて編成した。佐伯家の私的な文書は、文書群全体の約 10% 程度で、他の一般的な文書群に比べると比較的少ない。

1. 経営 (63 レコード、元禄 2 年～明治 32 年)

この項目には、佐伯家の経営に関わる文書を、「1. 万控帳」(4 レコード、元治 2 年～明治 24 年)、「2. 金銀出入帳」(1 レコード、万延元年)、「3. 金銭貸借」(7 レコード、天保 3 年～明治 32 年)、「4. 土地」(6 レコード、延宝 7 年～明治 31 年)、「5. 地券」(41 レコード、明治 12 年～明治 17 年)、「6. 山林」(2 レコード、明治 31 年)、「7. 小作」(2 レコード、元禄 2 年)、の 7 つに分けて収録した。

「1. 万控帳」は、金銭貸借・質地などに関わる「年中日記帳」や「万附込覚帳」など、経営についての日々の出来事を順次書き込んだものである。「2. 金銀出入帳」としては、万延元年 (1860) の「万払米金銀出入 (入) 帳」が 1 冊残されている。「3. 金銭貸借」には、金子借用証文や貸金の返済に関する文書を収めた。「4. 土地」には、土地の取得や交換、質地に関わる文書を編入した。「5. 地券」は、善四郎の所有地となった田畑・山林についての地券などを収めた。これらの地券は、巻き込んで一括されていた 2 つのまとまりから成っている。「6. 山林」には、樹木の売り渡し証文、および佐伯喜太郎が出願人の一人として参加した和田村御料地山林の払い下げ願いを収めた。「7. 小作」には、元禄期に作成された小作証文などを編入している。

2. 家政 (90 レコード、宝永 5 年～昭和 12 年)

この項目には、佐伯家の家政に関わる文書を、「1. 由緒」(1 レコード、近世)、「2. 家族」(2 レコード、宝永 5 年～明治 2 年)、「3. 家産・家計」(7 レコード、明治 23 年～明治 33 年)、「4. 租税」(1 レコード、文化 6 年)、「5. 日記」(1 レコード、大正 12 年)、「6. 普請」(2 レコード、明治 26 年～明治 27 年)、「7. 慶弔」(3 レコード、昭和 7 年)、「8. 賞状・証書」(60 レコード、明治 31 年～昭和 12 年)、「9. 教育会」(1 レコード、大正 14 年)、「10. 兵事」(1 レコード、明治 19 年)、「11. 変災」(3 レコード、明治 22 年)、「12. 信仰」(5 レコード、文政 2 年)、「13. 書籍」(2 レコード、近世～明治)、「14. 諸書付」(1 レコード、近代)、という 14 の小項目に分けて収録した。

「1. 由緒」は、佐伯谷の地名・佐伯市助道永および吉祥院の由緒を記した書付である。「2. 家族」には、宝永 5 年 (1708) に佐伯家の善右衛門が養子を貰い受けた際の持参金に関する証文、明治 2 年 (1869) の離婚媒酌に関する書付を収めた。「3. 家産」には、明治 23 年の祖母の置金の配分に関わる証文や佐伯家の金銭の出入りに関わる文書を編入した。「4. 租税」には、文化 6 年 (1809) の善九郎へ宛てた「田畑御年貢請取覚帳」を収めた。「5. 日記」は、大正 12 年 (1923) の「家事日記帳」である。「6. 普請」には、明治 26～27 年の家普請のものとは推定される「木挽人夫控帳」「大工人夫控簿」を編入した。「7. 慶弔」には、婚儀に関わる結納目録や祝儀金に関わる文書を集めた。「8. 賞状・証書」には、学校から授与された修業証書・卒業証書・精勤証などの証書類、学校建築に貢献した際の感謝状、消防組小頭任命書などの辞令証書などを収めた。「9. 教育会」には、大正 14 年に南多摩教育会が発行した講習会の受講

証を編入した。「10. 兵事」は、明治 18 年に東京鎮台が佐伯喜太郎へ差し出した輜重輪卒補充員に関する命令書である。「11. 変災」には、明治 22 年に起こった大栗川出水をめぐり、佐伯家が人足の饗応などのために支払った金銭の書上などを収めた。「12. 信仰」には、文政 2 年 (1819) に善九郎が湯殿山より下賜された「注連袈裟之事」や大師河原の金乗密院平間寺の御札・高幡山金剛寺の護摩札などを編入した。「13. 書籍」は 2 冊で、近世の書状認め方に関する手本と明治期の小学読本の断片である。「14. 諸書付」には、用途不明の人名書上を収録した。

3. 寿徳寺旦那惣代 (4 レコード、明治 7 年～明治 18 年)

この項目には、明治期に佐伯家が寿徳寺旦那惣代として作成・収受した文書を収録した。寿徳寺の什物を書き留めた明治 7 年 (1874) の「校割簿」や寿徳寺境内の山林から伐り出した雑木の売り渡しに関する文書などがある。

4. 山神社氏子総代 (2 レコード、明治 33 年)

この項目には、明治期に佐伯家が山神社の氏子総代として作成・収受したと考えられる文書を収録した。明治 33 年 (1900) の山神社に関する明細書上、および明治期に作成された祠掌増員願の下書がある。

5. 白紙 (1 レコード、近代)

この項目には、近代のものと思われる未記入のノートの断片を収めた。

5. 混入文書 (6 レコード、文久 2 年)

この大項目には、前述の大木箱に混入し、佐伯家が出所とは考えられない文書を収録した。文久 2 年 (1862) の「石河佐渡守様給知 宗門人別帳写」の表紙は、佐伯家文書と同じ時期に収集された美濃国本巢郡曾井中島村青木家文書 (32Q) の一部の可能性がある。このほかは袋や包紙で、将軍家御朱印写や御内書写を収納していたものである。

史料状態

継目の剥離や綴目の欠損、虫損などが目立ち、全般的に状態は不良である。特に大木箱に収納された文書の一部は、鼠食による紙質劣化・欠損が著しい。

検索手段 本目録 (国文学研究資料館学術資料事業部『史料目録』第 110 集)。

複製の存在 とくにない。

出版物

佐伯家文書を利用した出版物には、以下のようなものがある。

- ・『南多摩文化財総合調査報告』(東京都文化財調査報告 11、東京都教育委員会、1961 年)
- ・『多摩市文化財調査資料 文書篇 I』(多摩市教育委員会、1978 年)
- ・『多摩市文化財調査資料 文書篇 II』(多摩市教育委員会、1979 年)
- ・『多摩市史 資料編 2 近世 社会経済』(多摩市、1995 年)
- ・『多摩市史 通史編 1 自然環境 植物・動物 原始および古代 中世・近世』(多摩市、1997 年)
- ・『多摩市史 通史編 2 近現代』(多摩市、1999 年)

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

1.寺方村名主

1.1.触書・達書

1.1.1.御用留

御触御書付留 持主善九郎	天保12年丑4月より	横長半/(虫損あり)・1冊(24丁墨)	162-1
御触書御用向控帳 寺方村善九郎	天保14年卯7月日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(8丁墨)	162-2
御用留 寺方村名主善九郎	慶応2年寅正月日	横長半/(虫損あり)・1冊(16丁墨)	163-1
御用留 寺方村	明治2年巳5月日	横長半/(虫損あり)・1冊(16丁墨)	163-2

1.1.2.触書・達書

條々(公儀御料所触書写) *(写)	(元禄カ)	半/(虫損あり)・1冊(22丁墨)	160
御下知状并御申触御書付写(浅井知行所中村嘉平太家督相続にて知行所4ヶ村見分に付) *(写)/(後欠)喜太郎印→清水村名主兵右衛門・組頭中・惣百姓共 下田村年寄名主与兵衛・組頭中・惣百姓共 中和田村年寄名主倉之助・組頭中 惣百姓共・寺方村名主・善次・組頭中・惣百姓共	寛政4子年3月	縦継紙/(虫損甚大)・1通	202
(御本丸御小性組加藤伊勢守柳間組に相成に付達書) 御地頭所(印)→多摩郡五ヶ村役人江	(近世)丑9月8日	縦切紙/(虫損あり)・1通	206
(殿様御逝去に付普請・鳴物停止等に付触書)	(近世)6月17日	横切紙/(下部にしみあり)・1通	207
(包紙) *(包紙上書)「書付 多摩郡五ヶ村江」	(近世)	包紙・1点	399

1.2.請書・届書

武州多摩郡日野領寺方村たはこ御改帳 *(表紙後筆)「覚本之事」 日野領寺方村名主善四郎(印)・組頭七右衛門(印)→曾我七兵衛殿内岩佐十郎兵衛・阿部団進	元禄16年未2月	半/(丁外れ)/(鼠食損甚大)・1冊(4丁墨)	291-2
差上申証文之事(猪鹿多く出で田畑荒し候て難儀仕り候に付玉込鉄炮1挺使用の旨) *236-2と同内容 武州多摩郡寺方村名主平右衛門・組頭七郎右衛門→曾我兵衛様領内岩佐十郎兵衛殿・石目郡左衛門殿	享保8年卯3月16日	縦紙・1通	236-1
差上申証文之事(猪鹿多く出で田畑荒し候て難儀仕り候に付玉込鉄炮1挺使用の旨) *236-1と同内容 武州多摩郡寺方村名主平右衛門・組頭七郎右衛門→曾我兵衛様領内岩佐十郎兵衛殿・石目郡左衛門殿	享保8年卯3月16日	縦継紙/(継紙剥離)・1通	236-2

1.寺方村名主/2.請書・届書

覚(寺方村浅井七平・曾我七兵衛・松平内膳正・山角藤兵衛知行高及び寿徳院御朱印高書上に付) *(下部欠)	(宝暦4)戌閏2月	縦紙/(虫損甚大)・1通	297-95
御尋ニ付差上申一札之事(武州多摩郡日野領寺方村石高・寿徳寺朱印高・東伊庵除地高並びに山角四郎左衛門様・松平帯刀様・浅井直右衛門様・曾我織部様相給の旨に付) 武州多摩郡寺方村名主善右衛門→曾我織部様御内川喜多吉右衛門様	明和3年戌11月日	縦紙・1通	211
(公儀御法度の義村内小前などまで百姓稼ぎ第一の旨請書) *(前欠) 武州多摩郡寺方村訴訟人名主善次→浅井小右衛門様御内木村叡右衛門殿・川越丈太夫殿	安永8年亥2月	縦紙/(虫損甚大)・1通	436
乍恐以書付奉申上候(名主善九郎家内首締居り候に付)御知行所武州多摩郡寺方村百姓代善蔵・名主善□(九)郎・親類伝蔵→御地頭所様御役所	□(文)政9戌年3月□日	縦紙/(鼠食損・虫損あり)・1通	287
御届申一札之事(太三郎他村の者と口論の際同服の由に付届書) 寺方村組頭長松(印)・名主平右衛門(印)→御地頭所様御役人衆中様	嘉永7寅年7月日	縦紙/(虫損あり)・1通	247
(往還並木御座無き旨届書) *(下書) 百姓代政吉・組頭長松・名主善四郎→知県事古賀一平御役所	明治2巳年正月	縦紙/(破損あり)・1通	414
乍恐以書付奉申上候(松平新五右衛門様御内御檢使様御見分に際し御尋に付榮太郎・政次郎・竹松より答書) *(下書) 榮太郎・政次郎	(近世)	縦紙/(虫損あり)・1通	209
米雑穀有高一村限書上帳 *(雛形)/(表紙のみ)	(近世)	縦紙・1通	351
(米雑穀有高一村限書上帳) *(断簡)/(雛形)	(近世)	縦紙・1通	355
(付箋) *(付箋上書)「知行目録と御座候御末ニ此通御認御書判御座候事」	(近世)	小紙・1点	425
米雑穀有高書上帳(寺方村分) 曾我七兵衛知行所武州多摩郡寺方村名主善四郎(印)・浅井武次郎知行所同郡同村名主幸内(印)	(近世)	半/(鼠食損甚大)・1冊(3丁墨)	521
米雑穀有高一村限書上帳 武蔵国多摩郡寺方村曾我七兵衛・同郡同村浅井武治郎右知行所名主[]	(近世)	半/(破損・水損甚大)・1冊(4丁墨)	532-1

1.3.土地

1.3.1.検地

武州多西郡関戸郷御縄打帳 九冊之内 案内者有山源右衛門	(文禄3年)甲午10月11日	半/(裏打あり)/(破損・水損甚大)・1冊(22丁墨)	1-1
武州多西郡関戸郷御縄打帳 九冊内 *(表紙のみ) 案内者有山源右衛門	(文禄3年)甲午10月11日	半/(裏打あり)/(破損・水損甚大)・1枚	1-2
(武州多西郡関戸郷御縄打帳断簡)	(文禄3年)甲午10月11日	半/(破損・水損甚大)・1枚	1-3

1.3.2.高反別

高反別田畑位訳其外調書控 曾我七兵衛上知武蔵国多摩郡寺方村百姓代政吉・組頭長松・名主善四郎→御裁判所	明治2年巳4月	半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	155
高反別田畑位訳其外調書 * (表紙のみ) 曾我七兵衛上知武蔵国多摩郡寺方村	(明治2年)	半/(綴じ穴あり)・1冊(1丁墨)	295-13
(百姓持反別書上) * (前欠)	(近世)	横長半/(丁くずれ)/(綴じ穴あり)・1冊(2丁墨)	295-17
(田畑反別・村持山・百姓持山書上) * (下書)	(近世)	縦紙・1通	357
(高反別書上) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	367
(高反別書上) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	381
(寺方村浅井小右衛門知行所村高・反別書上) * (下書)	(近世)	縦紙・1通	393
(高反別書上) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	525
(高反別書上) * (断簡)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)/(付箋あり)・1冊(3丁墨)	546

1.3.3.地所

(彦右衛門・仙蔵ほか作地絵図書上)	(近世)	横長半・1冊(4丁墨)	295-21
乍恐以書付奉申上候(寺方村地内へ跨り家作の取計方に付) (寺方村役人惣代名主善九郎)	(近世)	縦紙・1通	330

1.3.4.山林

百姓持山書上帳	元治2年丑正月日	半/(水損あり)・1冊(4丁墨)	193
---------	----------	------------------	-----

1.3.5.入会

(寺方村・乞田田野出入裁許) * (写) 坪井金太郎印・伊奈半十郎印・石川三右衛門印・宮城越前守印→武州多西郡寺方村名主・惣百姓中	正保2年酉3月20日	縦紙・1通	221
乍恐書付ヲ以申上事(乞田村より入会稗に付訴状) * (写) 今井九右衛門知行所乞田村右近印・庄右衛門印・惣百姓→御奉行□	正保2年酉□月□日	縦紙/(虫損甚大)・1通	220
(芝間争論裁許絵図) * (裏書)「武州多摩郡上和田村・寺方村与同郡原村堰傍芝間論之事」(裏書)稲五郎左衛門(印)・松美濃(印)・甲斐飛騨[印]・本紀伊(印)・戸能登(印)・酒河内(印)	元禄2年己巳6月25日	145.8×121.0/(鼠食損甚大)・1鋪	293

1.寺方村名主/3.土地/5.入会

(裁許絵図裏書) * (写)/(断簡) 稲五郎左衛門印・松美濃印・北安房印・甲斐飛騨印・本紀伊印・戸能登印・酒河内印	元禄2年己巳6月25日	切紙・1通	329
乍恐以書付御訴訟申上候(乞田村秣場入会に付) * (端裏書)「乞田茂左衛門書上」 曾我[]知行所乞田村[]→御吟味所様	宝[](永3)年戌11月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	195-4
武蔵国多摩郡寺方村より同郡貝取并下落川村・乞田村上組下組秣場裁許之条々 * (端裏書)「宝永三年戌絵図之裏書」 石阿波・中出雲・戸日向・荻近江・坪能登・松老岐・丹遠江・本弾正・堀左京・三備前・鳥播磨	宝永4年丁亥3月13日	豎継紙/(虫損あり)・1通	195-3
武蔵国多摩郡寺方村と同郡貝取并下落川村・乞田村上組・下組秣場論裁許之条々(絵図) 石阿波(印)・中出雲(印)・戸日向(印)・荻近江(印)・坪能登(印)・松老岐(印)・丹遠江(印)・本弾正(印)・堀左京(印)・三備前(印)・鳥播磨(印)	宝永4年丁亥3月13日	145.0×248.7/(鼠食損甚大)・1鋪	294
乍恐以書付奉願候御事(乞田村入会秣場願い等御詮議されたきに付) * (端裏書)「宝永六丑五月」 名主善右衛門・組頭七郎右衛門・同太兵衛・惣百姓→御奉行様	宝永6年丑5月	豎継紙・1通	224
乍恐以書付ヲ御訴訟申上候御事(乞田村野山にて秣場出入に付吟味願) * (下書)	(正徳5年カ)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	195-1
口上書(乞田村馬草場の儀伊奈半左衛門様ほか御見分の上証文下し置かれ候に付) * (下書)	(正徳5年カ)	豎紙/(虫損甚大)・1通	195-2
乍恐以書を御願申上候(馬草茹入会仰せ付けられたき旨) 寺方村善右衛門	享保4年庚亥(マ)6月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	196-2-4
乍恐以書付御訴訟申上候(武州多摩郡日野領寺方村馬草場出入に付) 日野領寺方村御訴訟人名主善右衛門(印)・同惣百姓(印)→御奉行様	享保4亥[](年)8月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	196-2-1-1
乍恐以口上書を御願申上候(馬草茹入会仰せ付けられたき旨) 武州多摩郡日野領寺方村浅井七平・曾我七兵衛知行所御訴訟人名主善右衛門	享保4年亥8月	豎継紙/(虫損あり)・1通	196-2-3
(先規の通り馬草場入相に仕り候様御詮議願いに付訴状) * (下書)/(前欠) 日野領寺方村御訴訟人[]同[]→御奉行様	享保4亥年	豎紙/(虫損甚大)・1通	196-1-2
(馬草茹入会仰せ付けられたき旨訴状) * (前欠) 日野領寺方村御訴訟人名主善右衛門・同惣百姓→御奉行様	享保4亥年	豎継紙/(虫損あり)・1通	196-2-1-2
乍恐以書付御訴訟申上候(武州多摩郡日野領寺方村馬草場出入に付) * (写) 日野領寺方村御訴訟人名主善右衛門・同惣百姓→御奉行様	享保4亥年	豎継紙/(虫損甚大)・1通	196-2-2
(武州多摩郡日野領寺方村馬草場出入に付) * (前後欠) □(名)主善右衛門・惣百姓	(享保4~5年)	豎継紙/(虫損・鼠食損甚大)・1通	196-2-6
乍恐以書付御訴訟申上候(秣場の再吟味願いに付) 武州多摩郡日野領寺方村御訴訟人名主善右衛門・組頭七右衛門・同清兵衛・惣百姓→御奉行様	享保5年子10月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	196-1-1
(武州多摩郡日野領寺方村馬草場出入に付訴状) 日野領寺方村御訴訟人名主善[](右衛)門・惣[](百姓)→御奉行様	享保5子年	豎継紙/(虫損甚大)・1通	196-2-5
差上申一札之事(御裁許の裏書・絵図等差し出しの処一切無く請書差し上げに付) 寺方村百姓代藤右衛門(印)・組頭太兵衛(印)→御地頭様御内村井弥助様	安永2年巳9月	豎紙・1通	226

(多摩郡日野領寺方村名主彦七衛門ほか馬草場の儀に付訴状)	(近世)	縦紙/(展開不能)/(虫損甚大)・1通	295-29
乍恐以書付御訴訟申上候(武州多摩郡日野領寺方村馬草場出入に付)	(近世)	縦紙/(展開不能)/(虫損甚大)・1通	295-31
乍恐以書付御訴訟申上候(日野領寺方村馬草場出入に付) * (後欠)	(近世)	縦紙/(虫損甚大)・1通	297-101
乍恐以書付御訴訟申上候(乞田村名主政右衛門相手取り寺方村馬草場出入に付) 浅井七平・曾我七兵衛知行所日野領寺方村御訴訟人名主善右衛門・同惣百姓	(近世)	縦紙/(虫損甚大)・1通	306
(野山入会の処今度伊予守様より新境御立分け成られ寺方村の儀向後野山へ一切入り申す事成らざる旨仰せ付けらるに付訴状) * (前後欠)	(近世)	縦紙・1通	315
(上和田村・寺方村と原村堰傍芝間争論に付裁許写) * (前後欠)	(近世)	縦紙/(破損甚大)・1通	421
(寺方村・乞田村馬草場出入に付書付) * (断簡)	(近世)	縦紙/(破損甚大)・1通	530

1.4.年貢・諸役

1.4.1.名寄帳

(寺方村名寄帳) 寺方村久左衛門[印]・善藏(印)・半三郎(印)・長四郎[印]・三藏(印)・五郎左衛門(印)・六左衛門(印)・善九郎(印)	寛永14年丑9月2日	横長美/(破損・水損甚大)/(綴じ紐欠)/(下ケ札あり)・1冊<11丁墨>	2
武州多摩郡日野領寺方村名寄帳 曾我七兵衛様分(寺方村)百姓庄左衛門(印)・同彦右衛門(印)・同佐五右衛門(印)・同定右衛門・同藤右衛門(印)・同善兵衛(印)・組頭喜兵衛(印)・名主利右衛門(印)・同断平右衛門(印)→曾我七兵衛様御内佐藤唯右衛門殿・川喜多嘉平治殿	享保13年申ノ8月日	横長美特大/(虫損あり)・1冊<9丁墨>	3-1
武州多摩郡日野領寺方村名寄帳 浅井七藏様分 * 名請人傍らに加筆訂正あり (寺方村)百姓重左衛門(印)・同佐五右衛門(印)・同与兵衛(印)・同次郎左衛門(印)・同定右衛門(印)・同長右衛門(印)・同太郎右衛門(印)・同藤右衛門(印)・同善兵衛(印)・組頭伝兵衛(印)・名主利右衛門(印)・同平右衛門(印)→浅井七藏様御内杉浦与惣治殿	享保13年申ノ8月日	横長美特大/(虫損甚大)・1冊<8丁墨>	3-2
武州多摩郡日野領寺方村名寄帳 曾我様 * 名請人・土地状況は後年のもの	享保13年申ノ8月日	横長半/(上部欠損あり)・1冊<13丁墨>	3-3
武州多摩郡日野領寺方村名寄帳(曾我分) * 名請人・土地状況は後年のもの	享保13年申ノ8月日	横長半・1冊<11丁墨>	3-4
武州多摩郡日野領寺方村名寄帳(曾我分) * 名請人・土地状況は後年のもの	享保13年申ノ8月日	横長半/(貼紙あり)・1冊<13丁墨>	3-5
武州多摩郡日野領寺方村名寄帳写(曾我分) * 名請人・土地状況は後年のもの	享保13年申ノ8月日	横長半・1冊<18丁墨>	3-6
武州多摩郡日野領寺方村名寄帳(曾我分) * (写)/(後欠)	享保13年申ノ8月日	横長半/(帳くずれ)・1冊<2丁墨>	3-7

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/1.名寄帳

(筆分けの入組吟味に付名寄帳面に加判の旨書付) *(前後欠) 百姓庄左衛門・同彦右衛門・同佐五右衛門・同 定右衛門・同藤右衛門・同善兵衛・組頭同喜兵衛・名主利右 衛門・同断平右衛門→曾我七兵衛様御内	享保13年申8月	横長半/(綴じ外 れ)・1冊(1丁墨)	547
浅井知行所 高反別名寄覚帳写 *(写) 寺方村名主要蔵	天保7年申8月写	横長美特大/(破 損あり)/(虫損あ り)・1冊(9丁墨)	4

1.4.2.検見

当子ノ田方検見帳 *(表紙後筆)「曾我様」 寺方村平右衛 門・七郎右衛門	享保5年子ノ9月	横長半/(虫損あ り)・1冊(5丁墨)	27-1
卯年寺方村御検見帳 *(表紙後筆)「曾我様」/(写) 川北 嘉平次→寺方村名主・組頭・惣百姓中	享保8年卯9月	横長半/(虫損甚 大)・1冊(4丁墨)	27-2
巳ノ年田方御検見帳 寺方村名主平右衛門・組頭伝兵衛	享保10年巳ノ9月	横長半/(虫損甚 大)・1冊(3丁墨)	27-3
田方内検見合毛改帳 寺方村名主善九□(郎)	文政4年巳9月	横長半/(破損甚 大)・1冊(4丁墨)	483
田方合毛帳 名主善九郎	天保4年巳10月日	横長半/(虫損・ 水損あり)・1冊 (4丁墨)	30
田方内検見帳 *(前後欠) 寺方村	天保7年申□月	横長半/(破損)/ (綴じ外れ)・1冊	496
田方検見合□(毛)改帳	文久4年9月	横長半/(虫損・ 破損甚大、展開 不能)・1冊	334-1
田方検見毛附帳	文久4年9月	横長半/(虫損・ 破損甚大、展開 不能)・1冊	334-2
田方内検見[]	(近世)文□巳年9月	横長半/(破損甚 大)/(454-1~2 は癒着のため展 開不能)・1冊	454-2
天水畑田成内見帳 武蔵国多摩郡寺方村	(近世)	横長半・1冊(4丁 墨)	430
内見帳(当年田方検見にて村役人田主立会内見仕るに 付) 右村(寺方村)百姓代伊三郎(印)・組頭幡次郎・名主 善四郎	(近世)	横長半/(破損甚 大)・1冊(21丁墨)	479

1.4.3.減免

乍恐以書付買納奉願上候(風雨にて稲作数日泥冠になり 当年年田方不作に付石代買納願書) *(下書) 武州多 摩郡関戸村役人惣代組頭藤井康太郎・寺方村同名主佐伯善 四郎	(寛延元)辰年閏10月11 日	半・1冊(2丁墨)	215
当卯年旱損場改帳 *(写) 寺方村名主善右衛門・組頭定右 衛門・百姓代藤右衛門→川喜田吉右衛門様・岩佐十郎平様	明和8年卯10月	横長半/(虫損甚 大)・1冊(4丁墨)	28
田方旱損場合毛附帳 百姓代幸七(印)・組頭五三郎(印)・ 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様	文政4年巳9月日	横長半/(虫損あ り)/(破損甚大)・ 1冊(4丁墨)	29

御用捨御引願入用割合帳 寺方村名主善九郎	天保4年巳ノ11月日	横長半・1冊(4丁墨)	75
乍恐以書付奉願上候(田畑違作にて御用捨米願いに付) *(下書) 御知行所武州多摩郡乞田村組頭茂兵衛・上柚木 村名主佐左衛門・落合村組頭喜惣次・一ノ宮村名主八右衛 門・寺方村同善九郎→御地頭所様御役人中様	天保7申年9月	縦継紙/(虫損あり)・1通	213
御引方入用割合勘定帳(御引方御救米に付)	天保7年申ノ11月日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	129
乍恐以書付ヲ奉願上候(寺方村田方5月雨天により格 別不実(に付)取納米ご容赦の旨) *(下書) 御知行 所武州多摩郡寺方村名主[]・組頭長[]・百姓代政吉→ 御地頭所様御役人中様	慶応元丑9月	縦紙/(下部破損あり)・1通	336
御請書之事(当寅年田方不作に付御用捨引き御願いの 処1分の引き方米仰付られ有り難きに付) 多摩郡寺 方村名主善四郎→御地頭所様御役人中様	慶応2寅年10月	縦紙/(虫損あり)・1通	297-42
乍恐以書付奉願上候(当寅年田方不作に付谷戸田水押 の場所有りて今少し御用捨下されたま旨) *(下書)	(近世)	縦紙・1通	297-43
(寺方村曾我七兵衛知行所内田方水損場書上)	(近世)	縦紙/(虫損甚大)・1通	297-54
乍恐以書付奉願上候(大風雨にて作柄悪しく御用捨米 願いに付)	(近世)	縦紙/(破損あり)・1通	302
(無毛・跡々川欠引反別取米取立帳) *(前後欠)	(近世)	横長半/(貼紙あり)/(虫損あり)・1冊(2丁墨)	392-1

1.4.4.定免

定免割付之事(寺方村曾我知行所分当年より巳年迄 10ヶ年定免に付) 加藤林右衛門(印)・川喜多嘉平治 (印)・(裏書)(曾我)七兵衛(印)(印)→右村名主・組頭・惣百姓	宝暦2申年8月	縦継紙/(虫損あり)・1通	210
定免割付之事(当丑年より来る巳の間5か年百姓願いに 付) 岩佐十郎兵衛(印)・川喜多吉右衛門(印)・(裏印) (曾我)織部(印「賢」)→右村(武州多摩郡日野領寺方村)名 主・組頭・惣百姓中	明和6丑年4月	縦紙/(虫損あり)・1通	297-8
定免割付之事(当午より来る子の間5か年百姓願いに付) 川喜多七郎兵衛(印)・杉浦黒右衛門(印)・岩佐十郎兵衛(印)・ (裏印)(曾我)左膳(印「賢」)→右村(武州多摩郡日野領寺方 村)名主・組頭・惣百姓中	安永3午年10月	縦紙/(虫損あり)・1通	297-1
定免割付之事(当丑年より来る未の間7か年百姓願いに 付) 曾我左膳内川喜多七郎兵衛(印)・杉浦黒右衛門 (印)・(裏印)(曾我)左膳(印)→右村(武州多摩郡日野領寺 方村)名主・組頭・惣百姓	天明元丑年10月	縦紙/(虫損あり)・1通	297-11
覚(未・申両年検見仰せ付けられ納高平均高を以て定 免仰せ付けらるに付) *(端裏書)「寺方村」 川喜多嘉 平治→寺方村名主・組頭中	(近世)7月	縦継紙/(虫損あり)・1通	297-34

1.4.5.年貢割付状

寅御年貢可納割付之事(幕領分) 大平□兵衛(印)→右 之村(武州日野領寺方村)[]年寄	貞享3寅年11月	縦継紙/(虫損甚大)・1通	297-31
---	----------	---------------	--------

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/5.年貢割付状

辰ノ年可納御年貢割付之事(幕領分) * (裏書)「表書之通辰御年貢皆済間如件 元禄貳年巳十一月 設(設楽)勘左衛門(印)」/(端裏書)「寺方村」 設(設楽)勘左衛門(印)→右(武州多摩郡寺方村)名主・惣百姓	元禄元辰年11月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-13
午年武蔵国多摩郡寺方村御成ヶ可納割付之事(幕領分) 松平清三郎(印)→右村(寺方村)名主・惣百姓	元禄3年午10月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-56
未年武蔵国多摩郡寺方村御成ヶ可納割付之事(幕領分) 松平清三郎(印)→右村(寺方村)名主・惣百姓	元禄4年末10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-57
武蔵国日野領寺方村亥ノ年より貳拾ヶ年御割付写(幕領分) * (写) 武蔵国多摩郡日野領寺方村名主印・組頭印・同印→御代官様	元禄9年子8月	半・1冊(9丁墨)	23
武蔵国多磨郡寺方村卯年貢割付(浅井知行所分) 伊東治介(印)→右村(寺方村)名主・惣百姓中	元禄12年卯12月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-41
(寺方村曾我知行所分年貢割付) * (前欠) 阿部団之進(印)・岩佐十郎兵衛(印)→寺方村名主・組頭・惣百姓中	元禄13辰年10月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-60
武州多磨郡寺方村辰御年貢割付(浅井知行所分) 伊東治介(印)→右村(寺方村)名主・惣百姓中	元禄13年辰11月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-37
午ノ歳成ヶ可納割付之事(曾我知行所分) 阿部団之進(印)・岩佐十郎兵衛(印)→(武州多磨郡日野領寺方村)名主・組頭・惣百姓中	元禄15午年10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-12
酉年成ヶ可納割付之事(曾我知行所分) 岩佐十郎兵衛(印)・阿部団進(印)→(武州多磨郡日野領寺方村)名主・組頭・惣百姓中	宝永2酉年10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-5
曾我伊予守・浅井七平 御水帳御割付(檢地年次並びに割付状年代差出人・本数書付) 武州多麻郡日野領寺方村名主善右衛門・組頭七郎右衛門・同太兵衛	宝永3年戌7月吉日	横長美大/(破損甚大)・1冊(2丁墨)	6
亥年成ヶ可納割付之事(曾我知行所分) 阿部団進(印)・岩佐十郎兵衛(印)→(武州多磨郡日野領寺方村)名主・組頭・惣百姓中	宝永4亥年10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-2
子年武州多磨郡日野領寺方村割付之事(曾我知行所分) 岩佐十郎兵衛(印)→(武州多磨郡日野領寺方村)名主・組頭・惣百姓中	宝永5年子10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-23
寺方村子ノ年貢割付 水谷郷左衛門(印)→寺方村名主・組頭・惣百姓	宝永5年子11月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-29
当寅之御物成可納割付之事(曾我知行所分) 岩佐十郎兵衛(印)→(武州多磨郡日野領寺方村)名主百姓中	宝永7年寅9月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-7
卯年成ヶ可納割付之事(曾我知行所分) * (裏書)「表書之通相違無之者也 (曾我)伊予(印)」 稻生胡右衛門(印)・岩佐重郎兵衛(印)→武州多摩郡日野領寺方村名主・組頭・惣百姓中	正徳元卯年10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-20
辰年成ヶ可納割付之事(曾我知行所分) * (中欠) 稻生胡右衛門(印)・岩佐重郎兵衛(印)→(武州多磨郡日野領)寺方村名主・組頭・惣百姓	正徳2辰年10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-27
午年成ヶ可納割付之事(曾我知行所分) * (裏書)「表書之通相違有間敷者也 (曾我)伊予(印)」 稻生胡右衛門(印)・岩佐重郎兵衛(印)→武州多磨郡日野領寺方村名主・組頭・惣百姓	正徳4午年10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-18

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/5.年貢割付状

未年成ヶ可納割付之事(曾我知行所分) * (裏書)「表書之通無相違者也 (曾我)七兵衛(印)」 稲生浅右衛門(印)・岩佐重郎兵衛(印)→(武州多磨郡日野領)寺方村名主・組頭・惣百姓	正徳5未年10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-26
巳之御物成可納割付之事(曾我知行所分) * (裏書)「表書之通相究間急度可皆済者也 (曾我)七兵衛(印)」 川喜多嘉平治(印)・川喜多与左右(印)→右村(武州多磨郡寺方村)名主・組頭・惣百姓	享保10年巳10月	豎継紙/(虫損あり)・1通	297-24
寺方村巳之年貢割付 杉浦与惣次(印)→寺方村名主・組頭	享保10年巳10月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-28
寺方村丑年より来ル巳ノ年迄五ヶ年之間御年貢割付(曾我知行所分) * (裏書)「表書之通り当午年より来ル戌年迄定免相定メ候上者右五ヶ年之内水損風損於無之者是日限之通急度可致皆済者也 元文三年午十月 岸田専左衛門」 岸田専左衛門(印)→右村(寺方村)名主・組頭・惣百姓、(奥印)(曾我)七蔵(印)	享保18年丑ノ11月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-10
丑年御物成可納割付之事(浅井知行所分) * (裏書)「表書之通令皆済所如件 水沼兵太夫」 浅井小右衛門内水沼兵太夫(印)→右村(武蔵国多磨郡日野領寺方村)名主・組頭	延享2乙丑年10月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-39
未年可納割付之事(浅井知行所分) 水沼兵大夫(印)→寺方村名主・組頭	宝暦元未年10月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-35
(寺方村浅井知行所分年貢割付状) * (裏書)「表書之通令皆済者也 丑ノ十二月 浅井小右衛門内江原幸左衛門(印) 右村(寺方村)名主善右衛門殿」 浅井小右衛門内江原幸左衛門(印)→右村(寺方村)名主・組頭・惣百姓	宝暦7丁丑年11月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-59
割付案(寺方村旧曾我知行所分年貢に付) * (下書) 右村(曾我七兵衛元知行所武州多磨郡寺方村)三判→知県事古賀一平様御役所	明治元年辰10月日	半・1冊<5丁墨>	87-5
割付写書上(正徳2辰年寺方村曾我知行所分年貢割付状写) 曾我七兵衛上知武州多磨郡寺方村百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)→神奈川県御出役森田鎗三郎様・飯岡直作様・小原十郎様	明治2巳年7月	半/(表紙下部破損)/(水損痕あり)・1冊<6丁墨>	87-1
卯年可納割付之事 * (後欠) →寺方村	(近世)卯	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-89
寺方村酉年年貢割付 →(寺方村)	(近世)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-3
寺方村子之年貢割付	(近世)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-22
□寺方村申之年貢割付	(近世)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-32
寺方村未之年貢割付	(近世)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-33
武州多磨郡日野領寺方村午御年貢割付之事	(近世)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-38
(寺方村年貢割付状)	(近世)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-45
酉年可納御割付之事	(近世)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-46

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/5.年貢割付状

(年貢割付状)	(近世)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-53
(年貢割付状) * (前後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-61
(寺方村年貢割付状) * (後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-62
(年貢割付状) * (前後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-63-1
(年貢割付状) * (前後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-63-2
(年貢割付状) * (前後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-63-3
(年貢割付状) * (前後欠)	(近世)	豎紙/(虫損あり)・1通	297-64
当卯御成箇可納割付之事 * (後欠) →武州多摩郡寺方村	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-70
子年可納御年貢割付之事 * (後欠) →寺方村	(近世)	豎紙/(虫損あり)・1通	297-82
武蔵国多摩郡柚木領寺方村未御年貢割付之事 * (後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-86
寺方村未之年貢割付 →(寺方村)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-90
未年可納御年貢割付之事 * (後欠) →寺方村	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-98
申年武蔵国多摩郡寺方村御成ヶ可納割付之事 * (後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-107
(年貢割付状) * (前後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-108
(年貢割付状) * (前後欠) →寺方村	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-109
戌年成ヶ [] (年貢割付) * (後欠) →寺方村	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-110

1.4.6.夏成

夏成御年貢請取覚帳 寺方村名主	寛政10年午6月吉日	横長半/(帳外れ)・1冊<1丁墨>	562
畑方御年貢取立帳(夏成に付) 名主代	文久2年犬(戌)6月25日	横長半・1冊<6丁墨>	48-1
夏成御年貢取立帳	元次(治)元年甲子6月10日	横長半・1冊<2丁墨>	53-1-1
夏成御年貢控帳 名主善四郎	慶応2年寅6月6日	横長半/(鼠食損あり)・1冊<3丁墨>	53-1-2
畑方夏成御年貢控帳	慶応4年辰6月日	横長半・1冊<5丁墨>	53-2

畑方夏成御年貢[]	明治2年	横長半/(破損甚大)・1冊	499
覚(寅夏成金1兩2朱銭120文受取に付) 伊勢屋半蔵(印) →寺方村名主善右衛門殿	(近世) 閏7月朔日	切紙・1通	331
去ル已より来五月畑方夏成納辻書抜帳	(近世)	横長半/(鼠食損あり)・1冊(7丁墨)	295-22
(夏成金3両ほか納金書上)	(近世)	縦紙/(鼠食損甚大)・1通	295-24

1.4.7.大豆納

両殿様大豆御年貢請取帳 *曾我七郎兵衛様分の本文墨 消 寺方村名主平右衛門	享保8年卯ノ8月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	51-1
大豆御年貢取立帳 *(後欠カ)	寛政8年辰8月11日	横長半/(破損)/(フケのため展開不能)・1冊	506
大豆御年貢取立帳 多摩郡寺方村名主善九郎	享和元年酉9月吉日	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	51-2
当戊大豆御年貢取立帳 多摩郡寺方村名主善九郎	享和2年8月吉日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	51-3
大豆御年貢取立帳 名主善九郎	天保10年亥12月日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	51-4
大豆御年貢取立帳 名主善九郎	天保11年子8月日	横長半/(綴じ穴あり)/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	51-5
大豆御年貢帳	弘化4未年8月日	横長半/(綴じ穴あり)/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	51-6
大豆取立帳 名主平右衛門	加(嘉)永2年酉8月日	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	51-7-1
大豆取立帳 名主平右衛門	加(嘉)永3年戌8月18日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	51-7-2
大豆御年貢取立帳 名主平右衛門	嘉永7年寅8月朔日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(2丁墨)	51-8
午とし大豆御年貢取立覚帳 名主善九郎	安政5年午8月	横長半・1冊(3丁墨)	51-9
未年大豆御年貢取立覚帳 名主善九郎	安政6年未8月日	横長半・1冊(3丁墨)	46-9
大豆御年貢取立帳 名主代長松	文久3年亥年(??)8月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	51-10
大豆御年貢取立覚帳 名主善四郎	元次(治)元年子8月日	横長半/(鼠食損あり)/(丁くずれ)・1冊(2丁墨)	51-11
大豆御年貢取立帳 名主善四郎	慶応2年寅8月日	横長半・1冊(2丁墨)	51-12

1.4.8.秋成

秋成御年貢取立帳 名主代長松	文久2年戌9月13日	横長半/(破損)・1冊<3丁墨>	465
秋成御年貢取立帳 名主代長松	文久3年亥ノ9月19日	横長半/(虫損あり)・1冊<3丁墨>	54-1
秋成御年貢取立帳 *(表紙後筆)「済」	元次(治)元年甲子9月吉日	横長半/(紙縫破損)・1冊<2丁墨>	54-2
畑方秋成御年貢取立帳 善四郎	慶応元年丑9月日	横長半・1冊<2丁墨>	54-3
畑方秋成御年貢取立帳 *(表紙後筆)「済」 名主善四郎	慶応3年卯6月吉日	横長半/(破損あり)・1冊<2丁墨>	54-4
畑方秋成御年貢取立帳 寺方村	明治2年巳9月日	横長半・1冊<4丁墨>	54-5

1.4.9.田方庭帳

田方御年貢庭取立帳 寺方村名主善九郎	文政元年寅ノ11月日	横長半/(虫損あり)・1冊<3丁墨>	56
田方御年貢庭帳 名主善九郎	弘化4年未11月日	横長半/(丁くずれ)/(虫損あり)・1冊<4丁墨>	46-1
田方御年貢庭帳 名主平右衛門	加(嘉)永元年申11月10日	横長半・1冊<4丁墨>	46-2
田方御年貢庭帳 名主平右衛門	加(嘉)永2年酉11月8日	横長半・1冊<3丁墨>	46-3
田方御年貢庭帳 *各項の末尾に「皆済」記載あり 名主平右衛門	加(嘉)永3年戌11月14日	横長半・1冊<5丁墨>	46-4
田方御年貢庭帳 名主平右衛門	加(嘉)永3年戌11月日	横長半/(虫損あり)・1冊<4丁墨>	46-5
田方御年貢庭帳 名主平右衛門	加(嘉)永4年亥11月21日	横長半/(鼠食損あり)・1冊<4丁墨>	46-6
田方御年貢庭帳 名主平右衛門	嘉永7年寅10月26日	横長半・1冊<3丁墨>	46-7

1.4.10.取立勘定

当巳御年貢田畑取立帳 百姓五三郎・嘉助・忠七(印)・甚助(印)・源次郎(印)・孫兵衛(印)・幸七(印)・組頭忠次良・名主善右衛門	寛政9年12月	横長半/(虫損あり)・1冊<9丁墨>	38-1
(午年御年貢取立関係綴)	(寛政10年11月~12月)	綴/(38-2-1~3は一綴)・1綴	38-2
当午御年貢取立帳 寺方村名主善九郎	寛政10年11月日	横長半・1冊<5丁墨>	38-2-1
当午田方御年貢取立帳 寺方村名主善九郎	かんせい(寛政)10年11月日	横長半・1冊<3丁墨>	38-2-2

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/10.取立勘定

当午ノ畑方御年貢勘定取立帳 百姓豊次郎・同五三郎・同幸七・同甚助・同嘉助・同東伊庵・同孫兵衛・同佐七・同源次郎・組頭忠次郎・名主善九郎	寛政10年12月	横長半・1冊(6丁墨)	38-2-3
(田方畑方御年貢勘定取立帳関係綴)	(文化4年卯11月～12月)	綴/(38-3-1～2は一綴)・1綴	38-3
田方御年貢勘定取立帳 百姓房次郎・同佐兵衛・同甚五郎・同用蔵・同幸七(印)・同東伊庵・同藤右衛門(印)・百姓代嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化4年卯11月日	横長半・1冊(6丁墨)	38-3-1
当卯畑方御年貢勘定帳 百姓房次郎(印)・同豊次郎・同藤右衛門(印)・同源次郎(印)・同東伊庵・同佐兵衛・同幸七(印)・同幸吉(印)・同甚五郎・同用蔵・百姓代嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化4年卯12月日	横長半・1冊(6丁墨)	38-3-2
(辰年田方畑方御年貢勘定取立帳関係綴)	(文化5年11月)	綴/(38-4-1～2は一綴)・1綴	38-4
当辰田方御年貢勘定取立帳 百姓房次郎(印)・同源次郎(印)・同甚五郎(印)・同要蔵(印)・同幸七(印)・同東伊庵・同藤右衛門(印)・百姓代嘉助(印)・与頭五三郎(印)・名主善九郎	文化5年辰11月日	横長半・1冊(8丁墨)	38-4-1
畑方御年貢取立帳 百姓房次郎(印)・同藤右衛門・同源次郎(印)・同東伊庵分・同佐兵衛・同幸七(印)・幸吉(印)・同甚五郎・同要蔵・同嘉助(印)・百姓代豊次郎・与頭五三郎(印)・名主善九郎	文化5年辰11月日	横長半・1冊(7丁墨)	38-4-2
(巳年田方畑方御年貢勘定取立帳関係綴)	(文化6年11月)	綴/(38-5-1～2は一綴)・1綴	38-5
当巳田方御年貢取立勘定帳 百姓房次郎(印)・同源次郎(印)・同甚五郎・同用蔵・同幸七(印)・同東伊庵・同藤右衛門(印)・百姓代嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化6年巳11月	横長半・1冊(5丁墨)	38-5-1
畑方御年貢勘定帳 百姓幸七(印)・同房次郎(印)・同藤右衛門(印)・同源次郎・同東伊庵・同佐兵衛・同儀右衛門(印)・同甚五郎・同要蔵・同嘉助・百姓代豊次郎(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化6年巳11月	横長半・1冊(6丁墨)	38-5-2
(午年田方畑方御年貢取立帳関係綴)	(文化7年午11月～12月)	綴/(38-6-1～3は一綴)・1綴	38-6
当午ノ田方御年貢取立帳 百姓房次郎(印)・同源次郎(印)・同甚五郎・同要蔵・同幸七・同東伊庵分・同藤右衛門・百姓代嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化7年午11月日	横長半・1冊(6丁墨)	38-6-1
当午ノ畑方御年貢勘定帳 百姓幸七・同房次郎(印)・同藤右衛門・同源次郎(印)・同東伊庵・同豊次郎・同佐兵衛・同儀右衛門(印)・同要蔵・百姓代嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化7年午11月吉日	横長半・1冊(7丁墨)	38-6-2
当午ノ畑方御年貢小物成指引勘定帳 寺方村名主善九郎	文化7年12月日	横長半・1冊(6丁墨)	38-6-3
(未年田方畑方御年貢取立帳関係綴)	(文化8年11月～12月)	綴/(38-7-1～2は一綴)・1綴	38-7
当未ノ田方御年貢取立帳 百姓房次郎(印)・同源次郎(印)・同要蔵・同幸七(印)・同東伊庵・同藤右衛門・百姓代嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化8年11月日	横長半・1冊(7丁墨)	38-7-1

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/10.取立勘定

未ノ畑方御年貢勘定帳・畑方小物成差引帳 百姓房次郎・同藤右衛門・同源次郎(印)・同東伊庵・幸七(印)・同豊次郎・同佐兵衛・同儀右衛門(印)・同要蔵・百姓代嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化8年末ノ(11月~12月)	横長半・1冊<11丁墨>	38-7-2
(申年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文化9年11月~12月)	綴/(38-8-1~2は一綴)・1綴	38-8
当申ノ田方御年貢取立帳 百姓房次郎(印)・同源次郎(印)・幸七(印)・同東伊庵・同藤右衛門・百姓代嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化9年申ノ11月日	横長半・1冊<7丁墨>	38-8-1
申ノ畑方御年貢勘定帳・畑方小物成差引帳 百姓房次郎・同藤右衛門・同源次郎(印)・同東伊庵・幸七(印)・同豊次郎・同佐兵衛・同儀右衛門(印)・同要蔵・百姓代嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化9年申ノ12月吉日	横長半・1冊<11丁墨>	38-8-2
(酉年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文化10年12月)	綴/(38-9-1~2は一綴)・1綴	38-9
当酉ノ田方御年貢取立帳 百姓房次郎・同源次郎・幸七・同東伊庵・同藤右衛門・百姓代嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化10年酉ノ極月日	横長半・1冊<7丁墨>	38-9-1
酉畑方御年貢勘定帳并小物差引 百姓房次郎・同藤右衛門・同源次郎(印)・同東伊庵・同幸七・同豊次郎・同佐兵衛・同儀右衛門・百姓代嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化10年酉ノ12月吉日	横長半・1冊<11丁墨>	38-9-2
(亥年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文化12年12月)	綴/(38-10-1~2は一綴)・1綴	38-10
当亥ノ田方御年貢取立帳 百姓房次郎・同源次郎・幸七(印)・東伊庵・藤右衛門・嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化12年亥極月日	横長半・1冊<7丁墨>	38-10-1
亥畑方御年貢勘定并小物差引帳 百姓房次郎(印)・同藤右衛門(印)・同源次郎・同東伊庵・同幸七・同豊次郎(印)・同与一・同儀右衛門・同嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化12年亥極月日	横長半・1冊<12丁墨>	38-10-2
(子年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文化13年12月)	綴/(38-11-1~2は一綴)・1綴	38-11
当子ノ田方御年貢取立帳 百姓房次郎・同源次郎・同幸七(印)・同東伊庵・同藤右衛門(印)・同嘉助(印)・組頭五三郎・名主善九郎	文化13年子ノ12月吉日	横長半・1冊<7丁墨>	38-11-1
当子ノ畑方御年貢勘定并小物差引帳 百姓房次郎・同藤右衛門(印)・同源次郎・同東伊庵・同幸七(印)・同豊次郎・同与市・同儀右衛門・同嘉助(印)・組頭五三郎・名主善九郎	文化13年子ノ12月吉日	横長半・1冊<10丁墨>	38-11-2
(丑年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文化14年11月)	綴/(45-6-1~2は一綴)・1綴	45-6
当丑ノ田方御年貢取立帳 百姓房次郎・同源次郎・同幸七(印)・同東伊庵・同藤右衛門(印)・同嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化14年11月日	横長半・1冊<7丁墨>	45-6-1
当丑畑方御年貢取立帳 百姓房次郎・同藤右衛門(印)・同源次郎・同東伊庵・同幸七(印)・同豊次郎・同与市・同儀右衛門(印)・同嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化14年11月日	横長半・1冊<11丁墨>	45-6-2
(寅年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文政元年11月)	綴/(38-12-1~2は一綴)・1綴	38-12
当寅ノ田方御年貢取立帳	文政元年寅ノ11月日	横長半・1冊<6丁墨>	38-12-1

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/10.取立勘定

当寅ノ御年貢取立帳 百姓房次郎・藤右衛門(印)・源次郎 ・東伊庵・幸七(印)・豊次郎・与市・義右衛門・嘉助・組頭五三 郎(印)・名主善九郎	文政元年寅11月日	横長半・1冊(6丁 墨)	38-12-2
(卯年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文政2年11月)	綴/(38-13-1~2 は一綴)・1綴	38-13
当卯ノ田方御年貢取立帳 百姓房次郎・同源次郎(印)・同 藤右衛門(印)・同東伊庵・同幸七(印)・同豊次郎・同与市・同 儀右衛門・同嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文政2年11月日	横長半・1冊(6丁 墨)	38-13-1
当卯ノ畑方御年貢取立帳 百姓房次郎・同藤右衛門(印)・ 同源次郎(印)・同東伊庵・同幸七(印)・同豊次郎・同与市・同 儀右衛門・百姓嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文政2年11月日	横長半・1冊(11 丁墨)	38-13-2
(巳年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文政4年11月)	綴/(38-14-1~2 は一綴)・1綴	38-14
巳田方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同伝蔵・同藤右衛門 ・同東伊庵・同豊次郎・同嘉助(印)・百姓代幸七(印)・組頭 五三郎(印)・名主善九郎	文政4年巳11月日	横長半・1冊(6丁 墨)	38-14-1
巳畑方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同藤右衛門・同伝蔵 ・同東伊庵・同豊次郎・同与市・同儀右衛門・同嘉助(印)・百 姓代幸七(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文政4年巳11月日	横長半・1冊(11 丁墨)	38-14-2
(申年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文政7年11月~12月)	綴/(38-15-1~2 は一綴)・1綴	38-15
申田方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同伝蔵・同藤右衛門 ・同東伊庵・同幸七・同善蔵・同嘉助・組頭五右衛門・名主善 九郎	文政7年11月日	横長半・1冊(6丁 墨)	38-15-1
申畑方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同藤右衛門・同伝蔵 (印)・同東伊庵・同幸七・同善蔵・同与市・同儀右衛門・同嘉 助・組頭五三郎・名主善九郎	文政7年申12月日	横長半・1冊(11 丁墨)	38-15-2
(戌年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文政9年11月~12月)	綴/(45-7-1~3は 一綴)・1綴	45-7
戌田方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同伝蔵・同藤右衛門 ・同東伊庵・同幸七・同善蔵・同嘉助(印)・組頭五右衛門・名 主善九郎	文政9年11月日	横長半・1冊(6丁 墨)	45-7-1
戌畑方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同藤右衛門・同伝蔵・ 同東伊庵・同幸七・同善蔵・同与市・同儀右衛門・同嘉助(印) ・組頭五右衛門・名主善九郎	文政9年12月日	横長半・1冊(11 丁墨)	45-7-2
(畑方反別・取永書上)	(文政9年12月ヵ)	横長半・1冊(3丁 墨)	45-7-3
(亥年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文政10年11月~12月)	綴/(38-16-1~2 は一綴)・1綴	38-16
田方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同伝蔵(印)・同藤右衛 門(印)・同東伊庵・同幸七・同善蔵・同嘉助・組頭五右衛門・ 名主善九郎	文政10年亥11月日	横長半・1冊(6丁 墨)	38-16-1
畑方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同藤右衛門・同伝蔵(印) ・同東伊庵・同幸七・同善蔵・同与市・同儀右衛門・同嘉助・組 頭五三郎・名主善九郎	文政10年亥12月日	横長半・1冊(7丁 墨)	38-16-2
(子年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(文政11年)11月~12月)	綴/(38-17-1~3 は一綴)・1綴	38-17

1.寺方村名主/4年貢・諸役/10.取立勘定

田方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同伝蔵(印)・同藤右衛門(印)・同東伊庵・同清蔵・同善蔵・同嘉助・組頭五三郎・名主善九郎	文政11年子ノ11月日	横長半・1冊(8丁墨)	38-17-1
(小物成差引勘定帳)	(文政11年12月)	横長半・1冊(4丁墨)	38-17-2
当子畑方御年(貢)取立帳 * (裏表紙端書)「文政十一子年田畑御年貢」 名主善九郎	文政11年亥12月日	横長半・1冊(7丁墨)	38-17-3
当丑田方畑御年貢取立帳 * (裏表紙端書)「文政十二丑年田畑御年貢」 寺方村名主善九郎	文政12年丑11月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(14丁墨)	38-18
当寅田畑御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同伝蔵・同与一・同清蔵・同善蔵・同金蔵・同藤右衛門・同東伊庵・組頭五三郎・名主善九郎	文政13年寅11月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(15丁墨)	38-19
当卯田畑御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同伝蔵・同与一・同清蔵・同善蔵・同金蔵・同要蔵・同東伊庵・藤右衛門・組頭五三郎・名主善九郎	天保2年卯11月日	横長半/(虫損あり)・1冊(17丁墨)	38-20
当辰田畑御年貢取立帳 寺方村百姓彦右衛門・同与市・同善蔵・同清蔵・同藤右衛門・同金蔵・同伝蔵・儀右衛門・同要蔵・同東伊庵・組頭五三郎・名主善九郎	天保3年辰11月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(19丁墨)	38-21
(巳年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(天保4年11月~12月)	綴/(38-22-1~2は一綴)・1綴	38-22
田方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同与市・同善蔵・同清蔵・同藤右衛門・同金蔵・同伝蔵・儀右衛門・同東伊庵・同要蔵・組頭五三郎・名主善九郎	天保4年巳11月日	横長半・1冊(14丁墨)	38-22-1
畑方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同善蔵・同与市・同清蔵・同藤右衛門・同金蔵・同伝蔵・儀右衛門・同東伊庵・同要蔵・組頭五三郎・名主善九郎	天保4年巳12月日	横長半・1冊(6丁墨)	38-22-2
(申年田方畑方年貢取立帳関係綴)	(天保7年11月~12月)	綴/(38-23-1~2は一綴)・1綴	38-23
当申田方御年貢取立帳 百姓彦右衛門・同善蔵・同与市・同清蔵・同藤右衛門・同嘉左衛門・同清次郎・儀右衛門・同東伊庵・組頭五右衛門・名主善九郎	天保7年申11月日	横長半・1冊(13丁墨)	38-23-1
畑方御年貢勘定・小物成差引帳 寺方村名主善九郎	天保7年申12月日	横長半・1冊(5丁墨)	38-23-2
田方御年貢取立帳 名主善九郎	天保7年申11月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(6丁墨)	38-24
田方御年貢取立帳 名主善九郎	天保7年申11月	横長半/(破損)・1冊(8丁墨)	490
田畑御年貢取立帳 百姓彦右衛門・与市・善蔵・与左衛門・幸次郎・嘉助・清次郎・要蔵・儀右衛門・東伊庵・五右衛門・名主善九郎	天保9年戌11月日	横長半/(虫損甚大)/(破損あり)/(綴じ紙縫脱)・1冊(15丁墨)	38-25
田畑御年貢取立帳 名主善九郎	天保11年子11月日	横長半/(虫損甚大)/(破損・水損あり)・1冊(15丁墨)	38-26
田畑御年貢取立帳 名主善九郎	天保12年丑11月日	横長半/(虫損甚大)/(破損・水損あり)・1冊(16丁墨)	38-27

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/10.取立勘定

田畑御年貢取立帳	寺方村	天保13年寅11月	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)/(表紙剥離)・1冊(9丁墨)	38-28
田畑御年貢取立帳	名主善九郎	天保13年寅11月日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(17丁墨)	38-29
田方御年貢取立帳		天保13年寅11月	横長半/(虫損・破損甚大、展開不能)・1冊	334-3
田畑御年貢取立帳		天保14年卯11月日	横長半/(虫損・鼠食損甚大)/(貼紙あり)・1冊(21丁墨)	38-30
田畑御年貢取立帳	* (下書) 善九郎	天保14年卯11月	横長半/(破損あり)・1冊(11丁墨)	471
田畑御年貢取立帳	名主善九郎	天保15年辰11月日	横長半/(虫損あり)・1冊(24丁墨)	38-31
田方御年貢取立帳	名主善九郎	天保15年辰11月日	横長半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(7丁墨)	47-13
田方御年貢取立帳	名主善九郎	弘化2年巳11月日	横長半・1冊(5丁墨)	47-1
田畑御年貢取立帳	名主善九郎	弘化3年午11月日	横長半/(虫損甚大)/(破損・水損あり)・1冊(17丁墨)	38-32
田畑御年貢取立帳	名主善九郎	弘化4年未11月日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(21丁墨)	38-33
田畑御年貢取立帳	名主平右衛門	加(嘉)永元年申11月日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(19丁墨)	38-34
田畑御年貢取立帳	名主平右衛門	加(嘉)永2年酉11月日	横長半/(虫損あり)・1冊(20丁墨)	38-35
田畑御年貢取立帳	* (表紙後筆)「入用」 名主平右衛門	加(嘉)永3年戌11月日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(20丁墨)	38-36
田畑御年貢取立帳	名主平右衛門	加(嘉)永4年亥11月日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(20丁墨)	38-37
田方御年貢取立帳	名主平右衛門	嘉永6年丑11月	横長半/(破損あり)・1冊(3丁墨)	463
田畑御年貢取立帳	名主善九郎	安政2年卯12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(18丁墨)	38-38
田方御年貢取立帳	名主善九郎	安政3年辰11月	横長半・1冊(3丁墨)	47-2
田畑御年貢取立帳	* (後欠) 名主善四郎	安政3年辰12月	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(4丁墨)	505

1.寺方村名主/4年貢・諸役/10.取立勘定

巳田方御年貢取立覚帳 名主善九郎	安政4年巳11月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	47-3
田畑御年貢取立覚帳 名主善九郎	安政4年巳12月吉日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(16丁墨)	38-39
午田方御年貢取立帳 名主善四郎	安政5年午11月	横長半/(破損甚大)・1冊(3丁墨)	482
田畑御年貢取立覚帳 名主善九郎	安政5年午12月吉日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(15丁墨)	38-40
田畑御年貢取立覚帳 名主善九郎	(安政6年未11月カ)	横長半/(破損あり)・1冊(13丁墨)	460
田方御年貢取立覚帳 名主善四郎	安政6年未11月	横長半/(破損甚大)・1冊(3丁墨)	481
田方御年貢取立覚帳 名主善九郎	万延元年申11月16日	横長半・1冊(3丁墨)	47-4
田畑御年貢取立帳 名主善九郎	万延元申年12月吉日	横長半/(虫損あり)・1冊(12丁墨)	38-41
田方御年貢取立帳 名主代長松	文久2年戌11月22日	横長半/(破損あり)・1冊(3丁墨)	466
畑方御年貢取立帳 名主代	文久2年戌12月5日	横長半/(破損あり)・1冊(3丁墨)	464
御年貢皆済取立帳 立会人長松・善四郎	文久3年亥12月22日	横長半/(破損甚大)・1冊(3丁墨)	480
畑方御年貢勘定帳 百姓惣三郎(印)・同豊治郎(印)・同幸治郎(印)・同寅吉(印)・同幸内(印)・同代三郎(印)・同伊三郎(印)・同栄三郎(印)・同清治郎(印)・同隼太郎(印)・同銀蔵(印)・同喜六(印)・同儀宗・同東井庵[印]・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	元治元子6月日	横長半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	50-6
田方御年貢取立帳 *(表紙後筆)「済」 寺方善四郎	元治元子12□(月)7日	横長半/(表紙下部破損)・1冊(2丁墨)	47-5
畑方御年貢勘定帳 百姓惣三郎(印)・同豊治郎(印)・同幸治郎(印)・同寅吉(印)・同幸内(印)・同代三郎(印)・同伊三郎(印)・同栄三郎(印)・同清治郎(印)・同隼太郎(印)・同銀蔵(印)・同喜六(印)・同儀宗・東井庵[印]・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	慶応元丑年6月	横長半/(虫損あり)・1冊(9丁墨)	50-7
御年貢米取立帳 *(表紙後筆)「済」 寺方村善四郎	慶応元丑11月日	横長半・1冊(4丁墨)	47-6
畑方御年貢勘定帳 百姓惣三郎(印)・同豊治郎(印)・同幸治郎(印)・同寅吉(印)・同幸内(印)・同代三郎(印)・同伊三郎(印)・同栄三郎(印)・同清治郎(印)・同隼太郎(印)・同銀蔵(印)・同喜六(印)・儀宗・同東井庵・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	慶応2寅年6月	横長半/(虫損あり)・1冊(9丁墨)	50-8
田方御年貢米取立帳 *(表紙後筆)「済」 (寺方村)名主善四郎	慶応2寅11月日	横長半・1冊(5丁墨)	47-7
田方御年貢取立帳 *(表紙後筆)「済」 寺方村善四郎	慶応3卯12月日	横長半/(水損あり)・1冊(2丁墨)	47-8

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/10.取立勘定

田方御年貢取立帳 百姓幸次郎(印)・代三郎(印)・東井庵[印]・越石源次郎(印)・栄三郎(印)・隼太郎(印)・伊三郎(印)・吉兵衛(印)・清左衛門(印)・惣八(印)・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	明治元辰年12月	横長半/(貼紙あり)・1冊(9丁墨)	47-9
畑方御年貢取立帳 百姓幸治郎(印)・寅吉(印)・豊治郎(印)・代三郎(印)・惣三郎・越石清治郎(印)・栄三郎(印)・隼太郎(印)・銀蔵(印)・伊三郎(印)・幸内(印)・喜六(印)・惣八(印)・吉兵衛(印)・清右衛門(印)・儀宗・東井庵[印]・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	明治元年辰ノ12月	横長半/(紙縫破損)・1冊(18丁墨)	48-2
田方御年貢帳 (寺方村)	明治2年巳正月日	横長半/(水損あり)・1冊(5丁墨)	47-10
(巳年田畑御年貢取立帳関係綴)	(明治2年3月)	綴/(38-42-1~2は一綴)・1綴	38-42
田畑御年貢取立帳 (寺方村)	明治2巳年3月	横長半・1冊(6丁墨)	38-42-1
畑方御年貢取立帳 (寺方村)	明治2巳年3月	横長半・1冊(13丁墨)	38-42-2
(御年貢取立帳) * (断簡)	(近世)未12月	横長半/(破損甚大)・1冊	478
(村立ち会いにて取米勘定帳) * (前欠) 百姓房次郎(印)・同源次郎・同幸七(印)・東伊庵(印)・藤右衛門(印)・嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	(近世)戌12月	横長半/(綴じ外れ)/(破損甚大)・1冊(2丁墨)	368
田畑御年貢取立帳 * (表紙のみ) 名主	(近世)亥11月	横長半/(虫損あり)・1冊	349
[](御年貢取)立帳 名主代長松	(近世)3年[]月17日	横長半/(破損甚大)・1冊(3丁墨)	512
(寺方要蔵分ほか田方御年貢取立書上)	(近世)	横長半/(虫損甚大)・1冊(2丁墨)	312
(御年貢取立勘定帳) * (前欠)	(近世)	横長半/(虫損甚大)・1冊(13丁墨)	326
(畑方御年貢取立勘定帳カ) * (断簡)/反故紙を再利用	(近世)	横折紙・1通	383
(二郎左衛門ほか田畑屋敷取米永書上)	(近世)	横折紙・1通	384
(畑方御年貢取立勘定帳カ) * 裏面に覚(訴訟文断簡)あり	(近世)	横折紙・1通	386
(御年貢取立帳) * (前欠)	(近世)	横長半/(貼紙あり)/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	392-2
(房次郎分ほか取立年貢書上)	(近世)	横長半・1冊(2丁墨)	396
(辰年只七分ほか取立年貢書上)	(近世)	横長半・1冊(2丁墨)	443
(御年貢取立帳)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	467-1
(御年貢米取立帳) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	489

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/10.取立勘定

(畑方御年貢取立帳) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊<2丁墨>	535
(畑方御年貢取立帳) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊<8丁墨>	537
(田方御年貢取立帳)	(近世)	横長半/(破損あり)・1冊<7丁墨>	549

1.4.11.小物成・高掛物

曾我七兵衛様 荏御年貢請取帳 寺方村名主平右衛門	享保8年卯ノ10月	横長半/(鼠食損あり)・1冊<2丁墨>	126
小物成勘定帳(大豆代・荏代・草わら代等に付) 百性惣三郎(印)・豊治郎(印)・幸治郎(印)・寅吉(印)・幸内(印)・代三郎(印)・伊三郎(印)・栄三郎(印)・源太郎(印)・隼太郎(印)・銀蔵(印)・喜六(印)・幾太郎(印)・儀宗・東井庵(印)・吉兵衛(印)・名主善四郎(印)・組頭長松(印)・百性代政吉(印)	慶応元年丑12月	横長半・1冊<7丁墨>	118-1
小物成勘定帳(大豆代・荏代・草わら代等に付) 百性惣三郎(印)・豊治郎(印)・幸治郎(印)・寅吉(印)・幸内(印)・代三郎(印)・伊三郎(印)・栄三郎(印)・源太郎(印)・隼太郎(印)・銀蔵(印)・喜六(印)・儀宗・東井庵(印)・清左衛門(印)・惣八(印)・吉兵衛(印)・名主善四郎(印)・組頭長松(印)・百性代政吉(印)	慶応2年寅12月	横長半・1冊<7丁墨>	118-2
(高掛物に付勘定差引覚) * (前後欠)	(近世)	横折紙/(破損甚大)・1通	428
(高掛物に付覚) * (断簡)	(近世)	横折紙/(破損甚大)・1通	433
[]小物[](成帳カ)	(近世)天[]	横長半/(破損甚大)/(展開不能)・1冊	451

1.4.12.国役金

当午ノ国役割付覚帳 寺方村名主	寛政10年10月吉日	横長半/(鼠食損あり)・1冊<2丁墨>	65
当丑ノ国役勘定帳 寺方村名主	文化2年10月日	横長半/(虫損甚大)・1冊<3丁墨>	66
(川々国役金・寿徳寺御朱印地国役書上) 寺方村	(近世)	堅切紙/(虫損あり)・1通	218-8
亥年国役割	(近世)	切紙/(虫損甚大)・1通	444
(川々国役ほか勘定書上) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊<1丁墨>	536

1.4.13.石代納・払米

当辰御年貢米売渡申前金之事(金2両請取に付) 寺方村名主善次郎(印)・組頭太郎兵衛(印)・口入証人佐七(印) → 関戸村佐七殿	天明4辰年11月	堅紙・1通	200
---	----------	-------	-----

(米相場5番より10番まで売掛書上)	(近世)	半・1冊<5丁墨>	295-16
(米売却に付受取金を永に勘定し直した旨書付) * (断簡)	(近世)	横折紙・1通	555

1.4.14.皆済勘定

寛文七年未拾貳月二日勘定帳(幕領分) 五右衛門・市右衛門・藤右衛門(印)・太郎右衛門(印)・吉藏(印)・七左衛門(印)・与兵衛・彦右衛門(印)・七郎右衛門(印)・加左衛門(印)・喜兵衛(印)・吉左衛門(印)・小右衛門(印)・七右衛門(印)	(寛文7年未12月2日)	横長半/(鼠食損甚大)・1冊<7丁墨>	39
延宝貳年寅ノ極月勘定帳(幕領分) 日野領内寺方村	(延宝2年寅極月)	横長半/(虫損甚大)・1冊<6丁墨>	40-1
延宝四年辰ノ十一月日御年貢米数之覚(幕領分) (寺方村)	(延宝4年辰11月日)	横長半/(虫損甚大)・1冊<5丁墨>	40-2
子御年貢田畑勘定帳(幕領分) 寺方村組頭長左衛門(印)・同七郎右衛門(印)・百姓善兵衛・同五平次・久右衛門・善三郎(印)・多兵衛(印)・久五郎(印)・加右衛門(印)・二郎左衛門(印)・半三郎(印)・三五郎(印)・五右衛門	元禄9年子12月10日	横長半/(鼠食損あり)・1冊<9丁墨>	41
酉年勘定帳 * (表紙後筆)「浅井様」 寺方村	宝永2年酉11月吉日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊<14丁墨>	43-1
当午ノ御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「曾我様」 七郎右衛門・藤右衛門・長三郎・庄左衛門・佐右衛門・善兵衛・佐五右衛門	正徳4年午11月	横長半/(虫損あり)・1冊<10丁墨>	44-1
当未ノ御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「浅井様」 寺方村	正徳5年未ノ11月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊<8丁墨>	43-2
当酉御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「曾我様」 七郎右衛門・庄左衛門・長三郎・定右衛門・藤右衛門・善兵衛・とうい(あ)ん	享保2年酉ノ9月	横長半/(丁くずれ)/(虫損あり)・1冊<10丁墨>	44-2
当戌御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「曾我様」 寺方村名主善右衛門	享保3年戌ノ閏10月	横長半/(虫損あり)・1冊<7丁墨>	44-3
当亥ノ御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「浅井様」 寺方村名主善右衛門	享保4年亥ノ10月	横長半/(虫損・水損あり)/(破損甚大)・1冊<11丁墨>	43-3
当酉之御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「曾」 庄左衛門(印)・彦右衛門(印)・定右衛門(印)・善兵衛(印)・藤右衛門(印)・佐五右衛門(印)・喜兵衛(印)・利右衛門(印)	享保14年酉之11月日	横長半/(虫損あり)・1冊<10丁墨>	44-4
当未之御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「曾我七兵衛様」 百姓彦右衛門(印)・同庄左衛門(印)・同善兵衛(印)・同定右衛門(印)・同藤右衛門(印)・組頭喜兵衛(印)・利右衛門(印)・名主平右衛門(印)	元文4年未之11月	横長半/(虫損あり)・1冊<12丁墨>	44-5
当申之田畑[](御年貢勘定帳) * (表紙後筆)「下屋」 権右衛門(印)・重左衛門(印)・寿徳寺(印)・太郎右衛門(印)・長右衛門(印)・佐五右衛門(印)・藤右衛門(印)・善兵衛(印)・与兵衛(印)・定右衛門(印)・伝兵衛(印)・平右衛門・利右衛門(印)	元文5年申ノ12月	横長半/(鼠食損あり)・1冊<9丁墨>	42-1
田畑御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「浅井様」 重左衛門・次郎左衛門(印)・与兵衛(印)・太郎右衛門(印)・佐五右衛門・長右衛門(印)・藤右衛門(印)・定右衛門(印)・善兵衛(印)・寿徳寺(印)・伝兵衛・平右衛門(印)・(名主)五右衛門	延享元年子ノ11月	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊<11丁墨>	43-4

1.寺方村名主/4年貢・諸役/14.皆済勘定

浅井様当酉ノ御年貢勘定帳 百姓十左衛門(印)・同長右衛門(印)・同多郎右衛門(印)・同与兵衛(印)・同佐五右衛門(印)・同権右衛門(印)・同東伊庵・同市右衛門(印)・同定右衛門(印)・同藤右衛門(印)・組頭伝兵衛(印)・名主五右衛門(印)・名主善右衛門(印)	宝暦3年酉ノ11月日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊<12丁墨>	43-5
曾我様当戌御年貢勘定帳 百姓彦右衛門(印)・喜兵衛(印)・加左衛門(印)・市右衛門(印)・藤右衛門(印)・只七・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門	宝暦4年戌ノ11月日	横長半/(虫損あり)・1冊<11丁墨>	44-6
(御年貢勘定帳綴)	(宝暦9年11月)	綴/(44-7-1~2は一綴)・1綴	44-7
当卯ノ御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「曾我様」 百姓彦右衛門(印)・同太右衛門(印)・同加左衛門(印)・同佐五右衛門(印)・同孫兵衛(印)・同藤右衛門(印)・同学仙[印]・同只七(印)・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門(印)	宝暦9年卯ノ11月	横長半・1冊<7丁墨>	44-7-1
当卯ノ御年貢勘定帳(浅井知行所分) 百姓兵右衛門(印)・同佐五右衛門(印)・同甚右衛門(印)・同権右衛門(印)・太郎右衛門(印)・同長右衛門(印)・同東伊庵(印)・同孫兵衛(印)・同只七(印)・同定右衛門(印)・藤右衛門(印)・組頭太兵衛(印)・名主善右衛門(印)	宝暦9年卯11月	横長半・1冊<10丁墨>	44-7-2
(田畑上納・先納金勘定帳) 寺方村善右衛門→村井弥助様	宝暦10年辰極月	半/(虫損あり)・1冊<3丁墨>	127
当巳ノ御年貢勘定帳 * (表紙後筆)「浅井様」 百姓兵右衛門(印)・同佐五右衛門(印)・同甚右衛門(印)・同権右衛門(印)・同太郎右衛門(印)・同治兵衛(印)・同東伊庵(印)・同孫兵衛(印)・同定右衛門(印)・同只七(印)・同藤右衛門(印)・組頭太兵衛(印)・名主善右衛門	宝暦11年巳ノ11月	横長半/(虫損・水損あり)/(破損甚大)・1冊<12丁墨>	43-6
(御年貢勘定帳関係綴)	(宝暦12年11月~12月)	綴/(42-2-1~2は一綴)・1綴	42-2
(当午ノ御年貢田畑勘定帳 曾我知行所分) 百姓彦右衛門(印)・太右衛門(印)・嘉左衛門(印)・作五右衛門(印)・孫兵衛(印)・学仙(印)・只七(印)・藤右衛門(印)・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門(印)・(奥書)定右衛門(印)・藤右衛門(印)善右衛門(印)	宝暦12年午12月	横長半・1冊<12丁墨>	42-2-1
当午ノ御年貢田畑勘定帳(浅井知行所分) 百姓兵右衛門(印)・同作五右衛門(印)・同甚右衛門(印)・同権右衛門(印)・同太郎右衛門(印)・同治兵衛(印)・同東伊庵(印)・同孫兵衛(印)・同定右衛門(印)・同只七(印)・同藤右衛門(印)・組頭太兵衛(印)・名主善右衛門(印)	宝暦12年午ノ11月	横長半・1冊<12丁墨>	42-2-2
(寺方村御年貢勘定帳) * (前欠) 百姓甚右衛門(印)・同兵右衛門(印)・同佐五右衛門(印)・同権右衛門(印)・同太郎右衛門(印)・同治兵衛(印)・同東伊庵(印)・同孫兵衛(印)・同定右衛門(印)・同只七(印)・同藤右衛門(印)・組頭太郎兵衛(印)・名主善右衛門(印)	宝暦13年未ノ12月	横長半・1冊<4丁墨>	173-11
当申ノ御年貢[](田畑勘定帳) * (後欠)	明和元年申ノ12月日	横長半/(表紙下部破損)・1冊<13丁墨>	42-3
(御年貢勘定帳関係綴)	(明和2年12月)	綴/(42-4-1~2は一綴)/(虫損あり)・1綴	42-4

当酉ノ御[](年貢勘定田畑帳 曾我知行所分) 藤右衛門(印)・彦右衛門(印)・太右衛門(印)・嘉左衛門(印)・作五右衛門・学仙[印]・孫兵衛(印)・只七(印)・定右衛門(印)・善右衛門	明和2酉ノ年12月	横長半・1冊(9丁墨)	42-4-1
当酉ノ御年貢勘定田畑帳(浅井知行所分) 百姓兵右衛門(印)・同甚右衛門(印)・同作五右衛門(印)・同權右衛門(印)・同太郎右衛門(印)・同治兵衛(印)・同東伊庵(印)・同孫兵衛(印)・同定右衛門(印)・同只七(印)・同藤右衛門(印)・組頭太兵衛(印)・名主善右衛門	明和2年酉ノ12月日	横長半・1冊(11丁墨)	42-4-2
(田畑御年貢勘定帳関係綴)	(明和8年11月)	綴/(42-5-1~2は一綴)・1綴	42-5
当卯ノ田畑御年貢勘定帳(曾我知行所分) 寺方村百姓 藤右衛門・同彦右衛門(印)・同太左衛門(印)・同作五右衛門(印)・同嘉左衛門(印)・同千丈・同只七(印)・同孫兵[]・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門	(明和8年)卯ノ11月	横長半・1冊(12丁墨)	42-5-1
当卯ノ田畑御年貢勘定帳(浅井知行所分カ) *(後欠) 寺方村名主善右衛門	明和8年卯ノ11月	横長半・1冊(9丁墨)	42-5-2
当辰ノ田畑御年貢勘定帳 *(後欠) 寺方村名主善右衛門	安永元年辰12月	横長半/(綴じ外れ)・1冊(3丁墨)	456
当巳ノ御年貢田畑勘定帳 *(表紙のみ) 寺方村名主善右衛門	安永2年巳11月	縦紙・1通	408
当午ノ御年貢田畑勘定帳 *(後欠) 寺方村名主善右衛門	安永3年午ノ12月	横長半/(鼠食損甚大)/(3丁目と4丁目間に紙縫挟み込みあり)・1冊(6丁墨)	42-6
(御年貢勘定帳関係綴)	(安永8年12月)	綴/(42-15-1~2は一綴)・1綴	42-15
(田畑御年貢勘定帳) *(前欠) 百姓代藤右衛門・甚助(印)・太右衛門(印)・佐七・孫市・千丈・權六・只七・組頭定右衛門(印)・名主善次	(安永8年)亥12月	横長半・1冊(7丁墨)	42-15-1
当亥御年貢帳 藤右衛門・兵右衛門・源二郎・久藏(印)・作五右衛門(印)・太郎右衛門(印)・東伊庵・七兵衛(印)・孫兵衛・只七・定右衛門(印)・太郎兵衛(印)・善次・兵右衛門(印)	安永8年12月	横長半・1冊(8丁墨)	42-15-2
御年貢勘定帳 藤右衛門(印)・兵右衛門・源二郎(印)・久藏(印)・佐七(印)・太郎右衛門(印)・東伊庵[印]・孫兵衛・只七・幸七(印)・七兵衛(印)・八十郎・太兵衛(印)・善次	(天明2年寅)12月	横長半/(虫損あり)・1冊(17丁墨)	42-7
当未御年貢帳 寺方村名主善次	天明7年11月	横長半/(鼠食損甚大)/(展開不能)・1冊(13丁墨)	441
当亥御年(貢)帳 *(表紙後筆)「浅井様」 重兵衛・次郎八(印)・佐七(印)・源二郎(印)・久藏・幸七(印)・忠次(印)・幸吉(印)・五三郎・名主善次・同伝兵衛	寛政3年12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(9丁墨)	43-7
当亥御年貢帳 寺方村	寛政3年12月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(9丁墨)	523
(御年貢帳関係綴)	(寛政4年11月)	綴/(42-8-1~2は一綴)・1綴	42-8

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/14.皆済勘定

当子ノ御年貢帳(浅井知行所分カ) *表題墨消あり 只七・権六・甚助・弥八・藤五郎・忠七・孫兵衛・寿徳寺・作七(印)・名主善次郎・組頭幸七(印)	寛政4年子ノ11月吉日	横長半/(42-8-1~2は一綴)・1冊(8丁墨)	42-8-1
当子ノ御年貢帳(曾我知行所分カ) 名主善次(郎)・組頭伝兵衛(印)・忠次・源次(印)・久蔵・作七(印)・太郎右衛門・東伊庵・源兵衛・只七・幸七・幸吉(印)・重兵衛	寛政4年子11月吉日	横長半/(42-8-1~2は一綴)・1冊(8丁墨)	42-8-2
(御年貢勘定帳関係綴)	(寛政8年11月~12月)	綴/(42-9-1~2は一綴)・1綴	42-9
(曾我知行所分御年貢皆済勘定帳) *(前欠) 百姓同五三郎(印)・同嘉助(印)・同忠七(印)・同甚助(印)・同源次郎(印)・同忠次郎・同孫兵衛・組頭幸七(印)・名主善右衛門	寛政8辰12月	横長半・1冊(7丁墨)	42-9-1
水押場所引方被下割合勘定帳 寺方村名主善右衛門	寛政8年辰ノ11月	横長半・1冊(2丁墨)	42-9-2
(田方御年貢勘定帳等横帳一括)	(寛政11年~明治3年)	括り紐一括/(538-1~3は括り紐一括)・1点	538
田方御年貢勘定帳 百姓甚助(印)・佐七(印)・忠七(印)・孫之口(印)・幸七(印)・嘉助(印)・五三郎(印)・東院庵・組頭忠八郎・名主善九郎	寛政11年末12月	横長半・1冊(6丁墨)	538-1
御地頭所御下ケ金割渡帳 名主平右衛門	嘉永2年酉12月	横長半・1冊(3丁墨)	538-2
十五より六十迄一日壱人ニ付銭式文請取帳(凶賢用意貯金に付) 寺方村	明治3年午7月日	横長半/(破損あり)・1冊(18丁墨)	538-3
当申ノ畑方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓五三郎・同幸七・同忠次・同源次・同孫兵衛・同甚助・同嘉助・同豊次・同東伊庵・同佐七・名主善九郎	寛政12年庚(マ)11月日	横長半/(丁くずれ)/(虫損・水損あり)・1冊(8丁墨)	50-1
御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓孫兵衛[印]・同五三郎(印)・同幸七(印)・同甚助(印)・同豊次(印)・同忠治郎(印)・同嘉助(印)・同源次(印)・東伊庵・名主善九郎(印)	かんいせ(寛政)12年申12月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(4丁墨)	42-10
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓甚助(印)・同佐七(印)・同忠七(印)・同善兵衛[印]・同幸七(印)・同嘉助(印)・同五三郎(印)・同東院碗・忠次郎(印)・名主組頭兼善九郎(印)	寛政12年庚申の12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	45-1
酉畑御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓甚助(印)・同豊次郎(印)・佐七・同忠次郎(印)・同嘉助(印)・同五三郎・同幸七(印)・同源次郎(印)・同東伊庵・同孫兵衛・名主善九郎	享和元年11月日	横長半/(丁くずれ)/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	50-2
当酉田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 多摩郡寺方村名主善九郎	享和元年酉11月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(9丁墨)	442
(御年貢勘定帳綴)	(享和3年11月)	綴/(45-2-1~2は一綴)・1綴	45-2
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓房次郎(印)・同佐七(印)・同忠七(印)・同宗助(印)・同幸七(印)・同嘉助(印)・同東伊庵[印]・同忠次郎(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	享和3年亥11月日	横長半・1冊(8丁墨)	45-2-1
当亥畑方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓房次郎(印)・同曾次郎(印)・同忠次郎・同源次郎・同東伊庵[印]・同佐七(印)・同孫兵衛・同幸七(印)・同忠七(印)・同幸吉(印)・同惣助(印)・百姓代嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	享和3亥年11月日	横長半・1冊(7丁墨)	45-2-2

(御年貢勘定帳綴)	(文化元年11月～12月)	綴/(45-3-1～2は一綴)・1綴	45-3
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓房次郎(印)・同佐七・同忠七[印]・同惣助(印)・同幸七(印)・同東伊庵・同嘉助(印)・同忠次郎・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化元子年11月日	横長半・1冊(8丁墨)	45-3-1
当子ノ畑方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓幸吉(印)・房治郎(印)・同曾次郎(印)・同忠次郎・同源次郎(印)・同東伊庵・同佐七・同幸七(印)・同忠七・同惣助・同嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化元年12月日	横長半・1冊(8丁墨)	45-3-2
当子ノ畑方御年貢勘定帳 小物成差引(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎	文化元年12月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(7丁墨)	50-3
(御年貢勘定帳綴)	(文化2年11月～12月)	綴/(45-4-1～2は一綴)・1綴	45-4
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓房次郎(印)・同佐七・同忠七・同惣助(印)・同幸七(印)・同東伊庵・同嘉助(印)・同忠次郎(印)・百姓代曾次郎・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化2丑ノ11月日	横長半・1冊(8丁墨)	45-4-1
当丑畑方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓房次郎(印)・同佐七・同忠次郎(印)・同嘉助(印)・同幸七(印)・同忠七・同宗助・同源次郎(印)・同幸吉(印)・同東伊庵・百姓代曾次郎・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化2年12月日	横長半・1冊(7丁墨)	45-4-2
畑方御年貢勘定帳 小物共さし引(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎	文化2年丑ノ12月日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(5丁墨)	50-4
(御年貢勘定帳綴)	(文化3年11月～12月)	綴/(45-5-1～2は一綴)・1綴	45-5
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓房次郎(印)・同佐七・同忠七・同要蔵・同幸七・同東伊庵・同忠次郎(印)・同曾次郎・百姓代嘉助・組頭五三郎・名主善九郎	文化3寅年11月日	横長半・1冊(6丁墨)	45-5-1
当寅畑方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓房治郎(印)・同佐兵衛・同忠次郎・同幸七・同忠七・同要蔵・同源次郎(印)・同幸吉・同曾次郎(印)・東伊庵・百姓代嘉助・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化3寅年12月日	横長半・1冊(7丁墨)	45-5-2
当卯畑方御年貢小物成差引勘定帳(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎	文化4年12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	52-1
戌畑方御年貢勘定并小物差引帳(曾我知行所分) *(後欠) 百姓房次郎(印)・同藤右衛門(印)・源次郎・東伊庵・幸七(印)・豊次郎(印)・与市・文右衛門・百姓代嘉助(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎→錢払場	文化11年極月	横長半/(破損甚大)/(綴じ外れ)・1冊(9丁墨)	369
畑方御年貢小物成差引取立帳 寺方村名主善九郎	文政元年寅12月日	横長半/(虫損あり)/(紙縫破損)・1冊(5丁墨)	52-2
当戌畑方御年貢勘定 岩堰反掛出人足差引帳・村入用勘定差引帳(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎	文政9年12月吉日	横長半/(虫損甚大)・1冊(11丁墨)	52-3
当亥畑方御年貢小物成指引帳 堰反掛り人足差引勘定(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎	文政10年11月日	横長半/(虫損あり)・1冊(9丁墨)	52-4
当酉年御年貢勘定帳(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎	天保8年12月日	横長半/(丁くずれ)/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	45-8

1.寺方村名主/4年貢・諸役/14.皆済勘定

畑方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 寺方村名主	弘化3年午12月	横長半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	50-5
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓幸次郎(印)・同代三郎(印)・清治郎(印)・同栄三郎(印)・同吉兵衛(印)・同東井庵[印]・同伊三郎(印)・同隼太郎(印)・同銀蔵(印)・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	元治元子年12月	横長半/(表紙破損あり)/(水損あり)・1冊(5丁墨)	49-1
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓幸次郎(印)・同代三郎(印)・清治郎(印)・同栄三郎(印)・同吉兵衛(印)・同東井庵[印]・同伊三郎(印)・同隼太郎(印)・同幾太郎(印)・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	慶応元丑年11月日	横長半/(紙縫破損)・1冊(4丁墨)	49-2
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓幸治郎(印)・同代三郎(印)・清治郎(印)・同栄三郎(印)・同吉兵衛(印)・同東井庵[印]・同伊三郎(印)・同隼太郎(印)・同幾太郎(印)・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	慶応2寅年11月日	横長半・1冊(5丁墨)	49-3
田方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓幸治郎(印)・同代三郎(印)・清治郎(印)・同栄三郎(印)・同吉兵衛(印)・同東井庵[印]・同隼太郎(印)・同清左衛門(印)・同伊三郎(印)・同惣八(印)・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	慶応3卯年12月	横長半・1冊(5丁墨)	49-4
畑方御年貢勘定帳(曾我知行所分) 百姓惣三郎(印)・同豊治郎(印)・同幸治郎(印)・同寅吉(印)・同幸内(印)・同代三郎(印)・同伊三郎(印)・同栄三郎(印)・同清治郎(印)・同隼太郎(印)・同銀蔵(印)・同喜六(印)・同儀宗・同東井庵・百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	慶応3年卯12月	横長半・1冊(9丁墨)	50-9
[]定帳(御年貢皆済勘定に付) 佐兵衛(印)・百姓彦右衛門(印)・同彦四郎(印)・同市右衛門(印)・同嘉左衛門(印)・同藤右衛門(印)・組頭喜兵衛(印)・五右衛門(印)・平右衛門	(近世)丑之11月	横長半/(表紙上部破損)・1冊(11丁墨)	42-12
(寺方村御年貢勘定帳) 寿徳寺[印]・重左衛門(印)・次郎左衛門(印)・与兵衛(印)・太郎右衛門(印)・佐五衛門(印)・長右衛門・藤右衛門(印)・定右衛門(印)・善兵衛(印)・伝兵衛(印)・利右衛門(印)・平右[](衛門)	(近世)丑ノ11月	横長半/(紙縫破損)/(虫損あり)・1冊(14丁墨)	295-34
(田畑御年貢勘定帳) * (表紙欠) 百姓彦右衛門(印)・同定右衛門(印)・同市右衛門(印)・同藤右衛門(印)・同喜兵衛(印)・組頭嘉左衛門(印)・五右衛門(印)・名主平右衛門	(近世)巳之11月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(11丁墨)	42-14
(田畑年貢勘定帳) * (前後欠) 百姓定右衛門(印)・同長右衛門(印)・同太郎右衛門(印)・同十左衛門(印)・同与兵衛(印)・同佐五右衛門(印)・同次郎左衛門(印)・同寿徳寺(印)・同市右衛門(印)・同藤右衛門(印)・組頭伝兵衛(印)・名主五右衛門(印)・名主平右衛門(印)	(近世)巳11月	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(13丁墨)	540
畑方御年貢[]	天明(5)巳年	横長半/(破損甚大)/(展開不能)・1冊	455
(田畑御年貢勘定帳) 百姓彦右衛門(印)・同庄左衛門(印)・同善兵衛(印)・同定右衛門(印)・同喜兵衛(印)・利右衛門(印)・組頭藤右衛門(印)・名主平右衛門(印)	(近世)酉11月	横長半/(破損)・1冊(9丁墨)	552
(御年貢勘定帳の末尾連印部分) * (断簡) 百姓藤右衛門(印)・同彦右衛門(印)・同太右衛門(印)・同嘉左衛門(印)・同孫兵衛(印)・同孫兵衛(印)・同佐五右衛門・同学仙[印]・同只七(印)・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門	(近世)酉ノ12月	横切紙/(虫損あり)・1通	338
(田畑御年貢勘定帳) * (表紙欠) 百姓彦右衛門(印)・同市右衛門(印)・同定右衛門(印)・同喜兵衛(印)・同藤右衛門(印)・組頭嘉左衛門(印)・五右衛門(印)・名主平右衛門	(近世)亥之11月	横長半・1冊(10丁墨)	42-13

(田畑御年貢差引勘定帳) * (表紙欠)	(近世)	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(9丁墨)	42-11
諸役銭受取控(畑方皆済・御用金・国役・村入用等に付)	(近世)	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	68
(畑方御年貢割書付) * 持高・金子割掛書上の紙背文書使用	(近世)	横長半・1冊(1丁墨)	81-11-2
(寺方村納辻内訳ほか御年貢書上)	(近世)	半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	219
当未田畑御年貢皆済勘定 * (下書)	(近世)	半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	297-19
亥年勘定覚(御年貢納米書上) * (後欠)	(近世)	縦紙/(虫損甚大)・1通	297-94
(寺方村御年貢勘定帳) * (断簡)	(近世)	横折紙/(破損甚大)・1通	340
(田畑御年貢勘定帳) * (前後欠カ)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)・1冊(3丁墨)	452
(田畑御年貢勘定帳) * (前後欠)	(近世)	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(3丁墨)	491
[]貢[]帳(御年貢勘定帳) 名主平右衛門	(近世)	横長半/(破損甚大)・1冊(5丁墨)	510
(寺方村年貢勘定帳) * (断簡)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	541
(寺方村年貢勘定帳) * (断簡)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	542
(寺方村年貢勘定帳) * (断簡)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	557
(寺方村年貢勘定帳) * (断簡)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)・1冊(3丁墨)	558

1.4.15.年貢勘定目録・皆済目録

武州日野領寺方村午御年貢納払方勘定目録(幕領分) *(後欠) 松平清三郎代高橋与兵衛(印)・阿部七郎左衛門(印)	元禄5年申6月	縦継紙/(継目剥離)/(虫損甚大)・1通	297-99-1
(引き違いの巳年勘定相済むに付書付)	(元禄5年カ)		297-99-2
(寺方村皆済之覚 曾我知行所分) * (前欠) 阿部団進(印)・岩佐十郎兵衛(印)→寺方村善右衛門殿	元禄12己卯年2月14日	縦紙/(虫損あり)・1通	297-65-1
元禄十二己卯年寺方村皆済之覚(曾我知行所分) 阿部団進(印)・岩佐十郎兵衛(印)→寺方村善右衛門殿	元禄12己卯年12月14日	縦紙/(虫損甚大)・1通	297-21
(寺方村皆済之覚 曾我知行所分) * (前欠) 阿部団進(印)・岩佐十郎兵衛(印)→寺方村善右衛門殿	元禄14辛巳年12月12日	縦紙/(虫損あり)・1通	297-65-2
(寺方村皆済之覚 曾我知行所分) * (前欠) 阿部団進(印)・岩佐十郎兵衛(印)→寺方村善右衛門殿	元禄14辛巳年12月14日	縦紙/(虫損あり)・1通	297-65-3
(寺方村皆済之覚 曾我知行所分) * (前欠) 阿部団進(印)・岩佐十郎兵衛(印)→寺方村善右衛門殿	元禄15壬午年12月15日	縦紙/(虫損あり)・1通	297-65-4

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/15.年貢勘定目録・皆済目録

(寺方村皆済之覚 曾我知行所分) * (前欠) 阿部団進(印) ・岩佐十郎兵衛(印)→寺方村善右衛門殿	元禄16癸未年12月20日	豎紙/(虫損あり)・1通	297-65-5
日野領寺方村申之年貢皆済帳 稲生胡右衛門(印)→寺方村名主善右衛門殿	宝永元年申ノ12月9日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(2丁墨)	24-2
午年寺方村田畑年貢納方帳 稲生胡右衛門(印)	正徳4年11月	横長半/(虫損あり)・1冊(2丁墨)	24-1
納米覚 浅井様分 *(裏書)「右者目録之通酉之年貢皆済[]申候為其如件ニ御座候以上 西十二月八日 石井友右衛門(印)・中川与左衛門(印)」 善右衛門→石井友右衛門様・中川与左衛門様	享保2年酉12月	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-40
卯御年貢米永皆済勘定目録(曾我知行所分) 加藤林右衛門(印)・川喜多嘉平治(印)→寺方村名主平右衛門殿	延享4卯年12月9日	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-15
覚(当未御年貢皆済目録の通り請取に付 浅井知行所分) 浅井小右衛門内村井弥助(印)→寺方村名主善右衛門との	宝暦10年辰12月	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-69
未御年貢米永皆済勘定目録(曾我知行所分) 川喜多吉右衛門(印)・加藤林右衛門(印)→右村(武州多摩郡寺方村)名主善右衛門殿	宝暦13未年12月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-6
[]皆済勘定[](年貢皆済目録 曾我知行所分) 岩佐十郎兵衛(印)・川喜多吉右衛門(印)→右村(武州柚木領寺方村)名主善右衛門殿	明和8卯年12月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-96
[]申ノ年田畑皆済勘定目録(録) 寺方村名主善右衛門→木村条右衛門様	安永5年申ノ12月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-4-1
当酉御年貢田畑米永御皆済目録(浅井知行所分) 寺方村名主善治→浅井小右衛門様御内御役人中様	寛政元酉年11月	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-58
辰御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善右衛門→御地頭所御役人中様、(奥書)黒須儀左衛門(印)→寺方村名主善右衛門	寛政8年辰12月	半/(虫損甚大)・1冊(5丁墨)	25-1
巳御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善右衛門(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)黒須儀左衛門(印)→寺方村名主善右衛門	寛政9年巳12月	半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	25-2
午ノ御年貢皆済目録(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎(印)→御地頭様御役人中様、(奥書)美濃部彦大夫(印)→寺方村名主善九郎	寛政10年戊午ノ12月	半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	25-3
当寅御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所内安藤弓左衛門(印)	文化元年寅12月日	半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(8丁墨)	25-12
米永御年貢皆済目録(曾我知行所分) 寺方村	文化4卯年12月日	半/(破損甚大)/(展開不能)・1冊	418-2
米永御年貢皆済目録(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所(印)	文化5年辰ノ12月	半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	25-4
米永御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)石毛幸次郎(印)・青市郎右衛門(印)	文化6年巳12月	半/(鼠食損甚大)・1冊(6丁墨)	25-5
米永御年貢皆済目録(曾我知行所分) *(控カ) 名主善九郎→御地頭所様御役人中様	文化8年未12月日	半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	25-6
米永御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所内石毛幸次郎(印)	文化9年申12月日	半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	25-7

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/15.年貢勘定目録・皆済目録

御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所内石毛幸次郎(印)→寺方村名主善右衛門江	文化11年戌12月日	半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	25-8
御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所石毛幸次郎(印)	文化13年子12月日	半/(鼠食損甚大)・1冊(7丁墨)	25-9
年貢皆済目録(曾我知行所分) *(下書)/(前欠) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様	文化14丑年12月	半/(虫損甚大)/(丁外れ)・1冊(5丁墨)	25-10
御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所内安藤弓左衛門(印)→寺方村名主・組頭中	文化14年丑ノ12月日	半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	25-11
当卯御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所内安藤弓左衛門(印)	文政2卯年12月日	半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	25-13
当辰御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所内安藤弓左衛門(印)	文政3辰12月日	半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	25-14
当巳御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所内渡辺弥次右衛門(印)→寺方村名主善九郎江	文政4巳12月日	半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(6丁墨)	25-15
当午御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所渡辺弥次右衛門(印)→寺方村名主善九郎江	文政5年午12月日	半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(5丁墨)	25-16
午御年貢皆済目録(曾我知行所分) *(下書)	文政5年12月日	半/(虫損甚大)・1冊(9丁墨)	25-17
当午御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様	文政5年午12月日	半/(虫損甚大)・1冊(6丁墨)	25-18
未御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様、(奥書)御地頭所渡辺弥次右衛門(印)・石毛幸太夫(印)→寺方村名主善九郎江	文政6年未12月日	半/(鼠食損あり)/(貼紙)・1冊(6丁墨)	25-19
当申田畑御年貢皆済目録(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎(印)→御地頭所様御役人衆中様、(奥書)御地頭所渡辺弥次右衛門(印)・石毛幸太夫(印)→寺方村名主善九郎江	文政7申年12月日	半/(鼠食損甚大)・1冊(6丁墨)	25-20
文政八年酉御年貢米永皆済目録下書(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎→御地頭所様御役人衆中様	文政8酉年12月日	半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	25-21
酉御年貢皆済目録(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎(印)→御地頭所様御役人衆中様、(奥書)御地頭所石毛幸太夫(印)・渡辺弥次右衛門(印)→寺方村名主善九郎江	文政8酉年12月日	半/(虫損甚大)・1冊(6丁墨)	25-22
田畑御年貢皆済目録(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所飯田益之進(印)・渡辺弥次右衛門(印)・石毛幸太夫(印)→寺方村名主善九郎江	文政9戌年12月日	半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(6丁墨)	25-23
田畑御年貢皆済目録(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様、(奥書)御地頭所渡辺弥次右衛門(印)・飯田益之進(印)・石毛幸太夫(印)→寺方村名主善九郎江	文政10亥年12月日	半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	25-24
田畑御年貢皆済目録(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御役人衆中様、(奥書)御地頭所渡辺弥次右衛門(印)・飯田益之進・石毛幸太夫(印)→寺方村名主善九郎江	文政11年子12月日	半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	25-25

1.寺方村名主/4年貢・諸役/15.年貢勘定目録・皆目録

田畑御年貢皆済目録(曾我知行所分) 寺方村名主善九郎(印)→御地頭所様御役人衆中様、(奥書)御地頭所渡辺弥次右衛門(印)・飯田益之進(印)・大嶋源太夫(印)・石毛幸太夫(印)→寺方村名主善九郎	文政12丑年12月日	半/(虫損あり)/ (貼紙あり)・1冊 (6丁墨)	25-26
当寅田畑皆済目録帳(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御内大嶋源太夫様・飯田益之進様・石毛幸次郎様、(奥書)大嶋源太夫(印)・飯田益之進(印)・石毛幸次郎(印)	文政13寅年12月	半/(虫損あり)・ 1冊(5丁墨)	25-27
当卯田畑皆済目録帳(曾我知行所分) 名主善九郎(印)→御地頭所様御内大嶋源太夫様・飯田益之進様・山角丈之進様、(奥書)大嶋源太夫(印)・飯田益之進(印)・山角錠之進(印)	天保2卯年12月	半/(鼠食損あ り)・1冊(5丁墨)	25-28
当辰田畑御年貢皆済御目録帳 名主善九郎(印)・組頭五三郎(印)→御地頭所様御内飯田益之進様・山角錠之進様・松岡清三郎様・藤方惣之進様、(奥書)飯田益之進(印)・山角錠之進(印)・松岡清三郎(印)	天保3年辰12月日	半・1冊(5丁墨)	25-29
当巳田畑御年貢皆済目録帳(曾我知行所分) 名主善九郎(印)・組頭五三郎(印)→御地頭所様御内飯田益之進様・山角錠之進様・松岡芳右衛門様、(奥書)飯田益之進(印)・山角錠之進(印)・松岡芳右衛門(印)	天保4巳年12月日	半・1冊(5丁墨)	25-30
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 武州多摩郡寺方村組頭五左衛門(印)・名主善九郎(印)→御地頭所様御内飯田益之進様・山角錠之進様・松岡芳右衛門様、(奥書)飯田益之進・山角錠之進・松岡芳右衛門(印)	天保7年申12月	半/(虫損あり)・ 1冊(5丁墨)	297-16
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 組頭五右衛門(印)・名主善九郎(印)→御地頭所様御内松岡芳右衛門様・松田次郎右衛門様、(奥書)御地頭所松岡芳右衛門(印)・松田次郎右衛門(印)	天保11子年12月日	半・1冊(5丁墨)	25-31
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 組頭五右衛門(印)・名主善九郎(印)→御地頭所様御内松岡芳右衛門様・松田次郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田次郎右衛門(印)・松岡芳右衛門(印)	天保12丑年12月日	半/(虫損あり)・ 1冊(5丁墨)	25-32
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 百姓代長松(印)・名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田次郎右衛門(印)	天保13寅年12月日	半/(貼紙あり)・ 1冊(6丁墨)	25-33
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 百姓代長松(印)・名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田次郎右衛門(印)	天保14卯年12月日	半/(虫損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-34
覚(寺方村御朱印地分卯年川々御普請国役金受取に付) 松田次郎右衛門(印)→寺方村名主善九郎江	(天保15年)辰12月21日	堅切紙/(25-35-1 の1丁目に挟み込 み)・1通	25-35-2
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 百姓代長松(印)・名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田次郎右衛門(印)	天保15辰年12月日	半/(鼠食損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-35-1
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 百姓代長松(印)・名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田次郎右衛門(印)	弘化2巳年12月日	半/(鼠食損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-36
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 百姓代長松(印)・名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田治郎右衛門(印)	弘化3午年12月日	半/(虫損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-37

(曾我知行所分年貢銭納に付目録覚) 組頭[]・名主[] →御地頭所様御内松田次郎右衛門様	加(嘉)永2酉年12月	半/(破損甚大)/ (綴じ外れ)・1冊 (2丁墨)	371
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分)	加(嘉)永2年酉12月	竖帳/(鼠食損甚大)・1冊(2丁墨)	519
田畑御年貢諸済御目録[](曾我知行所分) 寺方□(村)	加(嘉)永3年戌12月日	半/(丁くずれ)/ (鼠食損甚大)・1冊 (3丁墨)	295-25-2
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 組頭長松(印) ・名主平右衛門(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、 (奥書)御地頭所松田治郎右衛門(印)	加(嘉)永4亥年12月日	半/(虫損甚大)・ 1冊(6丁墨)	25-38
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 組頭長松(印) ・名主平右衛門(印)→御地頭所様御内松田樹右衛門様、(奥書) 御地頭所松田樹右衛門(印)	加(嘉)永5年子12月	半/(鼠食損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-39
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 組頭長松(印) ・名主平右衛門(印)→御地頭所様御内松田樹右衛門様、(奥書) 御地頭所松田樹右衛門(印)	嘉永6年丑12月日	半/(虫損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-40
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 組頭長松(印) ・名主平右衛門(印)→御地頭所様御内松田樹右衛門様、(奥書) 御地頭所松田樹右衛門(印)	嘉永7年寅12月日	半/(虫損あり)・ 1冊(7丁墨)	25-41
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 組頭長松(印) ・名主善九郎(印)→御地頭所様御内杉(松)田樹右衛門様、 (奥書)御地頭所松田樹右衛門(印)	安政2年卯12月日	半/(虫損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-42
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 組頭長松(印)・ 名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書) 松田治郎右衛門(印)	安政3年辰12月日	半/(虫損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-43
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 組頭長松(印)・ 名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書) 松田治郎右衛門(印)	安政4年巳12月日	半/(虫損あり)・ 1冊(6丁墨)	25-44
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 組頭長松(印)・ 名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書) 松田治郎右衛門(印)	安政5年午12月	半/(虫損あり)・ 1冊(7丁墨)	25-45
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 組頭長松(印)・ 名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書)御 地頭所松田治郎右衛門(印)	安政6年未12月	半/(虫損甚大)・ 1冊(7丁墨)	25-46
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 組頭長松(印) ・名主善九郎(印)→御地頭所様御内松田次郎右衛門様、(奥書) 御地頭所松田治郎右衛門(印)	万延元年申12月	半/(虫損あり)/ (貼紙あり)・1冊 (7丁墨)	25-47
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 組頭長松(印)→ 御地頭所様御内松田治郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田治 郎右衛門(印)	文久元酉年12月	半/(虫損あり)・ 1冊(5丁墨)	25-48
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 組頭長松(印)→ 御地頭所様御内松田治郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田治 郎右衛門(印)	文久2戌年12月	半/(虫損あり)・ 1冊(5丁墨)	25-50
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 名主組頭兼帯長 松→御地頭所様御内松田治郎右衛門様	文久3亥年12月	半/(鼠食損甚大)・1冊(5丁墨)	25-49
田畑御年貢皆済御目録(曾我知行所分) 組頭長松(印)→ 御地頭所様御内松田治郎右衛門様、(奥書)御地頭所松田治 郎右衛門(印)	文久3亥年12月	半/(虫損あり)・ 1冊(5丁墨)	25-51

1.寺方村名主/4.年貢・諸役/15.年貢勘定目録・皆済目録

田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 名主善四郎(印) ・組頭長松→御地頭所様御内松田治郎右衛門様・鈴木多満喜 様、(奥書)御地頭所松田治郎右衛門(印)・鈴木多満喜(印)	元治元甲子12月日	半/(虫損あり)・ 1冊<6丁墨>	25-52
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 組頭長松(印) ・名主善四郎(印)→御地頭所様御内松田治郎右衛門様・鈴木 多満喜様	元治元子12月	半/(虫損あり)・ 1冊<7丁墨>	25-53
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 名主善四郎(印) ・組頭長松(印)→御地頭所様御内松田治郎右衛門様・鈴木多 満喜様、(奥書)御地頭所松田治郎右衛門(印)・鈴木多満喜(印)	慶応元丑12月日	半/(虫損あり)/ (貼紙あり)・1冊 <8丁墨>	25-54
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 名主善四郎・ 組頭長松→御地頭所様御内松田治郎右衛門様・鈴木多満喜様	慶応元丑12月日	半/(虫損あり)・ 1冊<7丁墨>	25-55
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 名主善四郎(印) ・組頭長松(印)→御地頭所様御内松田慈右衛門様、(奥書)御 地頭所松田慈右衛門(印)	慶応3卯年12月日	半/(虫損あり)/ (貼紙あり)・1冊 <8丁墨>	25-56
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 名主善四郎 ・組頭長松(印)→御地頭所様御内松田慈右衛門様	慶応3卯年12月日	半/(鼠食損あり) /(貼紙あり)・1冊 <8丁墨>	25-57
田畑御年貢皆済御目録帳(曾我知行所分) 名主善四郎 ・組頭長松→御地頭様御内松田慈右衛門様・鈴木多満喜様	慶応3年卯12月	堅帳/(破損甚大)・ 1冊<6丁墨>	531
神奈川県御年貢皆済目録写(辰年より未年まで) 武蔵 国多摩郡寺方村	(明治2巳年正月～明治 5申年正月)	半/(鼠食損あり)・ 1冊<11丁墨>	25-58
亥年御年貢米永皆済勘定目録	(近世)	堅継紙/(虫損甚 大)・1通	297-30
午御収納皆済目録(武州多摩郡寺方村) *(下書)	(近世)	堅紙・1通	297-44
[]御年貢米金皆済目録之事	(近世)	堅継紙/(虫損甚 大)・1通	297-47
(寺方村年貢皆済目録) *(前後欠)	(近世)	堅紙/(虫損あり)・ 1通	297-66
申ノ年御年貢米皆済目録之事 *(端裏書)「寺方村」/(後 欠) →寺方村	(近世)	堅紙/(虫損甚大)・ 1通	297-71
子御年貢米永皆済勘定目録 *(後欠) →武州多摩郡寺方 村	(近世)	堅紙/(虫損甚大)・ 1通	297-73
辰御年貢御皆済目録 *(後欠) →(寺方村)	(近世)	横切紙/(虫損甚 大)・1通	297-75
午御年貢米永皆済勘定目録 *(後欠) →武州多摩郡柚木領 寺方村	(近世)	堅紙/(虫損あり)・ 1通	297-83
未御年貢米永皆済勘定目録 *(後欠) →武州日野領寺方村	(近世)	堅紙/(虫損甚大)・ 1通	297-84
年貢皆済目録 *(後欠)/(写カ)	(近世)	堅紙/(虫損甚大)・ 1通	297-87
寅御年貢米永皆済勘定目録 *(後欠) →武州多摩郡日 野領寺方村	(近世)	堅紙/(虫損甚大)・ 1通	297-91
申御年貢米永皆済勘定目録 *(後欠) →武州多摩郡寺方村	(近世)	堅紙/(虫損甚大)・ 1通	297-92
巳年御年貢米永皆済勘定目録 *(後欠) →武州多磨郡 日野領寺方村	(近世)	堅紙/(虫損甚大)・ 1通	297-97

巳御年貢皆済勘定目録 * (後欠) →寺方村	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-111
申ノ年田畑御年貢勘定目録 * (後欠) →(寺方村)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-112

1.4.16.地頭所受取手形

覚(曾我知行所分当未御年貢代金等請取に付) 川喜多嘉平治(印)→寺方村名主平右衛門へ	享保12年未10月9日	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-88
覚(曾我知行所分未年夏成として金1兩請取に付) 御地頭所松田次郎右衛門(印)→寺方村善九郎・長松江	(弘化4年)未6月11日	堅切紙/(虫損あり)・1通	218-5
覚(曾我知行所分未年秋成として金1兩請取に付) 御地頭所松田次郎右衛門(印)→寺方村善九郎江	(弘化4年)未9月11日	堅切紙/(虫損あり)・1通	218-4
覚(曾我知行所分川々国役金2朱ト錢265文ほか請取に付) 松田樹右衛門(印)→寺方村平右衛門江	嘉永6丑年12月11日	豎紙・1通	218-2
覚(曾我知行所分子年秋成年貢金1兩請取に付) 御地頭所松田次郎右衛門(印)・松岡芳右衛門(印)→寺方村役人	(近世)(子)9月13日	堅切紙/(虫損あり)・1通	218-7
覚(辰年川々御普請国役金2朱1朱(マ)・錢94文請取に付) 御地頭所山南錠之進(印)・飯田益之進(印)→寺方村役人	(近世)辰□月	堅切紙/(虫損あり)・1通	218-9
覚(曾我知行所分去辰年分川々国役金2朱・錢505文請取に付) 松田次郎右衛門(印)→寺方村善九郎江	(近世)巳12月5日	堅切紙/(虫損あり)・1通	218-6
覚(寺方村納高御年貢米33俵2斗5升9合5勺2才皆済の節この書付引替下さるべきに付) 加藤林右衛門(印)→寺方村善右衛門殿	(近世)午11月21日	豎継紙/(虫損甚大)・1通	297-14
覚(金2分当戌秋成金請取に付) 川越丈大夫(印)→寺方村名主善治殿	(近世)戌9月6日	横切紙/(虫損甚大)・1通	297-74
覚(金8兩1分・錢462文受取に付) 木村彖右衛門(印)→寺方村名主善右衛門殿	(近世)12月18日	切紙/(虫損甚大)・1通	297-4-2

1.4.17.未進年貢

差出書(曾我上知分辰年御年貢金65兩上納に付) 右村(曾我七兵衛上知武州多摩郡寺方村)名主善四郎→神奈川県御出役森田槍三郎	明治2年巳3月	豎紙・1通	372
(御年貢引き負い請書雛形等断簡一括)	(近世)	折込一括/(563-1~2は折込一括)・1点	563
(御年貢引き負いの節は村方一同にて年貢弁納仕るべき旨請書雛形) * (断簡) 寺方村誰印	(近世)	半・1冊<1丁墨>	563-1
(畑地・山林反別書上) * (断簡)	(近世)	半・1冊<1丁墨>	563-2

1.4.18.収納米永書上

畑方御年貢取附帳 武州多摩郡寺方□(村)	寛政7年卯2月	横長半/(鼠食損甚大)/(紙縫破損)・1冊<5丁墨>	61
----------------------	---------	----------------------------	----

1.寺方村名主/4年貢・諸役/18.取納米永書上

西より寅迄六ヶ年取米高其外書付(上知令に付) 右村(曾我駒之丞上知武州多摩郡寺方村)百姓代長松・名主善九郎→関保右衛門様・大能善太郎様・平岡文次郎様・青山九八郎様・勝田次郎様御立会御役所	天保14卯年6月	半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	154-1
御米永納御書上帳 寺方村名主善四郎	慶応4辰9月23日	半・1冊(3丁墨)	295-4
慶応三卯年取納其外仕訳帳 元曾我七兵衛知行所武州多摩郡寺方村百姓代幸治郎(印)・組頭長松(貼紙「出府二付印形無御座候」)・名主善四郎(印)→神奈川県御裁判所	慶応4年辰12月日	半/(貼紙剥離)・1冊(4丁墨)	87-4
去亥年より卯年迄書上帳(旧曾我知行所分取納に付) 武蔵国多摩郡寺方村百姓代政吉・組頭長松・名主善四郎→知県事古賀一平様御役所	明治2年巳年正月	半/(鼠食損あり)・1冊(11丁墨)	154-2
慶応三卯年取納其外仕訳書上帳 右村(日野宿組合元曾我七兵衛知行武州多摩郡寺方村)名主善四郎・組頭長松・百姓代政吉→神奈川県御出役浅野弥十郎様・森田鎗三郎様	(明治2年)巳2月	半・1冊(5丁墨)	87-2
慶応三卯年取納其外仕訳書上帳 * (表紙後筆)「定免 割付消」 右村(日野宿組合元曾我七兵衛知行武州多摩郡寺方村)名主善四郎(印)・組頭長松(印)・百姓代政吉(印)→神奈川県御出役浅野弥十郎様・森田鎗三郎様	(明治2年)巳2月	半・1冊(4丁墨)	87-3
巳年畑永(曾我・浅井上知分夏成・秋成金高書付)	(明治2年)	縦紙/(破損あり)・1通	395
畑高御[](年貢帳カ)	(近世)卯年	横長半/(破損甚大)/(449-1~2は癒着のため展開不能)・1冊	449-1
(寺方村曾我知行所分石高・畑高・取米書上)	(近世)	半/(鼠食損あり)/(綴じ穴あり)・1冊(1丁墨)	295-9
(卯年物成書上覚)	(近世)	縦紙・1通	398
去亥より五ヶ年書上帳 * (表紙のみ) 武州多摩郡寺方村	(近世)	半・1冊(1丁墨)	459
(亥より寅まで物成書上帳) * (前後欠)	(近世)	半/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	476

1.5.地頭所御用

1.5.1.諸事控帳

御地頭所留諸願[]	嘉永2酉年12月15日	半/(丁くずれ)/(鼠食損甚大)・1冊(1丁墨)	295-25-1
御地頭所御用向諸事附込帳 名主平右衛門	加(嘉)永5年子正月日	横長半・1冊(12丁墨)	115-1
御地頭所御用向諸事控帳 名主平右衛門	嘉永7年寅正月日	横長半・1冊(15丁墨)	115-2
御地頭出金畑方御年貢蔵米諸事控帳 平右衛門	安政2年4月	横長半/(破損甚大)・1冊(9丁墨)	484-3
御地頭所出金畑方御年貢蔵米諸事控帳 名主善九郎	安政4年巳正月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(7丁墨)	116-1

1.寺方村名主/5.地頭所御用/1.諸事控帳

御地頭様畑方御年貢蔵米諸事控帳 佐伯善九郎	安政7年申正月吉日	横長半・1冊(5丁墨)	116-2
御地頭所諸御用控帳 善四郎	慶応2年寅正月日	横長半・1冊(8丁墨)	116-3
御地頭所諸事覚帳	慶応3年卯正月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(7丁墨)	115-3
御地頭所諸向控帳	慶応4年辰6月日	横長半/(綴じ紐に2点括り付け文書あり)・1冊(8丁墨)	115-4
御地頭所出金御用[] * (断簡)	(近世)戊正月	横長半/(破損)/(フケのため展開不能)・1冊	493

1.5.2.地頭所給金

御地頭所給金割合帳 名主平右衛門	加(嘉)永6年丑3月日	横長半・1冊(3丁墨)	114-1
御地頭所給金割合帳 名主平右衛門	安政2年卯3月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(3丁墨)	114-2
御地頭所給金割合帳 名主善九郎	安政3年辰3月日	横長半・1冊(3丁墨)	114-3
御地頭所様御給金割合取立覚帳 名主善九郎	安政5年午3月	横長半・1冊(2丁墨)	114-5
御地頭所給金割合取立覚帳 名主善九郎	安政6年未3月吉日	横長半・1冊(2丁墨)	114-4
御地頭所御給金割合取立帳 名主善九郎	安政7年申3月吉日	横長半・1冊(2丁墨)	114-6
夫人給金割合帳	文久4年子3月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(4丁墨)	131

1.5.3.先納金・御用金

覚(金2両借用に付) 浅井少右衛門内村井弥助(印)→寺方村善右衛門殿	明和9辰年11月	堅紙/(虫損甚大)・1通	199-2
国役大豆拾ヶ年分先納取立帳 寺方村名主善九郎	文化13年子10月日	横長半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	67
御本丸御普請金割合取立帳(銭4貫361文に付) 名主善九郎	弘化2年巳11月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(4丁墨)	123
覚(土蔵その他修復にて調達金1両2分請取に付) 御地頭所松田次郎右衛門(印)→寺方村善九郎江	弘化4未年8月27日	堅切紙・1通	218-3
覚(金2朱・銭505文受取に付) 松田[]→寺方村名主[]	嘉永2酉年12月18日	堅紙/(破損甚大)・1通	370
異国船二付御用金割合帳(銭4貫925文に付) 名主平右衛門	嘉永6年丑8月日	横長半・1冊(3丁墨)	124-1
御地頭所御修覆御下ヶ金拾年賦割合済帳 名主平右衛門	嘉永6年丑12月日	横長半・1冊(5丁墨)	120

1.寺方村名主/5.地頭所御用/3.先納金・御用金

御地頭所地震見舞金取立帳(金1兩2朱・銭494文に付) 名主善九郎	安政2年卯12月日	横長半・1冊(3丁墨)	121
御地頭所御用金取立帳(金4兩・銭40文に付) 名主善九郎	安政3年辰4月日	横長半・1冊(3丁墨)	119-1
御用金三ツ割取立帳(金4兩・銭40文に付) 名主善九郎	安政3年辰4月	横長半・1冊(4丁墨)	119-4
御地頭所御用金取立覚帳(金4兩・銭40文三ツ割にて取立に付) 名主善九郎	安政3年辰11月日	横長半・1冊(3丁墨)	119-2
御地頭所御用金三ツ割取立覚帳(金4兩・銭40文に付) 名主善九郎	安政4年巳3月日	横長半・1冊(3丁墨)	119-3
元地頭先納書上帳(曾我知行所分に付) 右村(武州多摩郡寺方村)名主善四郎(印)→神奈川県御裁判所	明治元年辰年12月	半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	153
差上申一札之事(大豆代金10ヶ年分2朱2分291文前納に付) 寺方村名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様	(近世)丑12月日	堅紙・1通	217
覚(御年貢金の内3両請取に付) 村井弥助(印)→寺方村善右衛門殿	(近世)辰12月16日	小切紙/(虫損甚大)・1通	199-1
覚(大島氏へ渡す金300両利8両上納に付)	(近世)5月2日	小切紙・1通	376

1.5.4.村借

借用申金子証文之事(地頭様より先納金仰せ付けらるに付) 曾我七兵衛様御知行所寺方村名主善九郎(印墨消)・組頭五三郎(印墨消)・百姓代嘉助(印墨消)・百草村口入世話人八左衛門(印墨消)→柚木堀ノ内村与五兵衛殿	享和3亥正月	堅紙/(虫損甚大)・1通	212
借用申金子之事(御地頭所要用にて前納仰せ付けらるに付) * (端裏書)「権十郎書替亥年」 武州多摩郡寺方村百姓代[] (嘉助) (印墨消)・組頭五三郎(印墨消)・名主善[] (九郎) (印墨消)	享和3亥年[]	堅紙/(虫損甚大)・1通	347

1.5.5.役人休泊入用

下谷 御家老様御出入用帳	明和4年亥2月日	横長半・1冊(3丁墨)	112-1
当卯ノ年御家老様御出入用帳 * (紙背文書)「当卯ノ年早積場改帳」	明和8年卯ノ11月23日	横長半・1冊(6丁墨)	112-2

1.5.6.異国船警固・上洛御供

(異国船渡来に付出人足・御役金関係綴)	(嘉永7年2月～3月)	綴/(124-2-1～2は一綴)・1綴	124-2
異国船出人足割合帳 名主平右衛門	嘉永7年寅2月日	横長半・1冊(2丁墨)	124-2-1
殿様御乗出ニ付御役金割合帳 名主平右衛門	嘉永7年寅4月20日	横長半・1冊(3丁墨)	124-2-2
御上洛ニ付御供 御高役金割合帳 寺方村	文久3年亥2月	横長半・1冊(4丁墨)	122-1
御進発御供給金割半年分 佐伯善四郎	慶応元丑年6月9日	横長半・1冊(7丁墨)	122-2

一ノ宮村船割・御進発御供給金割	(慶応元年10月カ)	横長半・1冊(3丁墨)	122-3
覚(御進発御供人数金銭等書上に付)	(近世)	横折紙・1通	297-50

1.5.7.来状

(書状、当春中骨折り出来にて金子調達喜三郎相談の上お渡し下さるよう頼み入るに付) 七兵衛→寺方村善四郎・一ノ宮村兼助	(近世)7月23日	横切継紙・1通	208
(書状、若殿様未だ御家督前には候えども諸向書上等駒之丞様に致すべきに付) *(下書)	(近世)	横切紙・1通	297-51

1.6.伝馬・助郷

1.6.1.助郷高

御書上(日野宿伝馬定助郷並びに免除高書上に付)	慶応□年12月	半/(破損)・1冊(3丁墨)	487
乍恐以書付奉申上候(甲州道中日野宿定助郷高相違に付伺書) →江川太郎左衛門御代官所	(近世)	縦継紙/(継紙剥離)・1通	232

1.6.2.人馬触当

日野伝馬触覚帳 寺方村名主善右衛門	かんせい(寛政)8ねんたつ正月吉日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(8丁墨)	78-1
日野御伝馬触覚帳 寺方村名主善右衛門	寛政9丁巳年正月元日	横長半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	78-2
日野宿御伝馬触覚帳 寺方村名主善九郎	寛政10年午ノ正月日	横長半・1冊(9丁墨)	78-3
日野宿助人馬触覚帳 寺方村名主善九郎	文化3丁(マ)寅年正月吉日	横長半/(虫損・水損あり)/(破損あり)・1冊(7丁墨)	78-4
(村人足触当関係綴)	(文化9年正月)	綴/(79-12-1~2は一綴)・1綴	79-12
日野人馬勤方村入用覚帳(人足触当帳) 寺方村名主善九郎	文化9年申ノ正月日	横長半・1冊(2丁墨)	79-12-1
小行力人足廻り覚帳 (寺方村)	文化9年申ノ正月日	横長半・1冊(8丁墨)	79-12-2
(村人足触当関係綴)	(文政2正月)	綴/(79-17-1~2は一綴)・1綴	79-17
日野御伝馬村入用帳(人足触当帳) 寺方村名主	文政2己卯年正月吉日	横長半・1冊(3丁墨)	79-17-1
小行力人足廻り帳 寺方村名主	文政2卯年正月吉日	横長半・1冊(5丁墨)	79-17-2
(村人足触当関係綴)	(天保4年正月)	綴/(78-5-1~2は一綴)・1綴	78-5
御用人馬触控覚帳 寺方村	天保4年巳正月日	横長半・1冊(3丁墨)	78-5-1

1.寺方村名主/6.伝馬・助郷/2.人馬触当

小行力人足触万覚帳 寺方村	天保4年巳正月日	横長半・1冊(3丁墨)	78-5-2
(村人足触当関係綴)	(天保7年正月)	綴/(78-6-1~2は一綴)・1綴	78-6
御伝馬出人足触当帳 寺方村名主	天保7年申正月日	横長半・1冊(4丁墨)	78-6-1
小行力人足村入用帳	天保7年申正月日	横長半・1冊(10丁墨)	78-6-2
(村人足触当関係綴)	(天保10年正月)	綴/(78-7-1~2は一綴)・1綴	78-7
御伝馬触当帳 寺方村名主	天保10年亥正月日	横長半・1冊(3丁墨)	78-7-1
小行力順廻り村入用帳	天保10年亥正月	横長半・1冊(7丁墨)	78-7-2
日野御伝馬村入用覚帳 寺方村	安政3年辰ノ正月日	横長半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	79-46

1.6.3.日光社参役

乍恐以書付奉申上候(甲州道中日野宿助郷に付日光御社参御役免されたき旨) *230-2・231と同内容 武州多摩郡寺方村名主善右衛門・組頭太兵衛・百姓代藤右衛門→伊奈半左衛門様御役所	安永5年申3月19日	豎継紙・1通	230-1
乍恐以書付奉申上候(甲州道中日野宿助郷に付日光御社参御役免されたき旨) *230-1・231と同内容 武州多摩郡寺方村名主善右衛門・組頭太兵衛・百姓代藤右衛門→伊奈半左衛門様御役所	安永5年申3月19日	豎紙・1通	230-2
乍恐以書付奉申上候(甲州道中日野宿助郷に付日光御社参御役免されたき旨) *230-1・230-2と同内容 武州多摩郡寺方村名主善右衛門・組頭太兵衛・百姓代藤右衛門→伊奈半左衛門様御役所	安永5年申3月19日	豎紙・1通	231
日光御改ニ付差出し人足割合帳 寺方村	天保2年卯4月	横長半/(破損甚大)・1冊(3丁墨)	484-2

1.6.4.川崎宿当分助郷

村高家数人別取調帳(曾我・浅井知行所分) 曾我七兵衛知行所右村(寺方村)名主善四郎・組頭長松・浅井武治郎知行所右村(寺方村)名主組頭兼儀右衛門→川崎宿間屋御役人衆中	元治元子11月	半/(破損甚大)・1冊(4丁墨)	12
--	---------	------------------	----

1.6.5.諸書付

(一札) * (前欠)/(下書) 甲州道中日野宿年寄太之吉印→江川太郎左衛門様御内新見健三郎様・山田文蔵様	天保13寅年11月9日	豎紙・1通	297-55
---	-------------	-------	--------

1.7.井堰・用水

1.7.1.岩堰

岩堰反別覚帳 寺方村名主善右衛門	寛政5年丑12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	93-1
絵図面筋御改ニ付岩堰絵図面裏書差上入用帳 (岩堰周辺絵図) (堰関係帳簿カ)	天保11年子10月 (近世) (近世)	横長半/(丁外れ)・1冊(4丁墨) 27.2×38.5・1鋪 横長半/(破損甚大)/(449-1~2は癒着のため展開不能)・1冊	94 227-4 449-2
小石堰[]	(近世)	横長半/(破損甚大)/(449-1~2は癒着のため展開不能)・1冊	450-1
寅年堰反別 *(表紙のみ)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	550

1.7.2.御普請願い

乍恐以書付奉願上候(岩堰度々決壊に付) 御知行所寺方村名主善九郎・百姓代善藏・山角磯之助御知行所八重三郎・浅井常之丞御知行所名主[] *(後欠)	天保13寅年4月日	豎継紙/(虫損甚大)・1通	227-5
御願書(洪水にて用水路大破に付御普請仰せ付けられたき旨) 武州多摩郡寺方村惣代名主善四郎(印)・同州同郡同村同組頭幡次郎(印)→神奈川県御出役飯岡直作様・坂從柳次郎様	明治2巳正月	半・1冊(4丁墨)	228

1.7.3.普請用材

岩堰山之松木覚帳(枝数立合吟味に付) 日野領寺方村名主善右衛門・組頭庄左衛門・同長左衛門・同(マ)惣百姓	元禄4年未6月24日	横長半/(鼠食損甚大)/(下部欠)・1冊(3丁墨)	92
覚(田地用水の堰2ヶ所破損にて普請用松木20本下されたきに付) *(写) 日野領寺方村名主善右衛門・組頭長左衛門・同七郎右衛門→御代官様	元禄7年戌2月	豎紙/(虫損あり)・1通	223-1
(堰普請入用の松木20本証文済み切り出しに付) *(写) 松平清三郎印→寺方村名主・組頭中	(元禄7年)戌2月	豎紙・1通	223-2

1.7.4.出人足書上

岩堰出人足覚帳 寺方村名主善[](右衛門)	寛政7年卯ノ3月日	横長半/(表紙下部破損)/(丁外れ)・1冊(6丁墨)	88-1
岩堰出人足覚帳	寛政9年巳ノ3月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(6丁墨)	88-2
岩堰出人足覚帳	寛政13年酉ノ2月日	横長半/(虫損あり)・1冊(10丁墨)	88-3

1.寺方村名主/7.井堰・用水/4.出人足書上

岩堰出人足覚帳 寺方村・原関戸村組合	享和2年戌3月18日始メ	横長半/(虫損あり)・1冊(17丁墨)	88-4
岩堰出人足覚帳 寺方村	文化元年子ノ3月吉日	横長半・1冊(10丁墨)	88-5
岩堰普請出人足覚帳 寺方村	文化2年丑ノ3月日	横長半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	88-6
岩堰出人足覚帳 寺方村	文化5年辰ノ3月吉日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(7丁墨)	88-7
岩堰及懸り出人足覚帳	文政8年酉ノ3月日	横長半/(虫損あり)/(紙縫破損)/(丁外れ)・1冊(10丁墨)	88-8
岩堰出人足覚帳 寺方村	天保10年亥3月日	横長半/(虫損あり)・1冊(13丁墨)	88-9
岩堰出人足覚帳 寺方村	天保13年寅3月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(16丁墨)	88-10
(岩堰出人足・出シ米関係綴)	(弘化4年)	綴/(88-11-1~2は一綴)・1綴	88-11
岩堰出人足覚帳 寺方村	弘化4年末3月日	横長半・1冊(14丁墨)	88-11-1
(出シ米書上)	(弘化4年カ)	横長半・1冊(1丁墨)	88-11-2
岩堰出人足覚帳 寺方村	弘化5年申3月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(14丁墨)	88-12
岩堰出人足覚帳 寺方村	安政2年卯3月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(14丁墨)	88-14
岩堰出人足覚帳 寺方村	安政4年巳3月	横長半・1冊(8丁墨)	88-15
堰出人足覚帳 寺方村名主善九郎	安政7年申3月吉日	横長半/(紙縫破損)・1冊(8丁墨)	88-16
岩堰出人足覚帳 寺方村名主善九郎	万延2年酉3月吉日	横長半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	88-13
人足覚之帳(堰人足・村入用・御地頭所様月割金・皆済目録認方等書上覚) →御地頭所様	文久4年子正月日	横長半/(虫損あり)・1冊(12丁墨)	142-1
岩堰人足控 名主善四郎	慶応2年寅3月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(14丁墨)	88-17

1.7.5.石堰山不法出入

岩堰出入 御尊判番人足覚帳 寺方村	天保13年寅6月2日	横長半・1冊(3丁墨)	102
-------------------	------------	-------------	-----

上和田一件に付日数日記帳 (寺方村)	天保13年寅6月20日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(3丁墨)	103
岩堰出入返答諸入用割合帳 *本文墨消あり 寺方村	天保13年寅6月20日より	横長半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	104
乍恐以返答書奉申上候(岩堰山不法出入に付) →御評定所	天保13年寅6月25日	縦継紙・1通	227-3
①上和田村一件雑用覚帳、②出金割合請取覚帳	①天保13年寅9月、②天保13年6月9日より	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(7丁墨)	108
岩堰出入諸掛勘定帳	天保13年寅9月17日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(6丁墨)	105
差上申済口証文之事(上和田村より寺方村へ掛る岩堰山不法出入に付済口証文) 和田伝右衛門知行所武州多摩郡上和田村小前役人惣代名主訴訟人庄右衛門(印)・浅井永之丞知行所同州同郡寺方村名主要蔵・山角磯之助知行所同州同郡原関戸村同(名主)八十郎右当人類に付代兼曾我駒之丞知行所右寺方村名主相手善九郎(印)→御評定所	天保13年寅9月	縦継紙/(破損あり)/(虫損あり)・1通	227-1
(上和田村より寺方村へ掛る岩堰山不法出入に付済口証文) *(下書)	(天保13年9月)	縦継紙/(鼠食損甚大)・1通	227-2-3
(上和田村より寺方村へ掛る岩堰山不法出入に付済口証文) *(下書)/(断簡)	(天保13年9月)	縦継紙/(鼠食損甚大)・1通	227-2-4
前文略(上和田村より寺方村へ掛る岩堰山不法出入に付済口証文) *(下書)/(後欠)	(天保13年9月)	縦紙/(鼠食損甚大)・1通	227-2-5
(上和田村より寺方村へ掛る岩堰山不法出入に付済口証文) *(下書)	(天保13年9月)	堅切紙/(虫損あり)・1通	227-2-6
(上和田村より寺方村へ掛る岩堰山不法出入に付済口証文) *(下書)	(天保13年9月)	堅切紙/(虫損あり)・1通	227-2-7
(岩堰山出入に付内済証文)	(天保13年カ)	縦継紙/(虫損あり)・1通	227-6
上和田村一件岩堰出入割合帳 寺方村	天保13年寅10月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(8丁墨)	106
(付箋、伐木・立入に付)	(近世)	小紙・6枚	227-2-2

1.7.6.用水普請

用水路御普請箇所附帳(浅川取入用水路5ヶ村7給組合に付) 武州多摩郡一ノ宮村惣代組頭龍次郎(印)・同州同郡関戸村惣代名主政五郎(印)→神奈川県御出役飯岡直作様・坂従柳次郎様	明治2巳正月	半/(貼紙あり)・1冊(4丁墨)	107-1
当春用水路御普請箇所附帳(大栗川取入用水路2ヶ村4給組合に付) 武州多摩郡寺方村惣代名主善四郎(印)・同州同郡同村惣代組頭幡次郎(印)→神奈川県御出役飯岡直作様・坂従柳次郎様	明治2巳正月	半/(貼紙あり)・1冊(4丁墨)	107-2
用水路御普請箇所附帳(大栗川取入用水路2ヶ村4給組合に付) *(下書) 武ヶ村組合寺方村曾我七兵衛元知行同村山角磯之助元知行落川新田松平新七郎元知行寺方村惣代名主善四郎・同村組頭幡次郎→神奈川県御出役飯岡直作様・坂従柳次郎様	(明治2年正月)	半・1冊(3丁墨)	107-3

1.8.御鷹方御用

御鷹御用・御鹿狩り御用御廻り状次(継)人足覚	享保5年子正月朔日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	141
小栗長右衛門様御組御飼指衆御宿入用覚	享保5年子ノ10月24日 昼より	横長半/(虫損あり)・1冊(2丁墨)	74
覚(御鷹方御猪狩御用の節勤方に付)	享保14年酉ノ11月	縦紙・1通	307
差上申証文之事(御捉飼場脇鷹・小栗長右衛門様御預かりの鷹とも御焼印無くては御鷹放させ申すまじき旨等に付)	(近世)	縦継紙/(虫損甚大)(展開不能)・1通	417
(御鷹追人足賃など諸入用勘定書付)	(近世)	横長半/(破損あり)・1冊(2丁墨)	556

1.9.日野宿寄場組合

1.9.1.村々議定

議定一札之事(浪人止宿・合力等の儀21ヶ村申し合わせに付) 関戸村名主篤次郎(印)・同林蔵(印)・同音次郎(印)・蓮光寺村同忠右衛門(印)・乞田村同清左衛門・貝取村同豊吉(印)・上落合村同又三郎(印)・同兵右衛門[印]・寺方村同善九郎・同要蔵・上和田村同安五郎(印)・百草村同八左衛門(印)・一ノ宮村同又右衛門(印)・同磯右衛門(印)・同庄左衛門(印)・下落川村新兵衛(印)・上落川村政右衛門(印)・三沢村八右衛門(印)・高幡村名主重蔵代久米八(印)・平村名主浅右衛門(印)・豊田村同峯次郎(印)・河辺堀之内村同常右衛門(印)・宮村同清五郎(印)・喜兵衛[印]・上田村同忠蔵(印)・平山村同善三郎(印)・下程久保村同新蔵(印)	文政4巳年8月	縦継紙/(虫損甚大)・1通	204
---	---------	---------------	-----

1.9.2.組合議定

御取締御改革組合村々為取替議定書 平岩右膳御支配所日野宿百姓代嘉兵衛(印)・年寄藤五郎(印)・同郡平(印)・名主隼太(印)・同彦右衛門(印)ほか243名→関東取締御出役山田茂左衛門様御手附吉田左五郎殿・山本大膳様御手附河野啓助殿・太田平助殿・柑本兵五郎様御手附脇谷武左衛門殿	文政10年亥	半・1冊(59丁墨)	172-1
組合村々取締方其外議定連印書付 * (雛形) 支配所誰領分・知行所・寺社領何国何郡何村三役人印→関東取締御出役山田茂左衛門様御手附吉田左五郎殿・山本大膳様御手附河野啓助殿・太田平助殿・柑本兵五郎様御手附脇谷武左衛門殿	(文政10年)年号月日	半/(虫損あり)・1冊(23丁墨)	172-2

1.9.3.願書・請書・届書

差出申御請書之事(関東取締出役触書拝見にて以来右様の始末無きよう村方申し渡しに付) 武州多摩郡寺方村組頭長松(印)・名主平右衛門(印)→関東取締御出役様	加(嘉)永6年丑正月日	縦紙・1通	205
絵図面取調書上帳(村明細に付) 寺方村元曾我給名主善四郎・同村元浅井給名主幸内→日野宿御役人中様	明治2年巳ノ2月	半/(鼠食損甚大)・1冊(2丁墨)	156-3
(去る未6月中紛失の品御尋ねの処当村には御座無き旨届書) * (下書)/(断簡) 寺方村役人→日野宿寄場役人中	(近世)申正月22日	堅切紙・1通	319

記(質屋古着や古鉄買書出帳・20才より30才迄書出帳請取に付) 日野宿名主(印)→寺方村御役人中	(近世)2月17日	切紙・1通	295-23
乍恐以書付奉願上候(流失品々奪い取り一件に付吟味下げ願ひ) 桑嶋助左衛門知行所武州多摩郡一ノ宮村名主願人又右衛門・山角磯之助知行所同州同郡原関戸村百姓相手畑治郎他15名→関東御取締御出役喜多村解輔様、(奥書)右又右衛門・畑二郎他15名	(近世)	堅継紙/(虫損あり)・1通	250

1.9.4.布告伝達

回章御用(百姓共へ用金を申し付け金穀を掠め取りし族これ有る趣以ての外に候に付) 寄場日野役人	(慶応4年)辰9月26日	半・1冊(2丁墨)	295-11
口達之覚(金札通用の儀に付) 神奈川県裁判所出役志村歳吾→日野宿其余村々役人中	明治2年巳5月	半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	164

1.10.村方諸色勘定

1.10.1.村入用

武州多摩郡日野領寺方村去西ノ万入用帳 日野領寺方村名主善右衛門・組頭長左衛門(印)・同七郎右衛門(印)・百姓善兵衛(印)・同安右衛門(印)・同久左衛門(印)・同加左衛門(印)・同久五郎(印)・同吉三郎(印)・同多兵衛(印)・同半三郎(印)・同二郎左衛門(印)・同三五郎(印)・同助左衛門(印)・同五右衛門	元禄7年戊正月	半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	70
村入用覚帳 *本文墨消あり 寺方村名主平右衛門	享保10年巳ノ2月13日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(9丁墨)	71-1
村入用覚帳 *(表紙後筆)「曾我七兵衛様」 寺方村名主平右衛門	享保14年酉ノ正月	横長半/(虫損甚大)/(丁くずれ)・1冊(6丁墨)	71-2
村入用之帳 *(表紙後筆)「曾我七兵衛様御分」 寺方村百姓藤右衛門(印)・同定右衛門(印)・同庄左衛門(印)・同善兵衛(印)・同彦右衛門(印)・組頭喜兵衛(印)・名主利右衛門(印)・当名主平右衛門(印)	享保18年丑ノ正月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(5丁墨)	71-3
村入用之帳 *(表紙後筆)「浅井七蔵様分」 寺方村名主平右衛門	元文2年巳ノ正月	横長半/(虫損あり)/(破損甚大)/(水損あり)・1冊(10丁墨)	71-4
村入用之帳 *(表紙後筆)「浅井様」 寺方村名主平右衛門	寛保3年亥ノ正月	横長半/(虫損・鼠食損甚大)/(水損あり)・1冊(7丁墨)	71-5
(村入用帳綴)	(寛政4年正月)	綴/(71-6-1~2は一綴)・1綴	71-6
村入用帳 寺方村善右衛門	寛政4年壬子正月吉日	横長半・1冊(9丁墨)	71-6-1
村入用帳 寺方村名主善右衛門	寛政4年壬子正月吉日	横長半・1冊(7丁墨)	71-6-2
村入用帳 寺方村名主	寛政4年子ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(11丁墨)	71-7

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/1.村入用

村入用[](覚帳) (寺方村)	寛政8年辰正月日	横長半/(虫損あり)/(破損甚大)/(水損あり)・1冊(7丁墨)	71-9
村入用覚帳 寺方村名主善九郎	寛政12年庚申正月	横長半/(破損甚大)・1冊(5丁墨)	484-1
村入用覚帳 寺方村名主善九郎	享和4歳甲子正月日	横長半・1冊(4丁墨)	71-11
村入用覚帳 寺方村名主善九郎	文化3丙寅年正月日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	71-12
(村入用差引勘定関係綴)	(文化6年正月)	綴/(71-13-1~3は一綴)・1綴	71-13
持高村入用覚帳 寺[](方村)	文化6年己巳正月日	横長半・1冊(5丁墨)	71-13-1
日野伝馬村入用覚帳 寺方村名主善九郎	文化6年己巳正月日	横長半・1冊(3丁墨)	71-13-2
小行力人足覚帳 寺方村名主善九郎	(文化6年)己巳正月日	横長半・1冊(9丁墨)	71-13-3
[]村入用覚帳 名主平右衛門	嘉永3年	横長半/(破損あり)・1冊	497
去辰年村入用帳 百性惣三郎[]・豊次郎(印)・幸次郎(印)・寅吉(印)・代三郎(印)・東井庵(印)・義宗(爪印)・越石百性幸内(印)・栄三郎(印)・清次郎(印)・隼太郎(印)・銀蔵(印)・伊三郎・嘉六・吉兵衛(印)・惣□(八)・組頭長□(松)・名主善四郎(印)	明治2年巳3月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(4丁墨)	73-1
去辰年村入用帳 武州多摩郡寺方村百性惣三郎(印)・豊次郎(印)・幸次郎(印)・寅吉(印)・代三郎(印)・東井庵(印)・義宗(爪印)・越石百性幸内(印)・栄三郎(印)・清次郎(印)・隼太郎(印)・銀蔵(印)・伊三郎・嘉六・吉兵衛(印)・惣八(印)・清左衛門(印)・百性政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)	明治2年巳3月日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	73-2
分金取立覚帳(村入用等差引に付) 名主善九郎	文化14年午ノ2月吉日	横長半・1冊(3丁墨)	304
(村入用書上覚カ) *(前後欠)	(近世)	横切継紙・1通	389
村入用覚帳	(近世)	横長半・1冊(2丁墨)	453
(酒・とうふほか諸品代金書付) *(前後欠)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	559

1.10.2.村入用差引勘定

村入用指引帳 *(表紙後筆)「浅井様」 組頭伝兵衛(印)・百姓重左衛門(印)・同長右衛門(印)・同太郎右衛門(印)・同与兵衛(印)・同佐兵衛(印)・同藤右衛門(印)・同彦四郎(印)・同寿徳寺(印)・同二郎左衛門(印)・同市右衛門(印)	延享2年丑之11月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(4丁墨)	72-1
村入用差引帳 *(表紙後筆)「浅井様」 組頭太兵衛(印)・十左衛門(印)・二郎左衛門(印)・東伊庵・与兵衛(印)・佐五右衛門(印)・多郎右衛門(印)・長右衛門(印)・市右衛門(印)・藤右衛門(印)・定右衛門(印)・只七・善右衛門	宝暦4年戌ノ12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(6丁墨)	72-2
(村入用差引勘定帳関係綴)	(宝暦9年11月)	綴/(72-3-1~2は一綴)・1綴	72-3

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/2.村入用差引勘定

村入用差引勘定覚帳 名主善右衛門	(宝暦9年)卯ノ11月	横長半・1冊(6丁墨)	72-3-1
村入用差引勘定覚帳 名主善右衛門	宝暦9卯ノ11月	横長半・1冊(6丁墨)	72-3-2
辰ノ村入用割差引帳 寺方村百姓彦右衛門(印)・同多右衛門(印)・加左衛門(印)・佐五右衛門・同学仙代印(印)・同孫兵衛(印)・同只七(印)・同藤右衛門(印)・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門	宝暦10年辰ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	72-4
(村入用差引勘定帳綴)	(明和5年12月)	綴/(44-8-1~2は一綴)・1綴	44-8
当子ノ[](村入用割差引帳) *(表紙後筆)「曾我様」藤右衛門(印)・彦右衛門(印)・太右衛門(印)・嘉左衛門(印)・孫市(印)・左五右衛門(印)・只七(印)・千丈・定右衛門(印)・善右衛門	(明和5年)子12月	横長半・1冊(8丁墨)	44-8-1
当子ノ村入用割差引帳 *(表紙後筆)「浅井様」 寺方村善右衛門	明和5年子ノ12月	横長半・1冊(6丁墨)	44-8-2
度々増村入用差引勘定帳 寺方村善右衛門	安永4年末ノ閏12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(10丁墨)	72-5
村入用差引帳 寺方村名主善次	寛政2戌年極月	横長半/(虫損甚大)/(破損甚大)/(水損あり)・1冊(10丁墨)	72-6
村入用勘定帳 寺方村名主善右衛門	かんせい(寛政)7年卯12月	横長半・1冊(4丁墨)	71-8
村入用差引勘(定)帳 寺方村名主善九郎	かんせい(寛政)11年末極月日	横長半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	72-7
(村入用差引勘定関係綴)	(寛政12年12月)	綴/(71-10-1~2は一綴)・1綴	71-10
村入用勘定割合帳 寺方村名主善九郎	寛政12年申ノ12月日	横長半・1冊(3丁墨)	71-10-1
日野御伝馬勘定割[] (寺方村)	寛政12年申ノ12月	横長半・1冊(3丁墨)	71-10-2
村入用差引勘定帳	文化3年寅12月	横長半/(鼠食損甚大)/(展開不能)・1冊(6丁墨)	447
村入用指引勘定帳 寺方村	文化5年辰ノ12月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(7丁墨)	72-8
村入用指引勘定帳 寺方村名主善九郎	文化6年巳ノ12月日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(7丁墨)	72-9
村入用勘定差引帳 寺方村	文化7年午ノ12月	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(5丁墨)	72-10
村入用勘定覚帳 寺方村名主善九郎	文化10年申(酉)極月日	横長半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	71-14
村入用勘定帳 寺方村名主善九郎	文化11年戌ノ12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(4丁墨)	71-15

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/2.村入用差引勘定

村入用差引勘定帳 寺方村	文化11年戌12月日	横長半/(虫損・鼠食損甚大)/(水損あり)・1冊<7丁墨>	72-12
村入用勘定帳 外二堰扶持差引 百姓代藤右衛門・組頭五三郎・名主善九郎	文化14年丑ノ12月日	横長半/(虫損あり)・1冊<4丁墨>	71-16
村入用勘定帳 (寺方村)	文政元年寅12月	横長半/(虫損あり)/(破損あり)・1冊<4丁墨>	71-17
村入用勘定覚帳 寺方村	文政2年卯12月日	横長半/(虫損あり)/(破損あり)・1冊<3丁墨>	71-18
村入用勘定割合帳	文政3年辰3月	横長半/(虫損あり)・1冊<3丁墨>	72-13
村入用勘定帳 (寺方村)	文政3年辰ノ12月	横長半/(虫損あり)/(破損あり)/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊<4丁墨>	71-19
村方諸入用受取覚	文政7年8月吉日	横帳半/(破損甚大)・1冊	502
村入用勘定帳 寺方村	文政7年申霜月	横長半/(虫損あり)・1冊<5丁墨>	71-20
村入用覚帳(勘定に付) 寺方村	文政8年酉霜月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊<5丁墨>	71-21
村入用勘定帳 寺方村	文政9年戌ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊<5丁墨>	71-22
村入用差引勘定帳 寺方村名主善九郎	文政8年酉12月日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊<8丁墨>	72-11
村入用差引勘定帳 名主善九郎	文政8年酉12月日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊<10丁墨>	72-14
村入用勘定帳 寺方村組頭五三郎・名主善九郎	文政10年亥ノ極月	横長半/(虫損あり)・1冊<5丁墨>	71-23
村入用差引勘定帳 名主善九郎	文政10年亥12月日	横長半/(虫損・鼠食損甚大)/(水損あり)・1冊<6丁墨>	72-15
村入用指引勘定帳 岩堰反掛人足割合帳 寺方村名主善九郎	文政11年子ノ12月日	横長半/(虫損・鼠食損・水損あり)・1冊<8丁墨>	72-16
村入用勘定帳 寺方村組頭五三郎・名主善九郎	文政12年丑ノ12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊<4丁墨>	71-24
村入用役銭割合差引勘定帳并堰反掛り人足差引 寺方村名主善九郎	文政12年丑ノ12月吉日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊<9丁墨>	72-17

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/2.村入用差引勘定

村伏銭割合差引勘定帳 * (表紙後筆)「夏成酉年六月日」 寺方村善九郎	天保2年卯12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	72-28
村入用勘定帳 (寺方村)	天保3年辰極月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(4丁墨)	71-25
村入用勘定堰反掛り人足差引帳 寺方村名主善九郎	天保3年辰12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	72-18
村入用勘定帳 (寺方村)	天保4年巳ノ12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(5丁墨)	71-26
村入用勘定差引帳 岩堰反掛扶持差引帳 寺方村名主善九郎	天保4年巳ノ12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	72-19
村入用勘定帳 (寺方村)	天保5年午ノ極月	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(5丁墨)	71-27
村入用諸役差引割合帳・堰扶持割合帳 寺方村名主善九郎	天保5年未ノ12月日	横長半/(虫損・鼠食損甚大)/(水損あり)・1冊(6丁墨)	72-20
村入用勘定帳 (寺方村)	天保6年未ノ12月	横長半/(虫損あり)/(破損あり)・1冊(4丁墨)	71-28
村入用勘定帳 組頭五右衛門・名主善九郎	天保7年申ノ霜月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(5丁墨)	71-29
村入用役銭割合勘定差引帳 寺方村名主善九郎	天保7年申12月	横長半/(破損あり)・1冊(12丁墨)	488
村入用勘定帳 寺方村名主善九郎	天保9年戌ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	71-30
村入用勘定差引堰反掛人足割合 寺方村名主善九郎	天保9年戌12月日	横長半/(虫損・鼠食損甚大)/(水損あり)・1冊(10丁墨)	72-21
村入用勘定帳 組頭五右衛門・名主善九郎	天保10年亥ノ極月日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(4丁墨)	71-31
村入用指引勘定帳 名主善九郎	天保10年亥12月	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(7丁墨)	72-24
村入用勘定帳 名主善九郎	天保11年子12月	横長半/(虫損・水損あり)/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(4丁墨)	71-32
村入用勘定差引帳(岩堰反掛人足扶持方勘定) * (表紙のみ) 寺方村名主	天保11年子12月	横長半・1冊(1丁墨)	522
村入用勘定差引帳 岩堰反掛り人足方勘定 寺方村名主善九郎	天保12年丑ノ12月	横長半・1冊(12丁墨)	72-22

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/2.村入用差引勘定

村入用勘定差引帳 寺方村名主善九郎	天保13年寅12月日	横長半/(虫損あり)/(水損あり)・1冊(8丁墨)	72-23
村入用差引勘定帳 * (表紙後筆)「堰反掛」 名主善九郎	安政5年午12月吉日	横長半/(虫損・鼠食損甚大)/(水損あり)・1冊(9丁墨)	72-25
村入用差引勘定帳 名主善九郎	安政6年未12月18日	横長半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	72-26
村入用差引勘定帳 名主善九郎	万延元年申7月吉日	横長半・1冊(4丁墨)	72-27
[]覚帳(村入用差引勘定帳) * (断簡) 名主善九郎	(近世)元年[]月朔日	横長半/(破損甚大)・1冊(9丁墨)	511
(村入用勘定帳) * (表紙欠)	(近世)	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(4丁墨)	71-33
(村入用諸色差引勘定書上) * 本文墨消しあり	(近世)	横長半/(紙縫破損)・1冊(4丁墨)	295-20
(村入用差引勘定帳) * (前後欠)	(近世)	横長半/(綴痕あり)/(丁はずれ)/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	440
[]村入用差引帳 名主善右衛門	(近世)	横長半/(破損甚大)・1冊(5丁墨)	448
(村入用取立勘定帳) * (前欠)	(近世)	横長半/(破損甚大)・1冊(6丁墨)	484-4
(村入用勘定帳) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損)/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	495
(村入用勘定帳) 立会人政吉・長松	(近世)	横長半/(破損甚大)・1冊(4丁墨)	513
(村入用等諸入用勘定帳) * (前欠)	(近世)	横長半/(綴じ外れ)・1冊(3丁墨)	517
(入用金より荏代・大豆返り金差引勘定書上)	(近世)	横長半・1冊(1丁墨)	524
(村入用ほか諸入用勘定書上)	(近世)	横長半/(鼠食損あり)・1冊(10丁墨)	529

1.10.3.小行力人足

小行力人足廻り帳 * (後欠)	文化15年寅ノ正月	横長半・1冊(3丁墨)	364
-----------------	-----------	-------------	-----

1.10.4.伝馬村入用

日野御伝馬村入用覚帳 * (後欠) 寺方村	文化15年寅ノ正月吉日	横長半・1冊(3丁墨)	363
-----------------------	-------------	-------------	-----

(伝馬出人足村入用関係綴)	(天保3年正月)	綴/(82-1-1~2は一綴)・1綴	82-1
御伝馬出人足村入用覚帳 寺方村名主	天保3年辰正月日	横長半・1冊(2丁墨)	82-1-1
小行力人足覚帳	天保3年辰正月日	横長半・1冊(7丁墨)	82-1-2
助郷人馬其外賄入用書上帳 右両給(曾我駒之丞・浅井永之丞)惣代曾我駒之丞知行所武州多摩郡寺方村百姓代善藏・組頭長松・名主善九郎	天保10亥年	半・1冊(4丁墨)	140
御伝馬出人足村入用帳 寺方村名主善九郎	天保13年寅正月日	横長半・1冊(8丁墨)	82-2
御伝馬出人足村入用帳 *(表紙後筆)「上知ニ付入用」名主善九郎	天保14年卯正月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(13丁墨)	82-3
御伝馬出人足村入用覚帳 寺方村名主	天保15年辰正月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(11丁墨)	82-4
御伝馬出人足村入用帳 寺方村名主	弘化2年巳正月	横長半/(破損甚大)・1冊(17丁墨)	485
御伝馬出人足村入用帳 寺方村名主	弘化3年午正月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(12丁墨)	82-5
御伝馬村入用覚[] []村名主	弘化5年申正月	横長半/(破損甚大)・1冊	501
御伝馬村入用覚帳 寺方村名主	嘉永2年酉正月日	横長半/(紙縫一部破損)・1冊(8丁墨)	82-7
御伝馬村入用覚帳 名主平右衛門	嘉永2年酉正月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(12丁墨)	82-8
御伝馬村入用覚帳 寺方村名主	加(嘉)永3年戌正月日	横長半/(表紙丁外れ)/(虫損あり)・1冊(10丁墨)	82-6
御伝馬□(出)人足村入用帳 名主[]	加(嘉)永5年□(子)正月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(9丁墨)	82-9
御伝馬出人足村入用帳 寺方村名主	加(嘉)永5年子正月日	横長半/(虫損あり)/(紙縫一部破損)・1冊(10丁墨)	82-10
御伝馬人足村入用帳 寺方村名主善九郎	安政3年巳(マ)正月吉日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(9丁墨)	82-11
御伝馬出人足村人(入)用帳 *本文墨消あり 寺方村名主	万延2酉年正月吉日	横長半・1冊(10丁墨)	82-12
御伝馬出人足村入用帳 寺方村名主両組	文久4年子正月日	横長半/(後部破損)・1冊(10丁墨)	82-15

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/4.伝馬村入用

御伝馬出人足村入用帳 名主善四郎	元治元年甲子7月吉日	横長半・1冊(8丁墨)	82-16
御伝馬出人足村入用帳 寺方村名主兩組	元治2年丑正月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(19丁墨)	82-17
御伝馬村入用控帳 兩給	慶応4年辰正月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(15丁墨)	82-18
御伝馬村入用帳 兩給	慶応4年辰7月日	横長半/(破損あり)・1冊(10丁墨)	82-19
(五兵衛2貫8文伝馬出分ほか書上帳) *(前欠)	(近世)	横長半・1冊	350
(幸七分伝馬村入用差引書上)	(近世)	横長半/(綴痕あり)/(丁はずれ)/(虫損あり)・1冊(1丁墨)	378
馳伝馬[]	(近世)	横長半/(破損甚大)/(454-1~2は癒着のため展開不能)・1冊	454-1

1.10.5.伝馬村入用知行所割

日野宿人足伝馬諸入用割合帳 寺方村名主善右衛門	安永4年末ノ閏12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(6丁墨)	79-1
当亥七月伝馬渡シ賃諸役銭割帳 寺方村名主	享和3年月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(3丁墨)	85
日野御伝馬村入用割合帳 名主伝兵衛(印)・同善九郎(印)	文化5年辰ノ12月日	横長半・1冊(4丁墨)	79-7
日野御伝馬村入用割合帳 名主伝兵衛・同善九郎	文化6年巳ノ12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	79-8
日野御伝(馬)村入用割合帳 名主善九郎(印)・同伝兵衛	文化7年午ノ12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	79-11
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同伝兵衛(印)	文化10年酉ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	79-13
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同伝兵衛	文化11年戌12月13日	横長半/(虫損・鼠食損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-14
日野御伝馬村入用勘定割合帳 名主善九郎・同伝兵衛(印)	文化13年子ノ12月日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-15
日野宿御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵(印)	文政3年辰ノ12月日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(4丁墨)	79-18
日野宿御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	文政9年戌12月朔日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(4丁墨)	79-19

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/5.伝馬村入用知行所割

日野宿御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	文政11年子12月7日	横長半/(虫損甚大)/(水損あり)・1冊(5丁墨)	79-20
日野宿御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保7年申7月3日	横長半/(虫損・鼠食損・水損あり)・1冊(6丁墨)	79-21
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保9年戌7月5日	横長半/(虫損甚大)・1冊(5丁墨)	79-24
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保9年戌12月15日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	79-23
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保10年亥7月4日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	79-25
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保10年亥12月日	横長半/(虫損・鼠食損・水損あり)・1冊(4丁墨)	79-26
御伝馬村入用引訳勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保11年子7月5日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	83-3
日野御伝馬村入用勘定帳 名主要蔵・同善九郎	天保11年子12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	79-27
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保12年丑12月5日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	79-28
御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・要蔵	天保13年寅7月17日	横長半・1冊(5丁墨)	81-4-1
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保13年寅12月11日	横長半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	79-29
御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保14年卯7月5日	横長半・1冊(5丁墨)	81-6
日野御伝馬村入用差引勘定帳(知行所割に付) (寺方村)	天保14年卯12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	79-31
御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保15年辰7月8日	横長半・1冊(4丁墨)	81-7
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	天保15年辰ノ12月12日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	79-32
(伝馬村入用差引勘定関係綴)	(弘化2年7月)	綴/(81-10-1~2は一綴)・1綴	81-10
御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同要蔵	弘化2年巳7月8日	横長半・1冊(4丁墨)	81-10-1
覚(水代差引勘定に付)	(弘化2年カ)	横切紙・1通	81-10-2
日野御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・同儀右衛門	弘化4年未12月5日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	79-33
日野御伝馬村入用勘定帳 立合人寺方村名主平右衛門・同儀右衛門	加(嘉)永元年申7月朔日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-34

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/5.伝馬村入用知行所割

日野御伝馬村入用勘定帳 衛門	立合人名主平右衛門・同儀右	加(嘉)永元年申12月15日	横長半/(虫損・水損あり)/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(6丁墨)	79-35
日野御伝馬村入用勘定帳 衛門	立合人名主平右衛門・同儀右	加(嘉)永2年酉12月7日	横長半/(虫損・鼠食損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-36
日野御伝馬村入用勘定帳 衛門	立合人名主平右衛門・同儀右	加(嘉)永3年戌7月4日	横長半/(虫損・鼠食損・水損あり)/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(6丁墨)	79-37
日野御伝馬村入用勘定帳 衛門	立合人名主平右衛門・同儀右	加(嘉)永3年戌12月11日	横長半/(虫損・鼠食損・水損あり)・1冊(6丁墨)	79-38
日野御伝馬村入用勘定帳 衛門	立合人名主平右衛門・同儀右	加(嘉)永4年亥7月10日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(6丁墨)	79-39
日野御伝馬村入用勘定帳 衛門	立合人名主平右衛門・同儀右	嘉永6年丑7月3日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-41
日野御伝馬村入用勘定帳 衛門	立合人名主平右衛門・同儀右	嘉永6年丑12月日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-40
日野御伝馬村入用勘定帳	立合人善九郎・儀右衛門	安政4年巳12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-43
日野御伝馬村入用勘定帳	名主善九郎	安政5年午12月20日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	79-44
御伝馬村入用勘定帳	立合人善九郎・儀右衛門	文久元年酉7月9日	横長半/(貼紙あり)・1冊(6丁墨)	81-16
御伝馬人足村入用勘定帳	名主代長松	文久2年戌7月11日	横長半・1冊(6丁墨)	82-13
御伝馬村入用勘定帳	立合人長松・幸内	文久2年戌12月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(7丁墨)	81-17
御伝馬村入用勘定帳	立合人幸内・長松	文久3年癸亥12月15日	横長半・1冊(6丁墨)	81-18
御伝馬人足村入用勘定帳	名主善四郎	元治元年子12月	横長半/(虫損あり)/(綴じ紐に括り付け文書3点あり)・1冊(7丁墨)	81-19
御伝馬人足村[](入用勘定帳)		慶応元(年)丑7月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(9丁墨)	81-23
御伝馬村入用勘定帳	名主善四郎	慶応2年寅7月7日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(6丁墨)	81-24

御伝馬村入用勘定帳	慶応3年卯7月日	横長半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	81-26
御伝馬村入用引分勘定帳	慶応4年辰4月吉日	横長半/(破損あり)・1冊(7丁墨)	83-12
御伝馬引分勘定帳 * (表紙後筆)「消」	慶応4年辰7月日	横長半・1冊(7丁墨)	83-13
御伝馬村入用引分勘定帳 寺方村両給	明治元年辰12月日	横長半・1冊(8丁墨)	83-14
(日野御伝馬村入用勘定帳) 名主善九郎・同要蔵	(近世)西ノ12月21日	横長半/(破損甚大)・1冊(5丁墨)	322
(御伝馬村入用勘定帳)	(近世)	横長半/(鼠食損あり)・1冊(4丁墨)	295-35

1.10.6.伝馬村入用差引勘定

(日野伝馬村入用勘定関係綴)	(寛政8年12月)	綴/(79-2-1~2は一綴)・1綴	79-2
日野御伝馬勘定帳 * (表紙後筆)「三冊分」 寺方村名主	寛政8辰年12月日	横長半・1冊(9丁墨)	79-2-1
村入用割[]	寛政8辰年12月日	横長半・1冊(2丁墨)	79-2-2
日野御伝馬村諸役割帳 寺方村名主善九郎・忠治	寛政11年未極月日	横長半/(虫損・鼠食損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-3
日野伝馬村入用勘定割合帳 多摩郡寺方村百姓甚助(印)・同佐七・同忠七・同豊次郎・同孫兵衛・同幸七(印)・同嘉助(印)・同五三郎(印)・同東伊庵・同源次郎・名主組頭兼善九郎	享和元年酉12月	横長半/(虫損甚大)・1冊(5丁墨)	79-4
日野伝馬人足村入用差引勘定帳 寺方村名主善九郎	文化元年子ノ12月	横長半・1冊(5丁墨)	79-5
日野伝馬村入用[](勘定帳カ)	文化(3)年寅	横長半/(破損甚大)・1冊	500
日野伝馬村入用勘定割帳 百姓代豊治郎・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化4年卯12月	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(4丁墨)	79-6
日野伝馬村入用勘定帳 百姓代豊次郎(印)・組頭五三郎(印)・名主善九郎	文化6年巳ノ12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	79-9
日野伝馬村入用勘定帳 百姓代豊次郎(印)・組頭五三郎・名主善九郎	文化7年午ノ12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	79-10
日野御伝馬村入用勘定帳 寺方村名主善九郎(印)・同伝兵衛(印)	文化14年丑ノ12月日	/(虫損・鼠食損・水損あり)・1冊(5丁墨)	79-16
日野宿御伝馬村入用勘定帳 名主善九郎・要蔵	文政7年申12月	横長半/(破損甚大)・1冊(3丁墨)	561
日野宿御伝馬村入用勘定帳 寺方村名主	文政8年酉12月6日	横長半/(破損甚大)・1冊(4丁墨)	560
日野宿御伝馬村入用勘定帳 寺方村名主	文政12年丑12月8日	横長半/(破損あり)・1冊(5丁墨)	461

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/6.伝馬村入用差引勘定

日野宿御伝馬村入用勘定帳	寺方村	文政13年寅12月6日	横長半/(破損あり)・1冊(5丁墨)	462-2	
日野宿御伝馬村入用勘定帳	寺方村	天保2年卯12月6日	横長半/(破損あり)・1冊(5丁墨)	462-1	
日野宿御伝馬村入用勘定帳	寺方村名主善九郎・同要蔵	天保4年巳12月5日	横長半/(破損あり)・1冊(4丁墨)	469	
日野宿御伝馬村入用勘定帳	寺方村名主善九郎・同要蔵	天保5年午7月5日	横長半/(破損あり)・1冊(4丁墨)	468	
御伝馬人足割合勘定差引帳	寺方村名主善九郎	天保5年午7月日	横長半/(虫損あり)・1冊(2丁墨)	83-1	
日野宿御伝馬村入用勘定帳	寺方村名主善九郎・同要蔵	天保5年午12月19日	横長半/(破損あり)・1冊(4丁墨)	470	
日野宿御伝馬村入用勘定帳	寺方村	天保6年未12月16日	横長半/(破損あり)・1冊(3丁墨)	467-2	
伝馬村入用勘定差引堰反掛り人足扶持割合差引	寺方村名主善九郎	天保6年未ノ12月	横長半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(7丁墨)	83-2	
日野助郷御伝馬改御出役諸懸割合帳	日野宿御伝馬村入用差引勘定帳	寺方村名主善九郎	天保7年申7月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(8丁墨)	79-22
日野宿御伝馬村入用[]	名主善九郎・同要蔵	天保8年酉7月4日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	528	
伝馬村入用勘定帳	寺方村	天保8年酉ノ7月	横長半・1冊(3丁墨)	81-1	
(日野御伝馬村入用勘定帳)	善九郎	天保10年亥7月8日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(2丁墨)	564	
御伝馬村入用勘定帳	名主善九郎	天保12年丑7月日	横長半・1冊(3丁墨)	81-2	
御伝馬村入用差引勘定帳	名主善九郎	天保13年寅7月日	横長半・1冊(6丁墨)	81-5	
御伝馬村入用勘定帳	名主善九郎	天保14年卯7月日	横長半・1冊(5丁墨)	81-3	
日野御伝馬村入用勘定帳	寺方村名主善九郎	天保14年卯12月日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(13丁墨)	79-30	
御伝馬村入用勘定帳	寺方村名主善九郎	天保15年辰7月日	横長半・1冊(4丁墨)	81-9	
御伝馬村入用差引勘定帳	名主善九郎	天保15年辰12月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(12丁墨)	81-8	
御伝馬村入用差引勘定帳	寺方名主善九郎	弘化2年巳ノ12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(12丁墨)	83-4	
御伝馬御地頭所御用向村入用帳	名主善九郎	弘化5年申正月日	横長半・1冊(14丁墨)	86-1	

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/6.伝馬村入用差引勘定

御伝馬村入用勘定帳 名主平右衛門	加(嘉)永元年申7月日	横長半・1冊(4丁墨)	81-11-1
伝馬村入用勘定帳 名主平右衛門	加(嘉)永元年申12月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(3丁墨)	526
御伝馬村入用勘定帳 名主平右衛門	加(嘉)永2年酉7月日	横長半・1冊(6丁墨)	81-12
日野御伝馬村入用勘定帳	嘉永2年7月	横長半/(破損甚大)・1冊(6丁墨)	498
御伝馬村入用勘定帳 名主平右衛門	加(嘉)永2年酉12月日	横長半・1冊(3丁墨)	81-13
御伝馬村入用勘定帳 名主平右衛門	加(嘉)永3年戌7月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(6丁墨)	81-14
御伝馬村入用勘定帳 名主平右衛門	加(嘉)永4年亥7月日	横長半・1冊(6丁墨)	81-15
御伝馬出人足御地頭御用向諸事控帳 名主平右衛門	加(嘉)永6年丑正月日	横長半・1冊(15丁墨)	86-2
御伝馬村入用差引勘定帳 名主平右衛門	嘉永6年丑7月日	横長半・1冊(3丁墨)	83-5
日野御伝馬村入用差引勘定帳 名主平右衛門	嘉永7年寅7月6日	横長半/(虫損・水損あり)・1冊(6丁墨)	79-42
日野宿御伝馬村入用差引勘定帳 名主善九郎	安政6年末7月吉日	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	79-45
日野宿御伝馬村[](入用勘定帳)	安政6年末7月	横長半/(破損甚大)・1冊	503
伝馬村入用差引勘定取立帳 名主善九郎	万延元年申12月21日	横長半・1冊(7丁墨)	83-6
御伝馬村入用差引勘定帳 名主善九郎	文久元年酉7月10日	横長半/(破損あり)・1冊(4丁墨)	83-7
御伝馬村入用勘定差引帳 *本文墨消あり	文久元年酉ノ12月	横長半・1冊(5丁墨)	83-8
御伝馬村入用勘定差引帳 *本文墨消あり	文久元年酉ノ12月	横長半・1冊(10丁墨)	83-9
御伝馬人足村入用勘定帳	文久2年戌7月11日	横長半・1冊(4丁墨)	82-14
御馬村入用勘定差引帳	文久2年戌ノ12月	横長半・1冊(17丁墨)	83-10
御伝馬村入用勘定差引帳 *本文墨消あり	文久2年戌ノ12月	横長半・1冊(10丁墨)	83-11
御伝馬村入用勘定帳 名主善四郎	元治元年甲子12月吉日	横長半・1冊(19丁墨)	81-20
御伝馬村入用勘定帳 寺方村名主善四郎	慶応元年丑7月日	横長半・1冊(12丁墨)	81-21
御伝馬村入用勘定帳 寺方村善四郎	慶応元年丑12月日	横長半・1冊(13丁墨)	81-22

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/6.伝馬村入用差引勘定

御伝馬村入勘定帳 名主善四郎	慶応2年寅7月日	横長半/(表紙下部破損)・1冊(6丁墨)	81-25
御伝馬村入用勘定帳	慶応4年辰7月日	横長半・1冊(9丁墨)	81-27
御伝馬村入用勘定帳 寺方村	明治2年巳9月日	横長半・1冊(8丁墨)	81-28
日野伝馬勘[](日野宿伝馬勘定帳)	寛政7年卯2月	横長半/(破損甚大)・1冊(5丁墨)	554
[]伝馬村割勘定帳 寺方村	(近世)11月	横長半/(破損あり)/(綴じ外れ)/(展開不能)・1冊	492
(幸次郎分・金蔵分等御伝馬村入用差引勘定帳断簡)	(近世)	横折紙/(綴じ穴あり)・1通	81-4-2
(宿伝馬村入用取立勘定帳) * (前欠)	(近世)	横長半・1冊(10丁墨)	473
(伝馬・年頭紙代等金銭書付) * (断簡)	(近世)	横長半/(破損甚大)/(展開不能)・1冊	477

1.10.7.岩堰出人足・普請入用

岩堰勘定差引帳 寺方村善右衛門	寛政9年巳12月	横長半/(表紙下部破損)・1冊(2丁墨)	90-1
岩堰出人足反懸り帳 勘定立会人伝兵衛(印)・善九郎・弥五郎(印)	寛政12年申12月	横長半・1冊(5丁墨)	89-1
岩堰出人足反懸差引勘定帳 寺方村名主善九郎	享和3年亥12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	90-2
岩堰出人足反掛り勘定帳 寺方村	文化元年子12月	横長半・1冊(4丁墨)	89-2
岩堰反懸出人足割入勘定帳	文化2年丑12月	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	89-3
岩堰反掛り出人足割勘定割合帳 寺方村	文化5年辰12月	横長半/(紙縫破損)/(虫損甚大)・1冊(4丁墨)	89-4
岩堰反懸り出人足割合帳 右勘定立会□(人)名主伝兵衛(印)・同名主代武左衛門(印)・善九郎	文化8年未12月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(6丁墨)	89-5
(差引勘定関係綴)	(文化8年12月)	綴/(90-3-1~2は一綴)・1綴	90-3
岩堰反掛り出人足勘定差引并扶持方差引帳 寺方村名主善九郎	文化8年未ノ12月日	横長半・1冊(4丁墨)	90-3-1
未村入用勘定差引帳 * 本文墨消あり 寺方村名主善九郎	文化8年12月日	横長半・1冊(8丁墨)	90-3-2
岩堰反掛り出人足割帳 寺方村	文化9年申ノ12月日	横長半/(虫損甚大)・1冊(5丁墨)	295-26

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/7.岩堰出人足・普請入用

岩堰反掛出人足差引割合帳 寺方村名主善九郎	文化11年戌12月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(4丁墨)	90-4
岩堰出人足諸式割合帳 右勘定立会寺方村名主善九郎・原関戸村組頭八十郎・同音二郎・寺方村名主伝兵衛	文化12年亥12月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(7丁墨)	89-6
岩籍(堰)出人足反掛差引割合帳 外二扶持方差引 寺方村名主善九郎	文化14年丑ノ12月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(9丁墨)	90-5
岩堰人足割合帳 右勘定立会人名主善九郎・同要蔵・原関戸村名主音治郎	文政13年寅ノ12月5日	横長半・1冊(7丁墨)	89-7
岩堰反掛出人足勘定差引帳 寺方村名主善九郎	天保2年卯12月日	横長半・1冊(5丁墨)	90-6
岩堰人足諸色帳 寺方村	天保7年申11月5日	横長半・1冊(8丁墨)	89-12
(岩堰普請勘定帳関係綴)	(天保13年4~5月)	綴/(90-7-1~2は一綴)・1綴	90-7
岩堰普請出人足諸色勘定割合帳 寺方村善九郎	天保13年寅ノ4月9日	横長半・1冊(3丁墨)	90-7-1
岩堰大破普請諸入用勘定帳 寺方村善九郎	天保13年寅5月26日	横長半・1冊(3丁墨)	90-7-2
岩堰御破二付諸入用控帳 *本文墨消あり 寺方村善九郎・同儀右衛門・同勘次郎	天保13年寅4月26日	横長半・1冊(2丁墨)	99
堰入用小挽工手間控帳	天保13年寅5月3日	横長半・1冊(4丁墨)	100
岩堰大破普請入用勘定帳 寺方村名主善九郎・同要蔵・八重郎・立会勘次郎・儀右衛門	天保13年寅5月26日	横長半・1冊(6丁墨)	101
堰反掛出入足差引勘定帳 名主善九良	安政5年午4月吉日	横長半・1冊(3丁墨)	90-13
堰反掛取立帳 名主善九郎	安政6年未6月15日	横長半・1冊(2丁墨)	96
岩堰反掛人足差引勘定帳 名主善九郎	万延元年申7月吉日	横長半/(鼠食損あり)/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(4丁墨)	90-14
岩堰反掛人足差引勘定帳 寺方村善九郎・名主代立人幸次郎・長松	文久元年酉12月26日	横長半・1冊(4丁墨)	90-15
岩堰反掛人足差引勘定帳	文久3年亥4月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(4丁墨)	90-16
岩堰反掛勘定帳 善[](九郎)	慶応元年丑12月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(6丁墨)	89-8
岩堰諸色人足賃反掛勘定帳 寺方村曾我給名主善四郎	慶応3年卯12月5日	横長半・1冊(9丁墨)	89-9

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/7.岩堰出人足・普請入用

岩堰諸掛勘定帳 寺方村名主善四郎	明治2年巳6月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(4丁墨)	89-10
岩堰反掛差引覚	(近世)	横長半/(丁外れ)・1冊(3丁墨)	90-17
(川除入用・人足高書付) * (下部欠)	(近世)	縦紙/(虫損甚大)・1通	225
(堰普請人足ほか買上覚) * (前欠)	(近世)	縦紙/(虫損甚大)・1通	297-100

1.10.8.堰扶持

寺方村惣百姓諸取覚帳(戊年分堰扶持・大豆代渡しに付)	宝永4年亥ノ2月	横長半/(虫損あり)/(綴じ穴あり)・1冊(1丁墨)	295-32
堰扶持小物割渡勘定帳 百姓五三郎・幸七(印)・勘助・甚助(印)・忠七(印)・孫兵衛・源次郎(印)・忠七・組頭忠次郎・名主善右衛門	かんせい(寛政)9ねん巳の12月	横長半/(虫損甚大)・1冊(5丁墨)	91-1
岩堰ふち方割渡シ帳 出人足反掛り割合帳 寺方村名主善九郎	寛政12年申の12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	91-2
堰扶持割合勘定帳 寺方村名主善九郎	享和元年酉極月日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	91-3
岩堰扶持入用被下割合帳 寺方村善九郎	天保3年辰12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	91-4

1.10.9.岩堰村入用差引勘定

(伝馬岩堰人足関係綴)	(弘化3年12月)	綴/(95-1~2は一綴)・1綴	95
伝馬岩堰村入用差引勘定帳	弘化3年午12月日	横長半・1冊(8丁墨)	95-1
(出人足差引勘定書上)	(弘化3年午12月カ)	横長半・1冊(2丁墨)	95-2
岩堰反掛村入用差引勘定帳 名主平右衛門	加(嘉)永5年子12月日	横長半・1冊(12丁墨)	90-8
岩堰反掛村入用差引勘定帳 名主平右衛門	嘉永7年寅12月日	横長半/(虫損あり)・1冊(10丁墨)	90-9
岩堰反掛村入用差引勘定帳 名主善九郎	安政2年卯12月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(11丁墨)	90-10
岩堰反掛村入用差引勘定帳 名主善九郎	安政3年辰12月	横長半・1冊(11丁墨)	90-11
堰反掛村入用差引勘定帳 名主善九郎	安政4年巳12月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(10丁墨)	90-12

1.10.10.寄場組合村入用

[]合村入用帳 寺方村	(近世)[]月8日	横長半/(破損甚大)・1冊(2丁墨)	509
(日野寄合ほか諸入用代金勘定書上)	(近世)	横長半・1冊(5丁墨)	520

1.10.11.下げ金

殿様より被下候割返シ帳(堰扶持米・大豆代・小豆代等に付) * (表紙後筆)「浅井七蔵様」 寺方村名主平右衛門	享保8年卯ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	110-1
殿様より被下候割返シ帳(堰扶持代・大豆代・荏代等に付) * (表紙後筆)「曾我七兵衛様」 寺方村名主平右衛門	享保8年卯ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	111-1
殿様より被下候諸事割返シ帳(堰扶持米・大豆代・小豆代等に付) * (表紙後筆)「浅井様」 寺方村名主平右衛門	享保10年巳ノ12月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	110-2
殿様より被下候諸事割返シ帳(堰扶持代・大豆代・荏代・わらくさ代等に付) * (表紙後筆)「曾我様」 寺方村名主平右衛門	享保10年巳ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	111-2
差上申一札之事(亥年8月大水にて大通り川用水堰場押し切りのため川除普請人足扶持方金1両下され割渡しに付) * (裏書)「下谷御屋敷江納候証文之下書 亥ノ三月廿九日」 武州多摩郡寺方村名主平右衛門印→浅井小右衛門様御内水沼兵大夫様	寛保3癸亥年4月	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-85
殿様より被下候小物成割渡覚帳(堰扶持代・大豆代・荏代等に付) * (表紙後筆)「曾我様」 組頭喜兵衛(印)・百姓嘉左衛門(印)・同彦右衛門(印)・同佐五右衛門(印)・同定右衛門(印)・同市右衛門(印)・同藤右衛門(印)・五右衛門(印)・平右衛門	宝暦元年未ノ12月25日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	111-3
殿様より被下候小物成割渡シ帳(堰扶持米・大豆代・小豆代等に付) 百姓長右衛門(印)・組頭伝兵衛(印)・百姓多郎右衛門(印)・同与兵衛・同重左衛門(印)・同二郎左衛門(印)・同佐五右衛門(印)・同市右衛門(印)・同定右衛門(印)・同藤右衛門(印)・同東伊庵[印]・五右衛門(印)	宝暦元年未ノ12月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(5丁墨)	110-3
当辰年小物成割渡帳(堰扶持米・大豆代・小豆代等に付) * (表紙後筆)「浅井様」 兵右衛門・長右衛門・作五右衛門(印)・甚右衛門(印)・権右衛門(印)・太郎右衛門(印)・藤右衛門(印)・只七・定右衛門(印)・孫兵衛(印)・東伊庵(印)・太兵衛(印)・善右衛門	宝暦10年辰ノ11月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(6丁墨)	110-4
未ノ年小物成割渡シ帳(堰扶持代・大豆代・荏代等に付) * (表紙後筆)「曾我様」 百姓藤右衛門(印)・同兵右衛門・同只七(印)・同太右衛門(印)・同彦右衛門(印)・同学仙[印]・同佐五右衛門(印)・同嘉左衛門(印)・同孫兵衛(印)・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門(印)	宝暦13年未ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	111-4
当酉ノ年小物成割渡シ帳(堰扶持代・大豆代・荏代等に付) * (表紙後筆)「曾我様」 百姓藤右衛門(印)・同只七(印)・同太右衛門(印)・同彦右衛門(印)・同学仙[印]・同佐五右衛門・同加左衛門(印)・同孫兵衛(印)・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門	明和2年酉ノ12月	横長半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	111-5

1.寺方村名主/10.村方諸色勘定/11.下げ金

当亥ノ小物成割渡シ帳(堰扶持代・大豆代・荏代等に付) 百姓藤右衛門(印)・只七(印)・太郎右衛門(印)・彦左衛門(印)・千丈(印)・佐五右衛門(印)・嘉左衛門(印)・孫市(印)・組頭定右衛門(印)・名主善右衛門	明和4年亥ノ12月	横長半/(虫損・鼠食損甚大)・1冊<6丁墨>	117-1
当子年小物成割渡シ帳(堰扶持米・大豆代等に付) 百姓藤右衛門(印)・兵右衛門(印)・久蔵(印)・源二郎(印)・佐五右衛門(印)・治兵衛(印)・太郎右衛門(印)・東伊庵・只七(印)・定右衛門(印)・組頭太郎兵衛(印)・名主善右衛門(印)	明和5年子ノ12月	横長半・1冊<6丁墨>	117-2
一札之事(米代請取に付) 武州多摩郡寺方村百姓代忠次郎・与頭幸七・名主善次郎(印)→御屋敷之内中嶋源蔵様	天明4辰7月27日	豎紙/(鼠食損あり)・1通	201
村利帳 * (表紙のみ) 寺方村	天明5年11月吉日	横長半・1冊<1丁墨>	457
万小物割堰扶持割帳 寺方村名主	寛政8辰年12月日	横長半・1冊<5丁墨>	139
小物成割度(渡)シ小役米割度(渡)シ帳 寺方村名主善九郎	かんせい(寛政)12年申11月日	横長半/(虫損あり)・1冊<3丁墨>	117-3
御地頭様御下ヶ金年賦割渡帳 名主善九郎	弘化元年辰12月日	横長半・1冊<3丁墨>	113-1
年賦金割合渡シ方帳 名主善九郎	弘化2年巳11月日	横長半・1冊<3丁墨>	130
御地頭所御下ヶ金割渡帳 名主平右衛門	加(嘉)永3年戌12月日	横長半・1冊<3丁墨>	113-2
(大豆代・小豆代・堰人足賃割渡帳) * (前欠) 百姓藤右衛門(印)・同兵右衛門(印)・同只七(印)・同治兵衛(印)・同久蔵(印)・同佐五右衛門(印)・同甚右衛門(印)・同東伊庵(印)・同太郎右衛門(印)・同孫兵衛(印)・同定右衛門(印)・組頭太郎兵衛(印)・名主善右衛門	(近世)巳12月	横長半・1冊<4丁墨>	173-14
(堰御入用などに付覚)	(近世)	半/(破損甚大)/ (展開不能)・1冊	418-1

1.11.村政

1.11.1.村議定

(無証人質物取りは曲事ほか村内規定連判請書) * (前後欠) 寺方村名主印・組頭印・五人組合誰印・誰印→阿部団進殿・本木新八郎殿	元禄11戊寅年8月	半・1冊<17丁墨>	337
儀定一札之事(公儀御法度に付) * (後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-103

1.11.2.村明細書上

(寺方村曾我知行所分明細帳) * (下書) 寺方村名主平右衛門・和左衛門・組頭喜兵衛・惣百姓代彦右衛門→川喜多与惣殿	享保10年巳10月	半・1冊<7丁墨>	22
(質地・入作地・家数・人別など村明細書上)	(近世)	半・1冊<3丁墨>	295-7
(武州多摩郡日野組合寺方村曾我・浅井両給高札場より村境書上)	(近世)	半/(虫損・鼠食損あり)/(綴じ穴あり)・1冊<1丁墨>	295-10

(寺方村明細帳) * (前欠) 右村(寺方村)名主善四郎	(近世)	半/(綴じ外れ)・1冊(2丁墨)	475
------------------------------	------	------------------	-----

1.11.3.五人組

五人組牒控 武州多摩郡寺方村太郎右衛門(印)・藤右衛門(印)・権右衛門(印)・甚右衛門(印)・重左衛門(印)・弥五左衛門(印)・佐兵衛(印)・嘉左衛門(印)・喜兵衛(印)・七兵衛(印)・只七(印)・孫兵衛(印)・与頭多兵衛(印)・同役定右衛門(印)・名主善右衛門(印)→曾我織部様御内加藤林右衛門殿・川喜多吉右衛門殿	宝暦13癸未年6月	美/(鼠食損あり)/(虫損あり)/(最終丁一部綴外れ)・1冊(24丁墨)	161
五人組御仕置帳 武州多摩郡寺方村名主善四郎(印)・組頭長松(印)・百姓代政吉(印)・百姓幸治郎(印)・同代三郎(印)・同豊次郎(印)・同惣三郎(印)・同寅吉(印)→神奈川県御裁判所	明治2年巳3月日	半・1冊(27丁墨)	18-1

1.11.4.持高書上

武州多摩郡日野領寺方村人別持高改帳 寺方村名主五右衛門(印)・組頭庄左衛門(印)・長左衛門(印)	元禄2年巳ノ正月	半/(裏打あり)・1冊(9丁墨)	14-1
武州多摩郡日野領寺方村人別持高改帳 * (後欠) 寺方村	元禄11年寅7月	半・1冊(7丁墨)	14-2
村高覚帳(百姓持高書上) 寺方村名主善右衛門	寛政6年寅ノ12月	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(4丁墨)	8
御相給村方持高覚帳 寺方村名主善九郎	天保10年亥7月日	横長半・1冊(5丁墨)	9
持高覚帳 名主善九郎	天保14年卯11月日	横長半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	158-1
持高帳 名主平右衛門	嘉永元年申7月日	横長半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	158-2
持高帳 * (下書カ) 名主平右衛門	嘉永元年申7月日	横長半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(4丁墨)	158-3

1.11.5.村役人

(村方名主善右衛門病身に付役目勤め難く退役相願ひ、俸善次方へ跡役仰せ付ける旨申達書) * (後欠)	(安永8年)	横切紙・1通	352
---	--------	--------	-----

1.11.6.高札

御高札修復諸掛り勘定帳 両給	明治2年巳7月	横長半・1冊(2丁墨)	445
----------------	---------	-------------	-----

1.11.7.村絵図

(寺方村絵図)	(近世)	47.6×32.9・1鋪	292
---------	------	--------------	-----

1.11.8.諸願

入置申一札之事(私義心得違い致すに付) *(後欠)	(近世)	堅切紙/(破損甚大)・1通	416
入置申一札之事(当四郎病死のため当方に頼み入れに付) 八王子寺町幾次郎(印)・同所親類岩治郎(印)・同組合善兵衛(印)→[]右衛門殿	(近世)	堅紙/(上部欠損)・1通	494

1.11.9.来訪人

①往来一札(牛込赤城住人吉五郎身延山並びに諸国靈場参詣に付)、②寺手形寺札之事(吉五郎諸国靈場参詣に罷り出候に付) ①・②江戸四谷南寺町日蓮宗本性寺[印]→①諸国御関所御番役中、②諸国御寺院衆中	①・②嘉永7寅壬(マ)7月	堅紙・1通	258
---	---------------	-------	-----

1.11.10.諸書付

(曾我知行所5ヶ村高の覚・当村百姓持高の覚・諸事控・名主江戸遣い割の覚)	(近世)	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(6丁墨)	159
(蓮光寺村等12ヶ村名主名前書上)	(近世)	堅継紙/(虫損あり)・1通	297-48

1.12.人別

1.12.1.宗門改め・人別改め

(宗門御改帳) *(前欠) 武蔵国多摩郡寺方村名主善右衛門(印)・年寄善兵衛(印)・組頭長左衛門(印)・同七郎右衛門(印)→古川武兵衛様	元禄10年丑正月	半/(虫損甚大)・1冊(7丁墨)	15-3
武蔵国多摩郡日野領寺方村宗門御改帳 武蔵国多摩郡日野領寺方村名主善右衛門・組頭太郎右衛門(印)→曾我七兵衛様御内岩佐十郎兵衛殿・阿部団進殿	元禄16年未ノ2月	半/(虫損甚大)・1冊(10丁墨)	15-1
武州多摩郡日野領寺方村宗門御改帳 武蔵国多摩郡日野領寺方村名主善右衛門(印)・組頭七郎右衛門(印)→曾我七郎様御内岩佐十郎兵衛殿・阿部団進殿	元禄17年申ノ2月	半/(裏打あり)・1冊(10丁墨)	15-2
子ノ年人別改帳 武蔵国多摩郡寺方村 寺方村名主善右衛門・組頭七郎右衛門→曾我伊与守様御内岩佐十郎兵衛殿・阿部団進殿	宝永5年子ノ2月	半/(裏打あり)・1冊(11丁墨)	14-3
武蔵多摩郡日野領寺方村宗門御改帳 *(下書) 名主善九郎(印)・組頭五三郎→御地頭所様御役人衆中様	文政5年年12月	半/(虫損甚大)・1冊(7丁墨)	16-1
宗門人別御改帳 *(下書) 寺方村寿徳寺、(奥書)名主善九郎→御地頭所様御役人中様	弘化3年年3月	半/(紙縫破損)・1冊(6丁墨)	16-4
宗門帳(曾我上知分) 武州足立郡領家村禅宗大泉院末武州多摩郡寺方村寿徳寺[印]、(奥書)武州多摩郡寺方村百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)→神奈川県御裁判所	明治2年巳3月日	半/(貼紙あり)・1冊(11丁墨)	16-2
宗門人別書上帳(浅井上知分) 武州足立郡領家村大泉院末武州多摩郡寺方村寿徳寺[印]、(奥書)武州多摩郡寺方村名主幸内(印)・組頭七左衛門(印)・百姓代源治郎(印)→神奈川県御裁判所	明治2年巳3月日	半/(貼紙あり)・1冊(11丁墨)	16-3

1.12.2.増減

人別送之事(百姓栄太郎娘おとを鯨井村へ養女に遣し候に付) 右村(武州多摩郡寺方村)名主善九郎→同州(武州)川越郡鯨井村名主田中殿	慶応2寅年9月	豎紙・1通	260
人別増減書上帳(浅井上知分) 武州多摩郡寺方村名主幸内(印)・組頭七左衛門(印)・百姓代源治郎(印)→神奈川県御裁判所	明治2巳年3月	半・1冊(3丁墨)	18-2

1.12.3.欠落・帳外し

乍恐書附を以奉願上候(欠落者の親村預の儀赦免に付) 武州多摩郡寺方村名主善次郎・組頭代伝兵衛・百姓代弥□→浅井小右衛門御内御役人中様	寛政元酉年8月	豎継紙/(鼠食損あり)・1通	203
乍恐以書付奉申上候(寺方村百姓金蔵欠落の処村方住居仕りたく宥免願) * (下書) 右(寺方村百姓)金蔵親類組合村役人惣代兼名主善九郎→御地頭所様・御役人中様	天保14卯年4月11日	豎継紙/(虫損あり)・1通	253
乍恐以書付奉願上候(身持不埒に付帳外願) * 裏に天保15年辰11月の前欠下書あり 御知行所多摩郡寺方村願人百姓長松・乞田村親類組頭嘉兵衛・江川太郎左衛門御代官所同郡四ッ谷村親類浅右衛門・御知行所寺方村組合吉五郎・同金蔵・同栄太郎・同与左衛門・同幸次郎・善九郎→御地頭所様御役人中様	天保15年辰11月26日	豎継紙/(虫損あり)・1通	254
乍恐以書付奉願上候(潰百姓孫兵衛跡式養子太三郎欠落届并人別除帳に付) 御知行所武州多摩郡寺方村百姓太三郎見百姓幸次郎・親類惣代同村百姓政吉・右組合惣代与左衛門・右村(寺方村)役人惣代名主善九郎→御地頭所様御役人中様	万延元申年11月	豎継紙・1通	259
□(乍)恐書付を以御届奉申上候事(岩藤五郎去る辰年失踪に付) 武州多摩郡寺方村親類甚助(印)・組合嘉助(印)・組頭忠次郎(印)・名主善九郎(印)→[]役人中様	(近世)	豎紙/(天部欠損)/(虫損あり)・1通	423

1.13.出入・変事

1.13.1.村方出入

乍恐以返答書奉申上候(百姓源次他6名より村入用勘定の儀・村分け願い等訴え出候に付) 御知行所多摩郡寺方村名主善治(印)→浅井小右衛門様御内木村桑右衛門様・川越又大夫様	安永8亥年2月	豎継紙/(虫損あり)・1通	239
乍恐以書付奉願申上候(皆済目録連印相拒み候出入に付吟味願い) 寺方村名主善次→御地頭所様御役人[]	寛政5丑年4月	豎継紙/(鼠食損甚大)・1通	240-1
差上申済口証文之事(皆済目録連印相拒み候出入に付済口証文) 御知行所寺方村訴訟人名主善次・相手組頭伝兵衛・同百姓佐七・同御知行所下田村証人名主市郎右衛門・同組頭政右衛門→御地頭所様御役人中様	寛政5丑年5月	豎継紙/(虫損あり)・1通	240-2
乍恐以書付御訴訟奉申上候(両給仕来り破り候出入に付) 曾我七兵衛知行所武州多摩郡寺方村名主組頭百姓六人代兼御訴訟人百姓忠次郎→浅井喜太郎様御役人中様	寛政7卯年8月7日	豎継紙/(虫損あり)・1通	243-2

1.寺方村名主/13.出入・変事/1.村方出入

乍恐以書付御訴訟奉申上候(氷祭・念仏講仕来り破り候出入に付) * (後欠) 曾我七兵衛知行所武州多摩郡寺方村名主組頭百姓六人惣代忠次郎(印)→御奉行所様	寛政7卯年9月	豎紙/(破損甚大)・1通	407
差上申済口証文之事(両給仕来り破り候出入に付) 曾我七兵衛知行所武州多摩郡寺方村名主組頭百姓六人代兼訴訟人百姓忠治郎(印)・浅井小右衛門知行所同州同郡同村七人惣代相手名主徳兵衛(印)・百姓幸吉(印)・市ヶ谷田町上式町目松本屋庄助代□□次(印)・小石川諏訪町甲府屋市左衛門代文次郎(印)→御評定所	寛政7卯年12月	豎継紙/(虫損あり)・1通	243-1
乍恐以書付御訴訟奉申上候(要蔵不正出入に付) * (添紙)「御地頭所様御役所」 曾我靱之丞知行所武州多摩郡寺方村名主善九郎・百姓代長松・百姓幸次郎・百姓与左衛門・幾太郎・百姓訴訟人善蔵→御奉行所様	天保15年辰年8月9日	豎継紙・1通	246

1.13.2.その他の出入

乍恐以書付申上候(組頭伝兵衛と百姓常右衛門口論に付訴状) * (裏書)「如斯[]出候間、来ル廿二日ニ致返答書罷出可対決者也」 寺方村願人組頭伝兵衛・名主平右衛門→浅井[]殿、(裏書)水沼兵太夫(印墨消)→寺方村伝兵衛・与兵衛・藤右衛門・五人組之内兩人・名主	延享2年7月	豎紙/(虫損甚大)・1通	238
一札之事(新亡穴掘の儀出訴の処この度熟談に付) 寺方村嘉助(印)・甚助(印)・藤五郎(印)→同村(寺方村)忠次殿・只七殿	寛政6寅年8月28日	豎紙・1通	241-2
一札之事(新亡穴掘の儀出訴の処この度熟談に付) * (写) 寺方村幸吉(印)・佐七(印)・源次郎代兼次郎八(印)・伝兵衛	寛政6寅年8月晦日	豎紙/(虫損甚大)・1通	241-1
乍恐書付御訴訟奉申上候(新亡人これ有る節も穴堀仕らず等諸突き合い相省き候出入に付) 曾我七兵衛知行所武州多摩郡寺方村訴訟人忠次(印)・只七(印)→御地頭所様御役所様	寛政6寅年8月	豎継紙・1通	242
(孫兵衛相続出入に付返答書) 御知行所武州多摩郡寺方村名主善右衛門	寛政9巳年3月	豎継紙・1通	244-2
(孫兵衛跡相続出入にて取り計らい方不埒に付名主善右衛門退役申し渡し覚)	(寛政9年)4月14日	豎紙/(虫損甚大)・1通	244-3
(孫兵衛相続出入に付随分気を付け寅之助召し連れるべき旨差紙) 美濃部彦太夫→寺方村名主善九郎	(寛政9年)4月22日	豎紙・1通	244-4
申渡覚(孫兵衛相続出入に付) 右村(寺方村)組頭幸七→寺方村寅之助	(寛政9年)	豎継紙/(虫損甚大)・1通	244-1
済口儀定証文之事(上田村五左衛門跡式相続争いに付) 伊奈助右衛門御代官所多摩郡上田村訴訟人八兵衛(印)・曾我七兵衛知行所同郡寺方村訴訟人善九郎(印)・川崎平右衛門御代官所同郡日野本郷相手源左衛門(印)・同平八(印)・伊奈助右衛門御代官所同郡上田村同紋弥(印)・浅井楯之助知行所同郡下田村扱人安養寺(印)・川崎平右衛門御代官所同郡新井村同市兵衛(印)・同平太夫(印)・同御代官所同郡万願寺村同藤次郎(印)・伊奈助右衛門御代官所同郡宮村同清五郎(印)	文化8未年9月	豎継紙・1通	245
乍恐以書付御訴訟奉申上候(上田村五左衛門跡式相続争いに付) 右(曾我七兵衛御知行所)寺方村名主訴訟人善九郎(印)→御地頭所様御役人様	(文化8年)未9月	豎継紙/(虫損あり)・1通	251

差上申御請書之事(池田播磨守様より差紙頂戴拝見仕り出府に付) * (写) 武州多摩郡寺方村百姓義右衛門・組頭長松・名主平右衛門→留山町二丁目代地長楽屋長蔵様	(近世)亥12月26日	縦紙・1通	341
--	-------------	-------	-----

1.13.3.甚五郎一件

家作諸道具払方控帳(御預けに相成り候甚五郎分に付)	加(嘉)永2年酉2月19日	横長半・1冊(4丁墨)	183-2
(寿徳寺門前甚五郎品物改め書付)	(弘化2年)巳4月14日改	横長半・1冊(3丁墨)	183-1
甚五郎所持之品書(村方へ御預けに付) * (写) 名主善九郎印・百姓代長松印	(弘化2年)巳4月14日	横長半・1冊(5丁墨)	183-4
(寿徳寺門前百姓甚五郎女房たつ変死一件顛末に付口上書)	(弘化2年)巳4月14日	半・1冊(11丁墨)	184-1
御見分書(無高百姓甚五郎女房たつ変死の処私共一同立会に付) * (写) 寿徳寺下男三四郎・寺方村百姓栄太郎親善蔵・名主善九郎・百姓代長松・寿徳寺如山→曾我福之丞様御家来松田次郎右衛門殿	弘化2巳年4月14日	半/(綴じ穴あり)・1冊(8丁墨)	295-3
(御朱印地寿徳寺門前百姓甚五郎女房たつ変死の儀に付御詮議留)	(弘化2年)巳4月14日	綴/(虫損あり)・1綴(18丁墨)	297-68
差上申一札之事(寿徳寺門前百姓甚五郎女房たつ変死一件に付本庄伊勢守様御下知書上並びに請証文案) 御地頭所松田次郎右衛門→武州多摩郡寺方村名主善九郎	(弘化2年)4月24日	半・1冊(5丁墨)	184-2
(たつ変死一件御奉行様下知仰せ渡しに付請書) 当御知行所武州多摩[]→御地頭所御役人中様	弘化2年4月25日	縦紙/(破損甚大)・1通	434
差出申一札事(上下飛田給村より百姓甚五郎の人別送り状請取に付) 武州多摩郡寺方村名主善九郎(印)→武州多摩郡上下飛田給村重次郎殿	弘化2巳年4月日	縦紙/(虫損あり)・1通	255
人別送之事(百姓甚五郎寺方村へ養子入りに付) 右村(武州多摩郡上飛田村)名主重次郎(印)→同州同郡寺方村名主善九郎殿	弘化2巳年4月	縦紙・1通	256
甚五郎一件二付金銀出入控	(弘化2年)	横長半・1冊(5丁墨)	183-3

1.14.変災・飢饉

砂御すくい金覚帳(子の4月18日御公儀様より金2両1分600文下さるに付) 寺方村善右衛門	宝永5年子3月より	横長半/(虫損あり)・1冊(7丁墨)	109
乞飯死失入用帳 寺方村→浅井様	天保5年午ノ正月6日	横長半/(破損甚大)/(紙縫破損)・1冊(4丁墨)	143

1.15.寺社

1.15.1.寿徳寺

吉祥院寿徳禅寺置文 * (写) 前総持寺青徳禅寺現住倉室傳秀正与(花押)	慶安元年子8月17日	半/(虫損あり)・1冊(2丁墨)	387-1
差上ケ申一札之事(武州足立大久保村大泉院末寺寿徳寺・寿徳寺末寺儀に付) 武州日野領寺方村名主五右衛門・組頭長左衛門→御代官様	貞享5年辰7月25日	豎紙/(虫損あり)・1通	275-2
口上書之御事(寿徳寺開基の儀に付) 武州多摩郡日野領寺方村五右衛門(印)・善七郎(印)・善兵衛(印)→御奉行様	元禄6年酉12月	豎継紙/(虫損あり)/(継紙剥離)・1通	276
(寿徳寺勝手出入取り扱い内証にて相済ませたきに付) * (前欠) 武州多摩郡四ッ谷村作之進代印三郎右衛門印・浅右衛門印・治右衛門印・伝右衛門印・平内印・権八印・伊右衛門印・右同村玉川寺印・同国同郡寺方村寿徳寺印・同国同郡府中本町名主源蔵印・噯人同国同郡関戸村右同断名主源助印・同国同郡連光寺村右同断名主忠右衛門印・同国同郡寺方村右同断名主平右衛門・同国同郡同村右同断名主利右衛門印	享保18年丑11月	豎継紙/(鼠食損甚大)・1通	277
乍恐以書付御届奉申上候(寿徳寺住持後席の儀に付) 右村(武州多摩郡寺方村)名主善九郎(印)→御地頭所様御役人中様	安政3辰年9月28日	豎紙/(虫損あり)・1通	281
徳川家朱印写 武蔵国多摩郡寺方村寿徳寺→神奈川県御裁判所	明治2巳年5月	半・1冊(7丁墨)	181-8
覚(寿徳寺長縁天井木口手間扶持代金に付) 百草村大工吉太郎(印)→寺方村善四郎様・御世話人中様	(近世)寅7月11日	豎切紙・1通	285
(大猷院様当御方様御朱印頂戴年月日に付書上) 武州□□(足立)郡大久保村茂嶽山大泉院・武州多摩郡日野領寺方村末寺瑞雲山寿徳寺→御奉行本多淡路殿・坂本内記殿	(近世)	豎紙/(虫損あり)・1通	275-1
乍恐以書付奉申上候(武州寺方村寿徳寺の諸堂大破に付) * (後欠)	(近世)	豎紙/(虫損甚大)・1通	297-102

1.15.2.寿徳寺勸化

吉祥山寿徳寺勸化帳 寺方村惣檀中	文政4年辛巳2月吉日	横長半・1冊(3丁墨)	174-1
檀勸物取立改帳 寺方村佐伯善九郎	文政7年申ノ4月日	横長半・1冊(6丁墨)	174-2
寿徳寺勸化取立帳	文政12年寅(マ)閏(マ)3月	横長半・1冊(6丁墨)	174-3
寿徳寺焼失ニ付勸化帳 四ッ谷村旦中	文政13年寅3月	横長半・1冊(3丁墨)	174-5
寿徳寺勸化覚帳 寺方村	文政13年寅5月吉日	横長半/(下部破れあり)・1冊(5丁墨)	174-4
寿徳寺本堂進化請取控 檀頭寺方	天保8年酉12月日	横長半・1冊(7丁墨)	174-6

勸金取立請取帳 寺方村	天保11年子11月26日	横長半・1冊(4丁墨)	174-7
-------------	--------------	-------------	-------

1.15.3.寿徳寺年貢・小作

田畑名細小作預方控帳 多摩郡寺方村寿徳寺世話人佐伯善九郎	文政5年午正月吉日	横長半・1冊(15丁墨)	175
田畑小作取立改覚帳 寺方村名主善九郎→寿徳寺御納所中様	文政13年寅閏3月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(5丁墨)	185
寿徳寺田畑御年貢差引勘定帳 (村方世話人)善九郎(印)→寿徳寺御納所様	文政13寅年12月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(6丁墨)	176-1
寿徳寺田畑御年貢差引勘定帳 村方世話人	文政13寅年12月日	横長半・1冊(6丁墨)	176-2
武蔵国多摩郡内郷村高帳(寺方村寿徳寺領年貢・小物成書上) 右村(寺方村)百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)→御裁判所	明治2巳年7月	半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	181-9

1.15.4.東医庵

請取(松木1本代金500文受け取りに付) 東伊庵(印)→三左衛門殿・平右衛門殿	享保11年午ノ6月10日	縦紙/(鼠食損甚大)・1通	278
乍恐以上書を申上候(東医庵一揆百姓の儀に付) *237-2と同内容 平右衛門→御屋敷様江	享保13年申ノ7月29日	縦紙/(鼠食損甚大)・1通	237-1
乍恐以上書を申上候(東医庵一揆百姓の儀に付) *237-1と同内容 平右衛門→□(御)屋敷□(様)江上候	享保13年申ノ7月29日	縦紙/(鼠食損あり)・1通	237-2
入立出申一札之事(宗尼住居致すに付) 曾我七兵衛知行所寺方村世話人政吉・幸次郎→江州太郎左衛門御代官所四ツ谷村三左衛門殿	元治元子年3月	縦紙・1通	282
入置申一札之事(地所御引き請け宗尼住居に成されたき旨示談行き届き万事御世話致し御住居に相成り候に付) *(雛形) 寺方村たれ	元治元子年3月	縦紙/(破損甚大)・1通	377

1.15.5.東医庵年貢

東伊庵御年貢勘定帳 名主平右衛門(印)→東伊庵(印)	寛保2年戌之11月	横長半/(虫損・鼠食損甚大)・1冊(2丁墨)	173-1
東伊庵御年貢勘定帳 名主平右衛門(印)→東伊庵(印)	寛保3年亥之11月	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(2丁墨)	173-2
東伊庵御年貢勘定帳 名主平右衛門(印)→東伊庵(印)	延享元年子ノ12月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(2丁墨)	173-3
東伊庵御年貢勘定帳 名主平右衛門(印)→東伊庵[印]	延享3年寅之11月	横長半/(虫損あり)・1冊(2丁墨)	173-5
東伊庵御年貢勘定帳 名主平右衛門(印)→東伊庵[印]	延享4年卯之12月	横長半/(鼠食損・虫損あり)・1冊(2丁墨)	173-4

1.寺方村名主/15.寺社/5.東伊庵年貢

東伊庵御年貢勘定帳 名主平右衛門(印)→東伊庵[印]	寛延元年辰之11月	横長半/(虫損あり)・1冊(2丁墨)	173-6
東伊庵御年貢勘定帳 名主平右衛門(印)→東伊庵[印]	寛延2年巳ノ12月	横長半・1冊(2丁墨)	173-7
東伊庵御年貢勘定帳 名主平右衛門(印)→東伊庵[印]	寛延3年午之12月	横長半・1冊(2丁墨)	173-8
東伊庵御年貢勘定帳 東伊庵[印]	宝暦元年未ノ12月25日	横長半/(丁はずれ)/(鼠食損あり)・1冊(2丁墨)	446
亥年東伊庵田畑勘定覚帳	宝暦5年亥ノ11月日	横長半・1冊(3丁墨)	173-9
東伊庵午ノ年田畑勘定帳 名主善右衛門(印)→東伊庵(印)	宝暦12年午ノ極月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(2丁墨)	173-10
東伊庵西ノ年田畑勘定帳 善右衛門→東伊庵(印)	明和2年酉ノ12月	横長半/(虫損・鼠食損甚大)・1冊(2丁墨)	173-12
東伊庵子年田畑勘定帳 善右衛門→東伊庵	明和5年子ノ12月	横長半/(虫損・鼠食損甚大)・1冊(2丁墨)	173-13

1.15.6.修堂金

修堂金預り一札之事(金15両に付) 関戸村預り借入金 篤次郎(印)→寺方村組頭善九郎殿	天保8酉年12月14日	堅紙・1通	280
---	-------------	-------	-----

1.15.7.山神社

山神普請諸入用覚帳 惣氏子中	文化5年辰4月13日	横長半/(虫損甚大)・1冊(2丁墨)	177-1
山神工手間夫待方勘定帳 寺方村豊次郎	文化5辰年5月吉日	横長半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	177-2
山神御宮御普請諸勘定指引改帳 寺方村・原関戸村・新田村氏子中	文政2年卯10月改	横長半/(虫損甚大)・1冊(5丁墨)	295-19
山神御本社屋根替供養諸色入用帳 寺方村・原関戸村・新田村	文政9年戌2月7日	横長半/(鼠食損・虫損あり)・1冊(5丁墨)	177-3
氏神普請人足入用覚帳	天保9年戌2月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(6丁墨)	177-4
山神宮拜殿萱替諸入用覚帳 三ヶ村氏子中	天保9戌年3月吉日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(4丁墨)	177-5
山神御普請渡し方帳(御宮御普請手間扶持金22両2分に付)	(近世)	横長半/(虫損あり)・1冊(2丁墨)	305
山神棟札名前控(願主寺方村名主佐伯善九郎ほか人名書上)	(近世)	堅紙・1通	387-2

1.15.8.祭礼

(新田分ほか奉納等書上覧)	(近世)	横折紙・1通	410
---------------	------	--------	-----

1.16.包紙・断簡・白紙など

(惣百姓連判証文の末尾部分) * (断簡) 日野領寺方村 善右衛門(印)・七右衛門(印)・長右衛門(印)・五平治(印)・ 善兵衛(印)・多兵衛(印)・善三郎(印)・加右衛門(印)・三五 郎(印)・久右衛門(印)・二郎左衛門(印)・久五郎(印)・半三 郎(印)→御代官様	元禄9年子ノ5月	縦紙/(虫損あ り)・1通	297-67
(証文断簡) 寺方村重兵衛(印)→[]名主善右衛門殿	(近世)8月	縦紙/(破損甚 大)/(紙縫付 着)・1通	424
(横帳断簡)	(近世)12月	横長半/(破損甚 大)/(450-1~2 は癒着のため展 開不能)・1冊	450-2
(紙縫)	(近世)	紙縫・1点	458
(付箋) * (墨書)「七拾七」	(近世)	小切紙・1枚	508
(横帳断簡) * 御年貢取立帳の一部カ	(近世)	横長半/(破損甚 大)/(フケのた め展開不能)・ 1冊カ	515
(白紙)	(近世)	横折紙/(破損)・ 1点	539
(断簡) * (墨書)「善[]一、百四拾八」	(近世)	小切紙・1通	565
(破片状になった断簡一括)	(近世)	小切紙・1点	566
(白紙)	(近世)	切紙・1点	218-1
(白紙)	(近世)	縦紙・1点	227-2-1
(裁許絵図裏書) * (断簡)	(近世)	縦紙/(虫損あ り)・1通	323
(包紙) * (包紙上書)「書付」 寺方村善四郎・一ノ宮村赤輔	(近世)	包紙・1点	339
(横帳断簡) * 村入用関係帳簿の断簡カ	(近世)	切紙・1通	359
(書付断簡)	(近世)	切紙・1通	362
(白紙)	(近世)	縦紙・1通	365
(白紙)	(近世)	横折紙・1点	373
(白紙)	(近世)	縦紙・1点	375
(白紙)	(近世)	縦紙・1通	394
(包紙) * (包紙上書)「絵図面本書」	(近世)	縦紙・1点	420
(紙縫)	(近世)	紙縫・1点	429
(白紙)	(近世)	切紙・1点	431

1.寺方村名主/16.包紙・断簡・白紙など

(横帳断簡) *畑方御年貢取立帳の一部カ	名主善右衛門	(近世)	横長半/(破損甚大)・1冊(6丁墨)	486
(横帳断簡)	名主□右衛門	(近世)	横長半/(破損甚大)・1冊	514
[]割合帳(横帳断簡) * (表紙のみ)	寺方村名主善左衛門	(近世)	横長半/(破損)・1冊(1丁墨)	553

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

2.寺方村三組惣代名主

2.1.布告・令達

2.1.1.御用留・触書写

御用留 寺方村	明治2年巳10月日	横長半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(11丁墨)	163-3
御用留 寺方村	明治2年巳11月日	横長半/(綴外れ)/(虫損・鼠食損あり)・1冊(12丁墨)	163-4
御触書写(年貢皆済金納方に付) 神奈川県裁判所	(明治2年)巳12月16日	半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	165-2
御用留 寺方村	明治2年巳12月日	横長半/(綴外れ)/(虫損・鼠食損あり)・1冊(19丁墨)	163-5
神奈川県御触書写(旧幕領上知村明細帳差し出しの儀寄場役人大惣代より申し達すべき旨廻状並びに雛形) 寺方村	明治3年午2月26日写	半・1冊(14丁墨)	21-2
武州小山村逃去物覚(小山村百姓忠治郎人相書写)	明治3年2月27日	半/(鼠食損あり)・1綴(2丁墨)	273
(浪士・脱走人取締り方並びに種豚買入れの儀に付触書写)	(明治3年6~7月)	半/(虫損あり)・1綴	167-1
御用留 寺方村	明治3年午8月日	半/(虫損あり)・1冊(25丁墨)	163-6
触書(無罪復籍人・脱籍無産賤民の賄方等に付) * (写) 神奈川県庁	(明治3年)庚午9月晦日	半・1冊(4丁墨)	165-1
植痘瘡御触書 * (写)	(明治3年)午12月10日写	半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(8丁墨)	166
(春年礼式日限の儀ほか触書写)	(明治3年庚午12月~明治4年未2月)	半/(鼠食損あり)・1冊(11丁墨)	295-2
酒醬造并船艦税則(酒醬造及び船税則関係通達の留帳)	明治4年	豎帳/(破損)・1冊(18丁墨)	548

2.1.2.廻状

御触書写(御為筋建言の儀等神奈川県裁判所よりの御触3件に付廻状) * (写) 日野宿寄場名主芳三郎・彦右衛門→高幡村・程久保村・三沢村・落川村・百草村・一ノ宮村・寺方村・和田村・大塚村・中野村・上柚木村・下柚木村・越野村・大沢村・松木村・堀ノ内村・別所村・落合村・貝取村・乞田村・関戸村・連光寺村各村々御役人中	(明治2年)巳4月25日	半・1冊(10丁墨)	21-6
---	--------------	------------	------

2.寺方村三組惣代名主/1.布告・令達/2.廻状

神奈川県より御触書之写(西洋形大船に関する規則等順達に付) 寄場日野宿役人→上落川村ほか35ヶ村 右村々御役人中	(明治3年)午2月22日	半/(虫損あり)・1冊(28丁墨)	168-2
神奈川県御触書写(蚕卵紙御達並びに諭告順達に付) 日野宿寄場役人→右(日野宿寄場組合)村々	明治3午年8月28日	半/(虫損・鼠食損あり)・1冊(7丁墨)	168-1
(村内人別加除に付廻状) →小組合御惣代衆中	(明治)	半/(破損)/(綴じ外れ)/(雛形共)・1冊(1丁墨)	507

2.2.請書・届書

(生糸製法方正路に致すべき御触に付請書) *(写) 武州多摩郡寺方村榮三郎・組頭幡治郎・名主善四郎→神奈川県在方御掛り渡辺鉄三郎様	明治3午年6月	半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	167-2
(種本部1枚届書) *(下書) 寺方村吉兵衛・榮作・孝治郎・金主善四郎→神奈川県御役所	明治3午年10月	豎紙・1通	353
奉差上御請書之事(国本場所より蚕種買入方御世話下さる助成方仕法並びに種紙員数・名前等取り調べの儀に付) *(表紙のみ)	(明治3年10月カ)	半・1冊	354
御触書御請書(寺院寮設置の儀太政官布告に付) 武州足立郡大久保領家村曹洞宗大泉院末同国多摩郡寺方村同宗寿徳寺住職国城・同国同郡同村同宗同寺末同国同郡同村同宗規藏院住職達全・同国同郡同村同宗寿徳寺末同国同郡同村同宗東醫庵無住兼帯同国同郡同村同宗寿徳寺住職国城・同国同郡高幡村真言宗金剛寺末同国同郡寺方村同宗宝泉院無住兼帯同国同郡落川村同宗真照寺住職有永・相模国愛甲郡上萩野村曹洞宗松石寺末武蔵国多摩郡寺方村同宗庵住職義宗尼→神奈川県御役所	(明治3年)庚午12月	半/(虫損あり)・1冊(5丁墨)	21-4
御触書小前請書帳(神奈川県市在捕亡取締掛りよりお竈祈禱取り締まり申し渡さるに付) 杉田吉兵衛・百姓代伊野榮三郎(印)・年寄杉田伊三郎・名主佐伯善四郎 他39名	(明治4年)辛未3月4日	半・1冊(7丁墨)	21-5
(諸届書付留) 武蔵国多摩郡寺方村年寄松田伊三郎・名主佐伯善四郎→神奈川県御役所	明治4年未4月	半/(鼠食損甚大)・1冊(3丁墨)	295-1
(盗賊忍び入り一件届書綴)	(明治4年5月)	綴/(274-1~2は一綴)・1綴	274
以書付御届奉申上候(盗賊忍び入りマユ4枚ほか紛失に付) 右村(武蔵国多摩郡寺方村)百姓伊野倉之助・名主佐伯善四郎	明治4年未5月日	半・1冊(1丁墨)	274-1
以書付御届奉申上候(盗賊忍び入り天保銭900文ほか紛失に付) 右村(武蔵国多摩郡寺方村)百姓伊野幸内・名主佐伯善四郎→日野宿寄場御役人中	明治4年未5月	半・1冊(1丁墨)	274-2
良材木取調書上帳 右村(武蔵国多摩郡寺方村)年寄杉田伊三郎・名主佐伯善四郎→海軍所造船局御役人衆中様	明治4年未6月	半/(虫損・鼠食損あり)/(貼紙あり)・1冊(6丁墨)	157
御達触御請書(若もの共取り締まりの儀・諸職人手間賃引き下げの儀に付) 武蔵国多摩郡寺方村小前松田吉兵衛(印)・百姓代伊野榮三郎(印)・年寄松田伊三郎(印)・名主佐伯善四郎(印) 他39名→大小惣代・寄場御役人中	(明治4年)辛未12月	半/(虫損あり)・1冊(11丁墨)	21-3

御達触御請書(若もの風儀取締り・職人手間賃の儀等に付) 武蔵国多摩郡寺方村小前杉田吉兵衛(印)ほか39名・百姓代伊野栄三郎(印)・年寄杉田伊三郎(印)・名主佐伯善四郎(印)→大小惣代・寄場御役人中	明治4年辛未12月	半/(虫損あり)・1冊(6丁墨)	169
御尋ニ付書付ヲ以奉申上候(盗難御尋ねに付届書) *(雛形) 当県御支配所武蔵国多摩郡何村百姓姓名・名主年寄姓名	(明治)	半・1冊(2丁墨)	318

2.3.土地

2.3.1.検地帳

武州多摩郡日野領寺方村御縄帳写(寛永14年御縄帳抜粋) *(写) 曾我七兵衛上知武州多摩郡寺方村百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)→神奈川県御出役森田鎗三郎様・飯岡直作様・小原十郎様	明治2巳年7月	半・1冊(3丁墨)	7
---	---------	-----------	---

2.3.2.高反別

(田畑位訳納辻相違なきに付) 曾我七兵衛上知武蔵国多摩郡寺方村百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)→神奈川県御裁判所	明治2年巳4月	半/(虫損あり) / (綴じ穴あり) / (貼紙複数あり)・1冊(3丁墨)	295-8
荒地起返本願(川欠起返田畑に付) 曾我七兵衛上知武州多摩郡寺方村百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)→神奈川県御出役森田鎗三郎様・飯岡直作様・小原十郎様	明治2巳年7月	半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	147
田畑用水堀敷潰代書上帳(寺方村より請取分に付) *(写) 武州多摩郡百草村組頭茂兵衛	(明治2巳年7月)	半・1冊(3丁墨)	148
高反別田畑位訳其外調書 曾我七[]武蔵国多摩郡寺方村百姓代政[]・組頭長[]・名主善四郎→神奈川県御裁判所	明治2巳年7月	横長半/(破損)・1冊(13丁墨)	504
田反別書抜帳 上・中・下分 (寺方村)	明治3年午7月日	横長半・1冊(4丁墨)	33
畑反別取調書抜覚記 佐伯善四郎・松田吉兵衛・松田伊三郎・松田喜六・松田榮作	明治5年申3月29日	横長半・1冊(7丁墨)	64
田畑過不足取調帳 武州多摩郡寺方村名主善四郎・年寄幡次郎・百姓代伊三郎 (寺方村田畑高反別書上)	明治5年申年3月日 (明治)	横長半・1冊(8丁墨) 横長半/(破損)・1冊(8丁墨)	36 551

2.3.3.山林

御尋ニ付申上覚(堰山・芝地是迄通りの趣にて御下げ下され候に付) 曾我七兵衛上知・浅井小右衛門上知武州多摩郡寺方村惣代名主善四郎→神奈川県御出役森田鎗三郎様・飯岡直作様・小原十郎様	明治2年巳8月	半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	149
村持山引分覚帳	明治2年巳8月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(2丁墨)	295-27

2.4.年貢・諸役

2.4.1.名寄帳

武州多摩郡寺方村名寄帳(中組) * (写) 寺方村中組百姓幸次郎・同代三郎・同惣三郎・同豊治郎・同寅吉・同幸内・同伊三郎・同栄三郎・同源次郎・同惣八・同隼太郎・同吉兵衛・同喜六・同銀蔵・同清左衛門・儀宗尼・東井庵・百姓代政吉・組頭長松・名主善四郎→神奈川県御出役森田鎗三郎様・飯岡直作様・小原十郎様	明治2巳年7月	横長美特大・1冊 (19丁墨)	5-1
武[](州多摩郡寺方村名寄帳 中組) * (写) 寺方村中組百姓幸次郎・同代三郎・同惣三郎・同豊治郎・同寅吉・同幸内・同伊三郎・同栄三郎・同源治郎・同惣八・同隼太郎・同吉兵衛・同喜六・同銀蔵・同清左衛門・儀宗尼・東井庵・百姓代政吉・組頭長松・名主善四郎→神奈川県御出役森田鎗三郎様・飯岡直作様・小原十郎様	明治2巳年7月	横長美特大/(欠損あり)/(鼠食損あり)・1冊(17丁墨)	5-2
武蔵国多摩郡寺方村田畑名寄帳(下組) 名主幸内	明治2己巳年8月吉日	横長半/(貼紙あり)・1冊(17丁墨)	5-3
武蔵国多摩郡寺方村田方名前帳(田地分)	明治2巳年9月日	横長半/(破損甚大)/(貼紙あり)・1冊(32丁墨)	5-4
武蔵国多摩郡寺方村畑方名前帳(畑地・屋敷分)	明治2巳年9月日	横長半/(貼紙あり)・1冊(47丁墨)	5-5

2.4.2.反別書上

田方反別位付其外仕訳帳(中組分) (寺方)村	明治2年巳9月日	横長半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	31
畑方反別位付其外仕訳帳(中組分) 寺方村	明治2年巳9月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(13丁墨)	32
田方御年貢取附帳 寺方村	明治2年巳9月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(9丁墨)	57
田方御年貢取附反別覚帳 寺方村役人	明治4年未12月日	横長半・1冊(4丁墨)	150
田反別之内両毛作分書抜帳 上・中・下組分 (寺方村)	明治3年午11月	横長半/(水損あり)・1冊(5丁墨)	35
無税地取調小前帳控 武蔵国多摩郡寺方村→神奈川県御役人衆中様	明治6年酉年6月	半/(鼠食損甚大)・1冊(4丁墨)	151

2.4.3.検見

巳田方小前内見帳(下組分) 武州多摩郡寺方村下組(浅井上知)百姓代伊三郎・組頭幡治郎・名主善四郎	明治2巳年9月	横長半/(虫損・水損あり)/(貼紙あり)・1冊(6丁墨)	26-3
--	---------	------------------------------	------

(巳田方小前内見帳 中組・下組分) 武州多摩郡寺方村 百姓代伊三郎(印)・組頭幡次郎(印)・名主善四郎(印)→神 奈川県御裁判所	明治2巳年9月	横長半/(虫損・ 水損あり)/(貼 紙あり)・1冊(14 丁墨)	26-4
巳田方小前内見帳(上組分) 武州多摩郡寺方村上組(山 角上知)	(明治2年)	横長半/(虫損・ 水損あり)/(貼 紙あり)・1冊(14 丁墨)	26-1
巳田方小前内見帳(中組分) 武州多摩郡寺方村中組(曾 我上知)	(明治2)	横長半/(虫損・ 水損あり)・1冊 (8丁墨)	26-2
小前内見帳 朱書但新田反高見取場做之*(雛形) 右 村(何国何郡何村)百姓代誰印・組頭歟年寄誰印・名主歟庄 屋誰印→神奈川県御役所	(明治2年)	横長半/(虫損・ 水損あり)・1冊 (4丁墨)	26-6
御検見御触書(建札案・耕地へ持参致すべき品・春法場 へ廻し置べき品書上など) 神奈川県庁→検見村々役人	(明治3年)庚午9月2日	半・1冊(6丁墨)	21-1
午田方内見帳下書(三組分) 右村(武州多摩郡寺方村)百 姓代伊三郎(印)・組頭幡治郎・名主善四郎→神奈川県御役所	明治3午年9月	横長半/(虫損・ 水損あり)/(貼 紙あり)・1冊(25 丁墨)	26-5
(村々田方巡検関係綴)	(明治3年)	綴/(544-1~2は 一綴)・1点	544
記(村々田方検見に付人足差し出すべき旨触書写) 神奈川県庁→武州久良岐郡・多摩郡・相州愛甲郡・津久井郡 別帳廻村順村々役人	(明治3年)庚午10月5日	縦帳・1冊(2丁 墨)	544-1
廻村順(村々田方巡検に付)	(明治3年)	横折紙・1通	544-2
田方御検見勘定取立帳	明治3年午10月吉日	横長半/(水損 あり)・1冊(10丁 墨)	34-1
(検見入用書上)	(明治4年9月ヵ)	折紙/(虫損あり) ・1通	34-2-2
御検見入用勘定帳 寺方村	明治4年末10月	横長半/(虫損 あり)/(貼紙あ り)・1冊(5丁墨)	34-2-1
明治四年未田方御検見入用控 寺方村	(明治4年)	横長半/(破損あ り)・1冊(5丁墨)	146
田方種刈反別覚帳 寺方村	(明治)	横長半・1冊(5丁 墨)	37

2.4.4.減免

田方破免御年貢割附帳 (寺方村)上組分	明治3年午11月日	横長半・1冊(13 丁墨)	46-8
---------------------	-----------	------------------	------

2.4.5.年貢割付状

神奈川県御収納割附之控(巳年分・午年分に付) 井関 富右衛門→右村(武蔵国多摩郡寺方村)名主・組頭・惣百姓	(明治2巳年10月~明治 3年)	半/(鼠食損甚 大)・1冊(12丁墨)	134
午饭免状	(明治3年ヵ)午	縦紙・1通	297-9

2.4.6.取立勘定

畑方御年貢取立帳 下組写(夏成に付) *(写)	明治2年巳7月日	横長半・1冊(4丁墨)	48-3
金札与正金引替御上納勘定帳 寺方村名主善四郎	明治2巳年8月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(5丁墨)	133
田方破免御年貢取立帳 中組・下組寺方村	明治2巳12月日	横長半/(綴じ紐に括り付け文書2点あり)/(貼紙あり)・1冊(13丁墨)	58
巳田方御年貢残金取立帳 寺方村	明治3年午5月日	横長半・1冊(13丁墨)	59
畑方夏成御年貢取立帳 寺方村上組	明治3年午6月日	横長半/(貼紙あり)・1冊(10丁墨)	53-3
畑方夏成御年貢取立帳 寺方村中組・下組	明治3年午6月日	横長半・1冊(6丁墨)	53-4
畑方秋成御年貢取立帳 寺方村	明治3年午9月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(8丁墨)	54-6
畑方皆済御年貢取立帳 寺方村	明治3年午11月10日	横長半/(虫損あり)・1冊(8丁墨)	63
畑方秋成御年貢取立帳 寺方村	明治4年未9月日	横長半・1冊(10丁墨)	54-7
田方御年貢取立帳 寺方村	明治4年未12月日	横長半・1冊(5丁墨)	47-11
田方御年貢取立帳 寺方村	明治4年未12月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(6丁墨)	47-12
畑方皆済御年貢取立帳 寺方村	明治4年未12月日	横長半/(鼠食損あり)/(水損あり)・1冊(9丁墨)	48-4

2.4.7.小物成

畑方小物成皆済帳 寺方村	明治2年巳12月日	横長半・1冊(7丁墨)	62
--------------	-----------	-------------	----

2.4.8.国役金

(寿徳寺御朱印高7石御国役金相納め来たり除地1反歩山神社御国役金相納め申さずに付届書) *(下書) 武州多摩郡寺方村役人	明治3	縦紙・1通	412
辰年国役金割渡帳 寺方村	明治4年未12月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(5丁墨)	125

2.4.9.買納・石代納

覚(巳年買納代残金永5貫43文9分ほか書上) 武州多摩郡寺方村名主善四郎(印)→神奈川県御役所	明治3午年6月	豎紙・1通	214
覚(去巳年石代残金上納に付) 武州多摩郡寺方村組頭勝治郎→神奈川県御役所	明治3午年7月	豎紙/(虫損あり)・1通	297-36
去ル巳年御収米石代残金取立帳 寺方村	明治4年末7月日	横長半/(虫損あり)・1冊(10丁墨)	135
(巳年より未年まで御収納金高書上) * (前後欠)	(明治)	半/(欠損大)・1冊(2丁墨)	385

2.4.10.皆済勘定

御年貢金出入帳 上組	明治2年巳12月22日	横長半・1冊(3丁墨)	132
巳年十二月より午十二月迄諸勘定書抜帳(上組分年貢等に付)	(明治2年12月～明治3年12月)	横長半・1冊(6丁墨)	138
(明治3年分年貢皆済勘定書上)	(明治3年)	横長半・1冊(8丁墨)	69

2.4.11.年貢請取状

辰年御年貢金請取(曾我七兵衛上知分・浅井小右衛門上知分上納金ほか覚)	(明治2巳年～明治3庚午年)	半/(虫損あり)・1冊(4丁墨)	297-17
------------------------------------	----------------	------------------	--------

2.4.12.過納

去巳年十二月御年貢上組より多合割渡帳	明治3年午7月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(4丁墨)	295-18
(去巳年納金過納下げ渡しに付御請証文) 村々百姓代・年寄・名主→神奈川県	(明治)月日	豎紙/(破損甚大)・1通	328

2.4.13.収納米永書上

五ヶ年御収納米永書上帳(元治元年より明治元年迄曾我知行所分に付) 右村(武州多摩郡寺方村)百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)→神奈川県御出役森田鎗三郎様・飯岡直作様・小原十郎様	明治2巳年7月	半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(3丁墨)	154-3
本途米永取調帳(嘉永2年より明治元年迄曾我知行所分に付) →神奈川県御役所	明治3午年	半/(虫損あり)/(鼠食損あり)・1冊(5丁墨)	154-4
本途米永取調帳 寺方村→神奈川県御裁判所	明治3午年	半/(水損痕あり)・1冊(5丁墨)	191

2.5.継立人足

2.5.1.日野宿伝馬

御伝馬村入用控 寺方村	明治2年巳8月日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(13丁墨)	82-20
日野宿御伝馬・村伝馬人足書抜帳	明治3年午7月7日	横長半・1冊(22丁墨)	80
覚(御伝馬人馬合併高割不足分請け取りに付) 日野宿 御伝馬所役人(印)→各邸御役人中	(明治4年)辛未2月17日	堅切紙・1通	233

2.5.2.横継往還御用掛人足

横継往還御用掛人足書出し帳 寺[](方村)	明治2年巳7月	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(7丁墨)	84-1
横継往還御用掛人足書出帳 寺方村名主善四郎[印]・組頭清治郎[印]	明治3年午6月日	横長半・1冊(19丁墨)	84-3
当県御用横継往還継立人足留 寺方村	明治3年午7月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(22丁墨)	84-4
横継往還御用掛人足書出帳控 寺方村	明治3年午11月	横長半・1冊(13丁墨)	84-2
当県御用継立人足控帳 寺方村	明治3年午12月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(23丁墨)	84-5
覚(御用掛人足書上帳) 武蔵国多摩郡寺方村年寄杉田伊三郎・名主佐伯善四郎	明治4年未6月	横長半/(鼠食損あり)・1冊(20丁墨)	142-2
横継往還人足取調帳 寺方村	明治4年未11月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(9丁墨)	84-6

2.6.井堰・用水

岩堰人足其外覚帳 寺方村	明治3年午5月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(4丁墨)	97
岩堰反別覚帳	明治3年午12月日	横長半・1冊(4丁墨)	93-2
岩堰反掛勘定帳 寺方村	明治4年未5月	横長半・1冊(10丁墨)	89-11

2.7.日野宿寄場組合

御札ニ付以書付奉申上候(無宿増五郎身元御札に付) 当県御支配町武州多摩郡寺方村役人惣代名主善四郎→御取締御出役松倉誠輔様	明治3年午5月29日	堅帳/(綴じ外れ)・1冊(2丁墨)	545
--	------------	-------------------	-----

2.8.村方諸色勘定

2.8.1.村入用

諸事村入用覚帳	明治2年巳12月吉日	横長半/(鼠食損甚大)・1冊(10丁墨)	144
去巳年村入用帳 武蔵国多摩郡寺方村百姓吉兵衛(印)・栄作(印)・喜六(印)・善右衛門(印)・惣八(印)他39名、(奥書)名主善四郎(印)・組頭幡次郎(印)・百姓代伊三郎(印)→神奈川県御役所	明治3年午3月	横長半・1冊(6丁墨)	73-3
村入用諸事覚帳 寺方村	明治3年午6月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(13丁墨)	73-5
武蔵国多摩郡寺方村入用帳	明治3年午12月日	横長半/(表紙下部破損あり)・1冊(9丁墨)	73-4
御伝馬村入用勘定帳(村入用書上帳) 寺方村	明治4年未7月日	横長半・1冊(11丁墨)	81-29
村入用其外書抜 未七月勘定迄	明治4年未7月日	横長半・1冊(15丁墨)	145
御伝馬村入用定使半面割 堰反掛り田方諸掛り入用元割帳	明治4年12月日	横長半/(紙縫破損)・1冊(8丁墨)	137

2.8.2.諸色差引勘定

村入用其外高遠勘定帳 寺方村上組	明治3年午4月日	横長半・1冊(10丁墨)	77
田方石代残金畑方村入用堰反掛取立帳 上組・中組・下組寺方村	明治3年午6月日	横長半/(虫損あり)/(貼紙あり)・1冊(14丁墨)	60
御検見・山神入用附込帳	明治3年午9月日	横長半・1冊(6丁墨)	179
諸色割合勘定帳 寺方村	明治3年午10月日	横長半・1冊(6丁墨)	76
岩堰反掛り勘定帳 一ノ宮村船割 田方定免願入用割	明治3年午12月9日	横長半・1冊(16丁墨)	98
御伝馬村入用田方入用其外勘定帳 野田伊三郎・佐伯善四郎	明治7年戌3月日	横長半・1冊(5丁墨)	83-15

2.9.村政

2.9.1.村明細書上

村差出明細帳 武蔵国多摩郡寺方村百姓代伊三郎・組頭幡次郎・名主善四郎→神奈川県御役所	明治3年午3月	半・1冊(8丁墨)	11-1
村差出明細帳 *(表紙後筆)「消」 武蔵国多摩郡寺方村百姓代伊三郎・組頭幡次郎・名主善四郎→神奈川県御役所	明治3年午3月	半/(貼紙あり)・1冊(9丁墨)	11-2

2.寺方村三組惣代名主/9.村政/1.村明細書上

差出明細帳(寺方村明細帳控) 武蔵国多摩郡寺方村百姓代伊三郎・組頭幡次郎・名主善四郎→神奈川県御役所	明治3年3月	縦帳/(鼠食損甚大)・1冊(8丁墨)	518
明細帳下調控 上組	明治3年11月日	横長半/(鼠食損あり)/(綴じ紐に括り付け文書あり)・1冊(27丁墨)	156-1
明細帳下調控 中下組	明治3年11月日	横長半・1冊(19丁墨)	156-2
(寺方村明細帳) * (断簡)	(明治)	縦帳/(破損あり)/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	532-2

2.9.2.持高書上

小前持高帳	明治2巳年8月吉日	横長半・1冊(3丁墨)	10
-------	-----------	-------------	----

2.9.3.村役人

三給壺纏組分奉願候書付 山角上知寺方村百姓代三右衛門・組頭善右衛門・名主幡治郎・曾我上知百姓代政吉(印)・組頭長松(印)・名主善四郎(印)・浅井上知百姓代十五郎・組頭七右衛門・名主幸内→神奈川県御出役森田鎗三郎様・飯岡直作様・小原十郎様	明治2巳年7月	半/(破損甚大)・1冊(4丁墨)	13
乍恐以書付奉願上候(寺方村組頭杉田播次郎退役願に付) 杉田善兵衛(印)・杉田栄作(印)・杉田喜六(印)・杉田惣八(印)・杉田郡次郎(印)ほか37名	明治4年未2月晦日	半/(鼠食損あり)・1冊(6丁墨)	249
乍恐以書付奉願上候(寺方村新規年寄兼役入り願いの冒頭部分) * (下書) 日野宿組合武州多摩郡寺方村組頭退役人杉田治郎代兼村役人惣代名主佐伯善太郎・新規年寄役入願人百姓代杉田伊三郎	(明治)	縦紙/(包紙を兼ねる)・1通	342

2.9.4.備荒

十五歳より六十歳迄人別調帳(凶賢用意貯金積金高割合に付) 武蔵国南多摩郡寺方村名主佐伯氏	明治3年7月日	横長半・1冊(18丁墨)	20
凶賢用意貯金積立ニ付高割金取立帳 寺方村	明治4年未6月日	横長半・1冊(12丁墨)	136
身元金御上納名前書上帳(凶賢用意貯金に付) 右村(武蔵国多摩郡寺方村)百姓代伊野米三郎・年寄杉田伊三郎・名主佐伯善四郎→神奈川県御役所	明治4年未7月	半・1冊(5丁墨)	192
凶質(賢)用意貯金当未積立書上 右村(武州多摩郡寺方村)名主佐伯善治郎	明治4年12月	半/(欠損あり)・1冊(2丁墨)	366

2.9.5.旧記

御触書古器旧物類写 寺方村	明治4年未8月	縦帳・1冊(12丁墨)	543
---------------	---------	-------------	-----

2.10.人別・戸籍

2.10.1.戸籍作成

戸籍御用 廻状(戸籍認方法則に付) (日野宿組合)大惣代→関戸村・寺方村・一ノ宮村・百草村・和田村・落合村・貝取村・乞田村右御名主衆中	(明治3年)庚午12月8日	半/(鼠食損あり)・1冊(4丁墨)	19
武蔵国多摩郡寺方[](村方戸籍・社務人戸籍・寺院戸籍・来住並びに奉公人仮戸籍書上帳) 武蔵国多摩郡寺方村年寄杉田幡治郎(印)・名主佐伯善四郎(印)→神奈川県御役所	(明治3年)庚午12月	半/(表紙下部破損)・1冊(66丁墨)	17-1
(村方戸籍・寺庵戸籍書上帳) *(下書)/(前欠) 武蔵国多摩郡寺方村年寄幡治郎・名主善四郎→神奈川県御役所	明治3庚午(12月)	半・1冊(47丁墨)	17-2
第区戸籍 武蔵国[]	明治4年辛未□月	豎帳/(破損甚大)・1冊(7丁墨)	534

2.10.2.人員取調

(当町村人員其外取調書) *(雛形) 何国何郡何町村年寄たれ印・名主たれ印→神奈川県御役所	明治3年庚午	豎紙/(木版印刷)/(破損あり)・1通	388
戸数人数取調書上帳(寺方村三組分) *(控) 右村(寺方村)名主佐伯善四郎→神奈川県御役所	(明治)	半・1冊(3丁墨)	18-3
(戸数人別改帳) *(前欠)	(明治)	半/(破損甚大)・1冊(3丁墨)	516
(人別書上) *(断簡)	(明治)	豎帳/(破損)/(綴じ外れ)・1冊(1丁墨)	533

2.10.3.人別送り

差出し申一札事(百姓嘉十郎弟倉之助の人別送り状請け取りに付) 神奈川県御支配所武州多摩郡寺方村名主善四郎→県御支配所同州同郡同師村名主与平治殿	明治2巳年11月25日	豎紙/(虫損甚大)・1通	261
人別村送一札事(同師村嘉十郎弟倉之助人別送り状) 神奈川県支配所武州多摩郡同師村名主与平次(印)→同県御支配所同州同郡寺方村御名主善四郎殿	明治2巳年11月25日	豎紙/(鼠食損あり)・1通	265
差出し申人別請取之事(黒川村百姓一太郎娘とわ人別送り状請け取りに付) 神奈川県支配所武州多摩郡寺方村名主善四郎(印)→同県同郡黒川村御名主源五郎殿	明治2巳年12月13日	豎紙/(鼠食損甚大)・1通	262
差出し申人別請取之事(黒川村百姓一太郎娘とわ人別送り状請け取りに付) *(下書) 御支配所武州多摩郡寺方村名主善四郎→同郡黒川村名主源五郎殿	明治2巳年12月13日	豎紙/(虫損甚大)・1通	263
人別送之事(百姓七助娘りん寺方村儀三郎嫁に差し遣わずに付) 右村(砂川村)名主源五右衛門(印)→寺方村御名主中	明治3午年3月	豎紙/(鼠食損あり)・1通	266
人別送り之事(金太郎・やま儀寺方村弥兵衛跡相続に付) 八王子横山宿名主七郎兵衛(印)→寺方村御役人衆中	明治3年午3月	豎紙・1通	270
人別送之事(栄三郎弟亀吉横山宿住居に付) 右村(寺方村)名主善四郎→同御支配所同州同郡八王子横山宿名主七郎兵衛殿	明治3午年4月	豎紙・1通	268

2.寺方村三組惣代名主/10.人別・戸籍/3.人別送り

人別送り之事(百姓喜六妹やる原関戸村孫次郎嫁に差し遣わずに付) 右村(押立村)名主英吉郎(印)→原関戸村御名主中	(明治3)午年7月28日	豎紙/(鼠食損あり)・1通	269
人別送り一札之事(永井弥惣右衛門娘はる寺方村小林徳次郎嫁に差し遣わずに付) 神奈川県支配所武州多摩郡小野路村名主細野利平次(印)→同支配所同州同郡寺方村御名主佐伯善四郎殿	明治4未年2月	豎紙・1通	271

2.10.4.養老扶持

覚(米3斗6升を長松母むめ養老扶持として寺方村役人へ相渡すに付) 奥田権右兵衛・坂田権右兵衛・山田権右兵衛・青木権右兵衛→木曾村役人	(明治3年)午2月10日	堅切紙・1通	289-2
覚(米3斗6升を養老扶持方として受け取りに付) 武州多摩郡寺方村名主善四郎(印)→木曾村御役人中様	(明治3年)午2月15日	堅切紙・1通	288
万覚帳(佐伯長松母御扶持覚等に付) 佐伯長松	明治3年午2月日	横長半/(鼠食損あり)/(貼紙あり)・1冊(4丁墨)	188
養老扶持一条二付小手形覚(明治4年未3月中木曾村より3斗6升受取候ては余分に相成るため手形2枚差戻しに付) 武蔵国多摩郡寺方村名主善四郎→神奈川県役所	明治4年未3月	堅切紙・1通	289-1
證(米3石5斗5升を長松母むめ養老扶持として相渡すに付) 神奈川県少属中林安定(印)・在出無印神奈川県少属森田義忠・神奈川県少属千坂広一(印)→右村(武州多摩郡寺方村)役人	明治4辛未年3月	堅切紙・1通	289-3

2.10.5.家出・帳外し・帰住

[]以書付ヲ奉申上候(無宿増五郎身持不埒に付人別帳除名願) 右県(神奈川県)支配所武州多摩郡寺方村百姓□(源カ)治郎(印)・名主善四郎(印)→神奈川県御出役[]	明治3午年3月6日	豎紙/(鼠食損甚大)・1通	264
帰住願(寺方村亀吉文久3亥年除帳相成り候処後悔改心いたし帰住願い候に付) 右(武州多摩郡寺方村)亀吉兄栄三郎・帰住願人亀吉・親類組合惣代源治郎・村役人惣代名主善四郎→神奈川県御役所	明治3午年3月23日	半・1冊(3丁墨)	267
(林兵衛・元次郎家出致すに付届書) 右林兵衛親類組合惣代親類杉田伊三郎(印)・仙之助煩ニ付代兼親類組合惣代兼親類伊野栄三郎(印)・村役人惣代名主佐伯善四郎(印)→神奈川県御役所	(明治4)辛未2月晦日	半・1冊(2丁墨)	272

2.11.訴訟

(名主・五人組立ち会い済ますべく来る22日双方罷り出対決すべき旨書付) * (下書) →神奈川県庁	(明治3年)庚午11月8日	豎紙・1通	248-2
拝見一札之事(売掛金滞出入に付) * (端裏書)「御請書下書」 武州多摩郡寺方村相手伴野政吉・組合同苗銀蔵・相手石坂三右衛門・組合小形八百吉・相手藤井浅次郎・組合藤井善右衛門・相手伊野倉之助・組合栄三郎・名主善四郎→同州同郡中野村小谷田重蔵殿	明治3午年11月12日	豎紙・1通	248-1

(掛金滞金額書上) * (下書)	(明治3年11月カ)	豎紙・1通	248-3
(書付の差出・宛先) * (下書) 右小谷田重蔵・差添人名主 大澤覚治郎→神奈川県御役所	明治3年午11月	豎紙・1通	248-4

2.12.社寺

2.12.1.社寺取調

(寿徳寺朱印地・村方鎮守山神ほか村内神社書上)	明治2年巳2月	半/(虫損あり)/ (綴じ穴あり)・1冊(1丁墨)	295-15
禪宗曹洞流 本末寺号其外明細帳 武蔵国多摩郡寺方村 名主善四郎・組頭幡治郎・寿徳寺・観蔵院→神奈川県御役所	明治3年8月	半・1冊(3丁墨)	181-2
真言宗新義流 本末寺号其外明細帳 武州多摩郡寺方村 名主善四郎・幡次郎・宝泉院兼帯真照寺→神奈川県御役所	明治3年午8月	半・1冊(3丁墨)	194
社寺名前書上帳 右村(寺方村)名主佐伯善四郎・組頭杉田 幡治郎・百姓代杉田伊三郎→神奈川県御役所	明治4年未辛2月	半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	181-5
御尋ニ付申上候書付(元朱印地寿徳寺領上知の分取り 扱いに付) 寺方村百姓代伊野栄三郎・年寄杉田伊三郎・ 名主佐伯善四郎・右(寺方村)寿徳寺→神奈川県御出役小池 少属様・高橋少属様	(明治4年)辛未4月	半・1冊(2丁墨)	181-4
社寺院本数反別書上帳 右村(寺方村)寿徳寺・百姓代伊 野栄三郎・年寄杉田伊三郎・名主佐伯善四郎→神奈川県御 役所	明治4年未6月	半・1冊(10丁墨)	181-3
宮社取調明細書上帳 右村(寺方村)年寄杉田伊三郎・名 主佐伯善四郎殿 →神奈川県御役所	明治4年未6月	半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	181-6
神社取調明細書上帳(武蔵国多摩郡寺方村鎮座山神宮 ほか村内神社取り調べに付) 右村(武蔵国多摩郡寺 方村)年寄杉田伊三郎・名主佐伯善四郎→神奈川県御役所	明治4年未6月	半/(鼠食損あり)/(綴じ穴あり)・1冊(1丁墨)	295-12
武蔵国多摩郡寺方村寿徳寺書上(慶安元年吉祥山寿徳 禪寺置文写)	明治6年酉7月写	半・1冊(4丁墨)	181-7
武蔵国多摩郡寺方村鎮座(山神社・稻荷社明細書上) 右村(寺方村)年寄杉田伊三郎・名主佐伯善四郎→神奈川県 御役人中様	(明治)	横長半・1冊(3丁墨)	181-1
(武蔵国多摩郡寺方村鎮座山神社ほか村内神社取り調 べに付書上)	(明治)	半/(虫損あり)・1冊(3丁墨)	295-14

2.12.2.寿徳寺

(寿徳寺境内・田畑絵図)	(明治)	33.5×24.0・1鋪	360
--------------	------	--------------	-----

2.12.3.山神社

太鼓買入用覚 武州多摩郡寺方村役人	明治3年午ノ9月7日	横半半/(綴じ紐に括り付け文書2点あり)・1冊(5丁墨)	178-4
山神太鼓勸化祭礼入用勘定帳 寺方村・落川新田□(村)	明治3年午9月日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(5丁墨)	178-1

2.寺方村三組惣代名主/12.社寺/3.山神社

山神太鼓勸化并祭礼入用覚帳 寺方村・新田村	明治3年午9月日	横長半・1冊〈4丁墨〉	178-2
山神太鼓勸化祭礼勘定帳 寺方村・落川新田	明治3年午9月日	横長半・1冊〈5丁墨〉	178-5
(山神太鼓勸化出穀関係綴)	(明治3年午9月)	綴/(178-6-1~2は一綴)・1綴	178-6
山神太鼓勸化出穀覚帳 寺方村・落川新田	明治3年午9月日	横長半・1冊〈6丁墨〉	178-6-1
(勸化米売払代金書上)	(明治3年9月)	横長半・1冊〈2丁墨〉	178-6-2
(山神太鼓勸化祭礼勘定帳)	(明治3年9月)	横長半・1冊〈2丁墨〉	178-7
(山神太鼓買求人入費多分一件関係一括)	(明治3年11月)	折込一括/(178-9-1~2は折込一括)・1点	178-9
入置申一札之事(借入金にて山神太鼓買求めの所入費多分にて氏子一同立腹の段示談に付) 立入人栄三郎・同惣八・同乙五郎→善四郎殿・新倉順之助殿	明治3年11月28日	縦紙・1通(2枚)	178-9-1
新倉順之助殿借入金返金控	(明治3年11月カ)	縦紙・1通	178-9-2

2.12.4.稲荷社・山王社

稲荷様山王様普請諸入用覚帳 寺方村・新田村	明治3年午2月日	横長半・1冊〈2丁墨〉	178-3
-----------------------	----------	-------------	-------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

3.明治期公職

3.1.寺方村代議人

3.1.1.布告・令達

(鹿児島県下暴徒征討仰せにより無根の伝説等妄りに新聞紙掲載禁止に付布告) 右大臣岩倉具視	明治10年2月19日	小切紙・1通	472
回達留 神奈川県下東寺方村五十一番地佐伯善四郎	明治10年丑5月日	半・1冊(9丁墨)	171
丙第356号(武蔵国多摩郡和田村地内に官有林を新たに定むるに付) * (奥書)「前紙之通御達書到来候間写置此度御報及者也」 神奈川県令野村浩、(奥書)八小区役処 [印]→寺方村村用掛御中	明治11年10月2日(奥書)11年10月7日	青色罫紙/(13行)/(版心)「神奈川県管下第八大区」・1通	229
(包紙) * (包紙上書)「公用 第十月七日封」 八小区扱処 [印]→寺方村村用掛御中	(明治)	包紙・1点	297-52

3.1.2.用務

御用日記覚之帳	明治8年亥正月日	横長半・1冊(5丁墨)	170
(右書類伊野儀兵衛村用掛役中の節神奈川県にて御入用の由伊野儀兵衛手筆にて書取相渡すに付一札) * (前後欠)	(明治)	縦紙・1通	409

3.1.3.土地

字八号従八百八十八番至八百八十九番 田畑其外反別取調野帳 第八大区八小区武蔵国多摩郡寺方村	(明治)	半/(鼠食損甚大)・1冊(2丁墨)	295-5
(地租改正に付田畑地代書上)	(明治)	半/(鼠食損甚大)/(青色罫紙の貼紙あり)・1冊(9丁墨)	295-6
(田主幡次郎1番字有山中畑田成4畝18歩ほか9名田畑書上)	(明治)	横長半/(鼠食損あり)・1冊(3丁墨)	295-33
(人別地価地租書上)	(明治)	罫紙・1冊(5丁墨)	321
(地位等級1号8小区寺方村藤井為次郎分・日吉義平分 図面) * (下書)	(明治)	縦紙/(破損大)・1通	325
(反別書上一括)	(明治)	巻込一括/(327-1~3は巻込一括)・1点	327
(旧境内4反2畝5歩ほか反別書上)	(明治)	切紙・1通	327-1
拾六号(3等田8畝26歩ほか反別書上)	(明治)	横折紙・1通	327-2
(1等上畑4反1畝23歩反別書上)	(明治)	横長半・1冊(5丁墨)	327-3

3.1.4.貢金

証(戌貢金の内4円48銭受け取りに付) 八小区正副戸長(印)→寺方村納人有山茂七	(明治7年)戌3月7日	切紙・1通	216-10
証(戌貢金の内7円18銭7厘5毛受け取りに付) 八小区正副戸長(印)→寺方村納人佐伯善四郎	(明治7年)戌12月18日	切紙・1通	216-3
証(戌貢金の内8円56銭2厘5毛受け取りに付) 九小区正副戸長(印)→寺方村納人有山伝兵衛	(明治7年)戌12月18日	切紙・1通	216-4
証(戌貢金の内1円50銭受け取りに付) 九小区正副戸長(印)→寺方村納人日吉大乗	(明治7年)戌12月18日	切紙・1通	216-5
証(戌貢金の内7円18銭7厘5毛受け取りに付) 九小区正副戸長(印)→寺方村納人佐伯代三郎	(明治7年)戌12月18日	切紙・1通	216-6
証(戌貢金の内6円43銭受け取りに付) 九小区正副戸長(印)→寺方村納人佐伯代三郎	(明治7年)戌12月18日	切紙・1通	216-7
証(戌貢金の内5円受け取りに付) 九小区正副戸長(印)→寺方村納人有山茂七	(明治7年)戌12月18日	切紙・1通	216-8
証(戌貢金の内7円90銭受け取りに付) 八小区正副戸長(印)→寺方村納人有山伝兵衛	(明治8年)亥3月7日	切紙・1通	216-1
証(戌貢金の内1円35銭受け取りに付) 八小区正副戸長(印)→寺方村納人日吉大乗	(明治8年)亥3月7日	切紙・1通	216-2
証(戌貢金の内6円43銭受け取りに付) 九小区正副戸長(印)→寺方村納人佐伯善四郎	(明治8年)亥3月7日	切紙・1通	216-9

3.2.連合戸長役場筆生

荒地地券状相渡帳 右計算立入人藤井為治郎・議員杉田伊右衛門・杉田吉兵衛・筆生佐伯善四郎	明治14年巳7月6日	青色罫紙/(13行)/(版心)「神奈川県管下」・1冊(4丁墨)	152
---	------------	---------------------------------	-----

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

4.佐伯家

4.1.経営

4.1.1.万控帳

年中日記帳(金子貸借・質地等に付) * (表紙後筆)「土蔵 ふしん」 寺方村善四郎	元治2年丑正月日	横長半/(鼠食損 あり)・1冊(15丁 墨)	187
(金銭貸借関係一括)	(明治14年～明治24年)	挟込一括/ (189-1～2は挟 込一括)・1点	189
万附込覚帳 南多摩郡東寺方村佐伯善四郎	明治14年巳1月吉日	横長半・1冊(8丁 墨)	189-1
金円借用証(要用にて金2円50銭借用に付) 東京市深 川区西永町三番地佐伯米蔵(印)→佐伯善四郎殿	明治24年5月20日	堅切紙・1通	189-2

4.1.2.金銀出入帳

万払米金銀出人(入)帳 佐伯氏善九郎	万延元年申10月	横長半/(虫損あ り)・1冊(9丁墨)	186
--------------------	----------	------------------------	-----

4.1.3.金銭貸借

請取米勘定差引覚帳(貸金返納米に付)	天保3年辰年11月日	横長半・1冊(5丁 墨)	128
借用申証文之事(当辰御年貢上納に差し支え金1両借 用に付) 原関戸村借用者安五郎→寺方村平右衛門殿	天保15辰年12月日	堅切紙/(虫損あ り)・1通	286
□(借)用申金子証文之事	(近世)	堅紙/(展開不 能)/(虫損甚 大)・1通	295-28
[](借用申)金子証文之事	(近世)	堅紙/(展開不 能)/(虫損甚 大)・1通	295-30
覚(金子借用証文) *(断簡)	(近世)	堅紙/(虫損甚 大)・1通	297-104
記(元金59円90銭お渡し申すに付) 伊野利太郎(印)→ 佐伯喜太郎様	明治32年4月30日	横切紙・1通	297-78
(書状、大兄水田氏より小作米抵当にて借入金30円の 処入金15円返金に付) *(下書)	(近代)	堅紙・1通	297-77

4.1.4.土地

手形之事(田地入合の処屋敷永代下さるに付) 屋敷主 加左衛門印・忠左衛門印・喜兵衛印→寺方村五右衛門殿	延宝7年未2月13日	堅紙・1通	222
質流地証文之事(字谷戸中畑2畝6歩に付) *(雛形) 曾 我知行所多摩郡寺方村質流地主誰・親類誰・五人組誰・組頭 誰・(奥書)右村名主誰→同郡四ツ谷村三左衛門殿	元治元子年3月	堅紙・1通	320

4.佐伯家/1.経営/4.土地

相渡申質地証文之事(上田1反6畝歩に付) 寺方村潰孫兵衛跡相続人質地主代三郎(印)・親類組合政吉(印)・証人長松(印)・原関戸村組頭善右衛門(印)・名主後見榮作(印)・名主吉兵衛(印)→寺方村善四郎殿	慶応元年丑6月	縦継紙/(破損あり)・1通	235
質地相渡し申証文之事(字有山上上田8畝歩ほか御年貢上納差し支えに付) *(後欠)	(近世)	縦紙/(虫損甚大)・1通	297-72
対談書(幸内殿居屋敷際通りの立木境外へ張出し候も計り難きに付代地御遣わしの旨) 立合人寺方村清治郎(印)・同長松(印)→同村善四郎殿	明治2年巳2月20日	縦紙・1冊(2丁墨付)	296
(大栗川用水堰・土取場・皇宮付属山林絵図)	(明治31年カ)	68.0×27.5・1鋪	297-49

4.1.5.地券

(地券関係一括)	(明治12年～明治17年)	巻込一括/ (198-1～26は巻込一括)・1点	198
[印「明治九年改正」]地券(芝地1畝歩地価2銭5厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治14年1月12日	縦紙・1通	198-1
[印「明治九年改正」]地券(山林4畝3歩地価53銭3厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治14年1月12日	縦紙・1通	198-2
[印「明治九年改正」]地券(山林6畝9歩地価81銭9厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治14年1月12日	縦紙・1通	198-3
[印「明治九年改正」]地券(山林8畝24歩地価1円14銭4厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治14年1月12日	縦紙・1通	198-4
[印「明治九年改正」]地券(山林2段4畝18歩地価3円19銭8厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治14年1月12日	縦紙・1通	198-5
[印「明治九年改正」]地券(山林3畝19歩地価47銭2厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治14年1月12日	縦紙・1通	198-6
[印「明治九年改正」]地券(山林5畝24歩地価75銭4厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治14年1月12日	縦紙・1通	198-7
[印「明治九年改正」]地券(山林3段2畝19歩地価6円52銭7厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治14年1月12日	縦紙・1通	198-8
[印「明治九年改正」]地券(畑9畝29歩地価26円68銭6厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-9
[印「明治九年改正」]地券(畑8畝10歩地価18円59銭4厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-10
[印「明治九年改正」]地券(畑1段2畝歩地価24円99銭) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-11
[印「明治九年改正」]地券(畑7畝20歩地価17円67銭6厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-12
[印「明治九年改正」]地券(畑4畝17歩地価10円18銭9厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-13
[印「明治九年改正」]地券(畑6畝9歩地価13円12銭) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-14
[印「明治九年改正」]地券(畑6畝24歩地価14円16銭1厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-15

[印「明治九年改正」]地券(田3畝11歩地価24円31銭7厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-16
[印「明治九年改正」]地券(田8畝1歩地価59円78銭2厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-17
[印「明治九年改正」]地券(田3畝2歩地価24円16銭3厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-18
[印「明治九年改正」]地券(田4畝歩地価31円51銭8厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-19
[印「明治九年改正」]地券(田4畝23歩地価37円55銭8厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-20
[印「明治九年改正」]地券(田1畝27歩地価13円72銭4厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-21
[印「明治九年改正」]地券(田4畝13歩地価32円2銭1厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-22
[印「明治九年改正」]地券(田4畝2歩地価29円37銭3厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-23
[印「明治九年改正」]地券(畑1段8畝6歩地価37円90銭2厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-24
[印「明治九年改正」]地券(宅地3段5畝3歩地価94円77銭) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎	明治12年7月17日	縦紙・1通	198-25
証(明治16年後半期地券証印税金1円35銭領収に付) 南多摩郡長原豊穰[印「南多摩郡長原豊穰」]→南多摩郡東寺方村佐伯喜太郎外1人納	明治17年1月17日	小切紙・1通	198-26
(地券関係一括)	(明治14年～明治16年)	巻込一括/ (197-1～12は巻込一括)・1点	197
[印「明治九年改正」]地券(山林2畝歩地価26銭) 神奈 川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-1
[印「明治九年改正」]地券(山林9畝18歩地価1円24銭8厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-2
[印「明治九年改正」]地券(山林18歩地価7銭8厘) 神奈 川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-3
[印「明治九年改正」]地券(山林1段9畝6歩地価2円49銭 6厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-4
[印「明治九年改正」]地券(山林1畝13歩地価18銭6厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-5
[印「明治九年改正」]地券(3段4畝4歩地価4円43銭7厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-6
[印「明治九年改正」]地券(山林9畝6歩地価1円19銭6厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-7
[印「明治九年改正」]地券(山林12歩地価5銭2厘) 神奈 川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-8
[印「明治九年改正」]地券(山林2畝12歩地価31銭2厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治16年7月11日	縦紙・1通	197-9

4.佐伯家/1.経営/5.地券

[印「明治九年改正」]地券(山林2畝20歩地価34銭7厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治16年7月11日	縦紙・1通	197-10
[印「明治九年改正」]地券(芝地5畝歩地価12銭5厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-11
[印「明治九年改正」]地券(山林6畝22歩地価87銭5厘) 神奈川県[印「神奈川県」]→持主佐伯善四郎他16人	明治14年1月12日	縦紙・1通	197-12
新規券状御願(武蔵国多摩郡寺方村440番売買に付新規地券下さるべき旨) 右(寺方村)売渡人何ノ誰印・買請人何ノ誰印・村用掛・戸長・戸長→神奈川県権令	(明治)	縦紙・1通	301

4.1.6.山林

御料地払下願(和田村字19号1716番御料地山林払い下げ願書) 武蔵国南多摩郡多摩村大字東寺方578番地平民田持総代人佐伯太兵衛(印)・同国同郡同村字544番地平民田持総代人佐伯喜太郎(印)他17名→東京府御料局長男爵岩村通俊殿	明治31年3月3日	半/(鼠食損甚大)・1冊(3丁墨)	297-25
記(槻1本代金28円売り渡しに付) 寺方村佐伯善四郎(印)→人見村加藤久平殿代勘四郎殿	(明治)子11月20日	縦紙・1通	324

4.1.7.小作

入置申一札之事(田地長小作づくりに付) 寺方村とう右衛門(印)→同村善右衛門殿	元禄2年卯ノ(マ)3月5日	縦紙/(鼠食損甚大)・1通	234
小作請負手形之事(田畑合1反9畝7歩に付) *(後欠)	(近世)	縦紙・1通	415

4.2.家政

4.2.1.由緒

(佐伯谷の地名・佐伯市助道永及び吉祥院の由緒書)	(近世)	縦紙・1通	317
--------------------------	------	-------	-----

4.2.2.家族

一札之事(原村三左衛門より寺方村善右衛門へ養子貫請に付持参金及び田地・屋敷・山共渡す事) 原村□□・証人半兵衛(印)・同宗五郎(印)・同茂兵衛(印)・同清右衛門(印)・同勘兵衛(印)→寺方村善右衛門殿	宝永5年子ノ10月	縦紙/(鼠食損甚大)・1通	252
委任状之事(病気に付離婚媒酌に付) 右(南多摩郡多摩郡東寺方544番地)佐伯善四郎(印)→同郡(南多摩郡)同郡(多摩村)同(544)番地佐伯喜太郎殿	明治2年5月25日	罫紙/(虫損あり)・1通	356

4.2.3.家産・家計

書出し(酒・きせる・下太緒等代金に付) 八十郎→善右衛門様	(近世)丑1月	横切継紙・1通	297-79
書出し(いわし・釘・酒・傘等代金書上) *(後欠)	(近世)	横切継紙・1通	297-81
記(茂七・伝兵衛・長松・代三郎分出金・つり金書上)	(近世)	横折紙・1通	316
(去9月29日男裕・くわ・つきくわ等書上覚) 寺方村百姓三重郎	明治3午年10月	堅切紙・1通	411

記(祖母置金配分に付)	明治23年9月27日	縦切紙・1通	290
記(10月4日酒代ほか63文ほか請け取りに付) 森田(印) →佐伯様	(明治)33年10月13日	横切紙・1通	297-80
記(12月分学校資本金利子1銭6厘余受け取りに付) 寺方村用掛伊野義兵衛(印)→村佐伯善四郎殿	(明治)第12月31日	切紙・1通	426

4.2.4.租税

田畑御年貢請取覚帳 村名主伝兵衛(印)→善九郎殿	文化6年巳12月日	横長半・1冊(5丁墨)	55
--------------------------	-----------	-------------	----

4.2.5.日記

家事日記帳	大正12年6月26日	横長半・1冊(24丁墨)	474
-------	------------	--------------	-----

4.2.6.普請

木挽人夫控帳 多摩郡東寺方佐伯喜太郎	明治26年9月吉日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(10丁墨)	190-1
大工人夫控簿 東京府下南多摩郡多摩村東寺方佐伯喜太郎所持	明治27年1月吉日	横長半/(鼠食損あり)・1冊(19丁墨)	190-2

4.2.7.慶弔

もくろく(こんふ1折ほか結納物書上)	(近世)	横切紙・1通	297-93
目録(御樽ほか御祝儀に付) 助八・乙右衛門	(近世)	横折紙・1通	348
目録(袴代金5円ほか幾久敷目出たく受納下されたきに付) *(包紙上書)「目録」 和田峯岸竹次郎→多摩村東寺方佐伯喜太郎殿	昭和7年12月6日	印刷用紙/(包紙共)・1通	405

4.2.8.賞状・証書

(委嘱書・推薦書・表彰書等一括)	(明治30年～大正15年)	巻込一括/(406-1～5は巻込一括)・1点	406
証(講習会において国史科受講に付) 東京高等師範学校教授講師斎藤斐章、(奥書)東京府南多摩郡教育会長富澤政賢[印]→佐伯義雄	大正15年8月7日	印刷用紙・1通	406-1
(兆民校親和会名誉会員推薦書) 兆民校親和会[印]→佐伯喜太郎殿	明治40年9月15日	縦紙・1通	406-2
(神都教会会員結集掛委嘱書) 神都教会会長従三位清岡長延→東京府佐伯喜太郎	明治34年2月23日	縦紙・1通	406-3
(明治27・28年戦役時軍資金1円献納の段奇特に付表彰書) 東京府知事正二位勲三等侯爵久我通久[印]→南多摩郡多摩村佐伯喜太郎	明治30年6月1日	縦紙・1通	406-4
(南多摩郡教育会基本金募集委員委嘱書) 南多摩郡教育会長土方篠三郎[印]→佐伯喜太郎殿	明治34年9月	縦紙・1通	406-5

4.佐伯家/2.家政/8.賞状・証書

(賞状・証書一括)	(明治31年～明治33年)	折込一括/ (432-1～3は折 込一括)・1点	432
賞状(品行方正に付) →尋常科補習二年佐伯シツ	明治32年3月31日	縦紙・1通	432-1
賞状(学術優等に付) [印「東京府南多摩郡多摩村立兆民尋常小学校」]→尋常科補習一年佐伯しつ	明治31年3月31日	縦紙・1通	432-2
卒業証書(本校補習科第3年課業に付) 兆民尋常小学校訓導小形忠蔵[印]→東京府平民喜太郎二女佐伯しつ	明治33年3月31日	印刷用紙・1通	432-3
学習証書(年間高等小学校教科学習に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校[印「東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校」]→佐伯政喜	明治38年8月23日	縦紙・1通	402-3
(賞状等一括)	(明治34年～昭和5年)	巻込一括/ (404-1～4は巻 込一括)・1点	404
賞(武道寒稽古皆勤に付) 東京府立第二中学校[印]→第二学年佐伯正次	昭和5年1月18日	印刷用紙・1通	404-1
賞(武道寒稽古精勤に付) 東京府立第二中学校[印]→第五学年佐伯正次	昭和8年2月11日	印刷用紙・1通	404-2
表彰状(尋常科在学中品行学術共に他の模範と為すに足る旨) 南多摩郡教育会長勲七等富澤政賢[印「東京府南多摩郡教育会長印」]→佐伯正次	昭和3年4月28日	印刷用紙・1通	404-3
小学校教員免許状(尋常小学校本科准教員) 東京府知事正三位勲三等男爵千家尊福[印「東京府知事印」]→東京府平民佐伯幸七	明治34年4月22日	印刷用紙・1通	404-4
卒業証書(高等小学校卒業に付) 東京府南多摩郡多摩村向岡尋常高等小学校校長嶋崎義直[印]→佐伯文晴	明治35年3月25日	印刷用紙・1通	403
修業証(本会規定の科目農事講習修了に付) 東京府農会長正三位勲三等男爵千家尊福[印]→南多摩郡多摩村佐伯文晴明治廿一年十一月生	明治37年3月7日	縦紙・1通	438
卒業証書(尋常小学校教科卒業に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校[印「東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校」]→佐伯政喜	明治37年3月24日	縦紙・1通	402-4
修業証書(高等小学校第1・2学年課程修業に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校[「東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校」]→佐伯政喜	明治39年3月22日	縦紙・1通	402-6
(証書・賞状類一括)	(明治40年～大正3年)	折込一括/ (379-1～6は折 込一括)・1点	379
学習証書(本学年間修了証書) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校→佐伯フヂ	明治42年3月22日	印刷用紙・1通	379-1
学習証書(本学年間修了証書) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校→佐伯フヂ	明治40年3月24日	印刷用紙・1通	379-2
学習証書(本学年間修了証書) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校→佐伯フヂ	明治44年3月24日	印刷用紙・1通	379-3
精勤証(本学年間精勤に付) 東京府南多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校→高等科第二学年佐伯フヂ	大正3年3月25日	印刷用紙・1通	379-4

賞状(品行方正に付) 東京府南多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校→高等科第一学年佐伯フヂ	大正2年3月24日	印刷用紙・1通	379-5
学習証書(本学年間修了証書) 東京府南多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校→佐伯フヂ	大正2年3月24日	印刷用紙・1通	379-6
学習証書(年間高等小学校教科学習に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校[印「東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校」]→佐伯政喜	明治40年3月24日	縦紙・1通	402-7
(賞状・証書一括)	(明治40年～明治41年)	折込一括/ (419-1～3は折込一括)・1点	419
賞状(学業優等品行方正に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校→佐伯政善	明治40年3月24日	印刷用紙・1通	419-1
補習証書(本会第2期課程に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民農業補習夜学会→佐伯政善	明治40年3月24日	印刷用紙・1通	419-2
賞状(学業優等に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校→高等四学年佐伯政善	明治41年3月24日	印刷用紙・1通	419-3
修業証書(尋常小学校第2学年修業証書) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校→佐伯ノブ	明治41年3月24日	縦紙・1通	299
補習証書(第4期課程補習に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民農業補習夜学会[印「東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校」]→佐伯政喜	明治42年3月22日	縦紙・1通	402-5
賞状(品行方正に付) 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校→佐伯フヂ	明治45年3月22日	縦紙・1通	300
卒業証書 第三六五号(尋常小学校の教科を卒業に付) * (裏書)「第二期種痘完了明治四十一年二月十六日[印]」 東京府南多摩郡多摩村兆民尋常高等小学校→佐伯フヂ	明治45年3月22日	縦紙・1通	439
多摩尋常高等小学校通告簿(尋常3年佐伯義雄)	明治45年4月～明治46年3月	印刷用紙・1通	309
修業証書(本校甲種課程修了に付) 東京府南多摩郡多摩村実業補習学校長大久保文吉[印「南多摩郡多摩村立多摩実業補習学校校長印」]→佐伯政喜	大正4年3月25日	縦紙・1通	402-2
修業証(農事講習修了に付) 東京府農会長従四位勲四等久保田政周[印「東京府農会長之印章」]→佐伯政喜	大正4年3月30日	縦紙・1通	402-1
(多摩村役場庁舎・多摩尋常高等小学校舎建築にて功労大のため感謝状) 東京府南多摩郡多摩村村長勲八等富澤正賢[印「南多摩郡多摩村長印」]→佐伯喜太郎氏	大正4年5月26日	縦紙/(印刷)・1通	435
東京府南多摩郡多摩村第九回稲麦作立毛品評会賞状(褒状 小麦) 東京府南多摩郡農会長従七位内田三郎→佐伯文晴	大正6年4月14日	縦紙・1通	400
東京府南多摩郡多摩村第九回稲麦作立毛品評会賞状(2等賞 水稻) 東京府南多摩郡農会長従七位内田三郎→佐伯喜太郎	大正6年4月14日	縦紙・1通	401
(総代職多年にて功勞に付表彰状) 東京府神職会総裁正四位勲二等法学博士井上友一[印「東京府神職会総裁印」]→村社山神社氏子総代佐伯喜太郎	大正7年7月22日	縦紙・1通	437

4.佐伯家/2.家政/8.賞状・証書

褒状(多摩尋常高等小学校児童成績品展覧会において書方図画の成績佳良に付) 多摩尋常高等小学校長秋山定徳[印「南多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校長印」]→南多摩郡多摩尋常高等小学校尋常科第四学年佐伯正次	大正15年1月15日	縦紙・1通	391-1
(多摩村消防組小頭任命書) 八王子警察署→消防手佐伯政喜	大正15年3月5日	印刷用紙・1通	382
(証書・賞状類一括)	(大正15年～昭和6年)	折込一括/ (298-1～5は折込一括)	298
賞状(本学年間の成績優等に付) 東京府多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校→尋常科第四学年佐伯正次	大正15年3月25日	縦紙・1通	298-1
褒状(成績品展覧会において成績佳良に付) 多摩尋常高等小学校長河原半平[印]→南多摩郡多摩尋常高等小学校尋常科第四学年佐伯晴一	昭和5年1月16日	縦紙・1通	298-2
皆勤証(本学年間皆勤に付) 東京府多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校長河原半平[印]→尋常科第四学年佐伯晴一	昭和5年3月25日	縦紙・1通	298-3
精勤証(本学年間精勤に付) 東京府多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校長秋山定徳[印]→尋常科第二学年佐伯晴一	昭和3年3月25日	縦紙・1通	298-4
皆勤賞(本学年間皆勤に付) 東京府多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校長河原半平[印]→尋常科第五学年佐伯晴一	昭和6年3月25日	縦紙・1通	298-5
褒状(多摩尋常高等小学校児童成績品展覧会において書方の成績佳良に付) 多摩尋常高等小学校長秋山定徳[印「南多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校長印」]→南多摩郡多摩尋常高等小学校尋常科第五学年佐伯正次	昭和2年1月15日	縦紙・1通	391-2
賞状(本学年成績優等に付) 東京府南多摩郡多摩尋常高等小学校長秋山定徳[印「南多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校長印」]→尋常科第五学年佐伯正次	昭和2年3月25日	縦紙・1通	391-3
褒状(多摩尋常高等小学校児童成績品展覧会において書方の成績佳良に付) 多摩尋常高等小学校長秋山定徳[印「南多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校長印」]→南多摩郡多摩尋常高等小学校尋常科第六学年佐伯正次	昭和3年1月15日	縦紙・1通	391-4
賞(武道寒稽古精勤に付) 東京府立第二中学校[印]→第一学年佐伯正次	昭和4年1月19日	印刷用紙・1通	380
(多摩村消防組第6部長任命書) 八王子警察署→小頭佐伯政喜	昭和6年9月26日	印刷用紙・1通	374
(東京府南多摩郡多摩尋常高等小学校卒業証書) *(断簡) 東京府南多摩郡多摩村尋常高等小学校長河原半平[印]	昭和7年3月25日	縦紙・1通	390
褒状(多摩尋常高等小学校児童成績品展覧会において書方の成績佳良に付) 多摩青年学校長稲葉良仁[印「南多摩郡多摩青年学校長印」]→南多摩郡多摩青年学校本科第三学年佐伯晴一	昭和12年1月15日	縦紙・1通	397
精勤賞(本学年間精勤に付) 東京府南多摩郡多摩青年学校→本科第三学年佐伯晴一	昭和12年3月25日	印刷用紙・1通	310
卒業証書(尋常小学校) *(後欠) [印「東京府南多摩郡多摩村多摩尋常高等小学校」]→佐伯晴一	(近代)	印刷用紙・1通	346

4.2.9.教育会

証(本会主催講習会の教育学修身科受講に付) 東京府青山師範学校教諭講師長谷川孫平[印]→教育学修身科佐伯義雄、(奥書)東京府南多摩郡教育会長島田俊夫[印]	大正14年8月8日	印刷用紙・1通	332
---	-----------	---------	-----

4.2.10.兵事

(東京鎮台輜重輸卒第1504番補充員命令書) 東京鎮台→神奈川県武蔵国南多摩郡東寺方村平民農戸主佐伯喜太郎	明治19年2月27日	縦紙/(虫損あり)・1通	358
---	------------	--------------	-----

4.2.11.変災

証(22年7月10日大栗川出水の節酒・なハ代等請け取りに付) 森田[印]→佐伯様	(明治)22年1月23日	横切継紙・1通	297-105-1
記(なハ・酒代等に付) 森田→さへき様	(明治)22年カ)	横切継紙・1通	297-105-2
記(大栗川出水の節の金7銭5厘受け取りに付) 玉屋吉造→村世話役佐伯喜太郎様	(明治)酉1月23日	切紙・1通	297-106

4.2.12.信仰

注連袈裟之事*(包紙上書)「免許状 本道寺」湯殿山正別当本道寺[印]・役所[印]・納戸[印]→武州多摩郡寺方村佐伯善九郎殿一代	文政2卯11月晦	縦紙/(虫損あり)・1通	279
(御守)* (包紙上書)「落馬除御守」	(近世)	御守・1点	291-1
(大師河原金乗密院平間寺御札)* (包紙)「御祈祷護摩度供札 平間寺」とも	(近世)	札/(木版)・3点	413
(護摩供御札)*中に不動尊護符と所願如意的の札あり 高幡山金剛□(寺)	(近世)	札/(印刷物)/(破損甚大)・1点	422
厄神守護修 大師河原教覚[](破損)	(近世)	札/(破損あり)・1点	427

4.2.13.書籍

(女用文宝箱)* (表紙・裏表紙・前欠) 江戸書林両国石川町山田佐助・本石町英大助・馬喰町式丁目森屋治兵衛	(天保3年刊)	刊本・1冊(109丁)	361
(小学読本卷3 10頁・27頁)	(明治)	木版・2通	297-76

4.2.14.諸書付

(相澤理助ほか人名書上)	(近代)	切紙/(破損甚大)・1通	335
--------------	------	--------------	-----

4.3.寿徳寺旦那惣代

校割簿(寿徳寺什物控) 寿徳寺住職日吉国城[印]・右寺(寿徳寺)旦那惣代佐伯善四郎(印)・右村(寺方村)用掛杉田喜六(印)	明治7年4月	半/(黒色罫紙10行)/(版心)「神奈川県管下第八区」・1冊(7丁墨)	182
---	--------	-------------------------------------	-----

4.佐伯家/3.寿徳寺旦那惣代

記(長兵衛分ほか入金受け取りに付) 同村寿徳寺住務所知庫(印)→右寺惣代人預佐伯善四郎殿	明治18年乙酉9月30日	豎紙・1通	283
記(寿徳寺境内山林雑木売揚げ代金を寺法改革借用金として引き請けに付) 関戸村相沢兵蔵(印)→寺方村佐伯喜左衛門殿	明治18年12月30日	豎切紙・1通	284
当御旦方一同 本堂莊嚴寄附願帳 寿徳寺住職日吉大乘(印)→当村御旦方各御中	(明治)	半・1冊(5丁墨)	178-8

4.4.山神社氏子総代

(山神社明細書上) 右神社(山神社)社掌森田翁蔵・右(山神社)氏子総代人佐伯太兵衛(印)・杉田初五郎・佐伯喜太郎(印)・新倉順之助	明治33年11月8日	美/(青色罫紙13行)・1冊(3丁墨)	180
祠掌増員願(社務多忙に付) * (下書)	(明治)	豎切紙・1通	308

4.5.白紙

(白紙) * ノートの一部	(近代)	罫紙・1通	311
---------------	------	-------	-----

5.混入文書

石河佐渡守様給知 宗門人別帳写 * (表紙のみ) 濃州本巢郡曾井中島村上組	文久2年戊3月	豎紙・1通	313
(包紙) * (包紙上書)「奥州岩瀬郡舘ヶ岡村御名主寿三郎様外御役人中様受キ 江戸神田小柳町壺丁目伊勢屋伝次郎」 江戸神田小柳町壺丁目伊勢屋伝次郎→奥州岩瀬郡舘ヶ岡村御名主寿三郎様外御役人中様	(近世)5月19日	包紙・1点	527
(袋) * (袋上書)「権現様御朱印写四通 台徳院様御黒判写壺通 唐入之義二付御黒印写壺通 御内書写八通」	(近世)	袋・1点	333
(包紙) * (包紙上書)「御内書寫 八通」	(近世)	包紙・1点	343
(袋) * (袋上書)「南龍院様御直書六通 清溪院様御直書壺通 智泉院様叙爵之義二付御書付式通 新宮御城御修補二付御奉書写六通 大井大炊頭様より之御奉書写壺通」	(近世)	袋・1点	344
(包紙) * (包紙上書)「縦 台徳院様御加増壺万石 御判御本紙中高」	(近世)	包紙・1点	345

武蔵国多摩郡八王子河野家文書目録

武蔵国多摩郡八王子河野家文書 本文細目次

1. 八王子千人頭	129
1.1. 申渡書・沙汰書	129
1.2. 請書	129
1.3. 勤向	129
1.3.1. 上洛	129
1.3.2. 鷹場	129
1.3.3. 月番	130
1.3.4. 日光御番	130
1.3.5. 江戸火之番	131
1.4. 由緒・格式・先例	132
1.5. 来状	133
2. 河野家	134
2.1. 家族・相続	134
2.2. 由緒・系譜	134
2.2.1. 先祖書・親類書・遠類書	134
2.2.2. 古証文写	137
2.2.3. 徳川家系譜	137
2.2.4. 他家の系譜	137
2.3. 知行所	138
2.3.1. 宛行	138
2.3.2. 年貢・諸役	138
2.3.3. 山田村諏訪山	138
2.4. 書状	141
2.5. 文芸・蔵書	141
2.6. 教育	141
2.7. 袋・包紙	141

武蔵国多摩郡八王子河野家文書目録解題

文書群記号 31D
文書群名 むさしのくにた まぐんはちおうじこうの けもんじよ
武蔵国多摩郡八王子河野家文書
年 代 天文5年(1536)～慶応元年(1865)(写については記された内容の年次を示した。年次未詳文書には明治初年と推定されるものを含む)
数 量 208点(枝番号も含めた本目録上でのレコード数)
入手の経過

昭和31(1956)年度に古書店より購入。

武蔵国多摩郡八王子河野家文書の伝来と整理方針

武蔵国多摩郡八王子河野家文書(以下、河野家文書)は、昭和31(1956)年度に文部省史料館が古書店より購入したものである。このとき史料館において、1～120番の史料番号を付けて封筒詰めが行われている。ただし、同種の内容の文書を一つの封筒にまとめて入れる場合などがあったため、点数は164点(25冊、101通、5綴、1鋪、2折、30枚)として把握され、仮目録・カード目録に採録されて閲覧に供せられた。この際の史料館での編成方針は、おおむね主題別分類をとったものと考えられ、同種の文書には近接する番号が付与されている。

今回の編成では、旧史料館時代に付与された番号を生かしつつ、綴・包紙などで一括されたものは、新たに枝番号を付ける方法をとった。ただし、一部の綴・一括では、すでに旧史料館でアイテムごとの番号が付与されていた場合があり、これらについてはもともとあった番号を用いた。

千人頭と河野家

河野家は、歴代にわたって八王子(東京都八王子市)の千人頭を務めてきた家である。千人頭は、戦国大名武田家の直属家臣団で目付役や甲州九口の道筋奉行などを勤めた小人頭が徳川家康の家臣団として再編されたもので、八王子へ移住して配下の同心たちを率い、甲州口(武蔵・甲斐の国境)の警備と治安維持にあたった。千人頭を務めた家は原則として10家あり(おもな家は、上萩原・下萩原・上窪田・下窪田・志村・原・中村・河野・山本・石坂の各家、ただし分家・改易・絶家・復帰などで変遷あり)、各組に100人の同心が付属したことから「八王子千人同心」の名で知られている。その後、千人頭および千人同心は、承応元年(1652)より徳川家康を祀る日光東照宮を警備する日光御番を勤めることとなり、さらには短期間ではあるものの、宝永2～5年(1705～08)には江戸火之番の任務も命じられている。

千人頭は旗本身分で、鎗奉行支配に属した。河野家では、寛永8年(1631)3月4日に武蔵・上総両国のうちにおいて273石2斗余の知行所を下賜されている。

河野氏はもともと伊予国に住し、越智姓を名乗った。その後、京都から甲斐国へ渡って武田信虎へ仕えた。初代の通重は、目付役鎗支配として武田氏に勤仕していたが、その後家康の配下となり長柄支配を務めた。近世以降の河野氏の系譜は、①通重みちしげ（通康、伝之丞・但馬守、文禄4年〈1595〉10月18日没、86歳）—②通郷みちさと（伝之丞、慶長3年〈1598〉5月15日没、43歳）—③通玄みちはる（藤次郎・掃部助、明暦元年〈1655〉5月14日没、70歳）—④通次みちつぐ（千人頭志村貞精の三男、小右衛門、寛永9年〈1632〉8月8日没、36歳）—⑤高嘉たかよし（通本・通兼・通義・通致、伝之丞・与五右衛門、元禄15年〈1702〉閏8月25日没、84歳）—⑥通堅みちかた（兵三郎、正徳5年〈1715〉3月21日没、60歳）—⑦通有みちあり（伴右衛門、元文2年〈1737〉10月9日没、43歳）—⑧通好みちよし（銀平、明和4年〈1767〉2月12日没、47歳）—⑨通みちくに（主計、安永6年〈1777〉8月28日没、37歳）—⑩通泰みちやす（松蔵・四郎左衛門、天保3年〈1832〉没、70歳）—⑪通任みちただ（伝之丞、安政元年〈1854〉没、39歳）—⑫通徳みちのり（志村貞謙の次男、左近、嘉永3年〈1850〉没、31歳）—⑬通聿みちふで（志村貞慎の次男、仲次郎、明治15年〈1882〉没、55歳）—⑭通章みちあき みちあや（通斐、章一郎、大正3年〈1914〉没、53歳）と続く（別掲の系図を参照）。

文書群の階層構造と内容

本目録では、文書群の階層構造をもとに編成するように努め、河野家の内部組織を明らかにしたうえで、その組織を大項目（サブフォンド）とし、そこにおける機能を重視して中項目（シリーズ）・小項目を設定した。ただし、近世の家文書では、公的組織の文書がその家の文書として取り込まれ、私的な文書と未分離で混在している例が多い。そこで本目録では、歴代の河野家の当主が務めていた役職などをもとに組織を推定して大項目を設定し、さらに河野家そのものに伝来した経営・家政文書を加える形で編成を行った。その結果、大項目は、1. 八王子千人頭という公的組織に関わる項目と、2. 河野家という家に関わる私的な文書とした（以下、 は大項目、 は中項目、「 」は小項目を示す）。

1. 八王子千人頭（79レコード、収録年次は年代判明分で弘治2年～慶応元年、以下同様）

この大項目には、千人頭の職務に関わる公的文書を、1. 申渡書・沙汰書、2. 請書、3. 勤向、4. 由緒・格式・先例、5. 来状の5つの中項目に分けて収録した。

1. 申渡書・沙汰書（3レコード、享保20年）

この項目には、幕府から出された達書・申渡書・沙汰書を取めた。このうち享保20年（1735）の申渡書は、千人頭石坂彦三郎が唐人参の判鑑に関わって不埒な言及があったとして改易されたときのものである。

2. 請書（2レコード、延宝6年）

この項目には、幕府からの達書をうけて千人頭が提出した同心仕置に関する定書と切支丹改め手形に関する請書2点を収録した。

3. 勤向（47レコード、寛永15年～万延元年）

この項目には、千人頭の職務遂行にともなって作成・収受された文書を集めた。

「1. 上洛」(4レコード、寛永15年)には、寛永15年(1638)の將軍上洛に関わる文書を収めた。このとき千人頭の河野掃部助(通玄)は、荷物才料(宰領)として同心20人をともなって將軍の御供をしている。

「2. 鷹場」(2レコード、近世)に掲載したのは、陸奥相馬中村藩主の相馬長門守忠胤より河野与五右衛門(高嘉)へ宛てて出された寛永末～寛文期の作成と思われる書状2通で、土屋民部介(上総国久留里藩主の土屋利直か)・安藤次右衛門(旗本の安藤正珍)の放鷹について便宜を図ってほしいという内容である。近世前期の八王子周辺が大名らの放鷹の場所となっており、千人頭がこれに関与していたことを示すものである。

千人頭の執務は月番制をとっており、毎月1名ずつが交替で江戸・日光との文書事務などを取り扱った。当館所蔵の河野家文書には、幕末期の河野仲次郎(通聿)が月番を担当したときの日記などが残されており、「3. 月番」(5レコード、嘉永7年～万延元年)にはこれらを収録した。なお、八王子千人同心史編纂委員会編『八王子千人同心関係史料集』第1集～第4集(八王子市教育委員会、1988～91年)には、八王子市郷土資料館寄託の「河野家文書」に残された千人頭の「月番日記」が網羅的に翻刻収録されているので、これらも参照していただきたい。

「4. 日光御番」(27レコード、慶安5年～明和2年)には、慶安5年(承応元年・1652)6月から八王子千人同心に課せられた日光御番(日光勤番・日光火之番ともいう)に関する文書を収めた。日光御番は、千人頭2名とそれぞれが指揮する1組50名ずつの計100名の同心からなり、1回の期間は50日で、10組が相互に交替して勤めるものと規定された(ただし、寛文12年～貞享元年および寛政3年以降は、千人頭1名・同心50名の体制となる)。収録した資料は、慶安5年6月の「日光御番定書之事」や明和2年(1765)の「権現様百五十回御忌御法会之節在勤日記」をはじめとする勤役関係の文書、規式の次第書、殿舎の修復に関する記録、八王子と日光を往復する際の伝馬朱印状・宿継証文の写などが中心となっている。

「5. 江戸火之番」(9レコード、宝永2年～宝永5年)には、宝永2年(1705)2月から同5年3月までの3年間にわたって千人頭・同心が勤めた江戸火之番(江戸火消役)に関する文書を収めた。この勤役の人数は、千人頭2名・同心200名で、1回の出役期間は50日、10組が交替して勤めるものとされ、役屋敷は六番町と小石川に置かれていた。ここに収めた資料は、勤役に関わる日記・留帳、当番の交替の概要を記録したと思われる「立日之覚」、扶持方に関する文書などである。日光御番に加えて江戸火之番を課されたことで、千人頭・同心の負担は極めて過重となり、交替期日の遅れによる混乱も顕著となった。そのため、千人頭は宝永5年2月、困窮を理由にどちらか一方の勤番を免除してほしいとの願書を提出した(No.54)。結局、幕府はこの願いを聞き入れて、同年3月18日に江戸火之番の解除を申し渡している。

4. 由緒・格式・先例(19レコード、弘治2年～慶応元年)

この項目には、千人頭の由緒・格式に関する文書や、その正統性を主張するために作成された過去の文書の写・先例書上、城中席次の復旧を求める願書などを収録した。このうち丑4月付「奉願覚(座

席の儀古来の通り仰せ付けられたきに付)」(No.96-1)は、明暦3年(1657)に石坂勘兵衛の「不調法」により千人頭の城中席次が御納戸口御廊下へと変えられたことに対し、躑躅の間(No.21)の「(席次復旧・日光御用に付願書留)」では焼火の間とある)への復旧を願い出たときのもので、連印者の中に河野兵三郎(通堅)の名前があることから、彼の千人頭在任期間中の「丑年」である宝永6年(1709)の作成であろうと推定される。

5. 来状 (8レコード、近世)

この項目には、大名・旗本・鷹匠などから歴代の河野家当主へ宛てて出された消息状や季節の見舞状などを収録した。書状なので年次を記さないものが大半であるが、与五右衛門は5代当主の高嘉、伴右衛門は7代通有、四郎左衛門は10代通泰、仲次郎は13代通聿であり、前記した歴代当主の没年などから書状のおおよその作成時期が推定できよう。

2. 河野家 (129レコード、天正10年～文久元年)

この大項目には、河野家の由緒・系譜、知行所経営、家政などの私的な内容に関わる文書を、1. 家族・相続、2. 由緒・系譜、3. 知行所、4. 書状、5. 文芸・蔵書、6. 教育、7. 袋・包紙という7つの項目に分けて収録した。

1. 家族・相続 (8レコード、貞享4年～文久元年)

この項目には、河野家当主の名乗りや家督相続、養子・仮養子などに関わる文書を収めた。なお、仮養子とは、家督を相続する者が決まっていな旗本などが、出張先での不慮の死に備え、あらかじめ仮の相続人を決めることをいう。安永7年と推定される4月16日付「(河野松蔵殿御蔵証文出候旨並びに御礼勤め等の儀に付達書)」(No.60)は、前年11月に17歳で家督を相続した河野松蔵(通泰)が初めて御蔵証文を下付されたときのもと考えられ、万年遠江守より千人頭肝煎の石坂彦三郎に対して、これにともなう諸方への御礼勤めに関する指示を記したものと推定される。また、文久紀元辛酉年(1861)10月2日付「(河野通斐の選名書)」(No.114)は、14代当主となる章一郎(はじめ通斐、のち通章)が誕生した際、叔父にあたる志村貞廉(署名は「志村廉」であるが、横に捺された印には「貞廉」とある)が選んだ諱を書き記したものである。

2. 由緒・系譜 (69レコード、天正10年～弘化3年)

この項目には、河野家の先祖書・親類書・遠類書や自家の由緒に関わる古証文写、さらに系譜改めを行ったときに作成されたと思われる徳川家や諸家の系譜書を収録した。なお、ここに収めた一部の綴・一括の中には、本来ならば枝番号を付与して文書配置の階層性を示すべきところ、すでに旧史料館に番号が付与されているものがあり、これらについては、過去に付与されていた番号をそのまま踏襲して使用した。

「1. 先祖書・親類書・遠類書」(43レコード、天和2年～弘化3年)には、河野家の歴代当主が幕府へ提出した先祖書・親類書・遠類書や、弘化3年(1846)に行われた河野家による系譜改めに関わる文書を集めた。なお、年次未詳の「(河野家・窪田家系譜書綴)」(No.98-1～8)には、河野家だけで

なく、窪田家に関わる明細短冊や系図も合綴されているので注意されたい。

「2. 古証文写」(1レコード、天正10年)には、天正10年(1582)に河野家が甲斐国内で本給を宛行われた際の証文の写などを収めた。

「3. 徳川家系譜」(6レコード、近世)には、年次未詳の「(徳川家系譜書上綴)」(No. 93-23～26)などを収めた。

「4. 他家の系譜」(19レコード、近世～明治)には、坪内・最上・上杉・大友・原田・成瀬・結城・設楽・平岡・新田・京極の各家の略系図を綴った年次未詳の「(諸家系譜書綴)」などを掲載した。

3. 知行所 (42レコード、元和元年～安政4年)

河野家は、寛永8年(1631)3月4日に武蔵国都筑郡山田村(216石8斗余)・大榑村(8石9斗余)、上総国周淮郡台村(2石7斗余)・作木村(22石3斗余)の計268石7斗余に開墾地4石3斗を加えた合計273石2斗余を知行地として下賜された。山田村・大榑村は現在の神奈川県横浜市都筑区の一部、台村・作木村は千葉県君津市の一部にあたる。この項目では、これらの知行所および支配村々に関する文書を収録した。

「1. 宛行」(4レコード、寛永8年～正徳2年)には、寛永8年(1631)の知行宛行状の写、正徳2年(1712)の知行所目録、知行宛行状のうち台村の知行高に落字があったことを指摘する文書を収めた。

「2. 年貢・諸役」(9レコード、元和元年～天和元年)には、知行物成書上や年貢未進の百姓書上、大坂立夫・年貢運搬・江戸への小歩行御用など人夫賦課に関わる文書を集めた。

「3. 山田村諏訪山」(29レコード、寛文9年～天保13年)には、知行所の一つである武蔵国都筑郡山田村にあった諏訪山で起こった争論や諏訪明神別当観音寺の修復材の伐木願いなどの文書を掲載した。これらの文書には、端裏部分に「に印」などの記号が付けられているものがあるが、これは嘉永4年(1851)7月に勘定奉行から山田村の名主へ諏訪山関係の文書の提出を求めた際、村方から連絡を受けた河野家が、それに対応する形で整理を行ったときの痕跡だと思われる。

寛文9～12年(1669～72)に起こった争論は、諏訪明神まわりの山林と宮地大門の松林の帰属をめぐる、地頭山であると主張する河野与五右衛門と山田村の百姓・観音寺とが対立したものである。結果は、河野与五右衛門が一部の山林を諏訪明神へ寄進し、残りの山林と大門の松林を地頭山と定めたと考えられる。なお、このときの争論で追放刑の処罰を受けた村方の者の帰村に関する文書も残されている。諏訪山をめぐる河野家と村方との対立は、宝永7年(1710)にも起こっている。このときは、村方が諏訪社まわりと大門通りの松木の落葉・下草を採取するため、観音寺が別当としての役目を果たせないとして河野兵三郎へ訴え出た。河野家では、観音寺に落葉・下草採取を支配させるとともに、明神社・観音寺の修復材の伐採については河野家へ願い出るべきことを通達した。これに基づいて、天明期以降の文書には、明神社まわりや大門通りの松木を修復材として伐採したいとする出願に対する請書が多く残されている。

4. 書状 (1レコード、明治)

この項目には、明治初年の作成と推定される「甲州一条入用向」に関する河野通聿の書状を収めた。

5. 文芸・蔵書 (6レコード、近世～明治)

この項目には、河野氏へ贈られた和歌・漢詩、明治維新関係の雑記録である「排閩雑記」、および「三陽武編全集序」を編入した。

6. 教育 (1 レコード、明治)

この項目には、幼稚園教育の重要性を説く「述幼稚園之法制文」を収めた。河野家がいかなる理由で幼稚園教育に関わっていたのかについては詳らかではない。

7. 袋・包紙 (2 レコード、近世)

この項目には、公的文書に付属したものとは確定できない袋や包紙を収めた。

史料状態

一部の文書（特に近世前期の文書）には、虫損、継目の剥離や綴目の欠損などがある。

検索手段 本目録（国文学研究資料館学術資料事業部『史料目録』第110集）。

複製の存在 とくにない。

関連資料

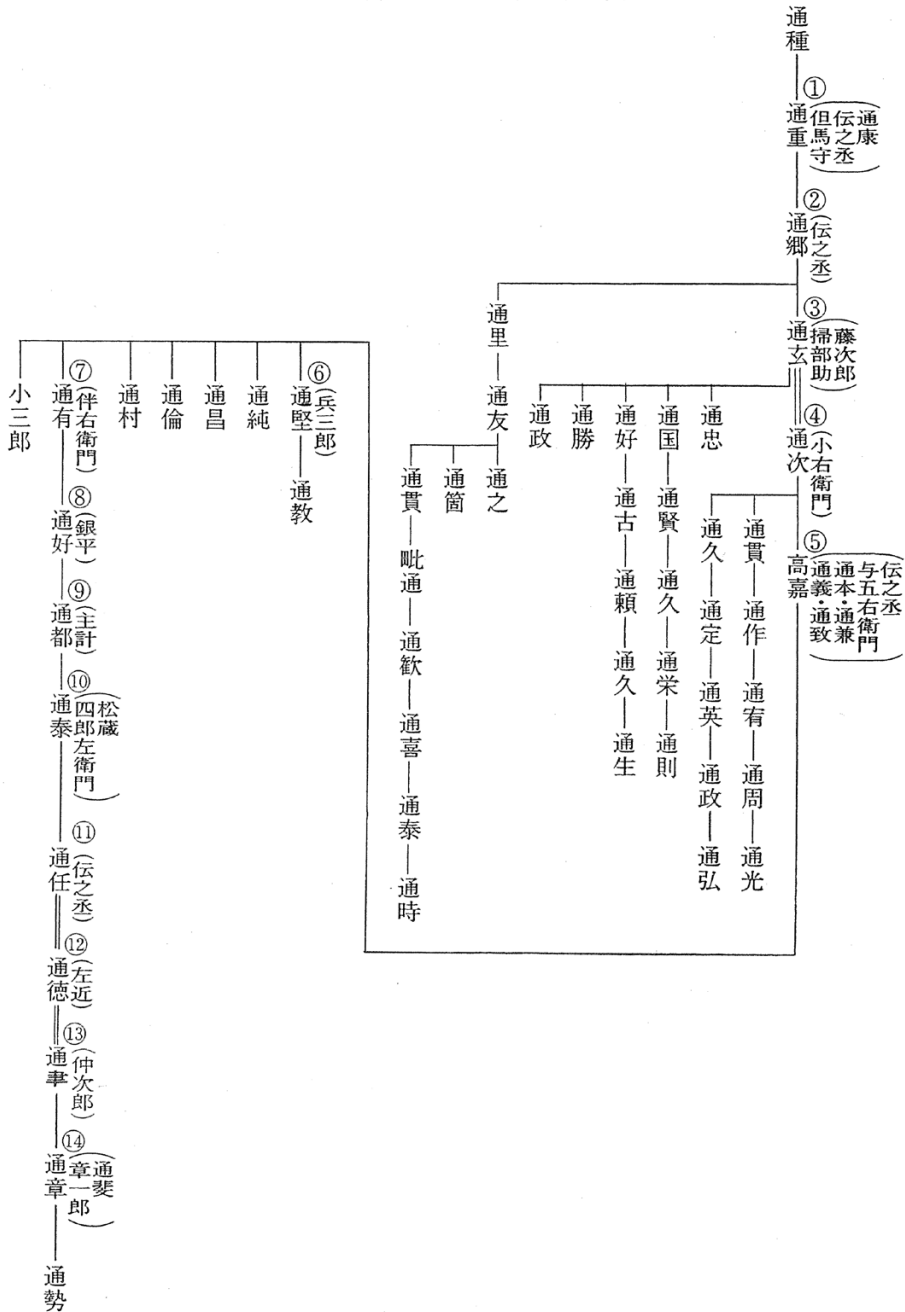
八王子市郷土資料館寄託の「河野家文書」は、明治維新に至って千人同心組織が解体した際、河野通聿（仲次郎）の手元にあったもので、当館所蔵分の3倍強の分量にのぼる。

出版物

河野家文書を利用した出版物には、以下のようなものがある。

- ・村上直編『八王子千人同心史料』（雄山閣出版、1975年）
- ・『江戸幕府千人同心関係資料調査報告』（東京都教育委員会、1988年）
- ・村上直編『江戸幕府八王子千人同心〔増補改訂〕』（雄山閣出版、初版1988年・増補改訂版1993年）
- ・『八王子千人同心関係史料集』第1集～第8集（八王子市教育委員会、1988～1991年・1998～2001年）
- ・『八王子千人同心史』資料編Ⅰ・Ⅱ、通史偏（八王子市教育委員会、1990～92年）
- ・『八王子千人同心の群像』（八王子市郷土資料館、1994年）
- ・村上直監修『ブックレット 千人のさむらい～八王子千人同心～』（八王子市教育委員会、2003年）
- ・吉岡孝『八王子千人同心』（同成社、2002年）
- ・『新八王子市史』資料編4 近世2（八王子市、2015年）
- ・『新八王子市史』通史編3・4 近世（上）（下）（八王子市、2017年）

河野家家系図



(注) = は養子、○数字は歴代当主を示す。『八王子市史』下巻 p.657 を加筆訂正。

『八王子千人同心史 通史編』より引用

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

1.八王子千人頭

1.1.申渡書・沙汰書

申渡之書付(唐人参判鑑の儀にて千人頭石坂彦三郎不届きの段これ有り改易申し付けるに付) * (端裏書)「申渡之書付写」	(享保20年)7月	縦継紙・1通	66
諸役人・小給人・御番衆御金被下候(御旗本の面々不勝手由聞こし召され上意に付)	(近世)	横長半・1冊	23
(袋) * (袋上書)「御沙汰書写」	(近世)	袋・1点	119-2

1.2.請書

(同心仕置定書之事不届きなる者吟味の儀他5か条に付請書) 窪田甚之助・窪田孫大夫・河野兵三郎・中村猪右衛門・志村兵吉・山本金右衛門・窪田庄兵衛・石坂喜兵衛・萩原七郎兵衛・原九兵衛	延宝6年午	縦継紙/(虫損あり)・1通	53
(年号相改め候に付吉利支丹改め手形仰せ付けられる旨請書) 河野与五右衛門・同兵三郎・原半左衛門・原与左衛門・萩原甚之丞・同七郎兵衛・中村弥左衛門・同猪右衛門・久保田両端・同助之丞・窪田庄兵衛・山本金左衛門・久保田甚之助・志村兵吉→森金右衛門様	(近世)10月6日	折紙・1通	65

1.3.勤向

1.3.1.上洛

覚(今度御荷物才料として京都へ同心20人召し連れ御貴所御登りに付) * (写) 窪助・同兵左・中藤九・志茂左・山弥・窪庄兵・石弥次・萩藤三・原金兵→川野掃部殿参	(寛永15年カ)3月27日	縦継紙・1通	51-1
覚(今度御荷物として才料京都へ同心20人召し連れ御貴所御登りに付) 窪助(花押)・同兵左(花押)・中藤九(花押)・志茂左(花押)・山弥(花押)・窪庄兵(花押)・石弥次(花押)・萩藤三(花押)・原金兵(花押)→川野掃部殿参	(寛永15年カ)3月27日	折紙・1通	51-2
寅年御上洛御扶持方 * (写)	(寛永15)寅年	横長半・1冊	111-1
御上洛御扶持方覚 * (写)	寛永15寅年	縦紙・1通	111-2

1.3.2.鷹場

(書状、土屋民部介儀御在所近辺にて下鷹共に三居越し申したき儀に付) 相馬長門守忠胤(花押)→川野与五右衛門様人々御中	(近世)6月14日	折紙・1通	101-1
(書状、鷹場の儀土屋民部・安藤次右共に遣わしたく候に付) 相馬長門守忠胤(花押)→河野与五右衛門様人々御中	(近世)7月25日	折紙・1通	101-2

1.3.3.月番

月番御用留日次記 * (表紙上書)「嘉永七甲寅年春三月直石坂図書代」 河野通聿[印]	嘉永7甲寅年3月	半・1冊	11
嘉永七甲寅六月当直月番日記 河野仲次郎越智通聿[印]	嘉永7甲寅年6月	半・1冊	12
安政六己未年正月月番日記 当前河野仲次郎[印][印]	安政6己未年正月	半/(挟み込み文書2点あり)・1冊	13
安政七申年三月写 甲組伊藤清八日記書抜 * (表紙下ケ札)「河野仲次郎ト云フハ河野通勢ノ祖父ナリ 昭和三年十月十七日虫干ノ時記ス」 河野仲次郎	安政7申年3月	半/(挟み込み文書2点あり)・1冊	14
万延元庚申年閏三月月番帳 当直河野仲次郎通聿	万延元庚申年閏3月	半/(付札あり)・1冊	15

1.3.4.日光御番

日光御番定書之事(忌服煩い継番の儀他6か条に付) 久保田善九郎(印)・久保田助之丞(印)・河野伝之丞(印)・中村弥左衛門(印)・志村又左衛門(印)・山本金右衛門(印)・窪田庄兵衛(印)・石坂勘兵衛(印)・荻原甚之丞(印)・原半左衛門(印)	慶安5年辰6月8日	豎継紙・1通	52
日光江御社参之帳 * (写)	寛文3卯年4月13日	横長美・1冊	1
(観正院了達ほか3名僧名書上)	元禄7戌年正月14日	豎紙・1通	119-4
(伝馬朱印状写一括) * (包紙上書)「写 御朱印 伝馬被下 千人頭」	(宝永2年～宝暦9年)	包紙一括/(58-1～2は包紙一括)・1点	58
(宝永2年伝馬朱印状4通写) * (端裏書)「御朱印写 但江戸御役」/(写)	(宝永2年2月3日)	横切紙・1通	58-1
(馬4疋を八王子より日光迄上下幾度も出すべき旨伝馬朱印状) * (写) →右宿中	宝暦9年正月12日	豎紙・1通	58-2
(將軍薨去・年号改元・金銀吹き替え・新門様御目見えの儀に付覚) 河野伴右衛門越智通有	元文2巳年3月	横切継紙・1通	55
(伝馬宿継証文写一括) * (包紙上書)「写 伝馬 宿次証文」	(宝暦9年正月)	包紙一括/(59-1～2は包紙一括)・1点	59
(馬10疋を八王子より日光迄上下幾度も出すべき旨宿継証文) * (写) 相模印→右宿中	宝暦9卯(年)正月	横切紙・1通	59-1
(馬5疋を八王子より日光迄上下出すべき旨宿継証文) * (写) 相模印→右宿中	宝暦9卯(年)6月	折紙・1通	59-2
日光御法会ニ付諸御役懸り拝領物等書抜 右ニ付参向公家衆御饗応等書抜 御沙汰書写	(宝暦14申年3月～明和2年酉6月)	横長半・1冊	6
御宮百五十回御忌在勤日記 鉢石原勝八・入町河野銀平	明和2酉年3月	半・1冊	7
権現様百五十回御忌御法会之節在勤日記 鉢石原勝八・入町河野銀平	明和2乙酉年4月	大美・1冊	8
写方之留(日光御社参の内諸事認め物に付)	明和2酉年	半・1冊	19

覚(川野伝丞同心18人分の馬8疋を御泊まりの所に て相渡すべきに付) 源左衛門(印)・紀伊守(印)・民部 (印)→江戸・岩付・古河・宇都宮より日光迄 還御之時日光 壬生・古河・岩付より江戸迄	(近世)子(年)4月	横切紙・1通	57
(御法会中勤め方の儀に付伺書) 河野銀平・窪田幸平	(近世)申(年)11月	横切継紙・1通	69
(日光社御規式次第一括) * (袋上書)「万部御経次第・四 月十八日御本社御経供養・四月十九日御本地堂曼荼羅供次 第 御式七冊之内 写三通」	(近世)	袋一括/(112-1 ~3は袋一括)・ 1点	112
(万部御経習礼次第) * (端裏書)「万部御陀次第」	(近世)4月6日	縦継紙・1通	112-1
(御本社御経供養次第) * (端裏書)「四月十八日御本社御 陀供養」	(近世)4月18日	縦継紙・1通	112-2
(御本地堂曼荼羅供次第) * (端裏書)「四月十九日御本地 堂曼荼羅供次第」	(近世)4月19日	縦継紙・1通	112-3
(書状、御法会・御規式万端済ませられ恐悦の旨並び に御法会中見廻り書付指出等の儀に付) * (包紙上 書)「原勝八様・河野銀平様 小幡山城守」 小幡山城守景利 (花押)→原勝八様・河野銀平様御報	(近世)4月24日	折紙/(包紙共)・ 1通	105
覚(此度御奉行小屋出来に付鉢石小屋と場所御引き替 え下されたき旨覚) 原小八郎・河野兵三郎→稲葉河内 守殿・井上周防守殿	(近世)8月	縦紙・1通	61
(書状、当御山御宮並びに御堂御安全成させられ坊舎・ 町中相替わりなく候に付) * (裏書)「酒井雅楽頭様・酒 井讃岐守様・松平伊豆守様・阿部豊後守様・井伊掃部頭様・ 久世大和守様・牧野佐渡守様・土屋但馬守様・門藤出雲守様 ・井上筑後守様・宮城越前守様・兼松下総守様・梶左衛門佐 様」 河野与五右衛門・石坂勘兵衛→伊豆守様・豊後守様參 人々御中	(近世)11月5日	折紙・1通	100
御修復清帳目録(新宮慈眼大師堂・御本坊清帳目録)	(近世)	折本・1帖	63
新宮慈眼大師堂・御本坊修学院両火消小屋金渡方残下 り金覚	(近世)	折本/(貼紙あ り)/(貼紙剥 離)・1帖	64
(日光へ参り候節服喪掛り候者取り計らい方に付) * (断簡) 中村三左衛門印・服二付印形召仕候石坂彦三郎	(近世)	縦紙・1通	119-5-1
(包紙) * (包紙上書)「日光道中御伝馬御朱印御写壺通・同 断御証文写壺通・右御扶持方御証文写壺通・勤番伝馬御証 文写壺通」	(近世)	包紙・1点	120-8

1.3.5.江戸火之番

江戸火之番立日覚 * (表紙上書)「文政八酉年六月写河野 氏」/(写)	宝永2酉年2月4日	横長美・1冊	3
江戸火之番立日之覚 * (裏書)「右原本宝永五子年認候古 帳其假写置もの也、但原本者萩原弥右衛門昌熾宗伝之物 也、庚申閏三月 河野通書写之」/(写)	宝永2酉年2月4日	横長半・1冊	4
[]御役勤方覚(江戸火之番当番日記)	宝永2年(7月2日~8月 21日)	半・1冊	2
江戸在番中諸事控	宝永4亥年8月晦日	横長半・1冊	5

1.八王子千人頭/3.勤向/5.江戸火之番

江戸火消役御扶持方請取控 * (貼紙)「右志村此古書之写通書」	宝永5子(年)2月7日～同年4月21日	半・1冊	20
覚(日光・江戸両所旗懸けの火の御番相勤め候故困窮仕るにて何とぞ1ヶ所御免遊ばされたく候に付) *(端裏書)「困窮願書之控 江戸番御免願下書」 河野兵三郎・窪田十三郎・中村三左衛門・山本孫七郎・原小八郎・石坂彦三郎・窪田助之丞・荻原小五郎・志村庄次郎・窪田庄三郎→下條七兵衛殿・土屋市之丞殿・石原豊後守殿・本多外記殿・三枝日向守殿	(宝永5年2)月日	豎継紙/(下ヶ札あり)・1通	54
覚(六番町御役屋敷火の見櫓高く仕りたきに付願書) 河野兵三郎	(近世)7月	横切紙・1通	62
江戸火消書留	(近世)	半・1冊	9
(包紙) * (包紙上書)「宝永二年酉二月 江戸火消之節古書 明和 河野主計通都君家督之節控留帳 河野通書蔵」	(近世)	包紙・1点	120-4

1.4.由緒・格式・先例

弘治二年辰春土屋平八郎二被申付荻原豊前惣領源八給候朱印写 * (写)/96-2と関連カ 土屋平八郎→荻原源八殿	(弘治2年)3月21日	豎紙・1通	67-2
山根筋中野郷替上総内ニ而給郷村書立 * (鉛筆書)「文禄二巳年」/(写) 伊奈憲蔵両判・大久保十兵衛両判→甲州御小人頭衆	(文禄2)巳(年)8月21日	横切継紙・1通	28
御軍役人数積書 * (鉛筆書)「河野家文書」/(写)	慶安2丑年10月	半・1冊	18
(席次復旧・日光御用に付願書留) * (鉛筆書)「格式之儀ニ付願書留」	(宝永6年カ)丑4月	半・1冊	21
(座席復旧願い等一括) * (包紙上書)「甲州ニ而勤柄書付外ニ老通 都合式通」/収納文書とは別内容カ	(宝永6年カ)	包紙一括/(96-1～2は包紙一括)・1点	96
奉願覚(座席の儀古来の通り仰せ付けられたきに付) *(端裏書)「席願書下書」 河野兵三郎・原小八郎・窪田十三郎・山本孫七郎・中村三左衛門・石坂彦三郎・荻原小五郎・志村庄次郎・窪田弥兵衛・窪田市郎左衛門	(宝永6年カ)丑4月	豎継紙・1通	96-1
覚(申し伝え等の儀に付武田晴信判物写等書付) *(写カ)/(鉛筆書)「寅三月」/67-1・2と関連	(宝永7年カ)寅(年)3月	豎継紙・1通	96-2
覚(武田晴信御朱印・感状写) * (下書)/96-2と関連	(宝永7年3月カ)	豎継紙/(貼紙あり)/(下ヶ札あり)・1通	67-1
覚(席次・御礼の儀書付の趣御差略の上外々へ御物語願い奉るに付) * (写カ)	(宝永7年カ)寅(年)3月	横切継紙・1通	68
起請文前書(御代替りに付公儀御為第一に存じ奉り御後ろ聞き儀仕りまじき事ほか2か条) * (包紙上書)「宝曆十一年五月廿五日被仰付候控 誓詞 中村勘六・河野銀平・窪田幸平」/(写) 窪田幸平書判・河野銀平書判・中村勘六書判→酒井左衛門尉殿・松平右近将監殿・秋元但馬守殿・井上河内守殿・筒井大和守殿	宝曆11年5月25日	豎紙/(包紙共)/(貼紙あり)・1通	56
先例目録(千人頭臨時御褒美下され候廉等に付) 千人頭	慶応元丑年9月20日	半・1冊	17

(書状写、当地去る1日・同4日6日に火事出来候えども御城中御曲輪の内つつが無き旨尤もの事に付) * (写)/末尾に三浦氏・北条氏の系譜書あり 稲美濃守正則判→河野与五右衛門殿・原権十郎殿	(近世)2月14日	折紙・1通	116
右源太殿御家督之節例書等写之	(近世)	半・1冊	16
諸役人御座席	(近世)	豎継紙/(虫損あり)/(継目剥離)・1通	70-1
(諸役人御座席)	(近世)	豎紙・1通	70-2
(千人頭禄高・役扶持・諸勤仕覚)	(近世)	折本・1帖	97-1
先規被召出候覚書(権現様へ千人頭次男弟召し出され候分等に付)	(近世)	折本/(虫損あり)・1帖	97-2
(権現様・大猷院様・巖有院様へ召し出され候覚)	(近世)	豎継紙・1通	97-3
(包紙) * (包紙上書)「権現様より被下候同心給分郷付」	(近世)	包紙・1点	120-6

1.5. 来状

(書状、年始御祝詞忝く存じ候に付) 小倉但馬守正茂 (花押)→河野仲次郎様御報	(近世)正月	折紙・1通	107
(書状、寒中御見舞の趣忝く存じ候に付) 戸田長門守忠行 (花押)→河野仲次郎様	(近世)正月	折紙・1通	108
(書状、紀伊殿先頃旅行の節掃除など申し付け念入りの段御満足の旨国元より申し来たるに付) * (包紙上書)「河野伴右衛門様 木村七太夫」 木村七太夫義□(花押)→河野伴右衛門様	(近世)5月18日	折紙/(包紙共)・1通	102
(書状、私宅へ御出の儀忝く候旨並びに手前同心の内去る頃不届き申し出で候者4人の儀に付) 嶋出雲守 →河野与五右衛門様	(近世)7月朔日	切紙/(虫損あり)・1通	103
(書状、暑中御尋問成し下され忝く存じ奉り候に付返書) * (端裏書)「正慶元年六月廿三日 宮之御代 山本四郎次郎忠行」/端裏書の内容は本書と無関係カ 日下部権左衛門定有(花押)→河野四郎左衛門様貴答	(近世)7月3日	折紙/(虫損あり)・1通	115
(書状、残暑の節御容体窺い奉るに付) * (包紙上書)「千人頭河野仲次郎様 内山七兵衛組御鷹匠河野三助 従日野宿」 河野三助通久(花押)→河野仲次郎様参人々御中	(近世)7月17日	折紙/(包紙共)・1通	109
口上覚(我等気色養生のため平井湯治の御暇下され近日罷り越し候に付) 松平左京太夫→河野与五右衛門様	(近世)10月18日	切紙・1通	104
(書状、今般御役儀仰せ付けらる旨御歓示の趣忝く存じ候に付) 松平縫殿乗謨(花押)→河野仲次郎様御報	(近世)12月28日	折紙・1通	106

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

2.河野家

2.1.家族・相続

覚(今度貴様御二男伝吉郎儀私婿養子に願ひ上げ仰せ付けられ手前へ引き取り候に付) 布施六右衛門(印)(花押)・証人大木才兵衛(印)(花押)→河野与五右衛門殿・同兵三郎殿	貞享4年卯5月12日	縦紙・1通	71
仮養子願書(日光御番代に罷り越すも実子御座無く従弟違ひ河野亀之助を仮養子に仕りたきに付) 河野伴右衛門(印墨消)(花押)→本多外記殿・梶川与惣兵衛殿・桑山志摩守殿・赤井七郎兵衛殿・沼間日向守殿	正徳6年申4月11日	縦紙・1通	72
奉願候覚(時痛相煩ひ本復仕る体御座無きに付病死仕り候はば河野松蔵へ家督下し置かれたき旨願書) *(端裏書)「安永六酉年八月」 千人頭河野主計(印)→万年遠江守殿・仙石監物殿・八木丹後守殿・田付筑後守殿・柳生播摩守殿	安永6酉年8月	縦紙・1通	73
(河野松蔵殿御蔵証文出候旨並びに御礼勤め等の儀に付達書) *(端裏書)「石坂彦三郎様 万年遠江守」/(鉛筆書)「安永七年四月」 万年遠江守→石坂彦三郎様	(安永7年カ)4月16日	縦継紙・1通	60
養子奉願候覚(未だ男子これ無きに付千人頭肝煎志村又右衛門弟榊原金吾儀を養子に仕りたきに付) *(端裏書)「弘化四丁未年正月」 千人頭河野伝之丞→梶川庄兵衛殿・岡本近江守殿・山中壱岐守殿・鷲巣淡路守殿・奥村治左衛門殿	弘化4未年正月	縦紙・1通	74
奉願候覚(養子惣領左近へ御役仰せ付けられ家督下し置かれ私儀隠居仕り居りたきに付) *(端裏書)「弘化四丁未年十月」 河野伝之丞→梶川庄兵衛殿・岡本近江守殿・山中壱岐守殿・鷲巣淡路守殿・奥村治左衛門殿	弘化4未年10月	縦紙・1通	75
(河野通斐の選名書) *(包紙上書)「貴名」 志村廉謹考[印][印]	文久紀元辛酉10月2日	折紙/(包紙共)・1通	114
(袋) *(袋上書)「(見せ消し)「家督之節一件覚留帳巻冊・外類例心覚其外帳三冊」・宝永二年江戸御役勤方覚巻冊・同四年巻冊」	(近世)	袋・1点	120-3

2.2.由緒・系譜

2.2.1.先祖書・親類書・遠類書

(河野与五右衛門先祖書・親類書) *(端裏書)「天和二壬戌十二月」 本国伊豫・生国武蔵河野与五右衛門	天和2戌年12月	縦継紙/(虫損あり)・1通	76-1
親類書(河野兵三郎) *(端裏書)「天和三亥 河野兵三郎親類書」	天和3亥年	縦継紙・1通	77
先祖由緒書(河野兵三郎) *(端裏書)「貞享四年正月」 千人頭河野兵三郎	貞享4正月日	縦継紙/(貼紙あり)/(挟み込み文書あり)・1通	78

(河野与五右衛門先祖書・親類書) * (包紙上書)「寛政三亥年五月被仰出候時は迄用ひ候、是二而先祖書出来」/(端裏書)「貞享五戊辰九月与五兵衛反故之」 本国伊豫・生国武蔵河野与五右衛門	貞享5辰(年)9月	豎継紙/(包紙共)/貼紙あり・1通	76-2
(河野与五右衛門先祖書・親類書) * (端裏書)「元禄五壬申二月」 河野与五右衛門(花押)→夏田左衛門・松平与次右衛門殿・天野弥五右衛門殿	元禄5壬申年2月	豎継紙/(虫損あり)/(貼紙あり)・1通	79-1
先祖書(河野兵三郎) * (端裏書)「元禄五壬申[]控河野兵三郎」 河野兵三郎→夏目左衛門殿・松平与次右衛門殿・天野弥五右衛門殿	元禄5壬申年	豎継紙/(虫損あり)/(貼紙あり)・1通	79-2
(河野与五右衛門先祖書・親類書) * (端裏書)「与五右衛門先祖書・親類書 元禄七戊」 河野与五右衛門→松平与次右衛門殿・大久保喜六郎殿・安藤九郎左衛門殿	元禄7年戊12月	豎継紙/(虫損あり)/(貼紙あり)・1通	80
(河野兵三郎親類書) * (端裏書)「元禄十二卯十二月 兵三郎」 河野兵三郎(花押)→山田十大夫殿・神善与七郎殿・蜂屋七兵衛殿	元禄12年卯12月	豎継紙/(虫損あり)・1通	81
(河野兵三郎先祖書・親類書) * (端裏書)「元禄十七申三月兵三郎先祖書・親類書」 河野兵三郎(花押)→土屋市之丞殿	元禄17年申3月	豎継紙/(虫損あり)・1通	82
(河野兵三郎先祖書・親類書) * (端裏書)「正徳二辰兵三郎先祖書・親類書」 河野兵三郎(花押)→小倉半左衛門殿	正徳2年辰11月	豎継紙/(一部破損)・1通	83
遠類書(河野兵三郎) * (端裏書)「兵三郎遠類書正徳二辰」 河野兵三郎(花押)→小倉半左衛門殿	正徳2年辰11月	豎継紙/(一部破損)・1通	84
遠類書(河野伴右衛門) * (端裏書)「正徳六申六月」 河野伴右衛門(花押)→桑山志摩守殿	正徳6年申6月	豎継紙・1通	85
(河野伴右衛門先祖書・親類書) * (端裏書)「享保五子正月伴右衛門先祖書親類書」 河野伴右衛門(花押)→本多五郎右衛門殿	享保5年子正月	豎継紙・1通	86
遠類書(河野伴右衛門) * (端裏書)「元文元丙辰七月」 河野伴右衛門(花押)→朽木大和守殿・松田善右衛門殿・小幡上総介殿・窪田勘右衛門殿・天野丹後守殿	元文元丙辰年7月	豎継紙/(貼紙あり)・1通	88
(河野伴右衛門親類書) * (端裏書)「元文元丙辰年親類書」/(写) 河野伴右衛門居印→朽木大和守殿・松田善右衛門殿・小幡上総介殿・窪田勘右衛門殿・天野丹後守殿	元文元丙辰年何月	豎継紙/(虫損あり)・1通	87
遠類書(河野伴右衛門) * (端裏書)「元文二丁巳五月」 河野伴右衛門(花押)→朽木大和守殿・松田善右衛門殿・窪田勘右衛門殿・細井佐次右衛門殿・天野丹後守殿	元文2丁巳年5月	豎継紙・1通	89
遠類書(河野銀平) * (端裏書)「元文三午六月倉橋内匠之助殿江差出申候遠類書控」 河野銀平書判→朽木大和守殿・細井佐次右衛門殿・倉橋内匠助殿・末高半左衛門殿・天野丹後守殿	元文3戊午年6月	豎継紙/(虫損あり)/(貼紙あり)・1通	91
(河野銀平先祖書) * (端裏書)「先祖書下書 但年号無之 河野銀平」/(下書) 河野銀平居判	年号(元文3年ヵ)月	豎継紙・1通	90
(河野主計親類書) * (端裏書)「明和四亥五月」 河野主計(花押)→万年遠江守殿・桜井七右衛門殿・小幡山城守殿・山名伊豆守殿・柳生播磨守殿	明和4年亥年5月	豎継紙/(貼紙剥離)/(貼紙・下ヶ札あり)・1通	92
先祖書(河野主計) * (端裏書)「安永六酉年」/(写) 千人頭河野主計書判→万年遠江守殿・仙石監物殿・八木丹後守殿・田付筑後守殿・柳生播磨守殿	安永6酉年	豎継紙/(貼紙あり)・1通	93

2.河野家/2.由緒・系譜/1.先祖書・親類書・遠類書

(河野松蔵親類書) *(端裏書)「天明六年二月廿日差出ス親類書下書千人頭河野松蔵」/(下書)千人頭河野松蔵(花押)→八木丹後守殿・松下隠岐守殿・長谷川太郎兵衛殿・松平与次右衛門殿・渡辺図書頭殿	天明6午年2月	豎継紙/(貼紙あり)・1通	94
(系譜御改めに付家筋問い合わせ関係一括) *(包紙上書)「御問合申上候書付 弘化三年春尋之事 河野伝之丞」 河野伝之丞	(弘化3年3月～6月)	包紙一括/(95-1～10は紙縫一括)/(95-1～5は包紙一括)・1点	95-1～5
河野氏家譜書抜 河野伝兵衛	(弘化3年)	半・1冊	95-1
河野伝兵衛家より被召出候(元千人頭河野与五右衛門弟河野小右衛門・同八郎左衛門閔歴書付)	(弘化3年)	豎紙・1通	95-2
(系譜調べに付差し出し候河野小右衛門通貫・河野太郎右衛門通直閔歴書付) 河野小右衛門通次次男始名与左衛門河野小左衛門通貫	(弘化3年)	豎紙・1通	95-3
(河野小右衛門御高・御役名に付問い合わせ書付) 千人頭河野與五右衛門弟河野小右衛門	(弘化3年)	豎紙・1通	95-4
(書状、諸家系譜御改めにて分家家筋御書き出し問い合わせの趣に付) *(端裏書)「河野伝之丞様貴答 河野伝兵衛」 河野伝兵衛→河野伝之丞様参人々御中	(弘化3年)3月12日	豎継紙・1通	95-5
(系譜御改めに付河野太郎右衛門へ問い合わせ関係一括) *(包紙上書)「八王子ニ而河野伝之丞様 江戸小田向台町河野太郎右衛門 無別条急用向 三月十五日出シ」 江戸小田向産町河野太郎右衛門→河野伝之丞様	(弘化3年)3月15日	包紙一括/(95-1～10は紙縫一括)/(95-6-1～2は包紙一括)・1点	95-6
(書状、御系譜御調べの儀張紙にて認め差し上げ申すに付)	(弘化3年)3月15日	豎継紙・1通	95-6-1
(河野信太郎居所書付)	(弘化3年)	豎紙・1通	95-6-2
(書状、系譜・先祖書書抜き差し上げ候様仰せ下され荒増別紙に相認め候に付)	(弘化3年)6月2日	豎継紙・1通	95-7
口上之覚(系譜調べの儀私組の者出府仕り候間此ものへ仰せ聞かされ御加筆下されたきに付) 河野伝之丞→河野太郎右衛門様・河野伝兵衛様	(弘化3年)3月8日	豎紙・1通	95-8
(河野家家譜の内朱書の分相分り候はば御記し下されたき旨書付) 小普請組溝口相模守支配河野直太郎→本郷竹町	(弘化3年)	豎紙・1通	95-9
(河野太郎右衛門・伝兵衛など先祖書抜)	(弘化3年)	豎継紙/(貼紙剥離)・1通	95-10
(河野家・窪田家系譜書綴)	(近世)	綴/(98-1～8は一綴)・1綴	98-1～8
(河野家由緒書)	(近世)	豎継紙・1通	98-1
(河野家戒名書付)	(近世)	豎紙・1通	98-2
(窪田甚右衛門明細短冊)	(近世)	豎紙・1通	98-3
(河野家親類書)	(近世)	豎紙・1通	98-4
(河野家系譜書)	(近世)	半・1冊	98-5
(下窪田家系図)	(近世)	豎紙・1通	98-6
(河野家系譜書)	(近世)	豎継紙・1通	98-7

(河野家系譜書)	(近世)	縦継紙・1通	98-8
----------	------	--------	------

2.2.2.古証文写

(甲斐国の内本給宛行状写) * (写) 成瀬・日下部奉之→ 河野但馬守殿	天正10(年)12月12日	堅切紙・1通	27
---	---------------	--------	----

2.2.3.徳川家系譜

(徳川家系譜書上綴)	(近世)	綴/(98-23~26 は一綴)・1綴	98-23~26
(徳川家系譜書) * (下書)	(近世)	縦継紙・1通	98-23
(秀忠・家光・家綱上洛・御社参書付) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-24
(家康・秀忠閱歴書付) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-25
(家康閱歴書付) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-26
(上意の有無並びに歴代將軍など没年書上)	(近世)	折紙・1通	119-3

2.2.4.他家の系譜

(諸家系譜書綴)	(近世～明治)	綴/(98-9~22は 一綴)・1綴	98-9~22
(系譜書) * (端裏書)「植田十兵衛より借用書」/(下書)	(近世)	堅紙・1通	98-9
(系譜書) * (下書)	(近世)	縦継紙・1通	98-10-1
(坪内家系譜) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-10-2
(最上家系譜) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-11
(上杉家系譜) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-12
(大友家系譜) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-13
(原田家系譜) * (下書)	(近世)	縦継紙・1通	98-14
(成瀬家系譜カ) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-15
(結城家系図) * (下書)	(近世)	縦継紙・1通	98-16
(設楽家禄高・屋敷地書付) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-17
藩翰譜(平岡家由緒書抜) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-18
(河野通事経歴書付) * (下書)	(明治)	堅紙・1通	98-19
(新田家系譜) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-20
(京極家系譜) * (下書)	(近世)	堅紙・1通	98-21
(武田家系譜) * (下書)	(近世)	堅紙・1通(2枚)	98-22
(上窪田家系譜) * (下書)	(近世)	縦継紙・1通	99
薩州分限帳略書抜	(近世)	縦継紙・1通	113
鞍寸法之事(鞍師系譜)	(近世)	縦継紙/(虫損あ り)・1通	118

2.3.知行所

2.3.1.宛行

(川野小右衛門尉知行宛行状写) * (包紙上書)「川野小右衛門尉とのへ」/(写) 川野小右衛門尉とのへ	寛永8(年)3月4日	折紙・1通	30-1
(川野小右衛門尉知行宛行状写) * (包紙上書)「川野小右衛門尉とのへ」/(写) 川野小右衛門尉とのへ	寛永8(年)3月4日	折紙・1通	30-2
目録(武蔵国都築郡山田村・大棚村並びに上総国周准郡台村・作木村知行所相違無きに付) * (包紙上書)「知行目録 河野兵三郎」 河野兵三郎(印)→松平備前守殿・安藤右京亮殿	正徳2辰7月	豎紙/(付札あり)・1通	32
覚(上総国周准郡台村知行高の儀御朱印御本書にも拾の字落字仕り候に付) 八王子千人頭河野兵三郎	(近世)2月	横切紙・1通	33

2.3.2.年貢・諸役

(此の度大坂立夫仰せ付けられ候段並びに御年貢・江戸への小歩行など万御用の儀に付一札) * (端裏書)「山田藤次知行夫丸てかた」/(後筆ペン書)「元和元年卯」 山田之郷豊後(印)・惣左衛門(印)・十郎左衛門・新兵へ・与右衛門・内蔵助・右近・久右衛門・与二郎・三郎左衛門・五郎左衛門・五郎右衛門・孫兵衛→川野藤次様	(元和元)卯(年)4月6日	豎紙・1通	29
武蔵国大棚村寅之物成覚 河野与五右衛門	延宝3卯(年)正月	豎継紙/(挟み込み文書2点あり)・1通	31
申ノ御年貢百姓衆未進 織茂弥太夫(印)	天和元酉(年)12月28日	横長半・1冊	24
未御年貢百姓衆未進 織茂弥太夫(印)	天和元酉(年)12月28日	横長半・1冊	25
覚(知行所物成高書付)	(近世)3月	豎切紙・1通	34-3
覚(知行所物成高書付)	(近世)3月	豎切紙・1通	34-4
覚(知行所物成高書付) * (端裏書)「留書」	(近世)	豎切紙・1通	34-1
覚(知行所物成高書付)	(近世)	豎切紙・1通	34-2
(袋) * (袋上書)「元和九年山田上総戌亥納勘定一冊・天和元年未御年貢百姓衆未進巻冊・申御年貢百姓衆未進同・元禄十四年巳十二月廿六日武州山田村辰物成勘定帳一冊」	(近世)	袋・1点	120-2

2.3.3.山田村諏訪山

惣百姓口書之事(諏訪山並びに松なみの儀に付) * (端裏書)「に印 惣百姓口上連印」 清左衛門(印)・与惣兵衛(印)・勘助(印)・伝右衛門(印)・与右衛門(印)・庄右衛門(印)・新兵衛(印)・長右衛門(印)・与兵右衛門(印)・加左衛門(印)・藤右衛門(印)・久右衛門(印)・加兵衛(印)・四郎右衛門(印)・善兵衛(印)・権右衛門(印)・内蔵之助(印)・平右衛門(印)・八兵衛(印)	寛文9酉ノ4月朔日	豎継紙・1通	35
乍恐以書付を御訴訟申上候事(観音寺儀当2月中我等方へ断りもなく彼の大門の木共残らず切り払いに仕り候に付) * (端裏書)「ぬ印 与五右衛門より申立書之右下案」 (河野与五右衛門)	寛文9年酉6月	豎継紙・1通	36

口上書之事(諏訪宮山は河野小右衛門様御林の内を御 きしんにて諏訪に御付おき成され候儀並びに大門 の松木うへさせ候儀等に付) * (端裏書)「そ印 観音院 居野川村閑居口上書」 本寺観音寺野川村閑居(印)→河野 与五右衛門様御内折茂藤左衛門殿	寛文9酉7月18日	豎継紙・1通	37
乍恐書付以御訴訟申上候事(観音寺寺山諏訪明神の宮 地大門にて伐木の儀に付川野与五左衛門様我が俣 いたすに付) 山本弥右衛門名主源左衛門・曾根半兵衛 名主九郎兵衛・鈴木弥次右衛門名主弥五兵衛・曾根半兵衛 山名主仁兵衛、(裏書)豊前・内蔵・猪右・出雲・大隅・甲斐・山城 →御奉行所様	寛文9酉11月21日	豎継紙・1通	38-1
乍恐書付以御訴訟申上候事(観音寺寺山諏訪明神の宮 地大門にて伐木の儀に付川野与五左衛門様我が俣 いたすに付) * (写)/(端裏書)「る印 他領百姓より願出 奉行所連名目安書写」 山本弥右衛門名主源左衛門・曾根 半兵衛名主九郎兵衛・鈴木弥次右衛門名主弥五兵衛・曾根 半兵衛山名主仁兵衛→御奉行所様、(裏書)豊前・内蔵・猪右 ・出雲・大隅・甲斐・山城	寛文9酉11月21日	豎継紙・1通	38-2
覚(山本弥右衛門百姓源右衛門儀観音寺と一味仕り河 野与五右衛門領内にて松の木盗伐に付口上書)	(寛文10年カ)	横切継紙・1通	39-2
覚(諏訪明神別当観音寺大門の松木盗み切りの儀並び に河野与五右衛門地頭山とわけしれ申す儀に付口 上書)	(寛文11年カ)	横切継紙・1通	39-1
(山田村諏訪明神胸札綴) * (包紙上書)「山田村諏訪明神 胸札」 原半左衛門	(寛文11年)亥10月9日	綴/(包紙共)・ 1綴	41
(諏訪明神山争論絵図)	(寛文12年カ)	42.5×92.3・1鋪	40
(包紙) * (包紙上書)「寛文十二子年御裁件状 百廿/中村八 太夫当分御預り所曾根栄之助・鈴木弥次右衛門・志村又右 衛門・河野伝之丞・山本橋之助知行 武州都筑郡山田村」	寛文12子年	包紙・1点	120-7
山田村観音寺願之覚(諏訪社廻り・大門通り山境分明 に相立て候趣並びに御寄付畑地所しれ申さず候御 水帳の面をもって御吟味願いに付) * (端裏書)「宝永 七年寅九月」 武州小机領山田村観音寺祐順(印)・本寺深 大寺年行寺池上院(印)→河野兵三郎殿	宝永7年寅9月	豎継紙・1通	42
覚(諏訪大明神社廻り・大門通りの松木落葉・下草の儀 観音寺支配致すべき旨並びに社修復・寺修復の節は 此方へ願ひ出るべき旨沙汰書) * (端裏書)「つ印 二 西山清兵衛より観音寺へ申渡書 寄附書付也」/(鉛筆書) 「宝永七九 観音寺宛 社地其他寄附安塔申渡書」 河野兵 三郎役人西山清兵衛→山田村観音寺	宝永7年庚寅9月	横切継紙・1通	43
御託言之覚(山田村諏訪大明神社地出入の節所追放の 仁兵衛・勘兵衛父子共先規の通り田地屋敷下され百 姓相勤め候様願うに付) * (端書)「林広院 上包ミの 紙」 願王院・住心院・円覚院→林広院	(正徳2辰年カ)5月	折紙・1通	44-1
(書状、勘兵衛の帰参願ひ取り計らい方に付) 林広院	(正徳2辰年カ)6月18日	折紙・1通	44-2
(流罪申し付けられ候仁兵衛父子の義私百姓に仕り難 き旨口上書) * (前欠) 志村勘左衛門書判→蜂屋七兵 衛殿・神谷与七郎殿・山田十大夫殿・中根左兵衛殿	(正徳2辰年カ)6月29日	豎継紙・1通	45

2.河野家/3.知行所/3.山田村諏訪山

一札之事(山田村知行所の内林権現山・諏訪山2ヶ所残らずこの度其方へ下され候に付) * (端裏書)「ち印 嘉永三亥年十二月五郎右衛門より聞取差出候伊右衛門より五郎[]江遣し候趣之書付 享保六年書付写」/(裏書)「表書之通相違無之候以上 河伴右衛門」 尾曲岡右衛門→織茂五郎右衛門殿	享保6丑ノ12月	縦継紙・1通	46
(諏訪山観音寺修覆松木下付願いに付請書一括) * (包紙上書)「よた印 天明七未年三月諏訪大門松木伐木願書遣候請書共二通 河野四五右衛門代」	(天明7年3月)	包紙一括/(47-1~2は包紙一括)・1点	47-1~2
差上申御請書之事(諏訪山観音寺修覆に付諏訪山大門御寄付の内松木2本御願い上げ御聞き済まし下され候に付) * (端裏書)「よ印」 年寄幸八(印)・名主磯右衛門(印)→御地頭様御役人中様	天明7未ノ3月	縦継紙・1通	47-1
差上申御請書之事(諏訪山別当観音寺修覆に付諏訪山大門御寄付の内松木2本御願い上げ御聞き済ましに付) * (端裏書)「た印」 観音寺(印)→御地頭様御役人中様	天明7未ノ3月	縦継紙・1通	47-2
奉願上一札之事(御宮前の9尺廻りの松木の儀疵強く相成り候に付切り取り願い) * (包紙上書)「上 諏訪松木伐取願書 寛政十二申七月 ぼ印」 武州都築郡山田村別当観音寺(印)→河野四郎左衛門様御内西山市郎右衛門様	寛政12申ノ7月	縦継紙/(包紙共)・1通	47-4
奉差上置候一札之事(諏訪山大門にて松木3本伐採の儀願い上げ御聞き済まし下され候に付) * (端裏書)「へ印 二享和元酉年四通之内三通奉行所へ残り帰へらず」/(裏書)「大門之松伐取地頭聞濟受書」 御知行所山田村観音寺祐賢(印)(花押)・当名主紋左衛門(印)→御地頭様御役人中様	享和元酉年3月	縦継紙・1通	47-3
乍恐以書付御訴奉申上候(諏訪明神大門の松木6本大風に吹き倒れ候に付伐採・売木願い) * (端裏書)「つ印 文政六未年八月社木願書」/(鉛筆書)「諏訪明神社木伐採願」 山田村氏子惣代三四郎(印)・別当観音寺檀方惣代千太郎(印)・年寄常三郎(印)・名主平右衛門(印)→御地頭様御役人中様	文政6未8月24日	縦継紙・1通	47-5
乍恐以書付奉願上候(諏訪大明神大門松木の内小木3本頂戴仕り明神社板敷はめ板に仕りたきに付) 山本金右衛門知行所山田村諏訪大明神氏子惣代吉重郎(印)・御知行所山田村年寄常三郎(印)・同五介(印)・名主平右衛門→御屋鋪様御用人中様	文政11子年6月	縦継紙・1通	47-6
(諏訪明神社松木伐採願い一括) * (包紙上書)「な印 上 山田村諏訪明神別当観音寺本堂修復ニ付願書 伝之丞代 天保十三寅年」	(天保139月)	包紙一括/(47-7~8は包紙一括)	47-7~8
乍恐以書付奉願上候(諏訪大明神社木の内枯気付き候松3・4本観音寺へ御寄付成し下されたきに付) 御知行所山田村観音寺檀方惣代願人七右衛門(印)・同氏子惣代八右衛門(印)・年寄常三郎(印)・同五助(印)・同増五郎(印)・同弥七(印)・名主平蔵(印)→御役人中様	天保13寅年9月	堅切紙・1通	47-7
指上申御請書之事(諏訪大明神松木3本伐り取りの儀並びに松苗10本植木の儀に付) 山田村檀方惣代七右衛門(印)・名主平蔵(印)→御地頭所様御役人中	天保13寅年9月	堅切紙・1通	47-8
差上申一札之事(勘定奉行様より諏訪山の儀に付御古書物差し出し候様仰せ渡され候に付) * (端裏書)「嘉永四亥年七月」 御知行所山田村名主富之助(印)・同蔦次郎(印)→御地頭所様御用人中様	(嘉永4年)亥7月16日	堅切紙・1通	48

覚(古書物21通・棟札写し4枚並びに絵図面1枚相渡され持参仕り候に付) * (鉛筆書)「知行所諏訪山関係古書物覚」	(嘉永4年7月)	横切継紙・1通	49
差上申一札之事(武州山田村五郎右衛門儀同村諏訪明神社木を弥五兵衛親藤蔵へ売渡し候一件吟味に付請書) 三宅鉦之助知行武州橋樹郡木月村百姓由太郎・村役人惣代組頭岡蔵・鈴木鍵蔵知行同国都筑郡山田村名主伊右衛門・年寄松之助・百姓平蔵・百姓弥五兵衛代同人母やよ・村役人惣代百姓橋次郎・河野仲次郎知行同村名主蔦次郎代兼名主富之助・五郎右衛門組合百姓平蔵・組頭増次郎・百姓幸太郎祖父仁太郎代兼右幸太郎・村役人惣代年寄定吉・曾根栄之助知行同村名主彦左衛門組頭桑次郎右惣代彦左衛門・浅草福井町壱丁目家主仙太郎店旅人宿勇助幼年二付後見良平・右仙太郎代五人頭五郎兵衛・名主弥兵衛代豊吉・志村又右衛門知行同村名主七郎右衛門・窪田鉄三郎知行同郡大柵村百姓弥七・村役人惣代名主勇次郎→御奉行所、(奥書)御知行所右山田村蔦次郎代兼名主富之助(印)→御地頭所様御役人中様	安政4巳年5月9日	縦継紙・1通	50

2.4.書状

(書状、甲州一条入用向に付御推察下さるべき旨) * (下書) 河野通聿→保正寺慈堂呈下	(明治)9月11日	縦紙・1通(2枚)	110
--	-----------	-----------	-----

2.5.文芸・蔵書

寄友人(七言絶句) * (端裏書)「寄友人」	(近世)	縦紙/(虫損あり)・1通	119-5-2
(和歌短冊など一括) * (包紙上書)「ほままつる 宗堂」	(近世)	包紙一括/ (120-1~2は包紙一括)・1点	120-1~2
和歌「君の世ハさかへ久しきなか月の…」 貞正	(近世)	短冊・1通	120-1-1
短歌「愛度も霜の降はに…」	(近世)	縦紙・1通	120-1-2
三陽武編全集序 石坂山人識	(近世)	豆本・1冊	120-9
排悶雑記(明治維新関係雑記録) 山容水態居	(明治)	半・1冊	26

2.6.教育

述幼稚園之法制文	(明治)	縦継紙・1通	117
----------	------	--------	-----

2.7.袋・包紙

(袋)	(近世)	袋・1点	119-1
(包紙) * (包紙上書)「川野伝之丞」	(近世)	包紙・1点	120-5

史料目録 第110集

東京都諸家文書目録 (その1)

印刷発行 令和2年3月31日
発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館
編集 学術資料事業部
〒190-0014
東京都立川市緑町10-3
電話 050-5533-2900 (代)
印刷 株式会社アズディップ

©人間文化研究機構 禁無断複写

(本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』(第78集まで発行)を継続しています。)

ISBN 978-4-87592-197-4

ISSN 2435-2055



9784875921974

ISBN 978-4-87592-197-4

ISSN 2435-2055